TER1206003 第1版







Teradici Corporation #101-4621 Canada Way, Burnaby, BC V5G 4X8 Canada p +1 604 451 5800 f +1 604 451 5818 www.teradici.com

このドキュメントに含まれる情報は、書類発行日時点における Teradici Corporation の最新の見解を述べています。 Teradici は変化する市場動向に対応するので、それを Teradici 側による誓約と解釈すべきではありません。そして Teradici は、書類発行日以降に存在するあらゆる情報の正確性について保証することは出来ません。

このドキュメントは情報の開示を目的とします。TERADICIはこのドキュメントの情報に関して、表現又は暗黙や 法律に従う保証を一切行いません。

ユーザには、全ての適切な著作権に従う責任があります。著作権法で定められた権利を制限すること無しに、この ドキュメントの複製、盗用あるいは公的システムへの開示、又はあらゆる手段(電子的、機械的、写真、録音その 他)による転送は、Teradici Corporation からの書面による許可無しに行う事は出来ません。

Teradici は、このドキュメント中の概念について特許、特許申請、商標、著作権または他の知的財産権を持つ場合 があります。Teradici により明白に提供されたいかなるライセンス契約書無くして、このドキュメントの提出が、 これらの特許、商標、著作権またはその他の知的財産に関するライセンスを与えることはありません。詳細につい ては、<u>http://www.teradici.com/teradici/pat.php</u>を参照してください。

© 2012 Teradici Corporation. All rights reserved.

Teradici、PC-over-IP 及び PCoIP は、Teradici Corporation の登録商標です。

ここに記載される実際の企業および製品名は、それら所有者の商標である場合があります。



# 目次

図一覧		. 11
表一覧		. 15
1	ようこそ	18
	イントロダクション	18
2	最新情報	. 20
	ファームウエア <b>4.0.2</b> の最新情報	20
3	PCoIP 管理ツール	. 22
	MC について	22
	MC へのログイン	23
	MC Home ページ	23
	MC Profile Management ページ	24
	MC Manage Profiles ページ	25
	AWI について	29
	AWI へのログイン	29
	AWI Initial Setup ページ	30
	AWI Home ページ	31
	AWI メニュー	35
	OSD について	36
	セッションへの接続	37
	セッションの切断	41
	オーバーレイウィンドウ	43
	Display Link Training Failed	43
	Half Duplex オーバーレイ	43
	Network Connection Lost オーバーレイ	43
	No Support Resolutions Found	44
	Preparing Desktop オーハーレイ	44
	USB Over Current Notice オーバーレイ	44
	USB Device Not Supported Behind a High-speed Hub $\pm -\sqrt{-\nu}$	45
	Resolution Not Supported オーバーレイ	45
	Video Source オーバーレイ	46
	OSD メニュー	46
4	PCoIP デプロイメントシナリオ	48

PCoIP ホストカードとゼロクライアント	
プロセッサ情報の表示	
TERA1100 ゼロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続	51
前提条件	
セッション接続タイプ	
ホストとクライアントの静的な接続	
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	
その他の設定リンク	
TERA2321 ゼロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続	
前提条件	
セッション接続タイプ	59
ホストとクライアントの静的な接続	
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	60
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	60
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	61
その他の設定リンク	61
TERA2140 ゼロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続	63
前提条件	64
セッション接続タイプ	65
ホストとクライアントの静的な接続	65
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	66
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	67
その他の設定リンク	67
TERA1100 ゼロクライアントと TERA2220 ホストカードの接続	69
前提条件	70
セッション接続タイプ	71
ホストとクライアントの静的な接続	71
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	72
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	72
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	73
その他の設定リンク	73
TERA2321 ゼロクライアントと TERA2220 ホストカードの接続	75
前提条件	
セッション接続タイプ	77
ホストとクライアントの静的な接続	77
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	78
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	78
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	79



その他の設定リンク	79
TERA2140 ゼロクライアントと TERA2220 ホストカードの接続	81
前提条件	
セッション接続タイプ	
ホストとクライアントの静的な接続	83
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	85
その他の設定リンク	85
TERA1100 ゼロクライアントと TERA2240 ホストカードの接続	87
前提条件	88
セッション接続タイプ	89
ホストとクライアントの静的な接続	
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	90
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	90
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	91
その他の設定リンク	91
TERA2321 ゼロクライアントと TERA2240 ホストカードの接続	93
前提条件	94
セッション接続タイプ	95
ホストとクライアントの静的な接続	95
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	96
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	96
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	97
その他の設定リンク	97
TERA2140 ゼロクライアントと TERA2240 ホストカードの接続	99
前提条件	
セッション接続タイプ	101
ホストとクライアントの静的な接続	101
SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続	
サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続	
VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続	
その他の設定リンク	103
TERA1100 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続	105
前提条件	
セッション接続タイプ	
View Connection Server	
View Connection Server + 自動ログオン	
View Connection Server + キオスク	
View Connection Server + Imprivata OneSign	
その他の設定リンク	109

TERA2321 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続	111
前提条件	112
セッション接続タイプ	
View Connection Server	
View Connection Server + 自動ログオン	113
View Connection Server + キオスク	113
View Connection Server + Imprivata OneSign	114
その他の設定リンク	114
TERA2140 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続	116
前提条件	117
セッション接続タイプ	
View Connection Server	118
View Connection Server + 自動ログオン	119
View Connection Server + キオスク	119
View Connection Server + Imprivata OneSign	120
その他の設定リンク	
VMware View クライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続	122
PCoIP GUI リファレンス	123
初期セットアップ	123
AWI ホスト:Initial Setup ページ	
AWI クライアント:Initial Setup ページ	
ネットワークの設定	
MC:ネットワーク設定	126
AWI:ネットワーク設定	129
OSD : ネットワーク設定	
ラベル設定	
AWI:ラベル設定	
<b>OSD</b> : ラベル設定	
デバイスディスカバリの設定	
MC:ディスカバリ設定	
AWI:ディスカバリ設定	
OSD : ディスカバリ設定	140
SNMP の設定	
MC: SNMP 設定に関するヘルプ	
AWI:SNMP 設定	141
セッションの設定	142
セッションの設定	142
MC:Direct to Host セッション設定	144
MC:Direct to Host Session + SLP ホストディスカバリ設定	147
MC:View Connection Server セッション設定	



MC: View Connection Server + 自動ログオンセッション設定	. 154
MC: View Connection Server + キオスクセッション設定	. 159
MC: View Connection Server + Imprivata OneSign セッション設定	. 162
MC: Connection Management Interface 設定	. 166
AWI ホスト: Direct from Client セッション設定	. 169
AWI クライアント: Direct to Host セッション設定	. 170
AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバリセッション設定	. 175
AWI クライアント: View Connection Server セッション設定	. 178
AWI クライアント: View Connection Server + 自動ログオンセッション設定	. 185
AWI クライアント: View Connection Server + キオスクセッション設定	. 191
AWI クライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign セッション設定	. 196
AWI ホスト: Connection Management Interface セッション設定	. 201
AWI クライアント: Connection Management Interface セッション設定	. 204
OSD: Direct to Host セッション設定	. 208
OSD: Direct to Host + SLP ホストディスカバリセッション設定	.211
OSD: View Connection Server セッション設定	.214
OSD: View Connection Server + 自動ログオンセッション設定	.217
OSD: View Connection Server + キオスクセッション設定	. 222
OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign セッション設定	. 225
OSD: Connection Management Interface セッション設定	. 229
セッション暗号化の設定	.232
MC:暗号化設定	.232
AWI: 暗号化設定に関するヘルプ	.234
セッシュン世域にの設定	234
ビッション市域幅の設定	234
MC·市域幅設定 AWI・帯域幅設定	236
	. 200
<ul> <li>言語の設定</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	.238
	.238
AWI クライアント:言語設定	.239
USD:言語設定	. 240
OSD パラメータの設定	.242
MC: OSD 設定	. 242
AWI クライアント: OSD 設定	.243
OSD:OSD 設定	. 243
イメージ品質の設定	.244
MC:イメージ設定	.244
AWI ホスト:イメージ設定	. 247
AWI クライアント:イメージ設定	. 249
<b>OSD</b> :イメージ設定	. 251
モニタエミュレーションの設定	. 253
MC:モニタエミュレーション	.253
AWI Tera1 ホスト:モニタエミュレーション	. 254

AWI Tera2 ホスト:モニタエミュレーション	255
時間の設定	
MC:時間設定	
AWI:時間設定	258
セキュリティの設定	
MC:セキュリティ設定	
AWI: セキュリティ設定に関するヘルプ	
オーディオ承認の設定	
MC:オーディオ承認	
AWI Tera1 ホスト:オーディオ承認	
AWI クライアント:オーディオ承認	
電源承認の設定	
MC:電源承認	
AWI Tera1 クライアント:電源承認	
ホストドライバ機能の設定	
MC:ホストドライバ機能	
AWI ホスト:ホストドライバ機能	
イベントログの設定	
MC:イベントログ設定	
AWI:イベントログ設定	
OSD:イベントログ設定	274
周辺機器の設定	
MC:周辺機器設定	
AWI クライアント:周辺機器設定に関するヘルプ	
IPv6 の設定	
MC:IPv6 設定	
AWI:IPv6 設定	
OSD:IPv6 設定	
ディスプレイトポロジの設定	
MC:ディスプレイトポロジ設定	
OSD デュアルディスプレイ:ディスプレイトポロジ設定	
OSD クアッドディスプレイ:ディスプレイトポロジ設定	
OSD ロゴのアップロード	
MC: OSD ロゴ設定	
AWI クライアント: OSD ロゴ設定	
ファームウエアのアップロード	
MC:ファームウエア管理	
AWI:ファームウエアアップロード設定	
USB 承認の設定	
MC:USB 承認	
AWI クライアント: USB 承認	



AWI ホスト:USB 承認	302
証明書ストアの設定	306
MC:証明書ストア管理	306
AWI:証明書アップロード設定	308
OSD ディスプレイオーバーライドの設定	309
OSD デュアルディスプレイ : ディスプレイ設定	309
OSD クアッドディスプレイ:ディスプレイ設定	312
パスワードとリセットパラメータの設定(AWI/OSD)	314
AWI:パスワード設定	314
OSD:パスワード設定	315
AWI ホスト:パラメータリセット設定	316
AWI クライアント:パラメータリセット設定	317
OSD:パラメータリセット設定	318
診断の表示(AWI/OSD)	319
AWI:イベントログ設定に関するヘルプ	319
OSD:イベントログ設定に関するヘルプ	319
AWI ホスト:セッション制御設定	320
AWI クライアント:セッション制御設定	321
AWI ホスト:セッション統計情報設定	322
AWI クライアント:セッション統計情報設定	324
OSD:セッション統計情報設定	327
AWI ホスト : ホスト CPU 設定	328
AWI クライアント:オーディオ設定	329
AWI クライアント : ディスプレイ設定	330
AWI:PCoIPプロセッサ設定	331
OSD: PCoIP プロセッサ設定	331
OSD:Ping 設定	332
情報の表示(AWI/OSD)	333
AWI:バージョン情報	333
バージョン情報の表示	335
AWI ホスト:接続デバイス情報	336
AWI クライアント:接続デバイス情報	337
ユーザ設定の構成 (OSD)	339
OSD: VMware View 証明書チェック設定	339
MC: VMware View 証明書チェック設定に関するヘルプ	340
AWI クライアント:VMware View 証明書チェック設定に関するヘルプ	340
<b>OSD</b> :マウス設定	340
OSD:キーボード設定	341
OSD:イメージ設定に関するヘルプ	342
OSD:ディスプレイトポロジ設定に関するヘルプ	342
OSD:タッチスクリーン設定	343

6	PCoIP テクノロジリファレンス	. 347
	PCoIP ホストカード	347
	PCoIP ゼロクライアント	347
	DVI インターフェースと DisplayPort インターフェース	347
	<b>2560x1600</b> ディスプレイ解像度のサポート	348
	PCoIP コネクションブローカ	349
	APEX 2800 PCoIP サーバオフロードカード	349
7	用語集(略語、頭字語)	. 351



# 図一覧

図 3-1: MC ログインページ	23
図 3-2: MC Home ページ	24
図 3-3 : MC Profile Management ページ	25
$\boxtimes$ 3-4 : MC Manage Profiles $\sim - \checkmark$	26
図 3-5 : Edit Properties リンク	26
図 3-6: ネットワーク設定用の Set Properties ページ	27
図 3-7: MC Manage Profiles ページ – 設定後	28
図 3-8:AWI Log In ページ	30
図 3-9: AWI ホスト: Home ページ	31
図 3-10: AWI クライアント: Home ページ	32
図 3-11:AWI メニューの概要	36
図 3-12: OSD メインウィンドウ	37
図 3-13: OSD ホスト方向接続ウィンドウ	38
図 3-14:OSD 接続ステータス	38
図 3-15: OSD View Connection Server 接続ウィンドウ	39
図 3-16:仮想デスクトップのログインページ	39
図 3-17: OSD View Connection Server 証明書の警告	40
図 3-18:安全でない警告が表示された OSD ログイン画面	40
$\boxtimes$ 3-19 : OSD VMware View $\sim - \tilde{\vee}$	41
⊠ 3-20 : Zero Client Control Panel	42
図 3-21 : Display Link Training Failed オーバーレイ	43
図 3-22 : Half Duplex オーバーレイ	43
図 3-23: Network Connection Lost オーバーレイ	44
図 3-24 : No Support Resolutions Found オーバーレイ	44
図 3-25 : Preparing Desktop オーバーレイ	44
図 3-26 : USB Device Not Authorized オーバーレイ	45
図 3-27 : USB Over Current Notice オーバーレイ	45
$\boxtimes$ 3-28 : USB Device Not Supported Behind a High-speed Hub $\forall - \neg \neg - \lor \uparrow$	45
図 3-29: Resolution Not Supported オーバーレイ	45
$\boxtimes$ 3-30 : No Source Signal $\pi - \pi - \nu - \nu - 1$	46
$\boxtimes$ 3-31 : Source Signal on Other Port $\cancel{1}$ - $\cancel{1}$ - $\cancel{1}$	46
$\boxtimes$ 3-32 : OSD Options $\neq = = =$	47
図 4-1: AWI Home ベーシ上のプロセッサ情報	49
図 4-2: AWI Version ページ上のプロセッサファミリ情報	50
図 4-3: OSD Version ページ上のプロセッサファミリ情報	51
図 4-4: TERA1100 セロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続	52
図 4-5: TERA2321 セロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続	58
図 4-6: IERA2140 セロクライアントと IERA1202 ホストカードの接続	64
図 4-/: IEKA1100 セロクフイブントと IEKA2220 ホストカードの接続	70
図 4-8: IEKA2321 セロクフイノントと IEKA2220 ホストカードの 伝統	/6
図 4-9: IEKA2140 セロクフイノントと IEKA2220 ホストカードの 接続	82
図 4-10: IEKA1100 セロクフィノントと IEKA2240 ホストカードの接続	88
図 4-11: IEKA2321 ゼロクフイノントと IEKA2240 ホストカードの接続	94
図 4-12: IEKA2140 セロクフイノントと IEKA2240 ホストカードの接続	100
図 4-13: TEKAI100 セロクフィノントと VMware View 仮想アスクトツノの接続	106

図 4-14: TERA2321 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続	111
図 4-15: TERA2140 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続	117
図 5-1 : AWI ホスト Initial Setup ページ	123
図 5-2: AWI クライアント Initial Setup ページ	125
図 5-3: MC ネットワーク設定	127
図 5-4 : AWI Network ページ	129
図 5-5 : OSD Network ページ	132
図 5-6: AWI Label ページ	135
図 5-7: OSD Label ページ	136
図 5-8: MC ディスカバリ設定	138
図 5-9 : AWI Discovery ページ	139
⊠ 5-10 : OSD Discovery $^{\sim}$ - $^{\vee}$	141
図 5-11 : AWI SNMP ページ	142
図 5-12: MC セッション接続タイプ – Direct to Host	145
図 5-13: MC セッション接続タイプ – Direct to Host + SLP ホストディスカバリ	148
図 5-14: MC セッション接続タイプ – View Connection Server	150
図 5-15: MC セッション接続タイプ – View Connection Server + 自動ログオン	155
図 5-16: MC セッション接続タイプ – View Connection Server + キオスク	159
図 5-17: MC セッション接続タイプ – View Connection Server + Imprivata OneSign	163
図 5-18: MC セッション接続タイプ – Connection Management Interface	167
図 5-19: AWI セッション接続タイプ – Direct from Client	169
図 5-20: AWI セッション接続タイプ – Direct to Host	171
図 5-21: AWI セッション接続タイプ – Direct to Host + SLP ホストディスカバリ	175
図 5-22: AWI セッション接続タイプ – View Connection Server	179
図 5-23: Self Help Link オブションの有効化	184
図 5-24: AWI セッション接続ダイフ – View Connection Server + 自動ロクオン	185
図 5-25: Self Help Link オフションの有効化	190
図 5-26: AWI セッション接続タイノー View Connection Server + キオスク	192
図 5-2/: AWI セッション接続タイノー View Connection Server + Imprivate OneSign	197
図 5-28: AWI セッション伝統タイノーConnection Management Interface (小人下)	202
図 5-29: AWI セッション伝統ダイノーConnection Management Interface (クライノント)	.205
図 5-30: OSD セッション 伝統タイノー Direct to Host	200
図 5-31: Advanced Settings	209
図 5-32: OSD ビッジョン接続クイノーDirect to Host + SLP ホストノイスカバリ	211
図 5-35. Advanced Settings	214
図 5-54: OSD ビッジョン接続クイノー View Connection Server	214
図 5-55: Advanced Settings	210
図 5-30: OSD ビッジョン接続クイノー View Connection Server + 日動ロクオン	210
図 5-37: Advanced Settings	219
図 5-38 : OSD とクション接続アイノー View Connection Server + イオパク	222
図 5-39. Advanced Settings	225
図 5-40: OSD L グラヨク 接触 アイ グー View Connection Server + Imprivata OneSign	220
図 5-41: Advanced Settings	230
$\boxtimes$ 5-43 · Advanced Settings	220
図 5-44 · MC 暗号化設定	250
図 5-45 · MC 帯域幅設定	255
図 5-46: AWI Bandwidth ページ	237
図 5-47: MC 言語設定	239

TERADICI

図 5-48	: AWI クライアント Language ページ	240
図 5-49	: OSD Language ページ	241
図 5-50	: MC OSD 設定	242
図 5-51	: AWI On Screen Display ページ	243
図 5-52	: OSD OSD ページ	244
図 5-53	: MCイメージ設定	245
図 5-54	: AWI ホスト Image ページ	247
図 5-55	: AWI ホスト Image ページ – Use Client Image Settings が無効になっている場合	247
図 5-56	: AWI クライアント Image ページ	250
図 5-57	: OSD Image ページ	252
図 5-58	: MC Monitor Emulation ページ	253
図 5-59	: AWI Tera1 ホスト Monitor Emulation ページ	255
図 5-60	: AWI Tera2 ホスト Monitor Emulation ページ	256
図 5-61	: MC 時間設定	257
図 5-62	: AWI Time ページ	259
図 5-63	: MC セキュリティ設定	260
図 5-64	: MC オーディオ承認	262
図 5-65	: AWI Tera1 ホスト Audio ページ	263
図 5-66	: AWI クライアント Audio ページ	264
図 5-67	: MC 電源承認	265
図 5-68	: AWI Tera1 クライアント Power ページ	266
図 5-69	: MC ホストドライバ設定	268
図 5-70	: AWI Host Driver Function ページ	269
図 5-71	: MC イベントログ管理	270
図 5-72	: AWI Event Log $\sim - \tilde{\mathcal{Y}}$	272
図 5-73	: OSD Event Log $\sim - \tilde{\mathcal{Y}}$	274
図 5-74	: MC 周辺機器設定	275
図 5-75	: MC IPv6 設定	276
図 5-76	: AWI IPv6 ページ	
図 5-77	: OSD IPv6 ページ	
図 5-78	: MC ディスプレイトポロジ設定	282
図 5-79	: OSD Tera1 Display Topology ページ	
図 5-80	: OSD Tera2 Display Topology ページ	
図 5-81	: MC Profile OSD Logo 設定	
図 5-82	: MC Add OSD Logo 設定	291
図 5-83	: AWI クライアント OSD Logo Upload ページ	291
図 5-84	: MC Profile Firmware 設定	292
図 5-85	: MC Link to Imported Firmware	292
図 5-86	: MC Link to Imported Firmware - 設定後	
図 5-87	: AWI Firmware Unload ページ	
図 5-88	: MC プロファイルゼロクライアント USB 設定	295
図 5-89	: USB 許可 – Add New	297
図 5-90	: USB 非許可 – Add New	
図 5-91	: USBブリッジ – Add New	
⊠ 5-92	: AWI クライアント USB ページ	
図 5-93	: デバイスクラスパラメータ	301
⊠ 5-94	: デバイス ID パラメータ	301
図 5-95	: USB ブリッジパラメータ	302
⊠ 5-96	: AWI ホスト USB ページ	

図 5-97:デバイスクラスパラメータ	
図 5-98:デバイス ID パラメータ	
図 5-99: MC 証明書ストア設定	
I 5-100 : MC Add Certificate to Store	
I 5-101 : MC Certificate Store	
図 5-102 : AWI Certificate Upload ページ	
図 5-103 : OSD Tera1Display ページ	
図 5-104 : OSD Tera2 Display ページ	
図 5-105:AWI Password ページ	
図 5-106 : OSD Change Password ページ	
図 5-107 : AWI ホスト Reset ページ	
図 5-108: AWI クライアント Reset ページ	
図 5-109 : OSD Reset ページ	
図 5-110:AWI ホスト Session Control ページ	
図 5-111: AWI クライアント Session Control ページ	
図 5-112: AWI ホスト Session Statistics ページ	
図 5-113: AWI クライアント Session Statistics ページ	
図 5-114 : OSD Session Statistics ページ	
図 5-115: AWI Host CPU ページ	
図 5-116 : AWI クライアント Audio ページ	
図 5-117 : AWI クライアント Display ページ	
図 5-118 : AWI PCoIP Processor ページ	
図 5-119 : OSD PCoIP Processor ページ	
図 5-120 : OSD Ping ページ	
図 5-121 : AWI Version ページ	
図 5-122 : OSD Version ページ	
図 5-123 : AWI ホスト Attached Devices ページ	
図 5-124 : AWI クライアント Attached Devices ページ	
図 5-125 : OSD VMware View ページ	
図 5-126:OSD Mouse ページ	
図 5-127 : OSD Keyboard ページ	
図 5-128 : OSD Touch Screen ページ	
図 6-1:2560x1600 解像度用の DVI コネクタと DisplayPort コネクタ	



# 表一覧

表 3-1: AWI Home ページの統計情報	32
表 4-1: PCoIP ホストカードとゼロクライアントに対してサポートされている解像度	48
表 5-1:オーディオパラメータ	123
表 5-2:ネットワークパラメータ	124
表 5-3:セッションパラメータ	124
表 5-4:オーディオパラメータ	125
表 5-5:ネットワークパラメータ	125
表 5-6:セッションパラメータ	126
表 5-7: MC ネットワーク設定パラメータ	127
表 5-8: AWI Network ページパラメータ	130
表 5-9: OSD Network ページパラメータ	133
表 5-10: AWI Label ページパラメータ	135
表 5-11: OSD Label ページパラメータ	136
表 5-12: MC ディスカバリ設定パラメータ	138
表 5-13: AWI Discovery ページパラメータ	139
表 5-14: OSD Discovery ページパラメータ	141
表 5-15: AWI SNMP ページパラメータ	142
表 5-16:直接セッション接続	143
表 5-17:直接セッション接続	143
表 5-18:直接セッション接続	144
表 5-19: MC セッション設定パラメータ	145
表 5-20: MC セッション設定パラメータ	148
表 5-21: MC セッション設定パラメータ	150
表 5-22: MC セッション設定パラメータ	155
表 5-23: MC セッション設定パラメータ	159
表 5-24: MC セッション設定パラメータ	163
表 5-25: MC セッション設定パラメータ	167
表 5-26: AWI Session ページパラメータ	169
表 5-27: AWI Session ページパラメータ	171
表 5-28: AWI Session ページパラメータ	175
表 5-29: AWI Session ページパラメータ	179
表 5-30: AWI Session ページパラメータ	186
表 5-31: AWI Session ページパラメータ	192
表 5-32: AWI Session ページパラメータ	197
表 5-33: AWI Session ページパラメータ	202
表 5-34: AWI Session ページパラメータ	205
表 5-35: OSD Session ページパラメータ	209
表 5-36: OSD Session ページパラメータ	212
表 5-37: OSD Session ページパラメータ	215
表 5-38: OSD Session ページパラメータ	219
表 5-39: OSD Session ページパラメータ	223
表 5-40: OSD Session ページパラメータ	227
表 5-41: AWI Session ページパラメータ	231
表 5-42: MC 暗号化設定パラメータ	233
表 5-43: MC 帯域幅設定パラメータ	235

表 5-44	: AWI 帯域幅パラメータ	237
表 5-45	: MC 言語設定パラメータ	239
表 5-46	: AWI クライアント言語パラメータ	
表 5-47	: OSD 言語パラメータ	241
表 5-48	: MC 言語設定パラメータ	242
表 5-49	: AWI OSD パラメータ	243
表 5-50	: OSD OSD パラメータ	
表 5-51	: MCイメージ設定パラメータ	
表 5-52	:AWI ホスト Image ページパラメータ	247
表 5-53	: AWI クライアント Image ページパラメータ	
表 5-54	:OSD Image ページパラメータ	252
表 5-55	: MC モニタパラメータ	
表 5-56	: AWI Teral ホストモニタパラメータ	255
表 5-57	: AWI Tera2 ホストモニタパラメータ	
表 5-58	: MC 時間設定パラメータ	
表 5-59	:AWI Time ページパラメータ	259
表 5-60	: MC セキュリティ設定パラメータ	
表 5-61	: MC オーディオ承認パラメータ	
表 5-62	: AWI Tera1 ホスト Audio ページパラメータ	
表 5-63	: AWI クライアント Audio ページパラメータ	
表 5-64	: MC 電源承認パラメータ	
表 5-65	: AWI Teral クライアント Power ページパラメータ	
表 5-66	: MC ホストドライバ設定パラメータ	
表 5-67	: AWI ホストドライバ機能パラメータ	
表 5-68	: MC イベントログ管理パラメータ	
表 5-69	: AWI Event Log ページパラメータ	
表 5-70	: OSD Event Log ページパラメータ	
表 5-71	: MC 周辺機器設定パラメータ	
表 5-72	: MC IPv6 設定パラメータ	
表 5-73	: AWI IPv6 ページパラメータ	
表 5-74	:OSD IPv6 ページパラメータ	
表 5-75	: MC ディスプレイトポロジ設定パラメータ	
表 5-76	: OSD Tera1 Display Topology ページパラメータ	
表 5-77	: OSD Tera2 Display Topology ページパラメータ	
表 5-78	: MC Add OSD Logo 設定パラメータ	
表 5-79	: AWI クライアント OSD Logo Upload ページパラメータ	
表 5-80	: MC Link to Imported Firmware パラメータ	
表 5-81	: AWI Firmware Upload ページパラメータ	
表 5-82	: MC プロファイルゼロクライアント USB 設定パラメータ	
表 5-83	: Add Profile USB – Add New パラメータ	
表 5-84	: AWI クライアント USB ページパラメータ	
表 5-85	: USB 許可/非許可デバイスパラメータ	
表 5-86	: USB ブリッジデバイスパラメータ	
表 5-87	: AWI ホスト USB ページパラメータ	
表 5-88	: USB 許可/非許可デバイスパラメータ	
表 5-89	: MC 証明書ストア設定パラメータ	
表 5-90	: MC Add Certificate to Store パラメータ	
表 5-91	: AWI Certificate Upload ページパラメータ	
表 5-92	: OSD Tera1 Display ページパラメータ	



表 5-93: OSD Tera2 Display ページパラメータ	313
表 5-94: AWI Password ページパラメータ	315
表 5-95: OSD Change Password ページパラメータ	316
表 5-96: AWI ホスト Reset ページパラメータ	317
表 5-97: AWI クライアント Reset ページパラメータ	317
表 5-98: OSD Reset ページパラメータ	319
表 5-99: AWI ホスト Session Control ページパラメータ	320
表 5-100: AWI クライアント Session Control ページパラメータ	321
表 5-101: AWI ホスト Session Statistics ページパラメータ	322
表 5-102: AWI クライアント Session Statistics ページパラメータ	325
表 5-103: OSD Session Statistics ページパラメータ	328
表 5-104: AWI Host CPU ページパラメータ	329
表 5-105: AWI クライアント Display ページパラメータ	330
表 5-106: AWI PCoIP Processor ページパラメータ	331
表 5-107: Ping ページパラメータ	333
表 5-108: AWI Version ページパラメータ	334
表 5-109: OSD Version ページパラメータ	335
表 5-110: AWI ホスト: Attached Devices ページ情報	337
表 5-111: AWI クライアント: Attached Devices ページ情報	338
表 5-112: OSD VMware View ページパラメータ	339
表 5-113: OSD Mouse ページパラメータ	341
表 5-114: OSD Keyboard ページパラメータ	342
表 5-115: OSD Touch Screen ページパラメータ	343

## 1 ようこそ

#### 1.1 イントロダクション

Teradiciの PCoIP ゼロクライアント/ホスト管理者ウェブヘルプへようこそ。このヘ ルプシステムでは、PCoIP デプロイメント内の<u>ホスト</u>やゼロクライアント にアクセ スして管理できるようにするための PCoIP デバイスファームウエアの設定方法につ いて説明します。このヘルプは以下のメインセクションで構成されています。

- 最新情報:このセクションでは、各ファームウエアリリースの新機能について説 明します。各機能の詳細が記載されたトピックへのリンクが含まれています。
- PCoIP 管理ツール:このセクションでは、以下の PCoIP 管理ツールへのアクセス 方法と使用方法について説明します。
  - 管理コンソール(MC): MCを使用すれば、PCoIPデプロイメント内のデバイスを集中的に制御・管理できます。このヘルプシステムでは、特定のPCoIPグループ(1つ以上のホストまたはクライアントのセット)に割り当てるためのプロファイル(デバイス構成設定の集合)の設定方法について説明します。MCは、中規模から大規模なデプロイメントに最適なツールであり、大抵は、<u>コネクションブローカ</u>と組み合わせて使用されます。詳細については、「MCについて」を参照してください。
  - 管理用ウェブインターフェース(AWI): AWIを使用すれば、インターネットブラウザから特定のクライアントまたはホストにリモートでアクセスして設定を実行することができます。詳細については、「<u>AWIについて</u>」を参照してください。
  - オンスクリーンディスプレイ (OSD) : OSD はクライアントに内蔵されたグ ラフィカルユーザインターフェース (GUI) です。クライアントをリモート ワークステーション内の仮想デスクトップまたはホストに接続するために使 用されます。クライアントの設定にも使用され、MC と AWI で使用可能な設 定パラメータのサブセットが用意されています。詳細については、「OSD に ついて」を参照してください。
- PCoIPデプロイメントシナリオ:このセクションでは、ホストとクライアントを PCoIPネットワークにデプロイするための最も一般的な方法を、図を使って説明 します。シナリオごとの設定手順とともに、詳細を参照可能な「PCoIP GUI リフ ァレンス」内のトピックへのリンクが含まれています。これらのシナリオは新し いデプロイメントの設定に着手する場合にとても参考になります。
- PCoIP GUI リファレンス: このセクションは、MC、AWI、および OSD の各ペ ージに表示される設定パラメータに関する詳細なリファレンスです。このリファ レンスは、MCを使用してデバイスプロファイルを設定する場合や AWI または OSD を使用してデバイスを個別に設定する場合に参考にすることができます。 PCoIP GUI リファレンスは MC の Manage Profiles ページに表示されるカテゴリ



別に編成されていますが、MC内のページとは無関係なAWIメニューとOSDメニューに固有のセクションも含まれています。

• **PCoIP テクノロジリファレンス**: このセクションには、ヘルプシステム内で使用 される一部の用語の定義が含まれています。

## 2 最新情報

#### 2.1 ファームウエア 4.0.2 の最新情報

Teradiciファームウエア 4.0.2 リリースでは次のような機能の追加や強化が行われました。

- Tera2プロセッサファミリのサポート:ファームウエア 4.0.2 は、表示機能、イメージング性能、メモリ、電源管理、およびその他の重要な機能が強化された新しい Tera2プロセッサに対応しています。例えば、TERA2140 ゼロクライアントは、最大4台のディスプレイ(DVI-D または DisplayPort)をサポートし、リモートワークステーション用の最大3億ピクセル/秒(Mpps)と仮想デスクトップ用の最大 50 Mppsの速度でイメージエンコーディングを実行することができます。
   第2世代 PCoIP ゼロクライアントと、新しいプロセッサが搭載されたホストカードの詳細については、<u>http://www.teradici.com</u>にある Teradici ウェブサイトを参照してください。このファームウエアリリースでサポートされているホストカードとゼロクライアントの完全なリストについては、「PCoIP ホストカードとゼロク ライアント」を参照してください。
- プロセッサファミリ情報:デバイス内部のプロセッサファミリやチップセットに 関する情報をさまざまな方法で表示することができるようになりました。詳細に ついては、「プロセッサ情報の表示」を参照してください。
- ディスプレイトポロジ設定の強化:新しい Tera2ディスプレイ機能をサポートするために、管理コンソール(MC)上の Display Topology Configuration ページとオンスクリーンディスプレイ(OSD)上の Display Topology 設定を使用すれば、デュアルディスプレイトポロジとクアッドディスプレイトポロジのレイアウト、位置合わせ、および解像度プロパティを設定することができるようになりました。
- 優先解像度オーバーライドの強化:このリリースでは、デフォルトの拡張ディス プレイ識別データ(EDID)情報をホストワークステーション内のグラフィック スプロセッシングユニット(GPU)にアドバタイズするようにゼロクラインを設 定するときの、デフォルト解像度の拡張リストが追加されています。Tera2クラ イアントでは、最大4台のディスプレイの優先(デフォルト)解像度を設定する ことができます。詳細については、「OSD Tera2:ディスプレイ設定」を参照し てください。
- テストディスプレイ解像度の拡張リスト:管理用ウェブインターフェース (AWI)の Displayページに、ゼロクライアント上でテストパターンを確認する 場合のディスプレイ解像度の拡張リストが表示されるようになりました。テスト パターンの設定方法については、「AWIクライアント:ディスプレイ設定」を



参照してください。

- 新しい Tera2 切断オプション: ユーザがリモートワークステーションとのセッション中に、Tera2 ゼロクライアント上の接続/切断ボタンを押すと、新しいダイアログがポップアップ表示され、セッションを切断するか、リモートワークステーションの電源をオフにするかを選択することができます。このポップアップダイアログは、Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケンスを使用して表示することもできます。この新機能の詳細については、「セッションの切断」を参照してください。
- OSD メッセージングの拡張: OSD 上のメッセージングが拡張され、新しいオーバーレイウィンドウと新しいインラインメッセージが OSD の Connect ページに表示されるようになりました。例えば、ユーザがユーザ名またはパスワードを間違えて入力した場合や Caps Lock キーがオンになっている場合は、このページのConnect ボタンの上にユーザに対する警告メッセージが表示されます。ネットワーク接続の消失/ダウン/アップメッセージもこの場所に表示され、右下のネットワークアイコンの表示が変化します。詳細については、「セッションへの接続」と「オーバーレイウィンドウ」を参照してください。
- 管理コンソールのキャッシュ対象 VCS アドレスの拡張:管理コンソールの Session Configuration – View Connection Server ページで、キャッシュ対象 View Connection Server アドレスを 25 個まで設定できるようになりました。これらのサ ーバは、ユーザが VMware View Connection Server を使用して仮想デスクトップ に接続しているときに OSD Connect ページのドロップダウンリストに表示され ます。詳細については、「MC: View Connection Server セッション設定」を参照 してください。
- Imprivata OneSign 設定の強化: View Connection Server Imprivata OneSign ペ ージの新しいパラメータを使用すれば、OneSign サーバのデスクトップ名を設定 することができます。デスクトッププールリストにこの名前を持つプールが含ま れているときに、ゼロクライアントがこのデスクトップとのセッションを開始し ます。MC: View Connection Server + Imprivata OneSign ページでこのオプション を使用してプロファイルを設定することも、AWI Client: view Connection Server + Imprivata OneSign ページまたは OSD: View Connection Server + Imprivata Onesign ページで特定のゼロクライアントを設定することもできます。
- 管理者用オンラインヘルプ:このリリースでは、PCoIP ゼロクライアント/ホストカード管理者マニュアルがオンラインヘルプとして配布されており、この中にPCoIP 管理者ツール(MC、AWI、および OSD)を使用したデバイスファームウエアの設定方法を含む完全な GUI リファレンスが掲載されています。また、一般的な PCoIP デバイスデプロイメントシナリオに関するトピックも掲載されており、図、説明、およびそれぞれの設定詳細へのリンクが提供されます。

## **3 PCoIP** 管理ツール

#### 3.1 MC について

PCoIP 管理コンソール (MC) を使用すれば、PCoIP デプロイメント内のデバイスを 集中的に管理することができます。このコンソールは VMware Player 上で動作する VMware®仮想マシン (VM) としてパッケージ化されています。この MC は、デバ イスのステータス情報を確認したり、グループやプロファイルを作成したり、グル ープ (同じ設定が必要な1つ以上のデバイス)に適用可能なプロファイル(構成設 定の集合)を設定したり、証明書やファームウエアをデバイスにアップロードした り、デバイスの電源設定を制御したり、デバイスイベントログの監視を管理したり するために使用することができます。

このヘルプシステム内の MC トピックでは、MC を使用したデバイスプロファイル の設定方法について説明します。MC のインストール、セットアップ、および使用 方法については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照 してください。

MC ウェブインターフェースの IP アドレスを Internet Explorer または Mozilla Firefox ブラウザに入力すると、ブラウザから HTTPS(SSL ソケット経由の HTTP)を使用 して MC ウェブインターフェースに接続されます。MC ウェブインターフェースの IP アドレスはインストール後の MC 仮想マシンコンソールから(静的にまたは DHCP 経由で)設定します。MC へのアクセスは管理パスワードを使用して制御さ れます。このパスワードもインストール後の MC 仮想マシンコンソールから設定し ます。これらのセットアップ手順の詳細は、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)に記載されています。

MC の HTTPS 接続は、PCoIP MC ルート認証局(CA)証明書を使用して保護されま す。この証明書のインストール方法については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。

このリリースを使用してテスト済みのブラウザは次のとおりです。

- Firefox バージョン3以降
- Internet Explorer 7.0 および 8.0

上記以外のブラウザを使用して MC ウェブインターフェースにログインしようとすると、エラーメッセージとともにサポートされているブラウザのリストが表示されます。



#### 3.2 MC へのログイン

管理コンソールウェブインターフェースにログインするには:

- インターネットブラウザに MC ウェブページの IP アドレスを入力します。この IP アドレスは、MC の設定方法に応じて、静的アドレスにも動的アドレスにもす ることができます。
  - 静的 IP アドレス: IP アドレスがハードコードされるため、覚えておく必要があります。
  - 動的 IP アドレス: IP アドレスが動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバ によって動的に割り当てられます。IP アドレスは DHCP サーバから入手する ことができます。
- ログインページで、管理パスワードを入力します。デフォルト値は空白(つまり、"")です。

TERADICI		■PCoIP®Management Console
	Enter password to login. Password: Login	
Teradici and PCaP are registered trademarks of Teradici Corporation.		PC+P IIC 1.8.0   Locates Agreement   Saboard   Texatorization

図 3-1: MC ログインページ

3. MC に初めてログインした場合は、使用許諾契約書の受け入れを要求するプロン プトが表示されます。契約書の内容を読んでから、このページの Agree をクリ ックします。これ以降のログインではこのプロンプトが表示されません。

MCにログインすると、<u>Home</u>ページが表示されます。

#### 3.3 MC Home ページ

MC Home ページには、全 MC 機能へのリンクの他に、MC で検出された PCoIP デバ イスに関する概要情報を含む Site Status セクションも表示されます。



図 3-2: MC Home ページ

デバイスファームウエアは、MC上でプロファイルを定義してからそれをデバイス のグループに適用することによって設定されます。Profiles タブをクリックすると、 システム内のプロファイルを管理するための Profile Management ページが表示され ます。

#### 3.4 MC Profile Management ページ

**Profile Management** ページでは、プロファイルを表示、追加、複製、設定(つまり、 そのプロパティの設定)、編集、削除、およびエクスポートすることができます。



ME DEVICES	GROUPS PROFILES	POWER UPDA	TE SETTINGS	LOGS	LOG	out	HELP
file Manager	ment						
nic manager	Oine	dicates that the profile include	s a property that require	s a device restart fr	or the new	vsetina	to take e
Name	Description	Last Updated					
Example Profile		2012-08-16 16:57:12 PDT	Duplicate Profile	Set Properties	Edit	Delete	Expo
Test	Test profile.	2012-08-16 17:31:46 PDT	Duplicate Profile	Set Properties	Edit	Delete	Expo
Meeting Room Profile	Profile for all meeting rooms.	2012-08-16 17:30:29 PDT	Duplicate Profile	Set Properties	Edit	Delete	Exp
Default	Default user profile.	2012-08-16 17:29:56 PDT	Duplicate Profile	Set Properties	Edit	Delete	Exp
					Add N	ew 1	mport
						_	-

図 3-3: MC Profile Management ページ

プロファイルを作成したら、**Set Properties** リンクをクリックして <u>Manage Profiles</u> ページを表示し、プロファイルのデバイス設定の定義を開始することができます。

## 3.5 MC Manage Profiles ページ

下の図は、特定のプロファイルの Manage Profiles ページを示しています。このページには、デバイスファームウエアの設定に使用されるすべてのカテゴリのリストが表示されます。

TERA	DICI	PCol	P®Mana	gement Consol
HOME DEVIC	CES GROUPS PROFILES POWER UPDATE	SETTINGS	LOGS	LOGOUT HELP 🕥
Manage Pro	files			Back to Profile List
Set Propertie	s - Example Profile			
	Return to Previous Page Description Last Updated 2012-08-16 16:57:12 PDT			
	Expand Categories With Set Values Collapse All O indicates that the pr	roperty requires a de	rvice restart afte	r being changed
	+ Network Configuration			
	+ Discovery Configuration			
	+ Session Configuration			
	+ Encryption Configuration			
	+ Bandwidth Configuration			
	+ Language Configuration			
	+ OSD Configuration			
	+ Image Configuration			
	+ Monitor Emulation Configuration			
	+ Time Configuration			
	+ Security Configuration			
	+ Audio Permissions			
	+ Power Permissions			
	+ Host Driver Configuration			
	+ Event Log Control			
	+ Peripheral Configuration			
	+ IPv6 Configuration			
	+ Display Topology Configuration			
	+ Profile OSD Logo			
	+ Profile Firmware			
	Profile Zero Client USB Authorization			
	+ Profile Zero Client USB Unauthorization			
	+ Profile Zero Client USB Bridged			
	+ Certificate Store			
Teradici and PCoIP are registr © Copyright 2012 Teradici Co	ered trademarks of Teradici Corporation. reporation.			

図 3-4:MC Manage Profiles ページ

カテゴリを設定するには、下の例で示すように、それを展開して、**Edit Properties** リンクをクリックします。

E	Expand Categories With Set Values Collapse All O indicates that the property requires a device restart after being changed							anged
	Network Configuration							
Ĩ	Family	Property N	ame		Value		Description	
	Edit Properties							

図 3-5: Edit Properties リンク



このリンクは、そのカテゴリの Set Properties ページを表示します。このページでカ テゴリの個々のパラメータを設定することができます。下の例は、Network Configuration カテゴリのパラメータを示しています。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
	ALL	Enable DHCP D	C True & False	When this property is true, the Host or Zero Client will contact a DHC server to be analyzed an IP address, subnet mask, gateway (P address and DKS servers. These parameters must to be set manual when this property is false.
г	ALL	Maximum NTU Size	bytes (600-1500)	This property allows for configuration of the Matomum Transmission Unit (MTU) packed also: A smaller MTU may be required in situations such as VPM to noneing because PCoP packeds cannot be fragmenter this property should be set to a value smaller than the network spectrum U1 for the end-to-and connection between the Host and Zaro Claint U1 for the end-to-and connection between the Host and Zaro Claint
г	ALL	Enable SNMP	C True C False	The device's SNMP support is enabled when this value is true. When false the flevice will not respond to SNMP queries or generate traps.
г	ALL	SNMP NMS Address		Host and Zero Client devices can send SNUP trape to an SNUP Network Management System (NMS). This property configures the IF address or Fully Qualified Domain Name (FQDN) of the SNMP NMS
г	ALL	Enable SNMP Cold Start Trap	@ True @ False	When this property is true the Host or Zero Client sends SNMP cold start traps to the SNMP NMS after the device is powered on or reset
г	ALL	Enable SNMP V1 Traps	C True C False	Enable generation of SNMP v1 traps when true
Г	ALL	Enable SNMP V2c Traps	C True C False	Enable generation of Sh&#v2o traps when true</td></tr><tr><td>г</td><td>ALL</td><td>Enable Static IP Failback D</td><td>C True C False</td><td>When this property is true the device will use the failback IP address netwask and pateway when DHCP lease acquisition fails after timeo seconds of trying.</td></tr><tr><td>г</td><td>ALL</td><td>Static Fallback IP Address ©</td><td>0.0.0</td><td>The IP address to use when Static IP Paliback is enabled and DHCP issue acquisition fails.</td></tr><tr><td>г</td><td>ALL</td><td>Static Fallback Subnet Mask O</td><td>0.0.0</td><td>The subnet mask to use when Static IP Palback is enabled and DHC lease acquisition fails.</td></tr><tr><td></td><td></td><td>Biells Pathweit Balance Address</td><td></td><td>The Astronaut address to use other State ID Calibary is evolved and</td></tr></tbody></table>

図 3-6: ネットワーク設定用の Set Properties ページ

注意:カテゴリごとのパラメータテーブルには各パラメータの説明が記載された **Description** 列があります。これらのパラメータについては GUI リファレンスの MC セクションにも説明があります。

必要なプロパティの設定が完了すると、Manage Profiles ページでカテゴリが拡張され、それらの設定が表示されます。展開/折りたたみリンクを使用してこの情報の表示を制御することができます。

いくつかのカテゴリが設定されたプロファイルの例を以下に示します。

anage Profiles	s					Back to P
Set Properties . E	vample	Profile				
Secriopenes - E	vanipie					
D	escription	evious mage				
L	ast Updat	ed 2012	2-08-22 10:47:40 PDT			
E	(pand Cat	egories With Set Va	ilues Collapse All © indic	cates that	the property requires	s a device restart after being changed
	Networ	k Configuration				
-	Family	Property Name	Value	De	scription in this property is true, the	Host or Zero Client will contact a DHCP
	ALL	Enable DHCP C	False	DN	er to be assigned an IP ad servers. These parameter	dress, subnet mask, gateway IP address and ins must to be set manually when this property
-	F-12 P-1-1			is fa	vise.	
	Discov	erv Configuration				
-	Security	Configuration				
-	Sessio	ion Configuration				
	Encrypt	uon configuration				
-	Bandwi	dth Configuration				
	Langua	ge Configuration				
-	Family	Property Name	Value	De	scription	annuane of the OSD. The date down many lists
	ALL	Language O	English	the	supported languages.	ngunge er um outer mit unter anter
	Edit Properties					
1	OSD Configuration					
-	Family	Prop	erty Name		Value	Description
	Image (	Configuration				
	Monitor	Emulation Configu	ration			
	Time C	atiouration				
-	Earnity	Property Name	Value		Description	
	rainiiy	Property Name	value		This property identifies the	e Network Time Protocol (NTP) server the
	ALL	NTP Server Hostname	10.64.224.50		Host or Zero Client will co property can be entered a Domain Name.	ntact to determine the current time. This is either an IP address or a Fully Qualified
	ALL	Enable DST	True		When this property is true time based on daylight sa	the Host or Zero Client adjusts the current vings.
	ALL	Time Zone Offset	gmt_minus_0800_pacific	_time	This property configures t	he time zone.
	Edit Prop	erties				
3	Securit	y Configuration				
	Audio P	ermissions				
	Power	Permissions				
-	Host Dr	iver Configuration				
1.1	Event L	og Control				
	Family	Property Name	Value	De	scription	
	ALL	Syslog Server Hostname	10.64.16.104	This eve add	property identifies the Synt log messages to. This press or a Fully Qualified Dr	slog server the Host or Zero Client will send roperty can be entered as either an IP omain Name.
	Edit Prop	erties				
	Periphe	eral Configuration				
	IPv6 Co	nfiguration				

図 3-7: MC Manage Profiles ページ – 設定後

このヘルプシステムの GUI リファレンスに各カテゴリの詳細が記載されています。 これらの MCページを使用してデバイスを設定または管理する方法については、 GUI リファレンスの該当するセクションを参照してください。



プロファイルの適用方法については、『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002) を参照してください。

#### 3.6 AWI について

PCoIP 管理用ウェブインターフェース(AWI)を使用すれば、PCoIP ホストまたは クライアントとリモートでデータをやり取りすることができます。AWI では、ホス トまたはクライアントを管理および設定したり、それらに関する重要な情報を表示 したり、それらにファームウエアや証明書をアップロードしたりすることもできま す。

デバイスの IP アドレスを Internet Explorer または Mozilla Firefox ブラウザに入力する と、ブラウザから HTTPS (SSL ソケット経由の HTTP) を使用してデバイスの AWI ウェブページに接続されます。AWI へのアクセスは、管理パスワードを使用して制 御されます。このパスワードはいつでも無効にすることができます。

AWIのHTTPS 接続は、PCoIP MCルート認証局(CA)証明書を使用して保護され ます。AWI にログインしたときの警告メッセージを避けるために、この証明書はブ ラウザでインストールすることをお勧めします。証明書ファイル("cacert.pem")は ファームウエアリリースに含まれていますが、Teradici サポートサイトから直接ダ ウンロードすることもできます。証明書のインストール手順については、Teradici サポートサイトで知識ベースサポートトピック 15134-529 を参照してください。

このリリースを使用してテスト済みのブラウザは次のとおりです。

- Firefox バージョン 3 以降
- Internet Explorer 7.0 および 8.0

#### 3.7 AWI へのログイン

ホストまたはクライアントの管理用ウェブインターフェースウェブページにログインするには:

- 1. インターネットブラウザで、ホストまたはクライアントの IP アドレスを入力し ます。IP アドレスは、IP ネットワーク内の IP アドレスの決定方法に応じて、静 的アドレスにも動的アドレスにもすることができます。
  - 静的 IP アドレス: IP アドレスがハードコードされるため、覚えておく必要があります。
  - 動的 IP アドレス: IP アドレスが動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバ によって動的に割り当てられます。IP アドレスは DHCP サーバから入手する ことができます。
- Log In ページで、管理パスワードを入力します。デフォルト値は空白(つまり、 "")です。

Log In	
Please enter the administrative password to access this device	
Pareword	
Passivola.	
Idle Timeout: Never	Log In

図 3-8 : AWI Log In ページ

- アイドルタイムアウト(デバイスが自動的にログオフされるまでの時間)を変 更するには、Idle Timeout ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- 4. Log In をクリックします。

注意:DHCP使用しているネットワークによっては、PColPデバイス名を使用して AWIにアクセスできる場合があります。

注意:パスワード保護が無効になっている PCoIP デバイスの場合は、ログイン時に パスワードが要求されません。パスワード保護は MC の Manage Profiles ページの<u>セ</u> <u>キュリティ設定</u>を通して有効または無効にすることができます。

ファームウエアデフォルトに設定されている場合は、初めてのログイン時に<u>Initial</u> <u>Setup</u>ページが表示されます。このページではオーディオ、ネットワーク、および セッションの各パラメータを設定することができます。Apply をクリックすると、 以降のセッションごとに<u>Homeページ</u>が表示されます。このページではデバイスス テータスの概要が提供されます。

ログインしようとして警告メッセージが表示された場合は、そのデバイス上で既に セッションが進行中です。一度にデバイスにログインできるのは1人のユーザだけ です。新しいセッションがログインすると、現在のセッションが終了して、1つ前 のユーザが Log In ページに戻ります。

#### 3.8 AWI Initial Setup ページ

AWIの Initial Setup ページには、クライアントまたはホストデバイスを使用する前 に設定しなければならないオーディオ、ネットワーク、およびセッションの設定パ ラメータが表示されます。このページは、初期セットアップを簡略化して、新しい ユーザが PCoIP ゼロクライアントとリモートワークステーション内の PCoIP ホスト カード間でセッションを確立する時間の短縮を支援します。

AWIの<u>クライアント</u>Initial Setup ページと<u>ホスト</u>Initial Setup ページは同じではあ りません。それぞれのページにクライアントとホストに適用されるパラメータが表 示されます。



ファームウエアデフォルトに設定されている場合は、初めてのログイン時に Initial Setup ページが表示されます。Apply をクリックすると、ファームウエアパラメータ がリセットされていなければ、以降のセッションで <u>Home</u>ページが表示されます。

注意:ホストディスカバリまたは接続管理システムを使用しているより複雑な環境では、Initial Setup ページで使用可能なその他の設定が必要になります。

### 3.9 AWI Home ページ

AWI Home ページには、ホストまたはクライアントに関する統計情報の概要が表示 されます。メニューバーの左上のセクションにある Home リンクをクリックすれば、 いつでも Home ページを表示することができます。

Log Out				PCoIP® Host Card
Home		Configurati	ion / Permissions /	Diagnostics / Info / Upload
ċ	) <b>PC</b> @[	₽"	******	
PCoIP® I	Host Card			
PCoIP® devi	ce status and stat	istics for the current ses	ision.	
		Processor: TERA22	240 revision 1.0 (512 MB)	
	PCol	ime Since Boot: 0 Days	3 Hours 4 Minutes 0 Sec	onds
	PCOL	P Device Name, poop-	1050-003004008050	
	Co	nnection State: Conne	cted to TERA2140 client 1	92.168.54.133
	802.1X Authen	tication Status: Disable	ed	
	Session E	ncryption Type: AES-25	16	
PColl	Packets (Sent/R	teceived/Lost): 15696	/ 10944 / 0	
	Bytes (S	ent/Received): 629936	60 / 1452576	
Rou	ind Trip Latency (	Min/Avg/Max): 2 / 4 /	5 ms	
Transmit B	andwidth (Min/A	vg/Max/Limit): 8 / 280	) / 4232 / 8464 kbps	
Rec	eive Bandwidth (	Min/Avg/Max): 0 / 56 /	/ 392 kbps	
Pipeline Pr	ocessing Rate (A	vg/Max/Limit): 3/39	/ 297 Mpps	
	Endpoint Image	Settings In Use: Client		
Initial I	mage Quality (Mi	n/Active/Max): 40 / 90	/ 90	
	Image Qua	lity Preference: 50		
	Bu	ild To Lossless: Enable	d	
	Maximum Rate:			
Display	Refresh Rate	Input Change Rate	<b>Output Process Rate</b>	Image Quality
1	60 fps	7 fps	7 fps	Perceptually Lossless
2	N/A	N/A	N/A	N/A
3	60 fps	U fps	U Ips	LOSSIESS
4	NVA	N/A	N/A	N/A

図 3-9 : AWI ホスト : Home ページ



図 3-10: AWI クライアント: Home ページ

注意:上の図は、4台のディスプレイを接続可能なデバイスに関するセッション統計情報を示しています。デプロイメントで2台のディスプレイしかサポートされていない場合は、その2台のディプレイに関する情報がページの下部領域に表示されます。

表 3-1	:	AWI	Home ページの統計情	裍
-------	---	-----	--------------	---

統計情報	説明
Processor	PCoIP プロセッサのタイプ、バージョン、および RAM サイズ
Time Since Boot	PCoIP プロセッサが動作していた時間長



統計情報	説明
PCoIP Device Name	デバイスの論理名。 このフィールドは、DHCP が有効になっている場合またはシステムが DNS サーバへのホスト名登録をサポートするように設定されている 場合に、ホストまたはクライアントが DNS サーバに登録する名前で す (Label ページの PCoIP Device Name パラメータを参照してくだ さい)。
Connection State	PCoIP セッションの現在(または最後)の状態。値には以下が含まれ ます。 ・ Asleep ・ Canceling ・ Connected ・ Connection Pending ・ Disconnected ・ Waking
802.1X Authentication Status	デバイス上で 802.1X 認証が有効になっているか、無効になっている かを示します。
Session Encryption Type	セッションがアクティブ時に使用される暗号化のタイプ: • AES-128-GCM • SALSA20-256-Round 12
PCoIP Packets Statistics	<ul> <li>PCoIP Packets Sent:現在/最後のセッションで送信された PCoIP パケットの総数。</li> <li>PCoIP Packets Received:現在/最後のセッションで受信された PCoIP パケットの総数。</li> <li>PCoIP Packets Lost:現在/最後のセッションで消失された PCoIP パケットの総数。</li> </ul>
Bytes	Bytes Sent:現在/最後のセッションで送信されたバイトの総数。 Bytes Received:現在/最後のセッションで受信されたバイトの総 数。
Round Trip Latency	PCoIP システムとネットワークの往復遅延の最小値、平均値、および 最大値(ミリ秒(+/-1 ms)単位)
Bandwidth Statistics	Transmit Bandwidth: Tera プロセッサによって送信された最小、平 均、および最大トラフィック。有効帯域幅限界は Tera プロセッサが 生成する可能性のあるネットワークトラフィックの最大量です。この 値は、設定された帯域幅パラメータと現在(または最後)のネットワ ークの混雑レベルから抽出されます。 Receive Bandwidth: Tera プロセッサによって受信された最小、平 均、および最大トラフィック。

統計情報	説明
Pipeline Processing Rate	イメージエンジンによって現在処理されているイメージデータの容量 (メガピクセル数/秒単位)。
Endpoint Image Settings In Use	使用されているイメージ設定がクライアントで設定されたのか、ホストで設定されたのかを示します。これは、ホストデバイスの Image ページで Use Client Image Settings フィールドがどのように設定さ れているかに基づきます。
Image Quality	最低品質設定と最高品質設定はデバイスの Image ページから取得されます。 アクティブ設定は現在セッションで使用されている設定で、ホスト上 にのみ表示されます。
Image Quality Preference	この設定は、Image ページの Image Quality Preference フィールド から取得されます。この値は、イメージがよりスムーズなイメージに 設定されているのか、よりシャープなイメージに設定されているのか を示します。
Build to Lossless	このフィールドに表示されるオプションには以下が含まれます。 Enabled : Image ページの Disable Build to Lossless フィールドが オフになっています。 Disabled : Disable Build to Lossless フィールドがオンになってい ます。
Display	ディスプレイのポート番号。
Maximum Rate	この列は取り付けられたディスプレイのリフレッシュレートを表しま す。 Image ページの Maximum Rate フィールドが 0 (つまり、無制限) に設定されている場合は、最大レートがモニタのリフレッシュレート から取得されます。 Image ページの Maximum Rate フィールドが 0 より大きい値に設定 されている場合は、リフレッシュレートが"User Defined"として表示 されます。
Input Change Rate	GPU からのコンテンツ変更率。これには、ユーザが実行しているす べてのもの(カーソル移動、電子メール編集、ストリーミングビデオ など)が含まれます。 注意:このオプションはホスト上でのみ使用することができます。ク ライアント上には表示されません。
Output Process Rate	ホスト上のイメージエンジンからクライアントに現在送信されている フレームレート。



統計情報	説明
Image Quality	取り付けられたディスプレイの現在のロスレス状態を示します。 • Lossy • Perceptually lossless • Lossless

注意:ホストの <u>Session Statistics</u>ページまたはクライアントの <u>Session Statistics</u>ペー ジで **Reset Statistics** ボタンをクリックすると、**Home**ページに報告される統計情報 もリセットされます。

#### 3.10 AWI メニュー

AWIには、さまざまな設定ページとステータスページにリンクされた5つのメイン メニューがあります。

- Configuration:このメニュー下のページを使用すれば、ネットワーク設定、言語、 セッションパラメータなど、デバイスのさまざまな側面を設定することができま す。
- Permissions:このメニュー下のページを使用すれば、クライアント上のUSB、 オーディオ、および電源に対する承認とホスト上のUSBとオーディオに対する 承認をセットアップすることができます。
- **Diagnostics**:このメニュー下のページを使用すれば、デバイスのトラブルシュー ティングが支援されます。
- Info: このメニュー下のページを使用すれば、ファームウエア情報と現在デバイ スに接続されているデバイスを表示することができます。
- Upload:このメニュー下のページを使用すれば、新しいファームウエアバージョン、OSD ロゴ、および証明書をデバイスにアップロードすることができます。

下の図は、AWIで使用可能なメニューとページを示しています。

注意: クライアントからしか使用できないページには(\*C)が付けられ、ホストからしか使用できないページには(\*H)が付けられています。



図 3-11:AWI メニューの概要

このヘルプシステムのGUIリファレンスに各ページの詳細が記載されています。これらのAWIページを使用してデバイスを設定または管理する方法については、GUIリファレンスの該当するセクションを参照してください。

#### 3.11 OSD について

下の図に示す PCoIP オンスクリーンディスプレイ (OSD) は、クライアントに内蔵 されたグラフィカルユーザインターフェース (GUI) です。この画面はクライアン トの電源がオンになっており、PCoIP セッションが始まっていない場合に表示され ます。この唯一の例外は、クライアントが管理起動または自動再接続に設定されて いる場合です。


Options			
	TERADICI		
	Connect		
	Release Candidate	<b>⊡PC</b> olP <sup>+</sup>	

図 3-12: OSD メインウィンドウ

左上の Options メニューを使用すれば、クライアントを設定したり、それに関する 情報を表示したりするためのさまざまなサブメニューにアクセスすることができま す。ウィンドウの中央にある Connect ボタンを使用すれば、クライアントを仮想デ スクトップまたはリモートワークステーション内のホストカードに接続することが できます。

### 3.12 セッションへの接続

OSD を使用すれば、Connect ウィンドウの中央にある緑色の Connect ボタンをクリ ックすることにより、クライアントとリモートワークステーション内のホストカー ド間(またはクライアントと仮想デスクトップ間)でセッションを構築することが できます。接続が確立されると、OSD のローカル GUI が消去され、セッションイメ ージが表示されます。

下の図は、Direct to Host セッションタイプ、つまり、クライアントがリモートワー クステーション内のホストカードに接続している場合の Connect ウィンドウを示し ています。



図 3-13: OSD Direct to Host 接続ウィンドウ

ネットワーク接続が初期化中に、次のような進捗を示すさまざまなステータスメッ セージがボタンの上に表示されます。

TERADICI	
Contacting 192.168.110.100, please v	vait
Cancel	
Release Candidate	<b>PC</b> olP <sup>۳</sup>

図 3-14:OSD 接続ステータス

起動中に問題が発生した場合、例えば、接続が確立されなかったり、DHCP リース に失敗したりした場合は、問題の特徴を示す別のメッセージがこの領域に表示され ます。

下の図は、View Connection Server 接続用、つまり、クライアントが VMware View Connection Server を使用して仮想デスクトップに接続している場合の Connect ウィンドウを示しています。



vmv 💕	Wa <b>r</b> e View™	-
Enter th Connect	e address of the View ion Server.	
Server:	viewdesktop.teradici.com	•
Release Candidate		ت <b>PC</b> olP <sup>*</sup>

図 3-15: OSD View Connection Server 接続ウィンドウ

注意: Connect ボタンの上に表示されるロゴは、クライアントの AWI から <u>Upload ></u> OSD Logo メニューを使用して交換イメージをアップロードすることにより、変更 することができます。

接続の初期化中は、ユーザに接続の進捗を報告するため、または、ユーザに問題を 警告するためのステータスメッセージが Connect ボタンの上に表示される場合もあ ります。

View Connection Server に接続すると、次のような仮想デスクトップのログインページが表示されます。

_			
bttps://viewe	desktop.teradici.co	om	
Enter your u	Enter your user name and password.		
User name:			
Password:			
Domain:	TERADICI	•	
Domain.			

図 3-16:仮想デスクトップのログインページ

ユーザ名とパスワードが間違って入力された場合、または、Caps Lock キーがオン になっている場合は、これらの問題を示すメッセージがこのページに表示されます。 VMware View Connection Server 用の正しい信頼できる SSL ルート証明書がクライア ントにインストールされていない場合は、次のような警告が表示されます。



図 3-17: OSD View Connection Server 証明書の警告

この警告でユーザが Continue をクリックすると、セッションが保護されません。このことは、ウィンドウの左上にある錠前上の警告アイコンと同時に、赤色の取り消し線付きの"https"によって示され、セキュアな HTTPS プロトコルが接続に使用されないことがユーザに伝達されます。

https://viewo	lesktop.teradici.co	m
Enter your u	ser name and pas	sword.
User name: Password:		
Domain:	TEAM2800	-
	Login	Cancel

図 3-18:安全でない警告が表示された OSD ログイン画面

管理者であれば、次に示す <u>Options > User Settings > VMware View</u>ページを使用して、検証不可能なサーバへの接続を拒否するようにゼロクライアントを設定することにより、ユーザが安全でないセッションを開始できないようにすることができます。



User Settings				
VMware View Mouse Keyboard Image Display Topology Touch Screen				
www.are View				
Certificate Checking Mode:				
A This mode determines how the client proceeds when it cannot verify that your connection to the server is secure. It is not recommended that you change this setting unless instructed to do so by your system administrator.				
Never connect to untrusted servers				
<ul> <li>Warn before connecting to untrusted servers</li> </ul>				
<ul> <li>Do not verify server identity certificates</li> </ul>				
OK Cancel Apply				

図 3-19 : OSD VMware View ページ

AWIを使用すれば、Session – View Connection Server ページで <u>VCS Certificate Check</u> <u>Mode Lockout</u>を有効にして、ユーザがこの設定を変更できないようにすることがで きます。

### 関連項目:

- MCを使用して証明書をプロファイルにアップロードする方法については、 「MC:証明ストア管理」を参照してください。
- AWIを使用して証明書をデバイスに個別にアップロードする方法については、 「AWI:証明書アップロード設定」を参照してください。
- 起動中またはセッション確立後のユーザセッションの上部に表示されるその他の OSDメッセージの詳細については、「<u>オーバーレイウィンドウ</u>」を参照してく ださい。

### **3.13** セッションの切断

Teral クライアントの場合は、デバイス上の接続/切断ボタンを押すことによって、 セッションを切断して OSD に戻ることができます。 Tera2 クライアントの場合は、デバイスの接続/切断ボタンを押すことによって、仮 想デスクトップセッションを切断して OSD に戻ることができます。ただし、リモー トワークステーション内のホストカードとのセッション中にこのボタンを押すと、 下の図に示すように、Zero Client Control Panel オーバーレイが開いて、セッション を切断する、リモートワークステーションの電源をオフにする、または操作をキャ ンセルするためのオプションが表示されます。



図 3-20 : Zero Client Control Panel

ユーザは次のような方法でこのオーバーレイからオプションを選択できます。

- 接続/切断ボタンをタップしながらオプションを切り替えて必要なオプションが 強調表示されたら、確定するまで4秒のカウントダウンを待ちます。
- キーボードの上/下矢印キーを使用して必要なオプションを強調表示してから、 Enter キーを押します。
- 必要なオプションの番号を入力して直接選択します。

以下のオプションが事前に設定されていれば、セッション中に、Ctrl+Alt+F12ホッ トキーシーケンスを使用してこのオーバーレイを表示することもできます。

- Session View Connection Server ページの詳細オプション内の Enable Session Disconnect Hotkey を有効にする必要があります。
- ホストコンピュータ上の PCoIP ホストソフトウエアで Enable Local Cursor and Keyboard 機能を有効にする必要があります。詳細については、『PCoIP Host Software User Guide』(TER0810001)を参照してください。
- クライアント上で、キーボードがローカルに接続されている(つまり、ブリッジ されていない)ことが認識されている必要があります。

注意:後の2つのオプションは、上/下矢印キーを使用するか、番号を入力すること によってこのオーバーレイ上の切断オプションを選択できるように設定しておく必 要もあります。

2番目のオーバーレイオプション(ワークステーションの電源をオフにする)を使 用できるようにするには、「ハード」電源オフを許可するようにクライアント上の

PCoIP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



電源承認を設定する必要があります。このパラメータは MC <u>Power Permissions</u>ページまたは AWI <u>Power Permissions</u>ページから設定することができます。

# 3.14 オーバーレイウィンドウ

オーバーレイウィンドウは、状態が変化したとき、例えば、ネットワーク接続が失われたり、未承認のUSBデバイスがプラグインされたりした場合に、関連情報を伝達するためにユーザの PCoIP セッションに対して表示される場合があります。このオーバーレイには、下の例に示すように、ネットワーク、USB デバイス、およびモニタのステータスがアイコンとテキストで表示されます。

### 3.14.1 Display Link Training Failed

このオーバーレイは、DisplayPort ディスプレイインターフェース (DVI インターフ ェースの対するもの)を備えた Tera2 クライアント上にのみ表示されます。 DisplayPort プロトコルでは、さまざまなケーブル長や信号品質に適合するためのリ

ンクトレーニングシーケンスが必要です。このトレーニングに失敗した場合は、 「Display link training failed」というメッセージを含む以下のオーバーレイが表示されます。



図 3-21 : Display Link Training Failed オーバーレイ

### **3.14.2** Half Duplex オーバーレイ

PCoIP テクノロジは半二重ネットワーク接続と互換性がありません。半二重接続が 検出された場合は、「Half-duplex network connection」というメッセージを含む以下 のオーバーレイが表示されます。



図 3-22: Half Duplex オーバーレイ

### 3.14.3 Network Connection Lost オーバーレイ

ネットワーク接続の消失は、最新のスクリーンデータ経由の「Network connection lost」というメッセージを含むオーバーレイを使用して示されます。このオーバーレ イは、クライアントネットワークケーブルが外された場合、または、クライアント で PCoIP プロトコルトラフィックが 2 秒以上受信されなかった場合に表示されます。



図 3-23: Network Connection Lost オーバーレイ

このネットワーク接続消失メッセージは、ネットワークが回復するか、タイムアウトが切れる(および PCoIP セッションが終了する)まで表示されます。

注意:仮想デスクトップを備えた PCoIP デバイスを使用している場合は、この通知 メッセージの使用はお勧めできません。仮想デスクトップハイパーバイザ内部の通 常のスケジューリングによってこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。この問題を回避するには、<u>Enable Peer Loss Overlay</u>設定を無効にする必要が あります。

# 3.14.4 No Support Resolutions Found

このオーバーレイは Tera2 クライアント上にのみ表示されます。ディスプレイの解 像度は、4 つすべてのポートに大型のディスプレイが接続されている場合にリソー ス制約の影響を受ける可能性があります。解像度の制限を超えると、「No support resolutions found. Please try unplugging other displays.」というメッセージを含む以下の オーバーレイが表示されます。



図 3-24 : No Support Resolutions Found オーバーレイ

# 3.14.5 Preparing Desktop オーバーレイ

始めて PCoIP セッションにログインしたときに、「Preparing desktop」というメッセ ージを含む以下のオーバーレイが表示されます。



図 3-25: Preparing Desktop オーバーレイ

# 3.14.6 USB Device Not Authorized オーバーレイ

非許可 USB デバイスが接続された場合は、「USB device not authorized」というメッ セージを含む以下のオーバーレイが表示されます。このオーバーレイは約5秒間表 示されます。



• USB device not authorized

図 3-26 : USB Device Not Authorized オーバーレイ

## 3.14.7 USB Over Current Notice オーバーレイ

クライアントに接続された USB デバイスを USB ポートで処理できない場合は、 「USB over current notice」というメッセージを含む以下のオーバーレイが表示され ます。このオーバーレイは、USB デバイスが取り除かれ、現在の USB ポートの処 理が解消されるまで表示されます。



図 3-27 : USB Over Current Notice オーバーレイ

## 3.14.8 USB Device Not Supported Behind a High-speed Hub オーバーレイ

USB デバイスによってはハイスピード(USB 2.0) ハブ経由で接続できないものが あるため、その場合は、ゼロクライアントに直接接続するか、フルスピード(USB 1.1) ハブ経由で接続する必要があります。このようなデバイスがハイスピードハブ 経由でゼロクライアントに接続されている場合は、「USB device not supported behind high speed hub」というメッセージを含む以下のオーバーレイが表示されます。この オーバーレイは約5秒間表示されます。

USB device not supported behind a high-speed hub

```
図 3-28 : USB Device Not Supported Behind a High-speed Hub オーバーレイ
```

# 3.14.9 Resolution Not Supported オーバーレイ

クライアントに接続されたモニタの解像度がホストでサポートできない場合は、モニタがデフォルト解像度に設定され、「Resolution not supported」というメッセージを含む以下のオーバーレイが表示されます。



図 3-29 : Resolution Not Supported オーバーレイ

### **3.14.10** Video Source オーバーレイ

不適切なホストビデオソースの接続は2つのオーバーレイで示される可能性があり ます。これらのオーバーレイは約5分間表示されます。モニタは、オーバーレイが 表示されてから約15秒でスリープモードに入ります。

 ホストにビデオソースが接続れていない場合は、「No source signal」というメッ セージを含む以下のオーバーレイが表示されます。これは、ホストにビデオソー スが接続されていない状況やホスト PC がビデオ信号の駆動を停止していた状況 をデバッグするのに役立ちます。これを修正するには、ホスト PC ビデオをホス トに接続します(このメッセージは、ホストがディスプレイ電源セーブモード に入ったときにもトリガーされる可能性があります)。



図 3-30 : No Source Signal オーバーレイ

 ホストへのビデオソースがクライアント上で使用されているビデオポートに対応 していない場合は、「Source signal on other port」というメッセージを含む以下の オーバーレイが表示されます。これは、ビデオソースが間違ったポートに接続さ れている状況をデバッグするのに役立ちます。これを修正するには、ホストまた はクライアントでビデオポートを交換します。



図 3-31 : Source Signal on Other Port オーバーレイ

### 3.15 OSD メニュー

画面左上の **Options** メニューには、OSD 設定ページ、情報ページ、およびステータ スページにリンクされた 5 つのサブメニューがあります。

- Configuration:このメニューには、デバイスの動作と環境との相互作用を定義可能なページへのリンクが含まれています。各タブには、加えられた設定変更を受け入れたり、キャンセルしたりするためのOK、Cancel、およびApplyの各ボタンがあります。
- Diagnostics:このメニューには、クライアントに関する問題の診断を支援するペ ージへのリンクが含まれています。
- Information:このメニュー下のページには、デバイスに関するハードウエアと ファームウエアのバージョン情報が表示されます。



- User Settings:このメニューには、マウス、キーボード、イメージ、ディスプレイ、およびタッチスクリーンの設定と VMware View 証明書チェックモードを定義するためのページへのリンクが含まれています。
- Password:このメニュー下のページで、デバイスの管理パスワードを更新することができます。

Options	
Configu	uration
Diagno	stics
Informa	ation
User S	ettings
Passw	ord

図 3-32: OSD Options メニュー

注意:単一のメニュー項目、**Options**メニュー全体、またはすべてのメニューを非 表示にすることができます。詳細については、「<u>MC:OSD 設定</u>」を参照してくだ さい。

このヘルプシステムの GUI リファレンスに各ページの詳細が記載されています。これらの OSD ページを使用してデバイスを設定または管理する方法については、GUI リファレンス内の該当するセクションを参照してください。

# 4 PCoIP デプロイメントシナリオ

# 4.1 PCoIP ホストカードとゼロクライアント

下の表は、PCoIP ネットワークにデプロイ可能な PCoIP ホストカードとゼロクライ アントの一覧です。デバイスサポートごとのディスプレイ解像度のセットも含まれ ています。

注意:プロセッサ名は PCoIP デバイス内で使用されているチップセットを表してい ます。例えば、TERA2140 は第2世代 TERA2140 ゼロクライアントで使用されてい るプロセッサであり、TERA2240 は第2世代 TERA2240 PCIe ホストカード(タワー PC またはラックマウントワークステーション用)と TERA2240 PCI Mezzanine ホス トカード (ブレードワークステーション用)で使用されているプロセッサです。 Teradici PCoIP プロセッサの詳細については、<u>http://www.teradici.com</u>にある Teradici ウェブサイトを参照してください。

任意のホストカードと任意のゼロクライアントを組み合わせることができます。ただし、ゼロクライアントをホストカードに接続する場合は、クライアントに接続されたディスプレイの最大サポート解像度が2つのデバイス間の最も一般的な基準に合わせられます。例えば、TERA2140ゼロクライアントをTERA2240ホストカードに接続する場合は、最大4台の1920x1200ディスプレイまたは2台の2560x1600ディスプレイを接続することができます。ただし、TERA2321ゼロクライアントを同じホストカードに接続する場合は、選択肢が最大2台の1920x1200ディスプレイか、1台の2560x1600ディスプレイになります。

プロセッサ名	サポート解像度の最大数	デバイスタイプ	プロセッサファミリ
TERA1100	2 x 1920x1200	ゼロクライアント	Tera1
TERA2321	2 x 1920x1200 1 x 2560x1600*	ゼロクライアント	Tera2
TERA2140	4 x 1920x1200 2 x 2560x1600*	ゼロクライアント	Tera2
TERA1202	2 x 1920x1200	ホストカード	Tera1
TERA2220	2 x 1920x1200 1 x 2560x1600	ホストカード	Tera2
TERA2240	4 x 1920x1200	ホストカード	Tera2

表 4-1: PCoIP ホストカードとゼロクライアントのサポート解像度



プロセッサ名	サポート解像度の最大数	デバイスタイプ	プロセッサファミリ	
	2 x 2560x1600			
*Tera2 ゼロクライアントは、DVI インターフェースまたは DisplayPort インターフェースを使用して接続されたディスプレイ上で 2560x1600 解像度をサポートします。この解像度をサポートするための DVI ポートまたは DisplayPort ポートを使用した Tera2 ゼロクライアントへのケーブルの接続方法については、「DVI インターフェースと DisplayPort インターフェース」を参照してください。				

### 4.1.1 プロセッサ情報の表示

ホストまたはクライアントの<u>AWI</u> Home <u>ページ</u>上の Processor フィールドには、デバイスのプロセッサまたはチップセットの名前が表示されます。

Log Out			PCoIP® Zero Client
Home		Configuratio	on / Permissions / Diagnostics / Info / Upload
ċ	PC@[	₽	****
PCoIP® Ze	ro Client		
PCoIP® device	status and stati	istics for the current ses	sion.
		Processor TEPADI	40 marielon 1.0 (512 MP)
	т	ime Since boot. 0 Days	16 Hours 37 Minutes 53 Seconds
	PColl	P Device Name: pcoip-p	ortal-0030040ddbbc
		martine Chates Course	ted to best 100 100 65 100
	802.1X Authen	tication State: Connec	d
	Session E	ncryption Type: AES-250	6-GCM
PCoIP P	ackets (Sent/R	teceived/Lost): 34716 /	52805 / 0
Round	Trip Latency (	Min/Avg/Max): 2/2/4	4 ms
Transmit Ban	dwidth (Min/A	vg/Max/Limit): 8 / 120	/ 392 / 8000 kbps
Receiv	ve Bandwidth (	Min/Avg/Max): 0 / 256	/ 5600 kbps
Dis alles Pro-			2021
Pipeline Proc	essing Rate (A)	vg/Max/Limit): 1 / 37 / Settings In Use: Client	297 Mpps
Ini	tial Image Qua	lity (Min/Max): 40 / 90	
	Image Qua	lity Preference: 50	
	Bu	ild To Lossless: Enabled	1
Display	laximum Rate:	Output Desease Date	Image Couling
1 6	0 fos	11 fos	Lossy
2 6	0 fps	0 fps	Lossless
3 N	1/A	N/A	N/A

図 4-1: AWI Home ページ上のプロセッサ情報

プロセッサファミリ名はホストまたはクライアントの<u>AWI Versionページ</u>に表示されます。



図 4-2: AWI Version ページ上のプロセッサファミリ情報

デバイスの OSD Version ページにゼロクライアントのプロセッサファミリ名を表示 することもできます。



nformation		×
Version		
View the hardware and firmware version information		
MAC Address: Unique Identifier: Serial Number: Firmware Part Number: Hardware Version:	00-80-64-A3-12-6B A3126B 5WRDL100001 FW023004 770591-02L	
Firmware Version: Firmware Build ID: Firmware Build Date:	4.0.2 rc_tera_r4_0_2@13079 Aug 22 2012 11:37:15	
PCoIP Processor Family: PCoIP Processor Revision.	Tera2	
Bootloader Version: Bootloader Build ID: Bootloader Build Date:	1.0.0 rc_tera_r4_0@13010 Aug 3 2012 19:37:38	
		Close

図 4-3: OSD Version ページ上のプロセッサファミリ情報

# **4.2 TERA1100** ゼロクライアントと **TERA1202** ホストカードの接続

このトピックでは、第1世代 TERA1100 ゼロクライアントと第1世代 TERA1202 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-4: TERA1100 ゼロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.3 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があります。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.3.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを、直接セッション接続タイプを使用するよう に設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

#### 4.3.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.3.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.3.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

## **4.3.5 VMware View Connection Server** ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.3.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWI ホスト:初期セットアップ AWI クライアント:初期セット アップ	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	<u>OSD:ネットワーク設定</u>
MC を使用したデバイスネーミ	<u>AWI:ラベル設定</u>	<u>OSD: ラベル設定</u>

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。		
<u>MC : ディスカバリ設定</u>	<u>AWI : ディスカバリ設定</u>	<u>OSD:ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP設定</u>	<u>AWI:SNMP設定</u>	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLPホ</u> <u>ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:带域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
MC : イメージ設定	<mark>AWI</mark> ホスト : イメージ設定 <u>AWI クライアント : イメージ設</u> 定	<u>OSD : イメージ設定</u>
MC:モニタエミュレーション	<u>AWI</u> Tera1 <u>ホスト:モニタエミ</u> <u>ュレーション</u>	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	
MC:オーディオ承認	AWI ホスト:オーディオ承認 AWI クライアント:オーディオ 承認	



<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント:電源承認</u>	
<u>MC:ホストドライバ機能</u>	AWI ホスト : ホストドライバ機 能	
<u>MC:イベントログ設定</u>	AWI:イベントログ設定	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	AWI:IPv6 設定	<u>OSD:IPv6 設定</u>
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera1 <u>: ディスプレイトポ ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ</u> <u>設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	<u>AWI ホスト: USB 承認</u> AWI クライアント: USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC:VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	AWI: VMware View 証明書チ エック設定	<u>OSD: VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>

# **4.4 TERA2321** ゼロクライアントと **TERA1202** ホストカードの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2321 ゼロクライアントと第1世代 TERA1202 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-5: TERA2321 ゼロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.5 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.5.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを直接セッション接続タイプを使用するように 設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定することもできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

#### 4.5.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.5.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.5.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

## **4.5.5** VMware View Connection Server ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.5.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

注意:TERA2321ゼロクライアントには第1世代 TERA1100クライアントと同じディスプレイトポロジがあります。このことは、このセクション内のディスプレイト ポロジページへのリンクに反映されています。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWI ホスト : 初期セットアップ AWI クライアント : 初期セット アップ	

<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	OSD:ネットワーク設定
MC を使用したデバイスネーミ ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。	<u>AWI: ラベル設定</u>	<u>OSD : ラベル設定</u>
<u>MC : ディスカバリ設定</u>	<u>AWI:ディスカバリ設定</u>	<u>OSD:ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	AWI:SNMP設定	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLPホ ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:带域幅設定</u>	AWI:带域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD設定	<u>OSD:OSD設定</u>
<u>MC : イメージ設定</u>	<u>AWI ホスト : イメージ設定</u> <u>AWI クライアント : イメージ設</u> <u>定</u>	<u>OSD : イメージ設定</u>
MC:モニタエミュレーション	AWI Tera1 ホスト:モニタエミ           ユレーション	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
 MC:セキュリティ設定		



	<u>AWI クライアント : オーディオ</u> <u>承認</u>	
<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント : 電源承認</u>	
MC : ホストドライバ機能	AWI ホスト : ホストドライバ機 <u>能</u>	
<u>MC:イベントログ設定</u>	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	<u>AWI クライアント : 周辺機器設</u> <u>定</u>	
<u>MC:IPv6 設定</u>	AWI:IPv6 設定	OSD:IPv6 設定
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera1 <u>: ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ</u> <u>設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	<u>AWIホスト: USB 承認</u> AWI クライアント: USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC:VMware View</u> 証明書チェ <u>ック</u> 設定	<u>AWI:VMware View 証明書チ</u> エック設定	OSD: VMware View 証明書チ エック設定

# **4.6 TERA2140** ゼロクライアントと **TERA1202** ホストカードの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2140 ゼロクライアントと第1世代 TERA1202 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIPホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-6: TERA2140 ゼロクライアントと TERA1202 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.7 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.7.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを、直接セッション接続タイプを使用するよう に設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

#### 4.7.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.7.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.7.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

## **4.7.5** VMware View Connection Server ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.7.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MCを使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWIホスト:初期セットアップ AWIクライアント:初期セット アップ	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	<u>OSD:ネットワーク設定</u>
MC を使用したデバイスネーミ	<u>AWI:ラベル設定</u>	<u>OSD: ラベル設定</u>

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。		
<u>MC : ディスカバリ設定</u>	<u>AWI : ディスカバリ設定</u>	<u>OSD : ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	AWI:SNMP設定	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLP ホ</u> <u>ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
MC:暗号化設定	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
MC : イメージ設定	AWI ホスト : イメージ設定 AWI クライアント : イメージ設 定	OSD : イメージ設定
MC:モニタエミュレーション	<u>AWI</u> Tera1 <u>ホスト : モニタエミ</u> <u>ュレーション</u>	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	
MC:オーディオ承認	AWI ホスト : オーディオ承認 AWI クライアント : オーディオ 承認	



<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント:電源承認</u>	
<u>MC:ホストドライバ機能</u>	AWI ホスト : ホストドライバ機 能	
<u>MC : イベントログ設定</u>	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	AWI:IPv6 設定	<u>OSD:IPv6 設定</u>
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera2 <u>: ディスプレイトポ ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
MC:USB 承認	AWIホスト:USB承認 AWIクライアント:USB承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC: VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	<u>AWI:VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>	<u>OSD: VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>

# **4.8 TERA1100** ゼロクライアントと **TERA2220** ホストカードの接続

このトピックでは、第1世代 TERA1100 ゼロクライアントと第2世代 TERA2220 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-7: TERA1100 ゼロクライアントと TERA2220 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.9 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.9.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを、直接セッション接続タイプを使用するよう に設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

#### 4.9.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.9.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.9.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。


- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

# **4.9.5 VMware View Connection Server** ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.9.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MCを使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWIホスト:初期セットアップ AWIクライアント:初期セット アップ	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	<u>OSD:ネットワーク設定</u>
MC を使用したデバイスネーミ	<u>AWI:ラベル設定</u>	<u>OSD: ラベル設定</u>

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。		
MC : ディスカバリ設定	<u>AWI : ディスカバリ設定</u>	<u>OSD : ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	<u>AWI:SNMP設定</u>	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLP ホ</u> <u>ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
MC : イメージ設定	AWI ホスト: イメージ設定 AWI クライアント : イメージ設 定	OSD : イメージ設定
MC:モニタエミュレーション	<u>AWI Tera2 ホスト : モニタエミ</u> <u>ュレーション</u>	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	
MC:オーディオ承認	AWI ホスト : オーディオ承認 AWI クライアント : オーディオ 承認	



<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント:電源承認</u>	
<u>MC : ホストドライバ機能</u>	AWI ホスト : ホストドライバ機 <u>能</u>	
<u>MC: イベントログ設定</u>	AWI:イベントログ設定	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	AWI:IPv6 設定	<u>OSD:IPv6 設定</u>
<u>MC : ディスプレイトポロジ設</u> <u>定</u>		<u>OSD</u> Tera1 <u>: ディスプレイトポ ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	<u>AWI ホスト:USB 承認</u> AWI クライアント:USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC: VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	<u>AWI:VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>	<u>OSD: VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>

# **4.10 TERA2321** ゼロクライアントと **TERA2220** ホスト カードの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2321 ゼロクライアントと第2世代 TERA2220 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-8: TERA2321 ゼロクライアントと TERA2220 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.11 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.11.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを、直接セッション接続タイプを使用するよう に設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

#### 4.11.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.11.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.11.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

## **4.11.5** VMware View Connection Server ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.11.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

注意:TERA2321 ゼロクライアントには第1世代 TERA1100 クライアントと同じディスプレイトポロジがあります。このことは、このセクション内のディスプレイト ポロジページへのリンクに反映されています。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWI ホスト : 初期セットアップ AWI クライアント : 初期セット アップ	

<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	OSD:ネットワーク設定
MC を使用したデバイスネーミ ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。	<u>AWI : ラベル設定</u>	<u>OSD : ラベル設定</u>
<u>MC : ディスカバリ設定</u>	AWI:ディスカバリ設定	<u>OSD:ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	AWI:SNMP 設定	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLPホ</u> <u>ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
MC:暗号化設定	<u>AWI:暗号化設定</u>	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
<u>MC : イメージ設定</u>	<u>AWI ホスト : イメージ設定</u> <u>AWI クライアント : イメージ設</u> <u>定</u>	<u>OSD : イメージ設定</u>
MC:モニタエミュレーション	<u>AWI Tera2 ホスト:モニタエミ ュレーション</u>	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC</u> : セキュリティ設定	AWI:セキュリティ設定	
<u>MC:オーディオ承認</u>	AWIホスト:オーディオ承認	



	AWI クライアント:オーディオ 承認	
<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント:電源承認</u>	
MC : ホストドライバ機能	AWI ホスト : ホストドライバ機 能	
MC: イベントログ設定	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	<u>AWI:IPv6 設定</u>	<u>OSD:IPv6 設定</u>
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera1 <u>:ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC : OSD ロゴ設定</u>	AWI クライアント : OSD ロゴ 設定	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	<u>AWIホスト: USB 承認</u> AWI クライアント: USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC: VMware View</u> 証明書チェ <u>ック</u> 設定	AWI:VMware View 証明書チ エック設定	OSD: VMware View 証明書チ エック設定

# **4.12 TERA2140** ゼロクライアントと **TERA2220** ホスト カードの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2140 ゼロクライアントと第2世代 TERA2220 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-9: TERA2140 ゼロクライアントと TERA2220 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.13 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.13.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを直接セッション接続タイプを使用するように 設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

### 4.13.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.13.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.13.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

# **4.13.5** VMware View Connection Server ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.13.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWIホスト:初期セットアップ AWIクライアント:初期セット アップ	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	AWI:ネットワーク設定	<u>OSD:ネットワーク設定</u>
MC を使用したデバイスネーミ	<u>AWI: ラベル設定</u>	<u>OSD: ラベル設定</u>

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。		
MC : ディスカバリ設定	<u>AWI : ディスカバリ設定</u>	<u>OSD : ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	<u>AWI:SNMP設定</u>	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLP ホ</u> <u>ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
MC : イメージ設定	AWI ホスト : イメージ設定 AWI クライアント : イメージ設 定	OSD : イメージ設定
MC:モニタエミュレーション	<u>AWI Tera2 ホスト : モニタエミ</u> <u>ュレーション</u>	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	
MC:オーディオ承認	AWI ホスト : オーディオ承認 AWI クライアント : オーディオ 承認	



<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント:電源承認</u>	
<u>MC:ホストドライバ機能</u>	AWI ホスト : ホストドライバ機 能	
<u>MC:イベントログ設定</u>	AWI:イベントログ設定	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント:周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	AWI:IPv6 設定	<u>OSD:IPv6 設定</u>
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera2 <u>: ディスプレイトポ ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI:ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	AWIホスト:USB承認 AWIクライアント:USB承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	AWI:証明書アップロード設定	
<u>MC:VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	<u>AWI:VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>	<u>OSD : VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>

# **4.14 TERA1100** ゼロクライアントと **TERA2240** ホスト カードの接続

このトピックでは、第1世代 TERA1100 ゼロクライアントと第2世代 TERA2240 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-10: TERA1100 ゼロクライアントと TERA2240 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.15 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.15.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを、直接セッション接続タイプを使用するよう に設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

#### 4.15.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.15.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.15.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

## **4.15.5** VMware View Connection Server ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.15.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWIホスト:初期セットアップ AWIクライアント:初期セット アップ	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	AWI:ネットワーク設定	<u>OSD:ネットワーク設定</u>
MC を使用したデバイスネーミ	<u>AWI: ラベル設定</u>	<u>OSD: ラベル設定</u>

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。		
MC : ディスカバリ設定	<u>AWI : ディスカバリ設定</u>	<u>OSD : ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	<u>AWI:SNMP設定</u>	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLP ホ</u> <u>ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
MC : イメージ設定	AWI ホスト : イメージ設定 AWI クライアント : イメージ設 定	OSD : イメージ設定
MC:モニタエミュレーション	<u>AWI Tera2 ホスト : モニタエミ</u> <u>ュレーション</u>	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	
MC:オーディオ承認	AWI ホスト : オーディオ承認 AWI クライアント : オーディオ 承認	



<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント : 電源承認</u>	
<u>MC : ホストドライバ機能</u>	AWI ホスト : ホストドライバ機 <u>能</u>	
MC: イベントログ設定	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD : イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント:周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	<u>AWI:IPv6 設定</u>	<u>OSD:IPv6 設定</u>
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera1 <u>: ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC : OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI:ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	<u>AWI ホスト:USB 承認</u> AWI クライアント:USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC: VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	<u>AWI:VMware View</u> 証明書チ エック設定	<u>OSD : VMware View 証明書チ</u> エック設定

# **4.16 TERA2321** ゼロクライアントと **TERA2240** ホスト カードの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2321 ゼロクライアントと第2世代 TERA2240 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-11: TERA2321 ゼロクライアントと TERA2240 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.17 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.17.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを、直接セッション接続タイプを使用するよう に設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

#### 4.17.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.17.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.17.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

## **4.17.5** VMware View Connection Server ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.17.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

注意:TERA2321ゼロクライアントには第1世代 TERA1100クライアントと同じディスプレイトポロジがあります。このことは、このセクション内のディスプレイト ポロジページへのリンクに反映されています。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWI ホスト : 初期セットアップ AWI クライアント : 初期セット アップ	

<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	OSD:ネットワーク設定
MC を使用したデバイスネーミ ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。	<u>AWI : ラベル設定</u>	<u>OSD : ラベル設定</u>
<u>MC : ディスカバリ設定</u>	<u>AWI:ディスカバリ設定</u>	<u>OSD:ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	AWI:SNMP設定	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLPホ ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:带域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD設定	<u>OSD:OSD設定</u>
<u>MC : イメージ設定</u>	<u>AWI ホスト : イメージ設定</u> <u>AWI クライアント : イメージ設</u> <u>定</u>	<u>OSD : イメージ設定</u>
MC:モニタエミュレーション	AWI_Tera2 ホスト:モニタエミ   ユレーション	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
 MC:セキュリティ設定	 <u>AWI:セキュリティ設定</u>	



	AWI クライアント:オーディオ 承認	
<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント:電源承認</u>	
MC : ホストドライバ機能	AWI ホスト : ホストドライバ機 能	
<u>MC:イベントログ設定</u>	AWI:イベントログ設定	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	<u>AWI:IPv6 設定</u>	<u>OSD : IPv6 設定</u>
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera1 <u>:ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
MC : フォームウエア管理	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	<u>AWI ホスト: USB 承認</u> AWI クライアント: USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC: VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	<u>AWI:VMware View 証明書チ</u> <u>ェック設定</u>	<u>OSD:VMware View 証明書チ</u> <u>ェック設定</u>

# **4.18 TERA2140** ゼロクライアントと **TERA2240** ホスト カードの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2140 ゼロクライアントと第2世代 TERA2240 ホ ストカード間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているホストカードとゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセ</u> <u>ッサ情報の表示</u>」を参照してください。クライアントとホストのディスプレイオプ ションを確認するには、「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してく ださい。



図 4-12: TERA2140 ゼロクライアントと TERA2240 ホストカードの接続

図の左側は、タワーワークステーション、ラックワークステーション、ブレードワ ークステーションなどのホストカードをインストール可能なリモートワークステー ションに関するフォームファクタを示しています。右側のゼロクライアントは、 SLPディスカバリ、VMware View Connection Server ブローカ、または別のサードパ ーティ製コネクションブローカを経由する直接ホスト/クライアント割り当てを通し てリモートワークステーションに接続することができます。これらの接続オプショ ンについては後述します。

注意:その他のクライアントオプションには、PCoIP 対応ディスプレイ、電話機、 ラップトップ、iPad、およびその他の PCoIP 対応モバイルプラットフォームが含ま れます。

### 4.19 前提条件

ホストカードとゼロクライアントを接続する前に、以下の条件を満たす必要があり ます。

 ホストカードとゼロクライアントのファームウエアバージョンを一致させる必要 があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。 MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法につい ては、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一



ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、 「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。

 ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

### 4.19.1 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールまたはコネクションブロ ーカを使用してホストカードとゼロクライアント間の接続を管理したり、AWIを使 用して個々のホストとクライアントを直接セッション接続タイプを使用するように 設定したりすることができます。

注意:OSDを使用してセッション接続タイプ構成のクライアント側を設定すること もできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- ホストとクライアントの静的な接続
- SLP ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続
- サードパーティ製コネクションブローカを使用したホストとクライアントの接続
- VMware View Connection Server ブローカを使用したホストとクライアントの接続

### 4.19.2 ホストとクライアントの静的な接続

クライアントを特定のホストカードに直接接続するように静的に設定するには、 Direct to Host セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、ホス トの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

- MC: Direct to Host: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。 MC を使用した特定のホストとクライアントの静的なリンク方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host</u>: AWIを使用して、クライアントを特定のホストカードに静的に接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWIを使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。

# **4.19.3 SLP** ホストディスカバリを使用したホストとクライアントの接続

ホストがクライアントと同じネットワークサブネット上に存在する場合は、Direct to Host + SLP セッション接続タイプを使用して、クライアントがサービスロケーシ ョンプロトコル (SLP)を使用してサブネット上のホストを検出するように設定す ることができます。この設定では、クライアント OSD に、発見された最初の 10 ホ ストが一覧表示されます。必要なホストを選択してそれに接続することができます。

注意:SLPホストディスカバリは、ホストが10を超える大規模なデプロイメントで クライアントがいずれかのホストに接続しなければならない場合には適していませ ん。この場合は、<u>サードパーティ製コネクションブローカ</u>が必要です。

ホスト上で Direct from Client セッション接続タイプを設定する必要もあります。ホ ストが任意のクライアントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接 続要求を受け入れるようにするためのオプションがあります。後者の場合は、クラ イアントの MAC アドレスを指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: Direct to Host + SLP: MC を使用して、クライアントデバイスの Direct to Host + SLP セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法につい て説明します。
- <u>AWIクライアント: Direct to Host + SLP</u>: AWIを使用して、クライアントを SLP ディスカバリ経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Direct from Client</u>: AWI を使用して、ホストカードを任意のクライ アントからの接続要求または特定のクライアントだけからの接続要求を受け入れ るように設定する方法について説明します。
- OSD: Direct to Host + SLP: OSD を使用して、クライアントを SLP ディスカバリ 経由でホストカードに接続するための設定方法について説明します。

# **4.19.4** サードパーティ製コネクションブローカを使用したホスト とクライアントの接続

サードパーティ製コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立して いるユーザの ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソ ースマネージャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアント のグループに割り当てるためにも使用されます。コネクションブローカの多くは、 大規模な PCoIP デプロイメントやホストとクライアントが同じサブネット上に存在 しない環境で使用されます。

このオプションの場合は、ホストとクライアントの両方で Connection Management Interface セッション接続タイプを使用します。サードパーティ製コネクションブロ ーカの IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要があります。

注意:サードパーティ製コネクションブローカの詳細については、<u>Teradici サポー</u> <u>トサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。



- <u>MC : Connection Management Interface</u> : MC を使用して、クライアントデバイス とホストデバイスの Connection Management Interface セッション接続タイプを 定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、クライ アントをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間 の接続を仲介するように設定する方法について説明します。
- <u>AWIホスト: Connection Management Interface</u>: AWIを使用して、ホストをサードパーティ製コネクションブローカ経由でクライアントからの接続要求を受け入れるように設定する方法について説明します。
- OSD: Connection Management Interface: OSD を使用して、クライアントをサード パーティ製コネクションブローカ経由でクライアントとホスト間の接続を仲介す るように設定する方法について説明します。

# **4.19.5** VMware View Connection Server ブローカを使用したホ ストとクライアントの接続

VMware View Connection Server ブローカを使用してクライアントとホストカード間の接続を仲介することもできます。

注意:これは、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するための設定方法と同じではありません。

このオプションの場合は、VMware View Agent をホストワークステーションにイン ストールして、クライアントとホストの両方に関するその他のさまざまな設定要件 をクリアする必要があります。詳細については、『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を参照してください。

### 4.19.6 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWIホスト:初期セットアップ AWIクライアント:初期セット アップ	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	AWI:ネットワーク設定	<u>OSD:ネットワーク設定</u>
MC を使用したデバイスネーミ	<u>AWI: ラベル設定</u>	<u>OSD: ラベル設定</u>

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。		
MC : ディスカバリ設定	<u>AWI : ディスカバリ設定</u>	<u>OSD : ディスカバリ設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	<u>AWI:SNMP設定</u>	
<u>MC : Direct to Host</u> <u>MC : Direct to Host + SLP ホス</u> <u>トディスカバリ</u> <u>MC : Connection Management</u> <u>Interface</u>	AWI ホスト: Direct from Client AWI クライアント: Direct to Host AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバ リ AWI ホスト: Connection Management Interface AWI クライアント: Connection Management Interface	<u>OSD : Direct to Host</u> <u>OSD : Direct to Host + SLP ホ</u> <u>ストディスカバリ</u> <u>OSD : Connection</u> <u>Management Interface</u>
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
MC : イメージ設定	AWI ホスト: イメージ設定 AWI クライアント : イメージ設 定	OSD : イメージ設定
MC:モニタエミュレーション	<u>AWI Tera2 ホスト : モニタエミ</u> <u>ュレーション</u>	
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	
MC:オーディオ承認	AWI ホスト : オーディオ承認 AWI クライアント : オーディオ 承認	



<u>MC:電源承認</u>	<u>AWI クライアント:電源承認</u>	
<u>MC:ホストドライバ機能</u>	AWI ホスト : ホストドライバ機 能	
<u>MC : イベントログ設定</u>	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD:イベントログ設定</u>
<u>MC:周辺機器設定</u>	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	<u>AWI:IPv6 設定</u>	<u>OSD:IPv6 設定</u>
<u>MC : ディスプレイトポロジ設</u> <u>定</u>		<u>OSD</u> Tera2 <u>: ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB承認</u>	<u>AWI ホスト:USB 承認</u> AWI クライアント:USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC: VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	<u>AWI:VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>	<u>OSD: VMware View 証明書チ</u> <u>エック設定</u>

# **4.20 TERA1100** ゼロクライアントと VMware View 仮 想デスクトップの接続

このトピックでは、第1世代 TERA1100 ゼロクライアントと VMware View 仮想デス クトップ間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセッサ情報の表</u> <u>示</u>」を参照してください。このクライアントの表示オプションを確認するには、 「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してください。



図 4-13: TERA1100 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続

図の左側は、一般的なサーバホスト型 VMware View 実装で、仮想デスクトップ(仮 想デスクトップインフラストラクチャや VDI と呼ばれることもある)と APEX 2800 サーバオフロードカードのセットがハードウエア駆動型 PCoIP イメージエンコーデ ィングを可能にします。右側のゼロクライアントは VMware View Connection Server ブローカを使用して VMware View 仮想デスクトップに接続しています。手動または 自動ログオンを使用して、VMware View キオスクモード(デスクトップ上の情報に 対する複数ユーザアクセスを提供する場合)を使用して、あるいは Imprivata OneSign テクノロジ (VDI ローミング実装で近接型カードをサポートする場合)を 使用して VMware View 仮想デスクトップに接続するように設定することができます。 これらの VMware View 設定オプションについては後述します。

注意: APEX 2800 の詳細については、『Teradici APEX 2800 Server Offload Card Administrator's Guide』(TER1109003)を参照してください。PCoIP ゼロクライアン トと一緒に使用する場合の VMware View の設定方法については、『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』(TER0904005)を参照してください。

# 4.21 前提条件

クライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続する前に以下の条件をクリア する必要があります。

 VMware View Manager と VMware View Agent を含む VMware View インストール はバージョン 4.0.1 以降にする必要があります。詳細については、VMware のマ



ニュアルと『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005) を参照してください。

- ゼロクライアントのファームウエアバージョンは 3.1.0 以降にする必要があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法については、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。
- ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

# 4.22 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールを使用して VMware View セッション接続タイプを含むプロファイルを設定することも、AWI または OSD を 使用して個別のゼロクライアントを VMware View セッション接続タイプを使用する ように設定することもできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- <u>View Connection Server</u>
- <u>View Connection Server + 自動ログオン</u>
- <u>View Connection Server + キオスク</u>
- <u>View Connection Server + Imprivata OneSign</u>

### 4.22.1 View Connection Server

クライアントを VMware 仮想デスクトップに接続するように設定するには、View Connection Server セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要が あります。

- MC: View Connection Server: MCを使用してクライアントデバイスの View Connection Server セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方 法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server</u>: AWIを使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するための設定方 法について説明します。

 OSD: View Connection Server: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するための設定方法について説 明します。

### **4.22.2** View Connection Server + 自動ログオン

クライアントが仮想デスクトップに接続したときに自動的にユーザのログイン詳細 を入力するように設定するには、View Connection Server + 自動ログオンセッション 接続タイプを使用します。VM ware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)の他に、ユーザ名、ユーザパスワード、およびサーバに送信するユーザの ドメイン名も指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + 自動ログオン: MC を使用して、クライアントデバイスの View Connection Server + 自動ログオンセッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + 自動ログオン</u>: AWI を使用して、 クライアントが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続 したときに自動的にユーザのログイン詳細を入力するための設定方法について説 明します。
- OSD: View Connection Server + 自動ログオン: OSD を使用して、クライアントが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続したときに自動的にユーザのログイン詳細を入力するための設定方法について説明します。

### **4.22.3** View Connection Server + キオスク

VMware View キオスクモードを使用すれば、複数のユーザがデスクトップに接続し て個人情報以外の情報を入手する場合などに、キオスク実装に使用されるデスクト ップに接続するようにクライアントを設定することができます。少なくとも、 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)とキオスクユーザ 名(キオスクのカスタムユーザ名または MAC アドレス)を指定する必要がありま す。

- MC: View Connection Server + キオスク: MC を使用して、クライアントデバイスの View Connection Server + Kiosk セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + キオスク</u>: AWIを使用して、クラ イアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続する ときにキオスクモードを使用するように設定する方法について説明します。
- OSD: View Connection Server + キオスク: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときにキオス クモードを使用するように設定する方法について説明します。


## 4.22.4 View Connection Server + Imprivata OneSign

VMware View Imprivata OneSign モードを使用すれば、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに Imprivata OneSign 近接型カードを使用するように設定することができます。 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)と OneSign サーバのブートストラップ URL を指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + Imprivata OneSign: MC を使用して、クライアント デバイスの View Connection Server + Imprivata OneSign セッション接続タイプ を定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign</u>: AWIを使用して、 クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続 するときに Imprivata OneSign モードを使用するように設定する方法について説明 します。
- OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに Imprivata OneSign モードを使用するように設定する方法について説明します。

#### 4.22.5 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファーム**ウェア**パラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	<u>AWI クライアント : 初期セット</u> <u>アップ</u>	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	AWI:ネットワーク設定	OSD:ネットワーク設定
MC を使用したデバイスネーミ ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。	<u>AWI : ラベル設定</u>	<u>OSD : ラベル設定</u>
<u>MC:SNMP設定</u>	AWI:SNMP 設定	
MC : View Connection Server MC : View Connection Server	AWI クライアント:View Connection Server	OSD : View Connection Server OSD : View Connection Server

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。

+ 自動ログオン MC: View Connection Server + キオスク MC: View Connection Server + Imprivata OneSign	AWI クライアント: View Connection Server + 自動ログ オン AWI クライアント: View Connection Server + キオスク	+ 自動ログオン OSD: View Connection Server + キオスク OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign
	AWI クライアント:View <u>Connection Server + Imprivata</u> <u>OneSign</u>	
	AWI:暗号化設定	
<u>MC:带域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD</u> 設定	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD設定</u>
<u>MC : イメージ設定</u>	AWI クライアント:イメージ設 定	<u>OSD : イメージ設定</u>
<u>MC:時間設定</u>	<u>AWI:時間設定</u>	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	AWI : セキュリティ設定	
<u>MC:オーディオ承認</u>	<u>AWI クライアント : オーディオ 承認</u>	
<u>MC:イベントログ設定</u>	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	<u>AWI クライアント : 周辺機器設</u> <u>定</u>	
<u>MC:IPv6 設定</u>	<u>AWI:IPv6 設定</u>	<u>OSD:IPv6 設定</u>
MC : ディスプレイトポロジ設 定		<u>OSD</u> Tera1 <u>:ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
MC:フォームウエア管理		
MC:USB承認	<u>AWI クライアント: USB 承認</u>	



<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC: VMware View 証明書チェ</u>	<mark>AWI:VMware View 証明書チ</mark>	<u>OSD:VMware View 証明書チ</u>
<u>ック設定</u>	<u>ェック設定</u>	<u>ェック設定</u>

# **4.23 TERA2321** ゼロクライアントと VMware View 仮 想デスクトップの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2321 ゼロクライアントと VMware View 仮想デス クトップ間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセッサ情報の表</u> <u>示</u>」を参照してください。このクライアントの表示オプションを確認するには、 「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してください。



図 4-14: TERA2321 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続

図の左側は、一般的なサーバホスト型 VMware View 実装で、仮想デスクトップ(仮 想デスクトップインフラストラクチャや VDIと呼ばれることもある)と APEX 2800 サーバオフロードカードのセットがハードウエア駆動型 PCoIP イメージエンコーデ ィングを可能にします。右側のゼロクライアントは VMware View Connection Server ブローカを使用して VMware View 仮想デスクトップに接続しています。手動または 自動ログオンを使用して、VMware View キオスクモード(デスクトップ上の情報に 対する複数ユーザアクセスを提供する場合)を使用して、あるいは Imprivata OneSign テクノロジ(VDI ローミング実装で近接型カードをサポートする場合)を 使用して VMware View 仮想デスクトップに接続するように設定することができます。 これらの VMware View 設定オプションについては後述します。

注意: APEX 2800 の詳細については、『Teradici APEX 2800 Server Offload Card Administrator's Guide』(TER1109003)を参照してください。PCoIP ゼロクライアン トと一緒に使用する場合の VMware View の設定方法については、『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』(TER0904005)を参照してください。

# 4.24 前提条件

クライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続する前に以下の条件をクリア する必要があります。

- VMware View Manager と VMware View Agent を含む VMware View インストール はバージョン 4.0.1 以降にする必要があります。詳細については、VMware のマ ニュアルと『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005) を参照してください。
- ゼロクライアントのファームウエアバージョンは 3.1.0 以降にする必要があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法については、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。
- ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

## 4.25 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールを使用して VMware View セッション接続タイプを含むプロファイルを設定することも、AWI または OSD を 使用して個別のゼロクライアントを VMware View セッション接続タイプを使用する ように設定することもできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- <u>View Connection Server</u>
- <u>View Connection Server + 自動ログオン</u>
- <u>View Connection Server + キオスク</u>
- <u>View Connection Server + Imprivata OneSign</u>



## 4.25.1 View Connection Server

クライアントを VMware 仮想デスクトップに接続するように設定するには、View Connection Server セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要が あります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server: MCを使用してクライアントデバイスの View Connection Server セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方 法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server</u>: AWIを使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するための設定方 法について説明します。
- OSD: View Connection Server: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するための設定方法について説 明します。

#### **4.25.2** View Connection Server + 自動ログオン

クライアントが仮想デスクトップに接続したときに自動的にユーザのログイン詳細 を入力するように設定するには、View Connection Server + 自動ログオンセッション 接続タイプを使用します。VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)の他に、ユーザ名、ユーザパスワード、およびサーバに送信するユーザの ドメイン名も指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + 自動ログオン: MC を使用して、クライアントデバイスの View Connection Server + 自動ログオンセッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + 自動ログオン</u>: AWI を使用して、 クライアントが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続 したときに自動的にユーザのログイン詳細を入力するための設定方法について説 明します。
- OSD: View Connection Server + 自動ログオン: OSD を使用して、クライアント が VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続したときに自 動的にユーザのログイン詳細を入力するための設定方法について説明します。

## **4.25.3** View Connection Server + キオスク

VMware View キオスクモードを使用すれば、複数のユーザがデスクトップに接続して個人情報以外の情報を入手する場合などに、キオスク実装に使用されるデスクトップに接続するようにクライアントを設定することができます。少なくとも、

VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)とキオスクユーザ 名(キオスクのカスタムユーザ名または MAC アドレス)を指定する必要がありま す。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + キオスク: MC を使用して、クライアントデバイスの View Connection Server + Kiosk セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + キオスク</u>: AWIを使用して、クラ イアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続する ときにキオスクモードを使用するように設定する方法について説明します。
- OSD: View Connection Server + キオスク: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときにキオス クモードを使用するように設定する方法について説明します。

#### 4.25.4 View Connection Server + Imprivata OneSign

VMware View Imprivata OneSign モードを使用すれば、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに Imprivata OneSign 近接型カードを使用するように設定することができます。 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)と OneSign サーバのブートストラップ URL を指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + Imprivata OneSign: MC を使用して、クライアント デバイスの View Connection Server + Imprivata OneSign セッション接続タイプ を定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign</u>: AWIを使用して、 クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続 するときに Imprivata OneSign モードを使用するように設定する方法について説明 します。
- OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに Imprivata OneSign モードを使用するように設定する方法について説明します。

#### 4.25.5 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファームウエアパラメータを設定す るには、以下のトピックを参照してください。

注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。



注意:TERA2321 ゼロクライアントには第1世代 TERA1100 クライアントと同じディスプレイトポロジがあります。このことは、このセクション内のディスプレイト ポロジページへのリンクに反映されています。

MC を使用している場合	AWI を使用している場合	OSD を使用している場合
	AWI クライアント : 初期セット アップ	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	OSD: ネットワーク設定
MC を使用したデバイスネーミ ングの管理方法については、 『PColP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。	<u>AWI : ラベル設定</u>	<u>OSD : ラベル設定</u>
<u>MC:SNMP 設定</u>	<u>AWI:SNMP 設定</u>	
<u>MC: View Connection Server</u> <u>MC: View Connection Server</u> + 自動ログオン <u>MC: View Connection Server</u> + キオスク <u>MC: View Connection Server</u> + Imprivata OneSign	AWIクライアント: View Connection Server AWIクライアント: View Connection Server + 自動ログ オン AWIクライアント: View Connection Server + キオスク AWIクライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign	OSD: View Connection Server OSD: View Connection Server + 自動ログオン OSD: View Connection Server + キオスク OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:带域幅設定</u>	AWI:帯域幅設定	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	AWI:OSD 設定	<u>OSD:OSD 設定</u>
<u>MC : イメージ設定</u>	AWI クライアント : イメージ設 定	<u>OSD : イメージ設定</u>
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	

MC:オーディオ承認	AWI クライアント:オーディオ 承認	
<u>MC:イベントログ設定</u>	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD: イベントログ設定</u>
<u>MC:周辺機器設定</u>	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	<u>AWI:IPv6 設定</u>	<u>OSD:IPv6 設定</u>
<u>MC : ディスプレイトポロジ設</u> 定		<u>OSD</u> Tera1 <u>: ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC:OSD ロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ 設定</u>	
<u>MC:フォームウエア管理</u>	AWI:ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB 承認</u>	AWI クライアント: USB 承認	
<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
<u>MC:VMware View</u> 証明書チェ <u>ック設定</u>	<mark>AWI:VMware View</mark> 証明書チ <u>エック設定</u>	<u>OSD:VMware View 証明書チ</u> <u>ェック設定</u>

# **4.26 TERA2140** ゼロクライアントと VMware View 仮 想デスクトップの接続

このトピックでは、第2世代 TERA2140 ゼロクライアントと VMware View 仮想デス クトップ間の接続の設定方法について説明します。

注意:使用されているゼロクライアントを特定するには、「<u>プロセッサ情報の表</u> <u>示</u>」を参照してください。このクライアントの表示オプションを確認するには、 「<u>PCoIP ホストカードとゼロクライアント</u>」を参照してください。





図 4-15: TERA2140 ゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップの接続

図の左側は、一般的なサーバホスト型 VMware View 実装で、仮想デスクトップ(仮 想デスクトップインフラストラクチャや VDI と呼ばれることもある)と APEX 2800 サーバオフロードカードのセットがハードウエア駆動型 PCoIP イメージエンコーデ ィングを可能にします。右側のゼロクライアントは VMware View Connection Server ブローカを使用して VMware View 仮想デスクトップに接続しています。手動または 自動ログオンを使用して、VMware View キオスクモード(デスクトップ上の情報に 対する複数ユーザアクセスを提供する場合)を使用して、あるいは Imprivata OneSign テクノロジ (VDI ローミング実装で近接型カードをサポートする場合)を 使用して VMware View 仮想デスクトップに接続するように設定することができます。 これらの VMware View 設定オプションについては後述します。

注意: APEX 2800 の詳細については、『Teradici APEX 2800 Server Offload Card Administrator's Guide』(TER1109003)を参照してください。PCoIP ゼロクライアン トと一緒に使用する場合の VMware View の設定方法については、『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』(TER0904005)を参照してください。

# 4.27 前提条件

クライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続する前に以下の条件をクリア する必要があります。

 VMware View Manager と VMware View Agent を含む VMware View インストール はバージョン 4.0.1 以降にする必要があります。詳細については、VMware のマ ニュアルと『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005) を参照してください。

- ゼロクライアントのファームウエアバージョンは 3.1.0 以降にする必要があります。MCを使用したファームウエアのアップロード方法については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。MCを使用したプロファイルへのファームウエアファイルの割り当て方法については、「MC:ファームウエア管理」を参照してください。AWIを使用した単一ホストまたはクライアントへのファームウエアのアップロード方法については、「AWI:ファームウエアアップロード設定」を参照してください。
- ネットワークリソースは、帯域幅、QoS、遅延、ジッタ、およびパケットロスに 関する要件を満たすことができる必要があります。PCoIP ネットワークアーキテ クチャの設計方法については、『PC-over-IP Protocol Virtual Desktop Network Design Checklist』(TER1105004)を参照してください。

# 4.28 セッション接続タイプ

PCoIP デプロイメントの規模によっては、管理コンソールを使用して VMware View セッション接続タイプを含むプロファイルを設定することも、AWI または OSD を 使用して個別のゼロクライアントを VMware View セッション接続タイプを使用する ように設定することもできます。

次の4つの接続オプションが使用できます。

- <u>View Connection Server</u>
- <u>View Connection Server + 自動ログオン</u>
- <u>View Connection Server + キオスク</u>
- <u>View Connection Server + Imprivata OneSign</u>

#### 4.28.1 View Connection Server

クライアントを VMware 仮想デスクトップに接続するように設定するには、View Connection Server セッション接続タイプを使用します。このオプションの場合は、 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)を指定する必要が あります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server: MCを使用してクライアントデバイスの View Connection Server セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方 法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server</u>: AWIを使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するための設定方 法について説明します。



OSD: View Connection Server: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するための設定方法について説明します。

## 4.28.2 View Connection Server + 自動ログオン

クライアントが仮想デスクトップに接続したときに自動的にユーザのログイン詳細 を入力するように設定するには、View Connection Server + 自動ログオンセッション 接続タイプを使用します。VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)の他に、ユーザ名、ユーザパスワード、およびサーバに送信するユーザの ドメイン名も指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + 自動ログオン: MC を使用して、クライアントデバイスの View Connection Server + 自動ログオンセッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + 自動ログオン</u>: AWI を使用して、 クライアントが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続 したときに自動的にユーザのログイン詳細を入力するための設定方法について説 明します。
- OSD: View Connection Server + 自動ログオン: OSD を使用して、クライアントが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続したときに自動的にユーザのログイン詳細を入力するための設定方法について説明します。

#### **4.28.3** View Connection Server + キオスク

VMware View キオスクモードを使用すれば、複数のユーザがデスクトップに接続し て個人情報以外の情報を入手する場合などに、キオスク実装に使用されるデスクト ップに接続するようにクライアントを設定することができます。少なくとも、 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)とキオスクユーザ 名(キオスクのカスタムユーザ名または MAC アドレス)を指定する必要がありま す。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + キオスク: MCを使用して、クライアントデバイスの View Connection Server + Kiosk セッション接続タイプを定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + キオスク</u>: AWIを使用して、クラ イアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続する ときにキオスクモードを使用するように設定する方法について説明します。
- OSD: View Connection Server + キオスク: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときにキオス クモードを使用するように設定する方法について説明します。

## 4.28.4 View Connection Server + Imprivata OneSign

VMware View Imprivata OneSign モードを使用すれば、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに Imprivata OneSign 近接型カードを使用するように設定することができます。 VMware View Connection Server の IP アドレス(または DNS 名)と OneSign サーバのブートストラップ URL を指定する必要があります。

このオプションの設定方法については、GUI リファレンス内の以下のトピックを参照してください。

- MC: View Connection Server + Imprivata OneSign: MC を使用して、クライアント デバイスの View Connection Server + Imprivata OneSign セッション接続タイプ を定義したプロファイルを設定する方法について説明します。
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign</u>: AWIを使用して、 クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続 するときに Imprivata OneSign モードを使用するように設定する方法について説明 します。
- OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign: OSD を使用して、クライアントを VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに Imprivata OneSign モードを使用するように設定する方法について説明します。

## 4.28.5 その他の設定リンク

このセッションタイプに関するすべての範囲のファーム**ウェア**パラメータを設定するには、以下のトピックを参照してください。

MC を使用している場合	AWIを使用している場合	OSD を使用している場合
	<u>AWI クライアント : 初期セット</u> <u>アップ</u>	
<u>MC:ネットワーク設定</u>	<u>AWI:ネットワーク設定</u>	<u>OSD:ネットワーク設定</u>
MC を使用したデバイスネーミ ングの管理方法については、 『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してく ださい。	<u>AWI : ラベル設定</u>	<u>OSD : ラベル設定</u>
<u>MC:SNMP設定</u>	AWI:SNMP設定	
<u>MC : View Connection Server</u> <u>MC : View Connection Server +</u>	AWI クライアント:View Connection Server	OSD : View Connection Server OSD : View Connection Server

#### 注意:OSDでは一部の設定機能が使用できません。



<u>自動ログオン</u> <u>MC : View Connection Server +</u> <u>キオスク</u> <u>MC : View Connection Server +</u> <u>Imprivata OneSign</u>	AWI クライアント: View Connection Server + 自動ログ オン AWI クライアント: View Connection Server + キオスク AWI クライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign	+ 自動ログオン OSD: View Connection Server + キオスク OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign
<u>MC:暗号化設定</u>	AWI:暗号化設定	
<u>MC:帯域幅設定</u>	<u>AWI:带域幅設定</u>	
<u>MC:言語設定</u>	<u>AWI クライアント : 言語設定</u>	<u>OSD:言語設定</u>
<u>MC:OSD 設定</u>	<u>AWI:OSD 設定</u>	<u>OSD:OSD設定</u>
<u>MC : イメージ設定</u>	<u>AWI クライアント:イメージ設</u> <u>定</u>	<u>OSD : イメージ設定</u>
<u>MC:時間設定</u>	AWI:時間設定	
<u>MC:セキュリティ設定</u>	<u>AWI:セキュリティ設定</u>	
<u>MC:オーディオ承認</u>	AWI クライアント:オーディオ 承認	
<u>MC:イベントログ設定</u>	<u>AWI:イベントログ設定</u>	<u>OSD:イベントログ設定</u>
MC:周辺機器設定	AWI クライアント : 周辺機器設 定	
<u>MC:IPv6 設定</u>	<u>AWI:IPv6 設定</u>	<u>OSD:IPv6 設定</u>
<u>MC : ディスプレイトポロジ設</u> <u>定</u>		<u>OSD</u> Tera2 <u>: ディスプレイトポ</u> <u>ロジ設定</u>
<u>MC:OSDロゴ設定</u>	<u>AWI クライアント : OSD ロゴ</u> 設定	
<u>MC : フォームウエア管理</u>	AWI : ファームウエアアップロ <u>ード設定</u>	
<u>MC:USB 承認</u>	<u>AWI クライアント: USB 承認</u>	

<u>MC:証明書ストア管理</u>	<u>AWI:証明書アップロード設定</u>	
MC:VMware View 証明書チェ	<u>AWI:VMware View 証明書チ</u>	<u>OSD:VMware View 証明書チ</u>
ック設定	<u>ェック設定</u>	<u>エック設定</u>

# **4.29 VMware View** クライアントと VMware View 仮想 デスクトップの接続

PC、ラップトップ、電話機、またはモバイルプラットフォームにインストールされた VMware View 4 以降のソフトウエアクライアント経由で VMware View 仮想デスクトップに接続することにより、PCoIP プロトコルテクノロジを利用することもできます。この VMware View VDI ソリューションをインストールして管理する方法については、VMware View のマニュアルを参照してください。

PColP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



# 5 PCoIP GUI リファレンス

# 5.1 初期セットアップ

## 5.1.1 AWI ホスト : Initial Setup ページ

このページは、Configuration > Initial Setup メニューから表示することができます。

Initial Setup (1:1 Manual Configuration)	
These settings must be configured before the device is used for the first time	
Step 1: Audio	
Enable HD Audio: 🔽 Note: To enable audio, please ensure that audio is also enabled on the Client.	
Enable Audio Line In:       This will select the Line In input. If using Microsoft® Windows Vista® / Windows® 7, please ensure you do the following for this feature to function correctly:         1. Run regedit.       1. Run regedit.         2. Search the registry keys for 'PinConfigOverrideVerbs' and delete these registry ended to the registry for 'PinConfigOverrideVerbs' and delete these registry ended to the registry end	tries.
Step 2: Network	
Enable DHCP: 🔽	
IP Address: 192 168 65 115	
Subnet Mask: 255 255 0	
Gateway: 192 168 65 1	
Primary DNS Server: 192 168 65 2	
Secondary DNS Server: 0 0 0 0	
Step 3: Session	
Accept Any Client: 🔽	
Client MAC Address: 00 -00 -00 -00 -00 -00	
Step 4: Apply Changes	
Apply Cancel	

図 5-1:AWI ホスト Initial Setup ページ

#### 表 5-1:オーディオパラメータ

パラメータ	説明
Enable HD Audio	ホストまたはクライアント上でのオーディオサポートを有効にし ます。

パラメータ	説明
Enable Microsoft <sup>®</sup> Windows Vista <sup>®</sup> 64-bit Mode	ホスト上で 64 ビットモードを有効にします。このモードは Windows Vista 64 ビットバージョンと Windows 7° 64 ビットバー ジョン以外では使用しないでください。オーディオ機能が正常に 動作しない可能性があります。 注意:Linux、Windows 7° 32 ビット、Windows Vista 32 ビット、 または Windows XP (32 ビットまたは 64 ビット)では、64 ビッ トモードを有効にする必要がありません。
Enable Audio Line In	<b>有効化:</b> クライアント上で発見されたライン入力コネクタが使用 されます。 <b>無効化:</b> ライン入力コネクタがマイクロホン入力として使用され ます。 デバイス上に Windows Vista または Windows 7 がインストールさ れている場合は、画面上の指示に従ってください。

## 表 5-2:ネットワークパラメータ

パラメータ	説明
Enable DHCP	<b>DHCP</b> を有効にします(手動 IP アドレス設定を使用する場合とは 対照的)。
IP Address	デバイスの IP アドレス
Subnet Mask	デバイスのサブネットマスク
Gateway	デバイスのゲートウェイ IP アドレス
Primary DNS Server	デバイスのプライマリ DNS IP アドレス
Secondary DNS Server	デバイスのセカンダリ DNS IP アドレス

#### 表 5-3:セッションパラメータ

パラメータ	説明
Accept Any Client	ホストが任意のクライアントからの PColP セッションを受け入れ るようにします。
Client MAC Address	PCoIP セッションのクライアント MAC アドレスを指定できるようにします。 注意:クライアント MAC アドレスを 00-00-00-00-00 に設定することはできません。



# 5.1.2 AWI クライアント : Initial Setup ページ

このページは、Configuration > Initial Setup メニューから表示することができます。

Initial Setup (1:1 Manual Configuration)
These settings must be configured before the device is used for the first time
Step 1: Audio
Enable HD Audio: 🗹 Note: To enable audio, please ensure that audio is also enabled on the Host.
Step 2: Network
Enable DHCP: 🔽
IP Address: 192 168 54 133
Subnet Mask: 255 255 255 0
Gateway: 192 168 54 1
Primary DNS Server: 192 168 1 50
Secondary DNS Server: 192 168 1 52
Step 3: Session
Identify Host by: @ IP address C FQDN
Host IP Address: 192 168 63 29
Host MAC Address: 00 - 30 - 04 - 0D - EB - 9B
Step 4: Apply Changes
Apply Cancel

図 5-2: AWI クライアント Initial Setup ページ

#### 表 5-4:オーディオパラメータ

パラメータ	説明
Enable HD Audio	ホストまたはクライアント上でのオーディオサポートを有効にし ます。

#### 表 5-5:ネットワークパラメータ

パラメータ	説明
Enable DHCP	<b>DHCP</b> を有効にします(手動 IP アドレス設定を使用する場合とは 対照的)。

パラメータ	説明
IP Address	デバイスの IP アドレス
Subnet Mask	デバイスのサブネットマスク
Gateway	デバイスのゲートウェイ IP アドレス
Primary DNS Server	デバイスのプライマリ DNS IP アドレス
Secondary DNS Server	デバイスのセカンダリ DNS IP アドレス

表 5-6:セッションパラメータ

パラメータ	説明
Identify Host By	ホスト識別方法を指定します。
Host IP Address	ホスト IP アドレスを指定します。
Host MAC Address	ホスト MAC アドレスを指定します。 ホスト MAC アドレスを 00-00-00-00-00 に設定してセッショ ン開始時にこのフィールドを無視することができます。

注意:クライアント上でホストディスカバリまたは接続管理が設定されている場合 は、クライアントセッションパラメータを変更することができません。セッション パラメータの代わりにメッセージが Initial Setup Client ページに表示されます。

## 5.2 ネットワークの設定

## **5.2.1 MC**: ネットワーク設定

このページの設定を使用すれば、動的ホスト構成プロトコル(DHCP)、最大転送 単位(MTU)、およびシンプルネットワークマネージメントプロトコルの各パラメ ータを使用してプロファイルを構成することができます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。



Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
	ALL	Enable DHCP 11	C True & False	When this property is true, the Host or Zero Client will contact a DHC server to be assigned an IP address, subnet mask, gateway IP address and DNS servers. These parameters must to be set manually using this property is false.
г	ALL	Maximum NTU Size	bytes (600-1500)	The property allows for contriguistics of the Maximum Transmission Unit (MTU) packet also: A smaller MTU may be required in situations access as VPA transler because PCoF packets cannot be tragemented This property should be set to a value smaller than the nation's part will be risk and-bened contraction based met A Hola and Zaro Claint.
г	ALL	Enable SNMP	C True C False	The device's SNMP support is anabled when this value is true. When false the flevice will not respond to SNMP queries or generate traps.
г	ALL	SNMP NMS Address		Host and Zero Client devices can send SNUP traps to an SNUP Network Management System (NMS). This property configures the (P address or Fully Qualified Domain Name (FQDN) of the SNMP NMS
г	ALL	Enable SNMP Cold Start Trap	C True C False	When this property is true the Host or Zero Client sends SNMP cold start traps to the SNMP NMS after the device is powered on or reset
г	ALL	Enable SNMP V1 Traps	C True C False	Enable generation of SNMP v1 traps when true
Г	ALL	Enable SNMP V2c Traps	C True C False	Enable generation of SNMP v2o traps when true.
г	ALL	Enable Static IP Failback D	C True C False	When this property is true the device will use the failback IP address network and pateway when DHCP lease acquisition fails after timeor seconds of trying.
Г	ALL	Static Fallback IP Address D	0.0.0	The IP address to use when Static IP Paliback is enabled and DHCP issue acquisition fails.
Г	ALL	Static Fallback Subnet Mask O	0 0 0	The subnet mask to use when Static IP Paliback is enabled and DHC lasse acquisition fails.
		Clatte Callback Calaura Iddana		The optimized profession to use when Grade ID California is administrated

図 5-3: MC ネットワーク設定

表 5-7: MC ネットワーク設定パラメータ

パラメータ	説明
Enable DHCP	有効になっている場合は、デバイスが DHCP サーバに IP アドレス、 サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレス、および DNS サーバを 割り当てるように指示し、ドメイン名(オプション 15)、ホスト名 (オプション 12) 、およびクライアント完全修飾ドメイン名 (FQDN) も要求します。 無効になっている場合は、これらのパラメータを手動で設定する必要 があります。 注意:MC ディスカバリの場合は、デバイスがベンダクラスオプショ ン 60/43 も要求します。
	注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Maximum MTU Size	<ul> <li>最大転送単位パケットサイズを設定することができます。</li> <li>PCoIP パケットはフラグメント化することができないため、VPNトンネリングなどの状況では、MTUを小さくする必要があります。ホストとクライアント間のエンドツーエンド接続では、Maximum MTUSizeをネットワークパス MTUよりも小さな値に設定します。</li> <li>Maximum MTU Size の範囲は、すべてのファームウエアバージョンで600~1500 バイトです。</li> <li>注意: PCoIP ゼロクライアントと PCoIP ホストカード間のセッションのデフォルト MTU は 1400 です。</li> <li>VMware View などの PCoIP ソフトウエア (ホストまたはクライアント上)のデフォルト MTU は 1300 です。</li> </ul>

パラメータ	説明
Enable SNMP	有効になっている場合は、デバイスが PCoIP SNMP エージェントから SNMP 要求に応答できるようにします。SNMP エージェントを無効にすると、SNMP 要求に応答することも、トラップを生成することもできなくなります。また、PCoIP SNMP MIB にアクセスすることもできなくなります。
SNMP NMS Address	デバイスから SNMP ネットワーク管理システム(NMS)に SNMP ト ラップを送信したい場合は、SNMP NMS の IP アドレスまたは完全修 飾ドメイン名(FQDN)を入力します。
Enable SNMP Cold Start Trap	有効になっている場合は、デバイスが電源投入後またはリセット後に SNMP NMS に SNMP コールドスタートトラップを送信します。
Enable SNMP V1 Traps	有効になっている場合は、SNMPv1 トラップの生成が可能になります。
Enable SNMP V2c Traps	有効になっている場合は、SNMPv2cトラップの生成が可能になります。
Enable Static IP Fallback	有効になっている場合は、デバイスが、試行のタイムアウト時間が経 過して DHCP リースの取得に失敗したときに、フォールバック IP ア ドレス、ネットマスク、およびゲートウェイを使用します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Static Fallback IP Address	Static IP Fallback が有効で DHCP リースの取得に失敗した場合に使用する IP アドレスを設定します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。
Static Fallback Subnet Mask	Static IP Fallback が有効で DHCP リースの取得に失敗した場合に使用するサブネットマスクを設定します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。
Static Fallback Gateway Address	Static IP Fallback が有効で DHCP リースの取得に失敗した場合に使用するゲートウェイアドレスを設定します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。
Static Fallback Timeout	デバイスがフォールバックアドレス設定を使用する前に DHCP リー スの取得を試みる時間を秒単位で設定します。60 以上の値を入力す る必要があります。



パラメータ	説明
	注意:フォールバック設定がアクティブになるまでに、この値より もさらに最大 30 秒長くかかる場合があります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
SNMP Community Name	デバイスで使用される SNMP コミュニティ名を設定します。

## **5.2.2** AWI: ネットワーク設定

このページでは、ホストまたはクライアントのネットワーク設定を構成することができます。このページは、Configuration > Network メニューから表示することができます。このページでパラメータを更新したら、Apply をクリックして変更を保存します。

注意:ホストの Initial Setup ページとクライアントの Initial Setup ページからもネットワーク情報を設定することができます。

Network	
Change the network settings for the device	
Enable DHCP: 🔽	
IP Address: 192 168 54 133	
Subnet Mask: 255 255 0	
Gateway: 192 168 54 1	
Primary DNS Server: 192 168 1 50	
Secondary DNS Server: 192 168 1 52	
Domain Name: teradici.local	
FQDN: pcoip-portal-0030040ddbbc.teradici.local	
Ethernet Mode: Auto	
Maximum MTU Size: 1400 bytes	
Enable 802.1X Security:	
Authentication: TLS	
Identity:	
Client Certificate:	Choose
Apply Cancel	

図 5-4:AWI Network ページ

表 5-8: AWI Network ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable DHCP	有効になっている場合は、デバイスが DHCP サーバに IP アドレス、 サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレス、および DNS サーバを 割り当てるように指示し、ドメイン名(オプション 15)、ホスト名 (オプション 12)、およびクライアント完全修飾ドメイン名 (FQDN)も要求します。 無効になっている場合は、これらのパラメータを手動で設定する必要 があります。
IP Address	デバイスの IP アドレス。DHCP が無効になっている場合は、このフ ィールドを有効な IP アドレスに設定する必要があります。DHCP が 有効になっている場合は、このフィールドを編集することができませ ん。
Subnet Mask	デバイスのサブネットマスク。DHCP が無効になっている場合は、こ のフィールドを有効なサブネットマスクに設定する必要があります。 DHCP が有効になっている場合は、このフィールドを編集することが できません。 警告:不正な IP アドレス/サブネットマスクの組み合わせ(無効なマ スクなど)を設定すると、デバイスにアクセスできなくなる可能性が あります。サブネットマスクの設定は慎重に行ってください。
Gateway	デバイスのゲートウェイ IP アドレス。DHCP が無効になっている場合は、このフィールドが必須です。DHCP が有効になっている場合は、このフィールドを編集することができません。
Primary DNS Server	デバイスのプライマリ DNS IP アドレス。このフィールドは省略可能 です。コネクションマネージャの使用中に DNS サーバの IP アドレス が設定された場合は、コネクションマネージャアドレスを IP アドレ スの代わりに FQDN として設定することができます。
Secondary DNS Server	デバイスのセカンダリ DNS IP アドレス。このフィールドは省略可能 です。コネクションマネージャの使用中に DNS サーバの IP アドレス が設定された場合は、コネクションマネージャアドレスを IP アドレ スの代わりに FQDN として設定することができます。
Domain Name	ホストまたはクライアントのドメイン名( <b>"domain.local"</b> など)。こ のフィールドは省略可能です。
FQDN	ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名。デフォルトは pcoip-host- <mac>または pcoip-portal-<mac>です。ここで、<mac> はホストまたはクライアントの MAC アドレスです。使用された場合 はドメイン名が付加されます(pcoip-host-<mac>.domain.local な ど)。このページのこのフィールドは読み取り専用です。 注意:FQDN 機能を使用するには、DHCP オプション 81 を使用した</mac></mac></mac></mac>



パラメータ	説明
	DNS サーバを用意して正しく設定する必要があります。
Ethernet Mode	<ul> <li>次のようにホストまたはクライアントのイーサネットモードを設定することができます。</li> <li>Auto <ul> <li>100 Mbps Full-Duplex</li> <li>10 Mbps Full-Duplex</li> </ul> </li> <li>10 Mbps Full Duplex または 100 Mbps Full-Duplex を選択してからApply をクリックすると、次の警告メッセージが表示されます。</li> <li>Warning : When Auto-Negotiation is disabled on the PCoIP device, it must also be disabled on the switch. Additionally, the PCoIP device and switch must be configured to use the same speed and duplex parameters. Different parameters may result in a loss of network connectivity. Are you sure you want to continue?]</li> <li>パラメータを変更する場合は OK をクリックします。</li> <li>注意: 他のネットワーク機器 (スイッチなど) も 10 Mbps 全二重または 100 Mbps 全二重で動作するように設定されている場合は、必ず、イーサネットモードを Auto に設定し、10 Mbps Full-Duplex または 100 Mbps Full-Duplex 以外を使用しないようにする必要があります。イーサネットモードの設定が不適切な場合は、ネットワーク動作が PCoIP プロトコルでサポートされていない半二重になる可能性があります。セッションの品質が極端に低下して、最終的に停止します。</li> </ul>
Maximum MTU Size	<ul> <li>最大転送単位パケットサイズを設定することができます。</li> <li>PCoIP パケットはフラグメント化することができないため、VPNトンネリングなどの状況では、MTUを小さくする必要があります。ホストとクライアント間のエンドツーエンド接続では、Maximum MTUSizeをネットワークパス MTUよりも小さな値に設定します。</li> <li>Maximum MTU Size の範囲は、すべてのファームウエアバージョンで600~1500 バイトです。</li> <li>注意:PCoIP ゼロクライアントと PCoIP ホストカード間のセッションのデフォルト MTU は 1400 です。</li> <li>VMware View などの PCoIP ソフトウエア (ホストまたはクライアント上)のデフォルト MTU は 1300 です。</li> </ul>
Enable 802.1X Security	ネットワークで 802.1X セキュリティが使用されている場合は、すべ てのホストとゼロクライアントのこのフィールドを有効にします。有 効になっている場合は、Authentication フィールド、Identity フィー ルド、および Client Certificate フィールドを設定します。
Authentication	このフィールドは <b>TLS</b> (トランスポート層セキュリティ)に設定さ れ、グレーアウトされています。 <b>TLS</b> が現時点でサポートされている 唯一の認証プロトコルです。

パラメータ	説明
Identity	ネットワーク上でデバイスを識別するための識別文字列を入力しま す。
Client Certificate	Choose をクリックして 802.1X デバイスに使用するクライアント証 明書を選択します。表示された証明書のリストには、Certificate Upload ページからアップロードされた、秘密鍵を含む証明書が含ま れています。Network ページで選択した証明書は、Certificate Upload ページの読み取り専用 Client Certificate フィールドにリンク されています。 注意: PCoIP は1つの 802.1X クライアント証明書しかサポートして いません。セキュリティ詳細のすべてが1つのファイルに含まれてい ることを確認してください。802.1X 証明書には秘密鍵が含まれてい る必要があります。

# 5.2.3 OSD: ネットワーク設定

このページでは、クライアントのネットワーク設定を構成することができます。こ のページは、**Options > Configuration > Network** メニューから表示することができ ます。このページでパラメータを更新したら、**Apply** をクリックして変更を保存し ます。

Configuration	×
Network IPv6 Label Discovery Ses	sion Language OSD Display Reset
Change the network settings for the	e device
Enable DHCP:	¥
IP Address:	192, 168, 63, 68
Subnet Mask:	255 . 255 . 255 . 0
Gateway:	192, 168, 63, 1
Primary DNS Server:	192.168.1.52
Secondary DNS Server:	192.168.1.50
Domain Name:	teradici.local
FQDN:	pcolp-portal-emu000-0050569777c4.teradici.local
Ethernet Mode:	Auto
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-5:OSD Network ページ



#### 表 **5-9**: OSD Network ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable DHCP	有効になっている場合は、デバイスが DHCP サーバに IP アドレス、 サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレス、および DNS サーバを 割り当てるように指示し、ドメイン名(オプション 15)、ホスト名 (オプション 12) 、およびクライアント完全修飾ドメイン名 (FQDN) も要求します。 無効になっている場合は、これらのパラメータを手動で設定する必要 があります。
IP Address	デバイスの IP アドレス。DHCP が無効になっている場合は、このフ ィールドを有効な IP アドレスに設定する必要があります。DHCP が 有効になっている場合は、このフィールドを編集することができませ ん。
Subnet Mask	デバイスのサブネットマスク。DHCP が無効になっている場合は、こ のフィールドを有効なサブネットマスクに設定する必要があります。 DHCP が有効になっている場合は、このフィールドを編集することが できません。 警告:不正な IP アドレス/サブネットマスクの組み合わせ(無効なマ スクなど)を設定すると、デバイスにアクセスできなくなる可能性が あります。サブネットマスクの設定は慎重に行ってください。
Gateway	デバイスのゲートウェイ IP アドレス。DHCP が無効になっている場合は、このフィールドが必須です。DHCP が有効になっている場合は、このフィールドを編集することができません。
Primary DNS Server	デバイスのプライマリ DNS IP アドレス。このフィールドは省略可能 です。コネクションマネージャの使用中に DNS サーバの IP アドレス が設定された場合は、コネクションマネージャアドレスを IP アドレ スの代わりに FQDN として設定することができます。
Secondary DNS Server	デバイスのセカンダリ DNS IP アドレス。このフィールドは省略可能 です。コネクションマネージャの使用中に DNS サーバの IP アドレス が設定された場合は、コネクションマネージャアドレスを IP アドレ スの代わりに FQDN として設定することができます。
Domain Name	ホストまたはクライアントのドメイン名( <b>"domain.local"</b> など)。こ のフィールドは省略可能です。
FQDN	ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名。デフォルトは pcoip-host- <mac>または pcoip-portal-<mac>です。ここで、<mac> はホストまたはクライアントの MAC アドレスです。使用された場合 はドメイン名が付加されます (pcoip-host-<mac>.domain.local な ど)。このページのこのフィールドは読み取り専用です。 注意:FQDN 機能を使用するには、DHCP オプション 81 を使用した</mac></mac></mac></mac>

パラメータ	説明
	DNS サーバを用意して正しく設定する必要があります。
Ethernet Mode	次のようにホストまたはクライアントのイーサネットモードを設定す ることができます。
	Auto
	100 Mbps Full-Duplex
	10 Mbps Full-Duplex
	10 Mbps Full Duplex または 100 Mbps Full-Duplex を選択してから Apply をクリックすると、次の警告メッセージが表示されます。
	Warning : When Auto-Negotiation is disabled on the PCoIP device, it must also be disabled on the switch. Additionally, the PCoIP device and switch must be configured to use the same speed and duplex parameters. Different parameters may result in a loss of network connectivity. Are you sure you want to continue?
	パラメータを変更する場合は <b>OK</b> をクリックします。
	注意:他のネットワーク機器 (スイッチなど) も 10 Mbps 全二重ま たは 100 Mbps 全二重で動作するように設定されている場合は、必 ず、イーサネットモードを Auto に設定し、10 Mbps Full-Duplex ま たは 100 Mbps Full-Duplex 以外を使用しないようにする必要があり ます。イーサネットモードの設定が不適切な場合は、ネットワーク動 作が PCoIP プロトコルでサポートされていない半二重になる可能性 があります。セッションの品質が極端に低下して、最終的に停止しま す。

# 5.3 ラベル設定

# **5.3.1 AWI**: ラベル設定

Label ページでは、デバイスに名前を割り当てることができます。このページは、 ホストまたはクライアントの Configuration > Label メニューから表示することがで きます。

Label	
Change the PCoIP device labels	
PCoIP Device Name:	pcoip-portal-0030040ddbbc
	Note: When DHCP is enabled the PCoIP Device Name is sent to the DHCP server as the requested hostname.
PCoIP Device Description:	
Generic Tag:	
	Apply Cancel



#### 図 5-6:AWI Label ページ

#### 表 5-10: AWI Label ページパラメータ

パラメータ	説明
PCoIP Device Name	<ul> <li>ホストまたはクライアントに論理名を付けることができます。デフォルトは pcoip-host-</li> <li>MAC&gt;または pcoip-portal-</li> <li>MAC&gt;はデバイスの MAC アドレスです。</li> <li>このフィールドは、DHCP が有効になっており、システムが DNS サーバへのホスト名登録をサポートするように設定されている場合に、ホストまたはクライアントが DNS サーバに登録する名前です</li> <li>PCoIP Device Name がネットワーク上のエンドポイントごとに一意であり、以下の命名規則に従っていることを保証することが重要です。</li> <li>先頭と末尾の文字はアルファベット (A~Z または a~z) または数字 (0~9) にする必要があります。</li> <li>長さは 63 文字以下にする必要があります。</li> </ul>
PCoIP Device Description	デバイスのエンドポイントの場所など、デバイスの説明またはその他 の情報。 注意:ファームウエアはこのフィールドを使用しません。これは管理 者専用のフィールドです。
Generic Tag	デバイスに関する汎用タグ情報。 注意:ファームウエアはこのフィールドを使用しません。これは管理 者専用のフィールドです。

# **5.3.2** OSD: ラベル設定

Label ページでは、デバイスに名前を割り当てることができます。このページは、 Options > Configuration > Label メニューから表示することができます。

Configuration	x
Network IPv6 Label Discovery Ses	sion Language OSD Display Reset
Configure the device identification	
PCoIP Device Name:	pcolp-portal-008064a3126b
	Note: When DHCP is enabled the PCoIP Device Name is sent to the DHCP server as the requested hostname.
PCoIP Device Description:	
Generic Tag:	
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-7:OSD Label ページ

# 表 5-11:OSD Label ページパラメータ

パラメータ	説明	
PCoIP Device Name	ホストまたはクライアントに論理名を付けることができます。デフォ ルトは pcoip-host- <mac>または pcoip-portal-<mac>です。ここで、 <mac>はデバイスの MAC アドレスです。</mac></mac></mac>	
	このフィールドは、DHCP が有効になっており、システムが DNS サ ーバへのホスト名登録をサポートするように設定されている場合に、 ホストまたはクライアントが DNS サーバに登録する名前です	
	PColP Device Name がネットワーク上のエンドポイントごとに一意 であり、以下の命名規則に従っていることを保証することが重要で す。	
	<ul> <li>先頭と末尾の文字はアルファベット(A~Zまたはa~z)または 数字(0~9)にする必要があります。</li> </ul>	
	<ul> <li>残りの文字はアルファベット、数字、またはハイフンにする必要 があります。</li> </ul>	
	• 長さは 63 文字以下にする必要があります。	
PCoIP Device Description	デバイスのエンドポイントの場所など、デバイスの説明またはその他の情報。	
	注意:ファームウエアはこのフィールドを使用しません。これは管理	



パラメータ	説明	
	者専用のフィールドです。	
Generic Tag	デバイスに関する汎用タグ情報。 注意:ファームウエアはこのフィールドを使用しません。これは管理 者専用のフィールドです。	

# 5.4 デバイスディスカバリの設定

## **5.4.1 MC**: ディスカバリ設定

このページの設定を使用すれば、ネットワーク上の場所に関する知識がなくても、 SLPディスカバリ、PCoIP MC DNS ベースのディスカバリプレフィックス、または DNS-SRV ディスカバリを使用して PCoIP システム内のホストとクライアントを動 的に発見するようにプロファイルを構成することができます。ディスカバリメカニ ズムを使用すれば、複雑なシステムの設定工数と保守工数を大幅に減らすことがで きます。

注意:SLPディスカバリメカニズムでは、すべての PCoIP デバイスと MC が同じネ ットワークサブネット上に存在する必要があります。SLP ディスカバリをサブネッ ト全体で機能させるためには、サブネット間でマルチキャストトラフィックを転送 するようにルータを設定する必要があります。ほとんどのデプロイメントではこれ が不可能なため、DNS-SRV ディスカバリをお勧めします。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

Image: Control of the conter contrecont control of the control of the control of	Set in Profile	Family	Property Name	Value	Description
Image: Comparison of the control of the con	r	ALL	Enable SLP Discovery O	@ True @ False	When this property is true, the Host or Zero Client can be dynamically discovered by 3LP management entities, without requiring price incudegy of their location in the network. Using a discovery mechanism and dramatically reduce configuration and maintenance effort for complex systems. This discovery mechanism is independent of DNS SMV discovery.
ALL Enable DNS-SRV Discovery ID     True      False     Wher this property is true. the Host of Zero Diane automatically schwar theready is to the PCOP broker, without requiring pior knowledge of its boation in the network. Using a Society mechanism can dismatically schwar theory mechanism is independent of SLP Society. The Society mechanism is the property Strue. The State of State Society mechanism is the second schward for SLP Society. The Society mechanism is the second schward sc	٣	ALL	PCoIP MC DNS-Based Discovery Prefix ©	[	This property can be used to direct the device to contact a particular PCo IVC in environments where there is more than one Management Concile in use. There are several restrictions on its operation, please refer to the PCoIPINC User Manael before using this property.
ALL DNS-SRV Discovery Delay     S (300-9999)     This property defines the amount of delay time in seconds between DN     SRV Discovery attempts. DNS SRV Discovery continues periodically u     device is successful in contacting a Connection Management Serve     Sawa     Cannel	г	ALL	Enable DNS-SRV Discovery	C True & False	When this property is true, the Host or Zero Client automatically advertis theraselves to the PCuPB broker, without requiring prior knowledge of no costoin in the method. Using a discovery mechanism can dimensionally reduce configuration and mainteance effort for complex systems. This discovery mechanism is indegendent of SLP discovery. This discovery mechanism is indegendent of SLP discovery mechanism.
Sava Cannal	Г	ALL	DNS-SRV Discovery Delay	s (300-9999)	This property defines the amount of delay time in seconds between DNS SRV Discovery attempts. DNS SRV Discovery continues periodically un the device is successful in contacting a Connection Management Server.
Care Care				Save Cancel	

図 5-8: MC ディスカバリ設定

## 表 5-12: MC ディスカバリ設定パラメータ

パラメータ	説明
Enable SLP Discovery	有効になっている場合は、ホストとクライアントを、SLP 管理エンテ ィティを通して動的に発見することができます。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
PCoIP MC DNS-Based Discovery Prefix	このプロパティは、複数の管理コンソールが使用されている環境内の 特定の PCoIP MC にデバイスから接触するように指示するために使 用します。この動作にはいくつかの制約があります。このプロパティ を使用する前に、『PCoIP Management Console User Manual』 (TER0812002)を参照してください。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Enable DNS-SRV Discovery	<ul> <li>有効になっている場合:</li> <li>ホストとクライアントが、ネットワーク上の場所に関する知識がなくても、自動的に、自らをコネクションブローカにアドバタイズします。</li> <li>ホストまたはクライアントが DNS から DNS SRV レコードをダウンロードして使用しようとします。</li> <li>このディスカバリメカニズムの詳細については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。</li> <li>注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。</li> </ul>



パラメータ	説明
DNS-SRV Discovery Delay	コネクションブローカと管理コンソールに対して DNS SRV ディスカ バリを試みる時間間隔を秒単位で設定します。DNS SRV ディスカバ リは、デバイスが接続管理サーバに正常に接触するまで定期的に繰り 返されます。

## **5.4.2** AWI: ディスカバリ設定

このページの設定を使用すれば、ネットワーク上の場所に関する知識がなくても、 管理エンティティを通して、PCoIPシステム内のホストとクライアントを動的に発 見することができます。ディスカバリメカニズムを使用すれば、複雑なシステムの 設定工数と保守工数を大幅に減らすことができます。

このページは、ホストまたはクライアントの Configuration > Discovery メニューから表示することができます。

注意:SLPディスカバリメカニズムでは、すべてのPCoIPデバイスとMCが同じネットワークサブネット上に存在する必要があります。SLPディスカバリをサブネット全体で機能させるためには、サブネット間でマルチキャストトラフィックを転送するようにルータを設定する必要があります。ほとんどのデプロイメントではこれが不可能なため、DNS-SRVディスカバリをお勧めします。

Disc	overy
Autom	atically discover other PCoIP devices
	Enable SLP Discovery:
	Enable DNS SRV Discovery:
	DNS SRV Discovery Delay: 300 seconds
	Apply Cancel

図 5-9 : AWI Discovery ページ

表 5-13	: AWI	Discovery	v ページパラ	メータ
--------	-------	-----------	---------	-----

パラメータ	説明
Enable SLP Discovery	有効になっている場合は、ホストとクライアントを、SLP 管理エンテ ィティを通して動的に発見することができます。

パラメータ	説明
Enable DNS-SRV Discovery	<ul> <li>有効になっている場合:</li> <li>ホストとクライアントが、ネットワーク上の場所に関する知識がなくても、自動的に、自らをコネクションブローカにアドバタイズします。</li> <li>ホストまたはクライアントが DNS から DNS SRV レコードをダウンロードして使用しようとします。</li> <li>このディスカバリメカニズムの詳細については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。</li> <li>注意: Enable DNS SRV Discovery オプションは、コネクションブローカのディスカバリを設定しますが、PCoIP 管理コンソールのDNS SRV 機能に影響を与えません。</li> </ul>
DNS-SRV Discovery Delay	コネクションブローカと管理コンソールに対して DNS SRV ディスカ バリを試みる時間間隔を秒単位で設定します。DNS SRV ディスカバ リは、デバイスが接続管理サーバに正常に接触するまで定期的に繰り 返されます。 注意: Enable DNS SRV オプションは PCoIP 管理コンソールの DNS SRV 機能に影響を与えません。PCoIP 管理コンソールには DNS SRV Discovery Delay が使用されます。DNS SRV レコードがインストール されていない場合は、遅延を最大値の"9999"に設定することをお勧め します。これにより、ホストまたはクライアントによる PCoIP 管理 コンソールへの接触の試みが最小限に抑えられます。

## **5.4.3** OSD: ディスカバリ設定

このページの設定を使用すれば、ネットワーク上の場所に関する知識がなくても、 サービスロケーションプロトコル (SLP) 管理エンティティを通して、PCoIP シス テム内のホストとクライアントを動的に発見することができます。ディスカバリメ カニズムを使用すれば、複雑なシステムの設定工数と保守工数を大幅に減らすこと ができます。

このページは、Options > Configuration > Discovery メニューから表示することができます。

注意:SLPディスカバリメカニズムでは、すべてのPCoIPデバイスとMCが同じネットワークサブネット上に存在する必要があります。SLPディスカバリをサブネット全体で機能させるためには、サブネット間でマルチキャストトラフィックを転送するようにルータを設定する必要があります。ほとんどのデプロイメントではこれが不可能なため、DNS-SRVディスカバリをお勧めします。これは、AWI Discovery ページまたは MC Discovery Configuration ページから設定することができます。



Configuration						×
Network IPv6 Label Discovery	Session Lar	nguage OS	SD Display	Reset		
Automatically discover other PC	oIP devices					
Enable Discover	y: 💌					
Link			0	к 1	Cancel	Annly

図 5-10 : OSD Discovery ページ

#### 表 5-14: OSD Discovery ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable Discovery	有効になっている場合は、ホストを、SLP 管理エンティティを通して 動的に発見することができます。

# 5.5 SNMP の設定

## **5.5.1 MC: SNMP** 設定に関するヘルプ

管理コンソール用の SNMP 設定は、MC の <u>Network Configuration</u>ページに配置されています。

注意: PCoIP SNMP エージェントの使用方法については、『Using SNMP with a PCoIP Device User Guide』 (TER0805002) を参照してください。

## 5.5.2 AWI: SNMP 設定

SNMP ページでは、ホストまたはクライアントの SNMP エージェントを有効または 無効にすることができます。このページは、ホストまたはクライアントの Configuration > SNMP メニューから表示することができます。 注意: PCoIP SNMP エージェントの使用方法については、『Using SNMP with a PCoIP Device User Guide』 (TER0805002) を参照してください。

SNMP		
Change the S	configuration	
	Easter CHMP: D	
	Chaule Shirler In	-
	ommunity Name: public	
	Apply Cancel	

図 5-11 : AWI SNMP ページ

#### 表 5-15: AWI SNMP ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable SNMP	有効になっている場合は、デバイスが PCoIP SNMP エージェントから SNMP 要求に応答できるようにします。SNMP エージェントを無効にすると、SNMP 要求に応答することも、トラップを生成することもできなくなります。また、PCoIP SNMP MIB にアクセスすることもできなくなります。
Community Name	デバイスで使用される SNMP コミュニティ名を設定します。

## 5.6 セッションの設定

#### **5.6.1** セッションの設定

MC、AWI、および OSD 上の Session ページでは、ホストまたはクライアントデバ イスからピアデバイスへの接続方法やホストまたはクライアントデバイスのピアデ バイスからの接続の受け入れ方法を設定することができます。使用可能な設定オプ ションは、選択されたセッション接続タイプによって異なります。

#### セッション接続タイプ

次の3つの主なセッション接続タイプがあります。

- Direct to Host (SLP ホストディスカバリを使用するためのオプション付き)
- <u>View Connection Server</u> (さまざまなオプション付き)
- <u>Connection Management Interface</u>

#### Direct to Host セッション

Direct to Host セッションは、ゼロクライアントと、PCoIP ホストカードが実装され たリモートワークステーション間の直接接続です。ホストの DNS 名または IP アド



レスを指定したり、クライアントを、サービスロケーションプロトコル(SLP)を 通してホストを発見するように設定したりすることができます。セッションが失わ れたときに自動的にホストに再接続するようにクライアントを設定することもでき ます。

表 5-16:直接セッション接続

管理ツール	デバイス	セッション接続オプション
MC	すべてのデバイス ファミリ	<u>Direct to Host</u> <u>Direct to Host + SLP ホストディスカバリ</u>
AWI	ホスト	Direct from Client
	クライアント	<u>Direct to Host</u> <u>Direct to Host + SLP ホストディスカバリ</u>
OSD	クライアント	<u>Direct to Host</u> <u>Direct to Host + SLP ホストディスカバリ</u>

## VMware View 仮想デスクトップ接続

VMware View セッションは、VMware View Connection Server とコネクションマネー ジャ (<u>コネクションブローカ</u>とも呼ばれる)を使用したゼロクライアントと VMware View 仮想デスクトップ間の接続です。VMware View セッションは、基本モ ード、自動ログオンモード、VMware View キオスクモード、および Imprivata OneSign モードで設定することができます。

表 5-17:直接セッション接続

管理ツール	デバイス	セッション接続オプション
MC	すべてのデバイス ファミリ	<u>View Connection Server</u> <u>View Connection Server + 自動ログオン</u> <u>View Connection Server + キオスク</u> <u>View Connection Server + Imprivata OneSign</u>
AWI	クライアント	<u>View Connection Server</u> <u>View Connection Server + 自動ログオン</u> <u>View Connection Server + キオスク</u> <u>View Connection Server + Imprivata OneSign</u>
OSD	クライアント	<u>View Connection Server</u> <u>View Connection Server + 自動ログオン</u>

管理ツール	デバイス	セッション接続オプション
		<u>View Connection Server + キオスク</u> <u>View Connection Server + Imprivata OneSign</u>

## Connection Management Interface $\forall \gamma \dot{\mathcal{V}} \exists \mathcal{V}$

Connection Management Interface は、外部のコネクションマネージャを<u>コネクション</u> ブローカとして設定するために使用します。

管理ツール	デバイス	セッション接続オプション
MC	すべてのデバイス ファミリ	Connection Management Interface
AWI	ホスト	Connection Management Interface
	クライアント	Connection Management Interface
OSD	クライアント	Connection Management Interface

表 5-18:直接セッション接続

#### **5.6.2** MC: Direct to Host セッション設定

クライアントを直接ホストに接続するようにプロファイルを設定するには、MC で Direct to Host セッション接続タイプを選択します。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

この選択を変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。

注意:特定のホストとクライアントのリンク方法については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。ピアリングプロパティを使用して特定のホストを設定する(特定のMACアドレスではなく任意のピアを受け入れるするためなど)には、AWIの<u>Direct from Client</u>セッション設定を使用します。


Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
9	ALL	Session Connection Type O	Direct to Host	This setting controls how the PCoIP device initiates and receives PCoIP sessions.
г	ALL	Enable Auto Reconnect ©	C True & False	When this property is true the Zero Clent automatically reconnects with the last connected Host when a session is disconnected.
г	ALL	Enable Peer Loss Overlay	@ True @ False	When this property is false the Zero Client will not display the peer lost overlay that normally appears whenever end-to-end network communications fail.
г	ALL	Enable Preparing Desktop Overlay	C True C False	This property controls the "preparing desktop" overlay that shows up when transitioning from the OSD into the session
г	ALL	Enable Session Disconnect Hotkey	C True & False	This property controls whether the hotkey can be used to disconnect from the session
г	ALL	Disconnect Dialog Display Mode	Show All	The setting can be used to filter out some all of the session disconnect reason dialog These are the dialogs shown when a sessio ends for any reason other than a user- initiated disconnect.
г	ALL	Session Lost Timeout	s (5-60)	This property configures the timeout for th connection of an active session. If the timeout period elapses without the PCoIP probasion receiving data from its peer, the PCoIP processor will disconnect the session

図 5-12: MC セッション接続タイプ – Direct to Host

#### 表 5-19: MC セッション設定パラメータ

パラメータ	説明
Enable Auto Reconnect	有効になっている場合は、セッションが失われたときに、クライアン トが自動的に最後に接続していたホストに再接続します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Dialog Display Mode	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。

パラメータ	説明
	<b>情報</b> :セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告</b> :セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク
	ション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x300</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x402</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x403</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x404</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	以下の表示を選択することができます。
	1. Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ



パラメータ	説明	
	2. 3.	ージを表示します。 Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。 Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4.	Show None – どの切断メッセージも表示しません。
Session Lost Timeout		クティブセッションの接続に関するタイムアウト(秒単位)を入力 ます。このフィールドの有効タイムアウト範囲は 5~60 秒です。こ タイムアウト期間が満了になるとセッションが切断されます。

### 5.6.3 MC: Direct to Host Session + SLP ホストディスカバリ 設定

クライアントを直接ホストに接続するようにプロファイルを設定して、サービスロ ケーションプロトコル (SLP)を通してホストを動的に発見するようにクライアン トを設定するる場合は、MC で Direct to Host + SLP ホストディスカバリセッション 接続タイプを選択します。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

この選択を変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。

注意:特定のホストとクライアントのリンク方法については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。ピアリングプロパティを使用して特定のホストを設定する(特定のMACアドレスではなく任意のピアを受け入れるするためなど)には、AWIの<u>Direct from Client</u>セッション設定を使用します。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
9	ALL	Session Connection Type O	Direct to Host + SLP Host Discovery	This setting controls how the PCoIP device initiates and receives PCoIP sessions.
г	ALL	Enable Auto Reconnect D	C True & False	When this property is true the Zaro Clent automatically reconnects with the last connected Host when a session is disconnected.
г	ALL	Enable Peer Loss Overlay	@ True @ False	When this property is false the Zero Clien will not display the peer lost overlay that normally appears whenever end-to-end network communications fail
г	ALL	Enable Preparing Desktop Overlay	C True C Faise	This property controls the "preparing desktop" overlay that shows up when transitioning from the OSD into the sessio
г	ALL	Enable Session Disconnect Hotkey	C True & False	This property controls whether the hotkey can be used to disconnect from the session
г	ALL	Disconnect Dialog Display Mode	Show All	The setting can be used to filter out some all of the session disconnect reason dislog These are the dislogs shoun ulter a setsi ends for any reason other than a user- initiated disconnect.
г	ALL	Session Lost Timeout	s (5-60)	This property configures the timeout for th connection of an active session. If the timeout period elapses without the PCoIP probasion receiving data from its peer, the PCoIP processor will disconnect the session PCoIP processor will be active a session PCoIP processor will be active a session PCOIP processor will be a set of the set of t

図 5-13: MC セッション接続タイプ – Direct to Host + SLP ホストディスカバリ

表 5-20: MC セッション設定パラメータ

パラメータ	説明
Enable Auto Reconnect	有効になっている場合は、セッションが失われたときに、クライアン トが自動的に最後に接続していたホストに再接続します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Dialog Display Mode	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。



パラメータ	説明
	<b>情報:</b> セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告:</b> セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	<b>エラー:</b> セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	• 接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。
	• 接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援</li> <li>を要請してください</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援</li> <li>を要請してください</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援</li> <li>を要請してください</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ</li> </ol>

パラメータ	説明	
	2.	ージを表示します。 Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。
	3. 4.	Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。 Show None – どの切断メッセージも表示しません。
Session Lost Timeout	アしの	クティブセッションの接続に関するタイムアウト(秒単位)を入力 ます。このフィールドの有効タイムアウト範囲は 5~60 秒です。こ タイムアウト期間が満了になるとセッションが切断されます。

#### 5.6.4 MC: View Connection Server セッション設定

VMware View Connection Server を使用してクライアントを仮想デスクトップに接続 するようにプロファイルを設定する場合は、MC で View Connection Server セッシ ョン接続タイプを選択します。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

この選択を変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
9	ALL	Session Connection Type O	View Connection Server	This setting controls how the PCoIP device initiates and receives PCoIP sessions.
г	ALL	View Connection Server Address		In a Weare Vew environment this property sets the IP address or the FQDN of the View Connection Serve
r	ALL	Desitop Name to Select		When the desixtop pool list includes a pool with this name then the Zero Client will immediately start a session with that pool. The comparison is can insensitive.
г	ALL	View Connection Server Port	(0-65536)	When SSL is used to communicate with the View Connection Server the default port is 443. If using firmnere 3.x.x and SSL communication is not enabled the default port is 80.
F	ALL	Enable View Connection Server SSL	C True C False	Enables SSL communications with the View Connection Server. This proper has no effect on Serves running firmware version 4.0.0 or greater. The SSL communication with the View Connection Server is always enabled on devices running firmware version 4.0.0 or greater.
F	ALL	Certification Check Mode	Warn if the connection may be insecure (Default)	This property controls the level of verification performed on the certificate presented by the View Connection Service The levels match

図 5-14: MC セッション接続タイプ – View Connection Server

表 5-21: MC セッション設定パラメータ



パラメータ	説明
View Connection Server Address	View Connection Serverの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 (FQDN)を入力します。
Desktop Name to Select	セッションを開始するときにクライアントが使用するプール/デスクト ップ名を入力します。 注意:この設定は省略可能です。
View Connection Server Port	View Connection Server との通信に SSL が使用されている場合のデフ オルトポートは 443 です。SSL 通信が無効になっている場合のデフォ ルトポートは 80 です。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
Enable View Connection Server SSL	有効になっている場合は、View Connection Server との SSL 通信が可 能になります。 注意:このプロパティは、View Connection Server との SSL 通信が常 に有効になっているファームウエア 4.0.0 以降を実行しているデバイ スには影響を与えません。
Certification Check Mode	<ul> <li>クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認できない場合の動作を選択します。</li> <li>Warn if the connection may be insecure (Default): 未署名のまたは期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署名されておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合に警告を表示するようにクライアントを設定します(このオプションはデフォルトで選択されています)。</li> <li>Reject the unverifiable connection (Secure): 信頼できる有効な証明書がインストールされていない場合に接続を拒否するようにクライアントを設定します。</li> <li>Allow the unverifiable connection (Not Secure): すべての接続を許可するようにクライアントを設定します。</li> </ul>
Certification Check Lockout Mode	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにする場合は、このプロパティを Locked に設定します。
Clear Trusted Connection Server Cache	有効になっている場合は、信頼できる View Connection Server のキャ ッシュがクリアされます。
Enable View Connection Server Auto Connect	有効になっている場合は、クライアントが、電源がオンになっている ときはいつでも、または、仮想デスクトップとのセッションが終了し たときに、自動的に、選択された View Connection Server に接続しま す。

パラメータ	説明
Connection Server Cache Mode	<ul> <li>このフィールドは、ユーザが有効なサーバアドレスを入力したときに View Connection Server を OSD Connect ページの Server ドロップ ダウンメニューに動的に追加するかどうか、または、ユーザが選択す るための読み取り専用リストに View Connection Server を表示するか どうかを決定します。</li> <li>Last servers used:ユーザが入力したキャッシュサーバのリスト を OSD Connect ページの Server ドロップダウンメニューに表示 したい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>Read-only:ユーザに読み取り専用リストから View Connection Server を選択させたい場合にこのオプションを選択します。</li> </ul>
Connection Server Cache Entry (1 to 25)	<ul> <li>ユーザの OSD Connect ページ内のキャッシュに表示する、必要な数のフィールド(最大 25)を有効にして、それぞれに対して、ユーザの接続を許可する View Connection Server の IP アドレスまたは FQDNを入力します。</li> <li>Connection Server Cache Mode フィールドで Last servers used が選択されている場合は、ユーザが有効なサーバ IP アドレスまたは FQDN を入力するたびに新しい View Connection Server が Server ドロップダウンメニューに追加されます。</li> <li>Read-only が選択されている場合は、ユーザは Server ドロップダウンメニュー内の読み取り専用リストからしかサーバを選択することができません。</li> </ul>
Self Help Link Mode	有効になっている場合は、VMware View ユーザ認証画面上でセルフへ ルプリンクが有効になります。
Auto Launch If Only One Desktop	有効になっている場合は、ユーザ資格情報の入力後に、自動的に、ユ ーザが仮想デスクトップに接続されます。
Enable Login Username Caching	有効になっている場合は、ユーザ名テキストボックスに、自動的に、 最後に入力されたユーザ名が設定されます。
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロゴ は <u>OSD Logo Upload</u> ページでアップロードすることができます。
Prefer GSC-IS Over PIV Endpoint	選択されている場合は、スマートカードで CAC (GSC-IS) や PIV エ ンドポイントなどの複数のインターフェースがサポートされていれ ば、GSC-IS インターフェースが使用されます。スマートカードで CAC と PIV エンドポイントのどちらかなどの 1 つのインターフェー スしかサポートされていない場合は、この設定に関係なく、CAC また は PIV エンドポイントインターフェースのみが使用されます。これ は、PCoIP セッション以外で実行されるスマートカードアクセスにの み影響を与えます。
Enable Peer Loss	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき



パラメータ	説明
Overlay	に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Dialog Display Mode	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。 情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクショ ン: 別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。 第四者が切断を実行したために切断されました。 リークステーションを切断したために切断されました。 サークステーションを切断したために切断されました。 ************************************

パラメータ	説明		
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	以下の表示を選択することができます。		
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>		
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>		
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。		
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。		
Session Lost Timeout	アクティブセッションの接続に関するタイムアウト(秒単位)を入力 します。このフィールドの有効タイムアウト範囲は5~60秒です。こ のタイムアウト期間が満了になるとセッションが切断されます。		

# 5.6.5 MC: View Connection Server + 自動ログオンセッション 設定

クライアントが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続する ときに自動的にユーザのログイン詳細を入力するようにプロファイルを設定する場 合は、MC で View Connection Server + 自動ログオンセッション接続タイプを選択し ます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

この選択を変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。



Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
9	ALL	Session Connection Type C	View Connection Server + Auto-Logon	This setting controls how the PCoIP device initiates and receives PCoIP sessions.
Г	ALL	View Connection Server Address		In a VMware View environment this property sets the IP address or the FQDN of the View Connection Service
г	ALL	Auto-Logon Username		Specifies the Auto-Logon username. When Auto-Logon is enabled this is t username sent to the VDM server.
г	ALL	Auto-Logon Password		Specifies the Auto-Logon password. When Auto-Logon is enabled this is to password sent to the VDM server.
г	ALL	Auto-Logon Domain	r	Specifies the Auto-Logon domain. When Auto-Logon is enabled this is t domain sent to the VDM server.
г	ALL	Desitop Name to Select		When the desktop pool ist includes pool with this name then the Zero Client will immediately start a sessio with that pool. The comparison is car insertive.
г	ALL	View Connection Server Port	(0-65535)	When SSL is used to communicate with the View Connection Server the default port is 443. If using Timuare 3 x x and SSL communication is not enabled the default port is 80
-		Enable View Connection Server		Enables SSL communications with the View Connection Server. This proper has no effect on devices running formation water to 0.0 or smaller. To

図 5-15: MC セッション接続タイプ – View Connection Server + 自動ログオン

#### 表 5-22: MC セッション設定パラメータ

パラメータ	説明
View Connection Server Address	View Connection Server の IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 (FQDN)を入力します。
Auto-Logon Username	指定した View Connection Server に送信するユーザ名を入力します。
Auto-Logon Password	指定した View Connection Server に送信するパスワードを入力します。
Auto-Logon Domain	指定した View Connection Server に送信するドメインを入力します。
Desktop Name to Select	セッションを開始するときにクライアントが使用するプール/デスク トップ名を入力します。 注意:この設定は省略可能です。
View Connection Server Port	View Connection Server との通信に SSL が使用されている場合のデ フォルトポートは 443 です。SSL 通信が無効になっている場合のデ フォルトポートは 80 です。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
Enable View Connection	 有効になっている場合は、View Connection Server との SSL 通信が

パラメータ	説明
Server SSL	可能になります。 注意:このプロパティは、View Connection Server との SSL 通信が 常に有効になっているファームウエア 4.0.0 以降を実行しているデバ イスには影響を与えません。
Certification Check Mode	<ul> <li>クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認で きない場合の動作を選択します。</li> <li>Warn if the connection may be insecure (Default): 未署名のま たは期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署 名されておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合 に警告を表示するようにクライアントを設定します (このオプシ ョンはデフォルトで選択されています)。</li> <li>Reject the unverifiable connection (Secure): 信頼できる有効 な証明書がインストールされていない場合に接続を拒否するよう にクライアントを設定します。</li> <li>Allow the unverifiable connection (Not Secure): すべての接続 を許可するようにクライアントを設定します。</li> </ul>
Certification Check Lockout Mode	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにする場合は、このプロパティを Locked に設定します。
Clear Trusted Connection Server Cache	有効になっている場合は、信頼できる View Connection Server のキ ャッシュがクリアされます。
Enable View Connection Server Auto Connect	有効になっている場合は、クライアントが、電源がオンになっている ときはいつでも、または、仮想デスクトップとのセッションが終了し たときに、自動的に、選択された View Connection Server に接続し ます。
Connection Server Cache Mode	<ul> <li>このフィールドは、ユーザが有効なサーバアドレスを入力したときに View Connection Server を OSD Connect ページの Server ドロップ ダウンメニューに動的に追加するかどうか、または、ユーザが選択す るための読み取り専用リストに View Connection Server を表示する かどうかを決定します。</li> <li>Last servers used:ユーザが入力したキャッシュサーバのリス トを OSD Connect ページの Server ドロップダウンメニューに 表示したい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>Read-only:ユーザに読み取り専用リストから View Connection Server を選択させたい場合にこのオプションを選択します。</li> </ul>
Connection Server Cache Entry (1 to 25)	<ul> <li>ユーザの OSD Connect ページ内のキャッシュに表示する、必要な数のフィールド(最大 25)を有効にして、それぞれに対して、ユーザの接続を許可する View Connection Server の IP アドレスまたはFQDN を入力します。</li> <li>Connection Server Cache Mode フィールドで Last servers</li> </ul>



パラメータ	説明
	<ul> <li>used が選択されている場合は、ユーザが有効なサーバ IP アドレスまたは FQDN を入力するたびに新しい View Connection Serverが Server ドロップダウンメニューに追加されます。</li> <li>Read-only が選択されている場合は、ユーザは Server ドロップダウンメニュー内の読み取り専用リストからしかサーバを選択することができません。</li> </ul>
Auto Launch If Only One Desktop	有効になっている場合は、ユーザ資格情報の入力後に、自動的に、ユ ーザが仮想デスクトップに接続されます。
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代 わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロ ゴは <u>OSD Logo Upload</u> ページでアップロードすることができます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Dialog Display Mode	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。 情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクショ ン: 別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。 管理者が切断を実行したために切断されました。 別の場所からログインしたために切断されました。 ワークステーションを切断したために切断されました。 警告:セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクショ ン: セッションがタイムアウトしたために切断されました。

パラメータ	説明		
	ション:		
	• 切断されました。		
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>		
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	以下の表示を選択することができます。		
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>		
	2. Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ		
	ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。		
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。		
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。		
Session Lost Timeout	アクティブセッションの接続に関するタイムアウト(秒単位)を入力 します。このフィールドの有効タイムアウト範囲は5~60秒です。こ のタイムアウト期間が満了になるとセッションが切断されます。		

PCoIP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



#### **5.6.6** MC: View Connection Server + キオスクセッション設定

クライアントが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続する ときにキオスクモードを使用するようにプロファイルを設定する場合は、MC で View Connection Server + キオスクセッション接続タイプを選択します。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

この選択を変更し	した場合はデバイ	スを再起動す	る必要があります	0
----------	----------	--------	----------	---

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
9	ALL	Session Connection Type C	View Connection Server + Kiosk	This setting controls how the PCoIP device initiates and receives PCoIP sessions.
п	ALL	View Connection Server Address		In a Vitware View environment this property sets the IP address or the PQDN of the View Connection Server
г	ALL	Use Klosk Custom Username	@ True @ False	This property determines the form a kicek mode Zero Client presents to th View Connection Service. When Table the Zero Client uses a client MAC- based usersame of the form 'OM- AA BE-CC-DD EE FF'. When twick the login name presented is "Custom-JOC where 30X is value of Klock Mode Custom Username.
-	ALL	Kiosk Mode Custom Username	F	When a klosk mode Zero Client is configured to use a custom username of the form "Custom-IOC" this field sets the "COC" part. It is limited to 13 characters.
г	ALL	Kiosk Mode Password		The password used to access a remo desktop in klosk mode. This value is optional.
г	ALL	View Connection Server Port	(0-65535)	When SSL is used to communicate with the View Connection Server the default port is 443. If using ferminate 3.x.x and SSL communication is not enabled the default port is 80.
				Enables SSL communications with the

図 5-16: MC セッション接続タイプ – View Connection Server + キオスク

表 5-23: MC セッション設定パラメータ

パラメータ	説明
View Connection Server Address	View Connection Server の IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 (FQDN)を入力します。
Use Kiosk Custom Username	有効になっている場合は、ログイン名が"Custom- <xxx>"として表示 されます。ここで、"XXX"は Kiosk Mode Custom Username の値で す。無効になっている場合は、クライアントが"CM- AA:BB:CC:DD:EE:FF"という形式の MAC ベースのユーザ名を使用し ます。</xxx>
Kiosk Mode Custom Username	<b>Use Kiosk Custom Username</b> が"Custom- <xxx>"という形式のカス タムユーザ名を使用するように設定されている場合に、"XXX"コンポ ーネントの値を入力します。このフィールドは最大 13 文字に制限さ れています。</xxx>

パラメータ	説明
Kiosk Mode Password	キオスクモードで仮想デスクトップにアクセスするためのパスワード を入力します。 注意:この設定は省略可能です。
View Connection Server Port	View Connection Server との通信に SSL が使用されている場合のデ フォルトポートは 443 です。SSL 通信が無効になっている場合のデ フォルトポートは 80 です。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
Enable View Connection Server SSL	有効になっている場合は、View Connection Server との SSL 通信が 可能になります。 注意:このプロパティは、View Connection Server との SSL 通信が 常に有効になっているファームウエア 4.0.0 以降を実行しているデバ イスには影響を与えません。
Certification Check Mode	<ul> <li>クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認で きない場合の動作を選択します。</li> <li>Warn if the connection may be insecure (Default): 未署名のま たは期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署 名されておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合 に警告を表示するようにクライアントを設定します (このオプシ ョンはデフォルトで選択されています)。</li> <li>Reject the unverifiable connection (Secure): 信頼できる有効 な証明書がインストールされていない場合に接続を拒否するよう にクライアントを設定します。</li> <li>Allow the unverifiable connection (Not Secure): すべての接続 を許可するようにクライアントを設定します。</li> </ul>
Certification Check Lockout Mode	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにする場合は、このプロパティを Locked に設定します。
Clear Trusted Connection Server Cache	有効になっている場合は、信頼できる View Connection Server のキ ャッシュがクリアされます。
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロゴは OSD Logo Upload ページでアップロードすることができます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり



パラメータ	説明
	ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Dialog Display Mode	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。 情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクショ
	<ul> <li>「日報: ビッションに影響を与えるユーッまたは普理者によるケッション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>アーションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:</li> <li>切断されました。</li> <li>接続できません (0x1001) 。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>接続できません (0x1002) 。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>セッションがリモートで閉じられました (原因不明) 。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました (0x100) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました (0x301) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました (0x301) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました (0x302) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました (0x303) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました (0x303) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました (0x303) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>

パラメータ	説明		
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	以下の表示を選択することができます。		
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>		
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>		
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。		
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。		
Session Lost Timeout	アクティブセッションの接続に関するタイムアウト(秒単位)を入力 します。このフィールドの有効タイムアウト範囲は5~60秒です。こ のタイムアウト期間が満了になるとセッションが切断されます。		

# 5.6.7 MC: View Connection Server + Imprivata OneSign セッション設定

クライアントが仮想デスクトップに接続するときに View Connection Server に加えて Imprivata OneSign システム経由でも認証するようにプロファイルを設定する場合は、 MC で View Connection Server + Imprivata OneSign セッション接続タイプを選択し ます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

この選択を変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。



Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
9	ALL	Session Connection Type C	View Connection Server + Imprivata OneSign 💌	This setting controls how the PCoIP device initiates and receives PCoIP sessions.
г	ALL	Onesign Bootstrap URL		This is the bootstrap URL used to fin- an initial OneSign server in a OneSign authentication deployment.
г	ALL	OneSign Appliance Verification	No venification	This property controls the level of verification performed on the certificate presented by the OneSign Appliance Server.
г	ALL	OneSign Desktop Name Mode	Ignore 🔄	This property controls whether the Desktop Name to Select property is used in OneSign mode.
г	ALL	Desktop Name to Select	[	When the desistop pool list includes a pool with this name then the Zero Client will immediately start a session with that pool. The comparison is case insensitive.
г	ALL	Certification Check Mode	Warn if the connection may be insecure (Default)	This property controls the level of verification parformed on the certificate presented by the View Connection Server. The levels match the levels presented in the Windows Where View Client.
г	ALL	Certification Check Lockout Mode	Unlocked 💌	This property controls whether the up is allowed to change the VCS certificate check mode through the OSD or the web interface.

図 5-17: MC セッション接続タイプ – View Connection Server + Imprivata OneSign

#### 表 5-24: MC セッション設定パラメータ

パラメータ	説明
View Connection Server Address	View Connection Server の IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 (FQDN)を入力します。
Onesign Bootstrap URL	OneSign 認証デプロイメント内で初期 OneSign サーバを探すために 使用されるブートストラップ URL を入力します。
Onesign Appliance Verification	<ul> <li>OneSign アプライアンスサーバから提示された証明書に対して実施される検証のレベルを設定します。</li> <li>No verification:任意のアプライアンスに接続します。</li> <li>Full verification:証明書が検証済みのアプライアンスにのみ接続します。</li> </ul>
Onesign Desktop Name Mode	Desktop Name to Select プロパティが OneSign モードで使用される かどうかを選択します。 Ignore Use If Set
Desktop Name to Select	デスクトップ名を入力します。デスクトッププールリストにこの名前 のプールが含まれている場合は、クライアントが即座にそのプールを 使用したセッションを開始します。 注意:このフィールドは大文字と小文字が区別されます。
Certification Check	クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認で

パラメータ	説明				
Mode	<ul> <li>きない場合の動作を選択します。</li> <li>Warn if the connection may be insecure (Default): 未署名のまたは期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署名されておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合に警告を表示するようにクライアントを設定します(このオプションはデフォルトで選択されています)。</li> <li>Reject the unverifiable connection (Secure): 信頼できる有効な証明書がインストールされていない場合に接続を拒否するようにクライアントを設定します。</li> <li>Allow the unverifiable connection (Not Secure): すべての接続を許可するようにクライアントを設定します。</li> </ul>				
Certification Check Lockout Mode	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにする場合は、このプロパティを Locked に設定します。				
Clear Trusted Connection Server Cache	有効になっている場合は、信頼できる View Connection Server のキ ャッシュがクリアされます。				
Enable Login Username Caching	有効になっている場合は、ユーザ名テキストボックスに、自動的に、 最後に入力されたユーザ名が設定されます。				
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロゴは OSD Logo Upload ページでアップロードすることができます。				
Prefer GSC-IS Over PIV Endpoint	選択されている場合は、スマートカードで CAC (GSC-IS) や PIV エ ンドポイントなどの複数のインターフェースがサポートされていれ ば、GSC-IS インターフェースが使用されます。スマートカードで CAC と PIV エンドポイントのどちらかなどの 1 つのインターフェー スしかサポートされていない場合は、この設定に関係なく、CAC ま たは PIV エンドポイントインターフェースのみが使用されます。これ は、PCoIP セッション以外で実行されるスマートカードアクセスにの み影響を与えます。				
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。				



パラメータ	説明			
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、 <b>"Preparing Desktop"</b> オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。			
	注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。			
Disconnect Dialog Display Mode	 このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。			
	<b>情報:</b> セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:			
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>			
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>			
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>			
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>			
	<b>警告:</b> セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:			
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>			
	エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク			
	ション:			
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>			
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>         接続できません(0x1002)。II 管理者に連絡してくたさい。     </li> </ul>			
	<ul> <li>セッションがリモートで闭しられました。</li> <li>セッションがリエートで閉じられました(原田不明)</li> </ul>			
	• セッションルリモートで闭しられました(原因不明)。 • 設定エラーが原田で切断されました( $0v100$ ) IT 管理者に支援			
	• 設定エノアが原因で切断されました(00100)。11 皆理者に文援を要請してください。			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	• 設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援			

パラメータ	説明
	<ul> <li>を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 か要請してください。</li> </ul>
	を要請してくたさい。 以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッセージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。</li> <li>Show None – どの切断メッセージも表示しません。</li> </ol>
Session Lost Timeout	アクティブセッションの接続に関するタイムアウト(秒単位)を入力 します。このフィールドの有効タイムアウト範囲は5~60秒です。こ のタイムアウト期間が満了になるとセッションが切断されます。

#### 5.6.8 MC: Connection Management Interface 設定

外部コネクションマネージャを<u>コネクションブローカ</u>として使用するようにプロフ アイルを設定する場合は、MC で Connection Management Interface セッション接続 タイプを選択します。

注意:外部コネクションマネージャは大規模で複雑なシステムの管理手順を簡略化 することができます。管理接続では、外部コネクションマネージャサーバがデバイ スと通信して、それをリモートで制御および設定することができます。コネクショ ンマネージャは、接続するデバイスに適切なピアを特定してから接続を開始するこ ともできます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

この選択を変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。



Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
4	ALL	Session Connection Type O	Connection Management Interface	This setting controls how the PCoIP device initiates and receives PCoIP sessions.
г	ALL	CMS Address O		In a brokered deployment, this is the broker's IP address or FQDN. Many broke will automatically set this value in each device they discover.
г	ALL	Enable Peer Loss Overlay	@ True @ False	When this property is false the Zero Client will not display the peer lost overlay that normally appears whenever end-to-end network communications fail
г	ALL	Enable Preparing Desktop Overlay	C True C False	This property controls the "preparing desktop" overlay that shows up when transitioning from the OSD into the session
г	ALL	Enable Event Log Notification	@ True @ False	When this property is true the Host or Zen Client will send diagnostic event log messages to the connection management system.
г	ALL	Enable Session Disconnect Hotkey	@ True @ False	This property controls whether the horkey can be used to disconnect from the session
г	ALL	Disconnect Dialog Display Mode	Show All	The setting can be used to filter out some all of the session disconnect reason dialog These are the dialogs shown when a sessi- ends for any reason other than a user- initiated disconnect.
г	ALL	Session Lost Timeout	s (5-60)	This property configures the timeout for th connection of an active session. If the timeout period elepses without the PCoIP processor receiving data from its peer, the



表 5-25: MC セッション設定パラメータ

パラメータ	説明
CMS Address	コネクションマネージャの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。 注意:多くのコネクションマネージャが、自動的に、発見したすべて のデバイスにこの値を設定します。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Dialog Display Mode	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。

パラメータ	説明
	<b>情報</b> :セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告</b> :セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク
	ション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x300</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x402</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x403</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x404</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	以下の表示を選択することができます。
	1. Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ



パラメータ		説明		
	2.	ージを表示します。 Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。		
	3. 4.	Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。 Show None – どの切断メッセージも表示しません。		
Session Lost Timeout		クティブセッションの接続に関するタイムアウト(秒単位)を入力 ます。このフィールドの有効タイムアウト範囲は 5~60 秒です。こ		
		ます。このフィールドの有効タイムアウト範囲は5~60秒です。 タイムアウト期間が満了になるとセッションが切断されます。		

## **5.6.9** AWI ホスト: Direct from Client セッション設定

クライアントに直接接続するようにホストを設定する場合は、Configuration > Session ページで Direct from Client セッション接続タイプを選択します。

Session	
Configure the connection to a device	
Session Connection Type: Direct	from Client
His	de Advanced Options
Accept Any Peer: 🔽	
Peer MAC Address: 00 - 00 -	00-00-00-00
Session Negotiation Cipher: Maximum	Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption 💌
Enabled Session Ciphers:	
	AES-256-GCM: 🔽
	AES-128-GCM: 🔽
Apply	Cancel



表	5-26	:	AWI	Session	ペー	ジ	パラ	メ	ータ
---	------	---	-----	---------	----	---	----	---	----

パラメータ	説明
Accept Any Peer	有効になっている場合は、ホストが任意のクライアントからの接続を 受け入れます。無効になっている場合は、ホストに受け入れさせるピ アの MAC アドレスを指定する必要があります。
Peer MAC Address	ホストへの接続を許可するクライアントの MAC アドレスを入力しま す。Accept Any Peer オプションが有効になっている場合は、この フィールドが不要なため、編集不可になります。

パラメータ	説明
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1と Tera2):第1世代 Tera1プロセッサ と第2世代 Tera2プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で7 Mbps以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2のみ):第2世代 Tera2プロセッサに実 装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ボイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以 降に接続されている場合は、AES-128-GCMをお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12 (Tera1のみ): Tera1クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。</li> <li>注意: VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005)を参照してください。</li> <li>注意: 有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効になっている場合は、ファームウエアが次のように選択します。</li> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM または AES-256-GCM</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1クライアント間: PCoIP セッショ ンに対して SALSA20-256-Round12</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッショ</li> </ul>

# **5.6.10** AWI クライアント: Direct to Host セッション設定

ホストに直接接続するようにクライアントを設定する場合は、Configuration > Session ページで Direct to Host セッション接続タイプを選択します。



Session	
Configure the connection to a devic	e
Session Connection Type:	Direct to Most
DNS Name or IP Address	192.168.63.29
	Hide Advanced Options
Wake host from low power state:	Nake-On-LAN Enabled + Peer Address
Host Wake MAC Address	: 00 - 01 - 01 - 00 - EB - 9B
Enable Auto-Reconnect	
Enable Peer Loss Overlay:	
Enable Preparing Desktop Overlay:	
Enable Session Disconnect Hotkey	CTRL + ALT + F12
Session Negotiation Cipher:	Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption 💌
Enabled Session Ciphers	
	AES-256-GCM:
	AES-128-GCM: P
Disconnect Message Filter:	Show All
	Scoly Cascel
	where and a

図 5-20: AWI セッション接続タイプ – Direct to Host

表 5-27:	AWI	Session ~-	-ジパラメータ
---------	-----	------------	---------

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	ホストの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
Wake host from low power state	ユーザがクライアントのリモート PC ボタンを押すか、Connect ウィ ンドウの Connect ボタンをクリックしたときに、自動的に、クライ アントからホストを再開させるかどうかを設定します。
	<ul> <li>Wake-On-LAN Disabled: 選択されている場合は、再開機能が無効になります。このオプションはデフォルトで選択されています。</li> </ul>
	<ul> <li>Wake-On-LAN Enabled + Peer Address: 選択されている場合 は、再開機能が有効になり、Host Wake MAC Address フィール ドが表示され、ホストの MAC アドレスを入力することができま す。このオプションは、クライアントとホストが同じネットワー クに接続されている場合に使用します。</li> </ul>
	<ul> <li>Wake-On-LAN Enabled + Custom Address: 選択されている場合は、再開機能が有効になり、Host Wake MAC Address フィールドと Host Wake IP Address フィールドが表示され、ホストの両方のアドレスを入力できるようになります。このオプションは、ホストがクライアントとは別のネットワークに接続されている場合に選択します。</li> <li>この機能はハードウエアホストでのみ動作します。低電力状態に</li> </ul>

パラメータ	説明
	<ul> <li>入ることができないため、ソフトウエアホストでは動作しません。</li> <li>ハードウエアホストは、Wake-on-LANパケットを受信したときに低電力状態(オフ/休止/スリープ)からの再開をサポートできる必要があります。</li> </ul>
Host Wake MAC Address	Wake-On-LAN Enabled + Peer Address または Wake-On-LAN Enabled + Custom Address が選択されている場合に、ホスト再開 設定を完成させるためのホストの MAC アドレスを入力します。クラ イアントは、ホストを低電力状態から再開させるために、この MAC アドレスに「マジックパケット」を送信します。
Host Wake IP Address	Wake-On-LAN Enabled + Custom Address が選択されている場合 に、ホスト再開設定を完成させるためのホストの IP アドレスを入力 します。クライアントは、ホストコンピュータを低電力状態から再開 させるために、この IP アドレスに「マジックパケット」を送信しま す。
Enable Auto-Reconnect	有効になっている場合は、セッションが失われたときに、クライアン トが自動的に最後に接続していたホストに再接続します。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Enable Session Disconnect Hotkey	有効になっている場合は、ユーザが Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケン スを押すと、"Zero Client Control Panel"オーバーレイがポップアップ 表示されます。ここで、ユーザはワークステーション上の現在のセッ ションを切断したり、ワークステーションの電源をオフにしたりする ことができます。 注意:ユーザがこの切断ホットキーシーケンスを使用できるようにす るには、他の特定の設定オプションを有効にする必要があります。詳 細については、「セッションの切断」を参照してください。



パラメータ	説明
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Teral と Tera2):第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2 のみ):第2世代 Tera2 プロセッサに実 装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ポイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以 降に接続されている場合は、AES-128-GCM をお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12 (Tera1 のみ): Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。</li> <li>注意: VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005) を参照してください。</li> <li>注意: 有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効になっている場合は、ファームウエアが次のように選択します。</li> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッショ ンに対して AES-128-GCM</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッショ ンに対して AES-128-GCM</li> </ul>
Disconnect Message Filter	<ul> <li>このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示されるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテゴリに分かれています。</li> <li>情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> </ul>

パラメータ	説明
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告</b> :セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション・
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	<b>エラー:</b> セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク
	ション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援</li> <li>を要請してください</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	2. Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ
	ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。



パラメータ	説明
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。

# **5.6.11 AWI** クライアント: **Direct to Host + SLP** ホストディスカ バリセッション設定

ホストに直接接続したり、サービスロケーションプロトコル (SLP) 経由で自動的 にホストを発見したりするようにクライアントを設定する場合は、Configuration > Session ページで Direct to Host + SLP ホストディスカバリセッション接続タイプを 選択します。

Session	
Configure the connection to a device	
Session Connection Type: Direct to Host + SLP Host Discovery	
Note: this session connection type will enable SLP discovery on this Zero Client.	
Hide Advanced Options	
Enable Auto-Reconnect:	
Enable Peer Loss Overlay:	
Enable Preparing Desktop Overlay:	
Enable Session Disconnect CTRL + ALT + F12 Hotkey:	
Session Negotiation Cipher: Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryptic	- n
Enabled Session Ciphers:	
AES-256-GCM: 🕅	
AES-128-GCM: 🔽	
Disconnect Message Filter: Show All	
Apply Cancel	



表 5-28:AWI Session ページパ	ミラ	メ	<u> </u>	タ
-------------------------	----	---	----------	---

パラメータ	説明
Enable Auto-Reconnect	有効になっている場合は、セッションが失われたときに、クライアン トが自動的に最後に接続していたホストに再接続します。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ

パラメータ	説明
	プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Enable Session Disconnect Hotkey	有効になっている場合は、ユーザが Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケン スを押すと、"Zero Client Control Panel"オーバーレイがポップアップ 表示されます。ここで、ユーザはワークステーション上の現在のセッ ションを切断したり、ワークステーションの電源をオフにしたりする ことができます。 注意:ユーザがこの切断ホットキーシーケンスを使用できるようにす るには、他の特定の設定オプションを有効にする必要があります。詳 細については、「セッションの切断」を参照してください。
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1 と Tera2) :第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2 のみ) :第2世代 Tera2 プロセッサに実 装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ポイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以 降に接続されている場合は、AES-128-GCM をお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12 (Tera1 のみ) : Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上</li> </ul>





E

-

パラメータ	説明
	の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。
	注意:VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005)を参照してください。
	注意:有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効にな っている場合は、ファームウエアが次のように選択します。
	<ul> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM または AES-256-GCM</li> </ul>
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッションに対して SALSA20-256-Round12</li> </ul>
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッションに対して AES-128-GCM</li> </ul>
Disconnect Message Filter	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。
	<b>情報</b> : セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクショ
	<ul> <li>別の場所からロクインしたか、ホストかシャットタリンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>
	• 管理者が切断を実行したために切断されました。
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告</b> :セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	<b>エラー</b> :セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	• 接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援</li> </ul>

パラメータ	説明
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。

# **5.6.12** AWI クライアント: View Connection Server セッション 設定

VMware View Connection Server を使用して仮想デスクトップに接続するようにクラ イアントを設定する場合は、Configuration > Session ページで View Connection Server セッション接続タイプを選択します。



Session	
Configure the connection to a device	
Vmware Enconr VMware View*	
Session Connection Type:	View Connection Server
DNS Name or IP Address:	riewdesktop.teradici.com
	Eide Advanced Options
Desktop Name to Select:	
Port:	(Leave blank for default)
VCS Certificate Check Mode:	Marn before connecting to untrusted servers
VCS Certificate Check Mode	Prevent users from changing the VCS Certificate Check Mode
Trusted View Connection Servers:	Show Clear
Auto Connect: 1	Always connect to this server at startup
Connection Server Cache Mode:	Last servers used T Clear cache entries
Enable Self Help Link: 1	
Auto Launch If Only One Desktop: 1	7
Login Username Caching: I	7
Use OSD Logo for View banner: 1	
Prefer GSC-IS:	7
Enable Peer Loss Overlay: [	
Enable Preparing Desktop Overlay:	
Enable Session Disconnect Hotkey:	CTRL + ALT + F12
Session Negotiation Cipher:	Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption
Enabled Session Ciphers:	
	AES-256-GCM: 🔽
	AES-128-GCM:
Disconnect Message Filter:	Show All
	Apply Cancel

図 5-22: AWI セッション接続タイプ – View Connection Server

#### 表 **5-29**: AWI Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。
Desktop Name to Select	セッションを開始するときにクライアントが使用するプール/デスク トップ名を入力します。 注意:この設定は省略可能です。
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。

パラメータ	説明
VCS Certificate Check Mode	<ul> <li>クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認で きない場合の動作を選択します。</li> <li>Never connect to untrusted servers: 信頼できる有効な証明書 がインストールされていない場合に接続を拒否するようにクライ アントを設定します (これは最もセキュアなオプションです)。</li> <li>Warn before connecting to untrusted servers: 未署名のまたは 期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署名さ れておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合に警 告を表示するようにクライアントを設定します (このオプション はデフォルトで選択されています)。</li> <li>Do not verify server identity certificates: すべての接続を許可 するようにクライアントを設定します (このオプションはセキュ アではありません)。</li> </ul>
VCS Certificate Check Mode Lockout	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにします。
Trusted View Connection Servers	Show ボタンをクリックすると、クライアントが有効な証明書を受信 した VMware View Connection Server が表示されます。 Clear ボタンをクリックすると、このキャッシュがクリアされます。
Auto Connect	有効になっている場合は、クライアントが、電源がオンになっている ときはいつでも、または、仮想デスクトップとのセッションが終了し たときに、自動的に、選択された View Connection Server に接続し ます。 注意: Auto Connect を有効にしたら、変更を反映させるためにクラ イアントの電源を入れ直す必要があります。
Connection Server Cache Mode	<ul> <li>このフィールドは、ユーザが有効なサーバアドレスを入力したときに View Connection Server を OSD Connect ページの Server ドロップ ダウンメニューに動的に追加するかどうか、または、ユーザが選択す るための読み取り専用リストに View Connection Server を表示する かどうかを決定します。</li> <li>Last servers used:ユーザが入力したキャッシュサーバのリス トを OSD Connect ページの Server ドロップダウンメニューに 表示したい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>Read-only:ユーザに読み取り専用リストから View Connection Server を選択させたい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>注意: PCoIP 管理コンソールを使用して、使用可能なコネクションサ ーバのリストを事前に生成しておくことができます。</li> </ul>
Enable Self Help Link	詳細については、「 <u>セルフヘルプリンクの有効化</u> 」を参照してくださ い。
Auto Launch If Only One	有効になっている場合は、ユーザ資格情報の入力後に、自動的に、ユ


パラメータ	説明
Desktop	ーザが仮想デスクトップに接続されます。 注意:この機能は、単一のデスクトップを使用可能なユーザにのみ適 用されます。複数の仮想デスクトップを使用可能なユーザには適用さ れません。
Login Username Caching	有効になっている場合は、ユーザ名テキストボックスに、自動的に、 最後に入力されたユーザ名が設定されます。
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代 わりに、PColP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロ ゴは <u>OSD Logo Upload</u> ページでアップロードすることができます。
Prefer GSC-IS	選択されている場合は、スマートカードで CAC (GSC-IS) や PIV エ ンドポイントなどの複数のインターフェースがサポートされていれ ば、GSC-IS インターフェースが使用されます。スマートカードで CAC と PIV エンドポイントのどちらかなどの 1 つのインターフェー スしかサポートされていない場合は、この設定に関係なく、CAC ま たは PIV エンドポイントインターフェースのみが使用されます。これ は、PCoIP セッション以外で実行されるスマートカードアクセスにの み影響を与えます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Enable Session Disconnect Hotkey	有効になっている場合は、ユーザが Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケン スを押すと、"Zero Client Control Panel"オーバーレイがポップアップ 表示されます。ここで、ユーザはワークステーション上の現在のセッ ションを切断したり、ワークステーションの電源をオフにしたりする ことができます。 注意:ユーザがこの切断ホットキーシーケンスを使用できるようにす るには、他の特定の設定オプションを有効にする必要があります。詳 細については、「 <u>セッションの切断</u> 」を参照してください。

パラメータ	説明
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1 と Tera2) :第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2 のみ) :第2世代 Tera2 プロセッサに実 装されているより セキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ポイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以 降に接続されている場合は、AES-128-GCM をお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12 (Tera1 のみ) : Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。</li> <li>注意: VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005) を参照してください。</li> <li>注意: 有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効にな っている場合は、ファームウエアが次のように選択します。</li> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッショ ンに対して SALSA20-256-Round12</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッショ ンに対して AES-128-GCM</li> </ul>
Disconnect Message Filter	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。 情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクショ ン: ・ 別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。





Г

パラメータ	説明
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告</b> :セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> <li>エラー・セッションの生敗を引き起こす予期せめシステムによるアク</li> </ul>
	ション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	• セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	2. Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ
	ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。

パラメータ	説	
	3.	Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4.	Show None – どの切断メッセージも表示しません。

#### セルフヘルプリンクの有効化

Self Help Link オプションを使用すれば、ユーザのセルフヘルプリンクを Connect ウ ィンドウに表示するように設定することができます。ログオン詳細を設定すると、 ユーザがセルフヘルプリンクをクリックしたときに自動的に仮想マシンにログイン することが保証されます。

Enable Self Help Link: 🔽	
View Connection Server:	
Port:	(Leave blank for default)
Username:	
Password:	
Domain:	
Desktop Name to Select:	
Link Text:	

図 5-23 : Self Help Link オプションの有効化

このフィールドを有効にすると、次のようなオプションが表示されます。

パラメータ	説明
View Connection Server	セルフヘルプ仮想マシンをホストしている View Connection Server の名前を入力します。
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
Username	セルフヘルプリンクに対して仮想マシンをパスワードで保護する場合 に、このフィールドにユーザ名を入力します。
Password	セルフヘルプリンクに対して仮想マシンをパスワードで保護する場合 に、このフィールドにパスワードを入力します。
Domain	セルフヘルプリンクの仮想マシンで使用されるドメイン名を入力しま す。



パラメータ	説明
Desktop Name to Select	セルフヘルプリンクの仮想マシンで使用されるプール/デスクトップ 名を入力します。
Link Text	<b>Connect</b> ウィンドウにハイパーリンクとして表示するテキストを入 力します。

## **5.6.13** AWI クライアント: View Connection Server + 自動ログ オンセッション設定

ユーザが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに 自動的にユーザのログイン詳細を入力するようにクライアントを設定する場合は、 Configuration > Session ページで View Connection Server + 自動ログオンセッション 接続タイプを選択します。

Configure the connection to a device          Vmware       Connection         VMware       View         Session Connection Type:       View Connection Server * Auto-Logon.         DNS Name or IP Address:       viewdeaktop.teradici.com         Logon Username:       Logon Password:
VMWare Ciever VMware View Session Connection Type: View Connection Server * Auto-Logon DNS Name or IP Address: viewdeaktop.teradici.com Logon Username: Logon Password:
Session Connection Type: View Connection Server + Auto-Logon  DNS Name or IP Address: viewdeaktop.teradici.com Logon Username: Logon Password:
DNS Name or IP Address: viewdeaktop.teradici.com Logon Username: Logon Password:
Logon Username:
Logon Password:
Logon Domain Name:
Hide Advanced Options
Desktop Name to Select:
Port: (Leave black for default)
VCS Certificate Check Mode: Warn before connecting to untrusted servers
VCS Certificate Check Mode
Lockout: Prevent uses in on manying the vos ceruntate check mode
Auto Connect: C Alugue connect to this concept to this
Connection Server Cache Mode: Tast assures used *
Anto Launch If Only One Desition:
Use OSD Logo for View banner:
Enable Peer Loss Overlay:
Enable Preparing Desktop
Enable Session Disconnect CTRL + ALT + F12 Hotkey:
Session Negotiation Cipher: Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryptio Enabled Session Ciphers:
AES-256-GCM: 🔽
AES-128-GCM: 🕅
Disconnect Message Filter: Show All

図 5-24: AWI セッション接続タイプ – View Connection Server + 自動ログオン

表 5-30: AWI Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。
Logon Username	クライアントのユーザ名を入力します。
Logon Password	クライアントのパスワードを入力します。
Logon Domain Name	クライアントのドメイン名を入力します。
Desktop Name to Select	セッションを開始するときにクライアントが使用するプール/デスク トップ名を入力します。 注意:この設定は省略可能です。
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
VCS Certificate Check Mode	<ul> <li>クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認で きない場合の動作を選択します。</li> <li>Never connect to untrusted servers:信頼できる有効な証明書 がインストールされていない場合に接続を拒否するようにクライ アントを設定します(これは最もセキュアなオプションです)。</li> <li>Warn before connecting to untrusted servers:未署名のまたは 期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署名さ れておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合に警 告を表示するようにクライアントを設定します(このオプション はデフォルトで選択されています)。</li> <li>Do not verify server identity certificates: すべての接続を許可 するようにクライアントを設定します(このオプションはセキュ アではありません)。</li> </ul>
VCS Certificate Check Mode Lockout	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにします。
Trusted View Connection Servers	Show ボタンをクリックすると、クライアントが有効な証明書を受信 した VMware View Connection Server が表示されます。 Clear ボタンをクリックすると、このキャッシュがクリアされます。
Auto Connect	有効になっている場合は、クライアントが、電源がオンになっている ときはいつでも、または、仮想デスクトップとのセッションが終了し たときに、自動的に、選択された View Connection Server に接続し



パラメータ	説明
	ます。 注意:Auto Connect を有効にしたら、変更を反映させるためにクラ イアントの電源を入れ直す必要があります。
Connection Server Cache Mode	<ul> <li>このフィールドは、ユーザが有効なサーバアドレスを入力したときに View Connection Server を OSD Connect ページの Server ドロップ ダウンメニューに動的に追加するかどうか、または、ユーザが選択す るための読み取り専用リストに View Connection Server を表示する かどうかを決定します。</li> <li>Last servers used: ユーザが入力したキャッシュサーバのリス トを OSD Connect ページの Server ドロップダウンメニューに 表示したい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>Read-only: ユーザに読み取り専用リストから View Connection Server を選択させたい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>注意: PCoIP 管理コンソールを使用して、使用可能なコネクションサ ーバのリストを事前に生成しておくことができます。</li> </ul>
Enable Self Help Link	詳細については、「 <u>セルフヘルプリンクの有効化</u> 」を参照してくださ い。
Auto Launch If Only One Desktop	有効になっている場合は、ユーザ資格情報の入力後に、自動的に、ユ ーザが仮想デスクトップに接続されます。 注意:この機能は、単一のデスクトップを使用可能なユーザにのみ適 用されます。複数の仮想デスクトップを使用可能なユーザには適用さ れません。
Login Username Caching	有効になっている場合は、ユーザ名テキストボックスに、自動的に、 最後に入力されたユーザ名が設定されます。
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロゴは OSD Logo Upload ページでアップロードすることができます。
Prefer GSC-IS	選択されている場合は、スマートカードで CAC (GSC-IS) や PIV エ ンドポイントなどの複数のインターフェースがサポートされていれ ば、GSC-IS インターフェースが使用されます。スマートカードで CAC と PIV エンドポイントのどちらかなどの 1 つのインターフェー スしかサポートされていない場合は、この設定に関係なく、CAC ま たは PIV エンドポイントインターフェースのみが使用されます。これ は、PCoIP セッション以外で実行されるスマートカードアクセスにの み影響を与えます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ

パラメータ	説明
	プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Enable Session Disconnect Hotkey	有効になっている場合は、ユーザが Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケン スを押すと、"Zero Client Control Panel"オーバーレイがポップアップ 表示されます。ここで、ユーザはワークステーション上の現在のセッ ションを切断したり、ワークステーションの電源をオフにしたりする ことができます。 注意:ユーザがこの切断ホットキーシーケンスを使用できるようにす るには、他の特定の設定オプションを有効にする必要があります。詳 細については、「セッションの切断」を参照してください。
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1 と Tera2) :第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2 のみ) :第2世代 Tera2 プロセッサに実 装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ポイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以 降に接続されている場合は、AES-128-GCM をお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12 (Tera1 のみ) : Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上</li> </ul>





Г

-----

パラメータ	説明
	の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。
	注意:VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005)を参照してください。
	注意:有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効にな っている場合は、ファームウエアが次のように選択します。
	<ul> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM または AES-256-GCM</li> </ul>
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッションに対して SALSA20-256-Round12</li> </ul>
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッションに対して AES-128-GCM</li> </ul>
Disconnect Message Filter	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。
	<b>情報</b> :セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクショ
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再</li> </ul>
	起動されたために切断されました。
	• 管理者が切断を実行したために切断されました。
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告</b> :セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク
	ション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>ニージェアニュアボートは、たく(2, (20))</li> </ul>
	<ul> <li>設定エフーか原因で切断されました(0x100)。II 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援</li> </ul>

パラメータ	説明
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。

セルフヘルプリンクの有効化

Self Help Link オプションを使用すれば、ユーザのセルフヘルプリンクを Connect ウ ィンドウに表示するように設定することができます。ログオン詳細を設定すると、 ユーザがセルフヘルプリンクをクリックしたときに自動的に仮想マシンにログイン することが保証されます。

Enable Self Help Link: 🗹	
View Connection Server:	
Port:	(Leave blank for default)
Username:	
Password:	
Domain:	
Desktop Name to Select:	
Link Text:	

図 5-25: Self Help Link オプションの有効化



このフィールドを有効にすると、	次のようなオプションが表示されます。

パラメータ	説明
View Connection Server	セルフヘルプ仮想マシンをホストしている View Connection Server の名前を入力します。
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
Username	セルフヘルプリンクに対して仮想マシンをパスワードで保護する場合 に、このフィールドにユーザ名を入力します。
Password	セルフヘルプリンクに対して仮想マシンをパスワードで保護する場合 に、このフィールドにパスワードを入力します。
Domain	セルフヘルプリンクの仮想マシンで使用されるドメイン名を入力しま す。
Desktop Name to Select	セルフヘルプリンクの仮想マシンで使用されるプール/デスクトップ 名を入力します。
Link Text	<b>Connect</b> ウィンドウにハイパーリンクとして表示するテキストを入 力します。

## **5.6.14** AWI クライアント: View Connection Server + キオスク セッション設定

VMware View Connection Server を介して仮想デスクトップに接続するときにキオス クモードを使用するようにクライアントを設定する場合は、Configuration > Session ページで View Connection Server + キオスクセッション接続タイプを選択します。



図 5-26: AWI セッション接続タイプ – View Connection Server + キオスク

表 5-31:A	NI Session 🗸	ページパラメータ
----------	--------------	----------

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。
Username Type	View Connection Server 上でデバイスに使用するネーミングにマッチ したユーザ名のタイプを選択します。
	<ul> <li>Zero Client MAC: このオプションは、自動的に、Username フィールドにゼロクライアントの MAC アドレスを設定する場合に 選択します。</li> </ul>
	• Custom: ゼロクライアントのユーザ名を入力します。このユー ザ名にはプレフィックスの"Custom"が付加されます。
Username	ユーザ名タイプとして <b>Custom</b> が選択されている場合に、このカス タムユーザ名要素の値を入力します。このフィールドは最大 <b>13</b> 文字 に制限されています。



パラメータ	説明
Password	キオスクに対して仮想マシンをパスワードで保護する場合に、このフ ィールドにパスワードを入力します。このパスワードは、View Connection Server でデバイスに対して入力されたものと同じにする 必要があります。
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
VCS Certificate Check Mode	<ul> <li>クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認できない場合の動作を選択します。</li> <li>Never connect to untrusted servers:信頼できる有効な証明書がインストールされていない場合に接続を拒否するようにクライアントを設定します(これは最もセキュアなオプションです)。</li> <li>Warn before connecting to untrusted servers:未署名のまたは期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署名されておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合に警告を表示するようにクライアントを設定します(このオプションはデフォルトで選択されています)。</li> <li>Do not verify server identity certificates: すべての接続を許可するようにクライアントを設定します(このオプションはセキュアではありません)。</li> </ul>
VCS Certificate Check Mode Lockout	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにします。
Trusted View Connection Servers	Show ボタンをクリックすると、クライアントが有効な証明書を受信 した VMware View Connection Server が表示されます。 Clear ボタンをクリックすると、このキャッシュがクリアされます。
Connection Server Cache Mode	<ul> <li>このフィールドは、ユーザが有効なサーバアドレスを入力したときに View Connection Server を OSD Connect ページの Server ドロップ ダウンメニューに動的に追加するかどうか、または、ユーザが選択す るための読み取り専用リストに View Connection Server を表示する かどうかを決定します。</li> <li>Last servers used:ユーザが入力したキャッシュサーバのリス トを OSD Connect ページの Server ドロップダウンメニューに 表示したい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>Read-only:ユーザに読み取り専用リストから View Connection Server を選択させたい場合にこのオプションを選択します。</li> <li>注意:PCoIP 管理コンソールを使用して、使用可能なコネクションサ ーバのリストを事前に生成しておくことができます。</li> </ul>
Use OSD Logo for View	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代

パラメータ	説明
Banner	わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロ ゴは <u>OSD Logo Upload</u> ページでアップロードすることができます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Enable Session Disconnect Hotkey	有効になっている場合は、ユーザが Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケン スを押すと、"Zero Client Control Panel"オーバーレイがポップアップ 表示されます。ここで、ユーザはワークステーション上の現在のセッ ションを切断したり、ワークステーションの電源をオフにしたりする ことができます。 注意:ユーザがこの切断ホットキーシーケンスを使用できるようにす るには、他の特定の設定オプションを有効にする必要があります。詳 細については、「セッションの切断」を参照してください。
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1 と Tera2) :第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> </ul>





パラメータ	説明
	<ul> <li>AES-256-GCM(Tera2のみ):第2世代Tera2プロセッサに実装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンドポイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4以降に接続されている場合は、AES-128-GCMをお勧めします。</li> </ul>
	<ul> <li>Salsa20-256-Round12(Tera1のみ): Tera1クライアントが VMware 4以降に接続されており、ネットワーク上で7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。</li> </ul>
	注意: VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005) を参照してください。
	注意:有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効にな っている場合は、ファームウエアが次のように選択します。
	<ul> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM または AES-256-GCM</li> </ul>
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッションに対して SALSA20-256-Round12</li> </ul>
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッションに対して AES-128-GCM</li> </ul>
Disconnect Message Filter	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。
	<b>情報</b> :セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告</b> :セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	<b>エラー:</b> セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	• 接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>         ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
	<ul> <li>         ・</li></ul>
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x201</b> )。IT 管理者に支援

パラメータ	説明
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	<ul> <li>を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	<ul> <li>を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>3.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2</li></ul>
	<ul> <li>         ・</li></ul>
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	を要請してくたさい。 以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。

# 5.6.15 AWI クライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign セッション設定

仮想デスクトップに接続するときに View Connection Server に加えて Imprivata OneSign システム経由でも認証するようにクライアントを設定する場合は、 Configuration > Session ページで View Connection Server + Imprivata OneSign セッ ション接続タイプを選択します。



Configure the connection to a device		
Session Connection Type: View Conne	ction Server + Imprivata OneSign	
Bootstrap URL:		
Hide S	Advanced Options	
OneSign Desktop Name Mode: Ignore the	Desktop Name to Select field	
Desktop Name to Select:		
OneSign Appliance Verification: No verification	ation: Connect to any appliance	
WCC Contilicate Check Medau In-		
VCS Certificate Check Mode	sets from changing the VCS Cartificate Check Mode	
Lockout:	ar	
Logic Unergane Carbins		
Use OSD Long for View hanner:		
Prefer GSC-IS:		
Enable Peer Loss Overlay:		
Enable Preparing Desktop		
Enable Session Disconnect		
Hotkey: CIRL + AL	1++12	
Enable Proximity Reader Beep: M		
Session Negotiation Cipher: Maximum Cor	mpatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256	or AES-128 encryption
Enabled Session Ciphers:		
	AES-256-GCM: ₽	
	AES-128-GCM: ₽	
Disconnect Message Filter: Show All	2	

図 5-27: AWI セッション接続タイプ – View Connection Server + Imprivata OneSign

表 5-32: AWI Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。
Bootstrap URL	OneSign 認証デプロイメント内で初期 OneSign サーバを探すために 使用されるブートストラップ URL を入力します。
Onesign Desktop Name Mode	Desktop Name to Select プロパティが OneSign モードで使用される かどうかを選択します。 Ignore Use If Set
Desktop Name to Select	デスクトップ名を入力します。デスクトッププールリストにこの名前 のプールが含まれている場合は、クライアントが即座にそのプールを

パラメータ	説明			
	使用したセッションを開始します。 注意:このフィールドは大文字と小文字が区別されます。			
Onesign Appliance Verification	<ul> <li>OneSign アプライアンスサーバから提示された証明書に対して実施される検証のレベルを設定します。</li> <li>No verification:任意のアプライアンスに接続します。</li> <li>Full verification:証明書が検証済みのアプライアンスにのみ接続します。</li> </ul>			
VCS Certificate Check Mode	<ul> <li>クライアントが View Connection Server とのセキュア接続を確認で きない場合の動作を選択します。</li> <li>Never connect to untrusted servers: 信頼できる有効な証明書 がインストールされていない場合に接続を拒否するようにクライ アントを設定します (これは最もセキュアなオプションです)。</li> <li>Warn before connecting to untrusted servers: 未署名のまたは 期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が自己署名さ れておらず、ゼロクライアントのトラストストアが空の場合に警 告を表示するようにクライアントを設定します (このオプション はデフォルトで選択されています)。</li> <li>Do not verify server identity certificates: すべての接続を許可 するようにクライアントを設定します (このオプションはセキュ アではありません)。</li> </ul>			
VCS Certificate Check Mode Lockout	ユーザが OSD から VCS Certificate Check Mode 設定を変更できな いようにします。			
Trusted View Connection Servers	Show ボタンをクリックすると、クライアントが有効な証明書を受信 した VMware View Connection Server が表示されます。 Clear ボタンをクリックすると、このキャッシュがクリアされます。			
Login Username Caching	有効になっている場合は、ユーザ名テキストボックスに、自動的に、 最後に入力されたユーザ名が設定されます。			
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロゴは OSD Logo Upload ページでアップロードすることができます。			
Prefer GSC-IS	選択されている場合は、スマートカードで CAC (GSC-IS) や PIV エ ンドポイントなどの複数のインターフェースがサポートされていれ ば、GSC-IS インターフェースが使用されます。スマートカードで CAC と PIV エンドポイントのどちらかなどの 1 つのインターフェー スしかサポートされていない場合は、この設定に関係なく、CAC ま たは PIV エンドポイントインターフェースのみが使用されます。これ は、PCoIP セッション以外で実行されるスマートカードアクセスにの み影響を与えます。			



パラメータ	説明				
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。				
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。				
Enable Session Disconnect Hotkey	有効になっている場合は、ユーザが Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケン スを押すと、"Zero Client Control Panel"オーバーレイがポップアップ 表示されます。ここで、ユーザはワークステーション上の現在のセッ ションを切断したり、ワークステーションの電源をオフにしたりする ことができます。 注意:ユーザがこの切断ホットキーシーケンスを使用できるようにす るには、他の特定の設定オプションを有効にする必要があります。詳 細については、「 <u>セッションの切断</u> 」を参照してください。				
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>				
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1 と Tera2) :第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2 のみ) :第2世代 Tera2 プロセッサに実 装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ポイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以</li> </ul>				

パラメータ			
	<ul> <li>降に接続されている場合は、AES-128-GCM をお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12(Tera1のみ): Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより 軽量な暗号化方式。</li> <li>注意: VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005)を参照してください。</li> <li>注意: 有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効になっている場合は、ファームウエアが次のように選択します。</li> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM または AES-256-GCM</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッショ ンに対して SALSA20-256-Round12</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッショ ンに対して AES-128-GCM</li> </ul>		
Disconnect Message Filter	<ul> <li>このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示されるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテゴリに分かれています。</li> <li>情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>アークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>ギ告:セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> <li>エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:</li> <li>切断されました。</li> <li>接続できません (0x1001) 。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>せッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>		



パラメータ	説明		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	以下の表示を選択することができます。		
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>		
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>		
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。		
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。		

# 5.6.16 AWI ホスト: Connection Management Interface セッション設定

外部コネクションマネージャをホストが使用する<u>コネクションブローカ</u>として設定 する場合は、**Configuration > Session** ページで **Connection Management Interface** セ ッション接続タイプを選択します。

注意:外部コネクションマネージャは大規模で複雑なシステムの管理手順を簡略化 することができます。管理接続では、外部コネクションマネージャサーバがデバイ スと通信して、それをリモートで制御および設定することができます。コネクショ ンマネージャは、接続するデバイスに適切なピアを特定してから接続を開始するこ ともできます。



図 5-28: AWI セッション接続タイプ – Connection Management Interface (ホスト)

パラメータ	前的			
DNS Name or IP Address	コネクションマネージャの DNS 名または IP アドレスを入力します。			
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption : このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption : このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>			
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1 と Tera2) :第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドポイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2 のみ) :第2世代 Tera2 プロセッサに実 装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ポイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以 降に接続されている場合は、AES-128-GCM をお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12 (Tera1 のみ) : Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。</li> </ul>			

表 5-33: AWI Session ページパラメータ



パラメータ	説明			
	注意:VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005)を参照してください。			
	注意:有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効にな っている場合は、ファームウエアが次のように選択します。			
	<ul> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM または AES-256-GCM</li> </ul>			
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッションに対して SALSA20-256-Round12</li> </ul>			
	<ul> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッションに対して AES-128-GCM</li> </ul>			
Disconnect Message Filter	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。			
	<b>情報:</b> セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:			
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>			
	• 管理者が切断を実行したために切断されました。			
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>			
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>			
	<b>警告:</b> セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:			
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>			
	<b>エラー:</b> セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク ション:			
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>			
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>			
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援</li> <li>を要請してください</li> </ul>			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援</li> </ul>			
	<ul> <li>を安明してくたさい。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援</li> </ul>			
	<ul><li>を要請してください。</li><li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援</li></ul>			
	を要請してください。			
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援</li> </ul>			

パラメータ	説明	
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>	
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>	
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>	
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>	
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>	
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>	
	以下の表示を選択することができます。	
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>	
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>	
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。	
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。	

# 5.6.17 AWI クライアント: Connection Management Interface セッション設定

VMware View Connection Server 以外の外部コネクションマネージャをクライアント が使用する<u>コネクションブローカ</u>として設定する場合は、Configuration > Session ペ ージで Connection Management Interface セッション接続タイプを選択します。

注意:外部コネクションマネージャは大規模で複雑なシステムの管理手順を簡略化 することができます。管理接続では、外部コネクションマネージャサーバがデバイ スと通信して、それをリモートで制御および設定することができます。コネクショ ンマネージャは、接続するデバイスに適切なピアを特定してから接続を開始するこ ともできます。



Session	
Configure the connection to a device	
Session Connection Type:	Connection Management Interface
DNS Name or IP Address:	
	Hide Advanced Options
Enable Peer Loss Overlay:	
Enable Preparing Desktop Overlay:	
Enable Session Disconnect Hotkey:	CTRL + ALT + F12
Enable Event Log Notification:	
Session Negotiation Cipher:	Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption
<b>Enabled Session Ciphers:</b>	
	AES-256-GCM:
	AES-128-GCM: P
Disconnect Message Filter:	Show All
	And Annual

図 5-29: AWI セッション接続タイプ – Connection Management Interface (クライアント)

表 5-34: AWI Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	コネクションマネージャの DNS 名または IP アドレスを入力します。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Enable Session Disconnect Hotkey	有効になっている場合は、ユーザが Ctrl+Alt+F12 ホットキーシーケン スを押すと、"Zero Client Control Panel"オーバーレイがポップアップ 表示されます。ここで、ユーザはワークステーション上の現在のセッ

パラメータ	説明		
	ションを切断したり、ワークステーションの電源をオフにしたりする ことができます。 注意:ユーザがこの切断ホットキーシーケンスを使用できるようにす るには、他の特定の設定オプションを有効にする必要があります。詳 細については、「 <u>セッションの切断</u> 」を参照してください。		
Enable Event Log Notification	有効になっている場合は、クライアントがそのイベントログの内容を 接続管理サーバに送信します。		
Session Negotiation Cipher	<ul> <li>クライアントが PCoIP クライアントと PCoIP ホスト間のトランスポート層セキュリティ (TLS) セッションをネゴシエートするために使用する TLS 暗号を設定します。</li> <li>TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption: このオプションは最大限の互換性を提供します。</li> <li>TLS 1.2 with Suite B-compliant 192-bit elliptic curve encryption: このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>		
Enabled Session Ciphers	<ul> <li>デバイスの暗号化モードを有効または無効にします。デフォルトで、 デバイスに関係するすべての暗号化モードが有効になっています。</li> <li>AES-128-GCM (Tera1 と Tera2) :第1世代 Tera1 プロセッサ と第2世代 Tera2 プロセッサに実装されている暗号化方式。この 方式では、Tera1 デバイスのハードウエアエンドボイント間で最 高性能を実現することができます。また、Tera2 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現できる可能性があり ます。</li> <li>AES-256-GCM (Tera2 のみ) :第2世代 Tera2 プロセッサに実 装されているよりセキュアな暗号化方式で、ハードウエアエンド ボイント間で最高性能を実現することができます。VMware 4 以 降に接続されている場合は、AES-128-GCM をお勧めします。</li> <li>Salsa20-256-Round12 (Tera1 のみ) : Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続されており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上 の速度が利用可能であれば、高い性能を実現することが可能な、 ファームウエアに実装されているより軽量な暗号化方式。</li> <li>注意: VMware View 仮想デスクトップへの接続方法については、 『Using PCoIP Zero Clients with VMware View User Guide』 (TER0904005) を参照してください。</li> <li>注意: 有効にする暗号化モードは、セッションを確立するホストとク ライアント間で一致させる必要があります。複数のモードが有効になっている場合は、ファームウエアが次のように選択します。</li> <li>ホストと Tera1 または Tera2 クライアント間: PCoIP セッション に対して AES-128-GCM または AES-256-GCM</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera1 クライアント間: PCoIP セッショ</li> <li>ンに対して SALSA20-256-Round12</li> <li>VMware View 4.5 以降と Tera2 クライアント間: PCoIP セッショ</li> </ul>		



パラメータ	説明		
	ンに対して <b>AES-128-GCM</b>		
Disconnect Message Filter	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。 情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクショ		
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>		
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>		
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>		
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>		
	<b>警告:</b> セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:		
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>		
	<b>エラー:</b> セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション		
	<ul> <li>切断されました</li> </ul>		
	<ul> <li>接続できません(0x1001) IT 管理者に連絡してください</li> </ul>		
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください</li> </ul>		
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました</li> </ul>		
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>		

パラメータ	説	説明	
	• 以	- 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x404</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。 下の表示を選択することができます。	
	1.	Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。	
	2.	Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。	
	3.	Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。	
	4.	Show None – どの切断メッセージも表示しません。	

## **5.6.18** OSD : Direct to Host セッション設定

ホストに直接接続するようにクライアントを設定する場合は、**Options** > **Configuration** > **Session** ページで **Direct to Host** セッション接続タイプを選択します。 このオプションの詳細設定を構成するには、**Advanced** ボタンをクリックします。

Configuration	
Network IPv6 Label Discovery Ses	sion Language OSD Display Reset
Configure the connection to a peer	device
Connection Type:	Direct to Host
DNS Name or IP Address:	192.168.110.100
	Advanced
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-30: OSD セッション接続タイプ – Direct to Host



Advanced Settings		×
Enable Auto-Reconnect:		
Enable Peer Loss Overlay:		
Enable Preparing Desktop Overlay:		
Disconnect Message Filter:	Show All Show All Show Error and Warning Only Show Error Only Show None	
		OK Cancel

図 5-31 : Advanced Settings

### 表 5-35: OSD Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	ホストの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
Enable Auto-Reconnect	有効になっている場合は、セッションが失われたときに、クライアン トが自動的に最後に接続していたホストに再接続します。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。

パラメータ	説明
Disconnect Message Filter	このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。
	<b>情報</b> :セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>
	• 別の場所からログインしたために切断されました。
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告:</b> セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	<b>エラー</b> :セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク
	<ul> <li>切断されました。</li> <li>粒体でもません (0.4004) IT 逆理者に声優してくざさい。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・</li></ul>
	•
	• ビッションがリモートで閉じられました。 • セッションがリエートで閉じられました(原田不明)
	• ビッションパリモートで闭しられました(床因不明)。 • 設定エラーが原因で切断されました( $nv100$ ) IT 管理者に支援
	• 設定エン・が床因で切断されました(00100)。11 皆理相に又後を要請してください。
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>



パラメータ	説明	
	以下の表示を選択することができます。 1. Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。	
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>	
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。	
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。	

# **5.6.19** OSD: Direct to Host + SLP ホストディスカバリセッション設定

ホストに直接接続したり、サービスロケーションプロトコル (SLP) 経由で自動的 にホストを発見したりするようにクライアントを設定する場合は、Options > Configuration > Session ページで Direct to Host + SLP ホストディスカバリセッショ ン接続タイプを選択します。

このオプションの詳細設定を構成するには、Advanced ボタンをクリックします。

Configuration	×
Network IPv6 Label Discovery Set	ssion Language OSD Display Reset
Configure the connection to a peer	device
Connection Type:	Direct to Host + SLP Host Discovery
	Note: this connection type will enable SLP discovery on this Zero Client.
	Advanced
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-32: OSD セッション接続タイプ – Direct to Host + SLP ホストディスカバリ

Advanced Settings		×
Enable Auto-Reconnect:		
Enable Peer Loss Overlay:		
Enable Preparing Desktop Overlay:		
Disconnect Message Filter:	Show All	
	Show All	
	Show Error and Warning Only	
	Show Error Only	
	Show None	
		OK Cancel

☑ 5-33 : Advanced Settings

表	5-36	:	OSD	Session	ペー	・ジノ	ペラ	メ・	ータ
---	------	---	-----	---------	----	-----	----	----	----

パラメータ	説明
Enable Auto-Reconnect	有効になっている場合は、セッションが失われたときに、クライアン トが自動的に最後に接続していたホストに再接続します。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Message Filter	 このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示さ れるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテ ゴリに分かれています。



パラメータ	説明
	<b>情報:</b> セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:
	<ul> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再 起動されたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> </ul>
	<ul> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> </ul>
	<b>警告:</b> セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:
	<ul> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> </ul>
	<b>エラー:</b> セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:
	<ul> <li>切断されました。</li> </ul>
	• 接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> </ul>
	<ul> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	を要請してください。
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ</li> </ol>

パラメータ	説明	
		ージを表示します。
	2.	Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。
	3.	Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4.	Show None – どの切断メッセージも表示しません。

### 5.6.20 OSD: View Connection Server セッション設定

VMware View Connection Server を使用して仮想デスクトップに接続するようにクラ イアントを設定する場合は、Options > Configuration > Session ページで View Connection Server セッション接続タイプを選択します。

このオプションの詳細設定を構成するには、Advanced ボタンをクリックします。

Configuration	×			
Network IPv6 Label Discovery Sess	ion Language OSD Display Reset			
wmware: View"				
Configure the connection to a peer d	evice			
Connection Type:	View Connection Server			
DNS Name or IP Address:	viewdesktop.teradici.com			
	Advanced			
Unlock	OK Cancel Apply			

図 5-34:OSD セッション接続タイプ – View Connection Server



Advanced Settings	×	
🔁 vmware View		
Configure the advanced View Connection Server settings for the device		
Desktop Name to Select:		
Port:	Leave blank for default	
Auto Connect:	<ul> <li>Always connect to this server at startup</li> </ul>	
Remember Username:	e d	
Auto Launch If Only One Desktop:		
Use OSD logo for View banner:		
Prefer GSC-IS:	e .	
Enable Peer Loss Overlay:		
Enable Preparing Desktop Overlay:		
Disconnect Message Filter:	Show All	
	OK Cancel	

図 5-35 : Advanced Settings

### 表 5-37:OSD Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。
Desktop Name to Select	セッションを開始するときにクライアントが使用するプール/デスク トップ名を入力します。 注意:この設定は省略可能です。
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
Auto Connect	有効になっている場合は、クライアントが、電源がオンになっている ときはいつでも、または、仮想デスクトップとのセッションが終了し たときに、自動的に、選択された View Connection Server に接続し ます。 注意: Auto Connect を有効にしたら、変更を反映させるためにクラ イアントの電源を入れ直す必要があります。
Remember Username	有効になっている場合は、ユーザ名テキストボックスに、自動的に、 最後に入力されたユーザ名が設定されます。

パラメータ	説明
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロゴは OSD Logo Upload ページでアップロードすることができます。
Prefer GSC-IS	選択されている場合は、スマートカードで CAC (GSC-IS) や PIV エ ンドポイントなどの複数のインターフェースがサポートされていれ ば、GSC-IS インターフェースが使用されます。スマートカードで CAC と PIV エンドポイントのどちらかなどの 1 つのインターフェー スしかサポートされていない場合は、この設定に関係なく、CAC ま たは PIV エンドポイントインターフェースのみが使用されます。これ は、PCoIP セッション以外で実行されるスマートカードアクセスにの み影響を与えます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Message Filter	<ul> <li>このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示されるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテゴリに分かれています。</li> <li>情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>マークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>オッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> <li>エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:</li> <li>切断されました。</li> </ul>


パラメータ	説明
	<ul> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援 な可諾してください。</li> </ul>
	<ul> <li>・ 設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>・ 設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	を要請してください。
	<ul> <li>         ・設定エクーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。     </li> <li>         ・設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	を要請してください。 以下の表示を選択することができます。 1. Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告
	メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。 2. Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ
	<ul> <li>3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッセージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。</li> <li>4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。</li> </ul>

# **5.6.21** OSD: View Connection Server + 自動ログオンセッション設定

ユーザが VMware View Connection Server 経由で仮想デスクトップに接続するときに 自動的にユーザのログイン詳細を入力するようにクライアントを設定する場合は、 **Options > Configuration > Session** ページで View Connection Server + 自動ログオン セッション接続タイプを選択します。

このオプションの詳細設定を構成するには、Advanced ボタンをクリックします。

Configuration	×
Network IPv6 Label Discovery Ses	slon Language OSD Display Reset
🔁 vmware View	D4
Configure the connection to a peer of	device
Connection Type:	View Connection Server + Auto-Logon
DNS Name or IP Address:	viewdesktop.teradici.com
User name:	
Password:	
Domain:	
	Advanced
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-36 : OSD セッション接続タイプ – View Connection Server + 自動ログオン



Advanced Settings	×
🔁 vmware: View::	
Configure the advanced View Connection Ser	ver settings for the device
Desktop Name to Select:	
Port:	Leave blank for default
Auto Connect:	<ul> <li>Always connect to this server at startup</li> </ul>
Auto Launch If Only One Desktop:	
Use OSD logo for View banner:	
Enable Peer Loss Overlay:	
Enable Preparing Desktop Overlay:	
Disconnect Message Filter:	Show All
	OK Cancel

⊠ 5-37 : Advanced Settings

パラメータ	説明					
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。					
User name	クライアントのユーザ名を入力します。					
Password	クライアントのパスワードを入力します。					
Domain	クライアントのドメイン名を入力します。					
Desktop Name to Select	セッションを開始するときにクライアントが使用するプール/デスク トップ名を入力します。 注意:この設定は省略可能です。					
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。 ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。					
Auto Connect	有効になっている場合は、クライアントが、電源がオンになっている ときはいつでも、または、仮想デスクトップとのセッションが終了し たときに、自動的に、選択された View Connection Server に接続し					

パラメータ	説明
	ます。 注意:Auto Connect を有効にしたら、変更を反映させるためにクラ イアントの電源を入れ直す必要があります。
Auto Launch If Only One Desktop	有効になっている場合は、ユーザ資格情報の入力後に、自動的に、ユ ーザが仮想デスクトップに接続されます。 注意:この機能は、単一のデスクトップを使用可能なユーザにのみ適 用されます。複数の仮想デスクトップを使用可能なユーザには適用さ れません。
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代 わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロ ゴは <u>OSD Logo Upload</u> ページでアップロードすることができます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Message Filter	<ul> <li>このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示されるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテゴリに分かれています。</li> <li>情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>著告:セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> <li>エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアク</li> </ul>





パラメータ	説明
	<ul> <li>ション:</li> <li>切断されました。</li> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> </ul>
	<ul> <li>接続できません(0x1002)。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>セッションがリモートで閉じられました。</li> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援</li> </ul>
	<ul> <li>を要請してくたさい。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> <li>説字エラーが原因で切断されました(0x401) IT 管理者に支援</li> </ul>
	<ul> <li>設定エノーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に交援 を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください)</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・</li></ul>
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。</li> <li>Show None – どの切断メッセージも表示しません。</li> </ol>

# 5.6.22 OSD: View Connection Server + キオスクセッション設 定

VMware View Connection Server を介して仮想デスクトップに接続するときにキオス クモードを使用するようにクライアントを設定する場合は、**Options** >

**Configuration > Session** ページで **View Connection Server + キオスク**セッション接続 タイプを選択します。

このオプションの詳細設定を構成するには、Advanced ボタンをクリックします。

Configuration	×
Network IPv6 Label Discovery Ses	sion Language OSD Display Reset
🔁 vmware View	~
Configure the connection to a peer	device
Connection Type:	View Connection Server + Klosk
DNS Name or IP Address:	vlewdesktop.teradici.com
	Zero Client MAC     Custom
Username:	CM- 00:50:56:97:77:C4
Password:	
	Advanced
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-38: OSD セッション接続タイプ – View Connection Server + キオスク



Advanced Settings	×
🔁 vmware: View-	
Configure the advanced View Connection Ser	ver settings for the device
Port:	Leave blank for default
Use OSD logo for View banner:	0
Enable Peer Loss Overlay:	
Enable Preparing Desktop Overlay:	
Disconnect Message Filter:	Show All
	OK Cancel

**⊠** 5-39 : Advanced Settings

## 表 5-39: OSD Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。
Username Type	<ul> <li>View Connection Server 上でデバイスに使用するネーミングにマッチ したユーザ名のタイプを選択します。</li> <li>Zero Client MAC: このオプションは、自動的に、Username フ ィールドにゼロクライアントの MAC アドレスを設定する場合に 選択します。</li> <li>Custom: ゼロクライアントのユーザ名を入力します。このユー ザ名にはプレフィックスの"Custom"が付加されます。</li> </ul>
Username	ユーザ名タイプとして Custom が選択されている場合に、このカス タムユーザ名要素の値を入力します。このフィールドは最大 13 文字 に制限されています。
Password	キオスクに対して仮想マシンをパスワードで保護する場合に、このフ ィールドにパスワードを入力します。このパスワードは、View Connection Server でデバイスに対して入力されたものと同じにする 必要があります。
Port	デフォルトで、このフィールドは空白になっており、View Connection Server との通信にはポート 443 が使用されます。

パラメータ	説明
	ネットワークがセキュア接続用として非標準ポートを使用するように セットアップされている場合は、ポート番号を入力します。
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロゴは <u>OSD Logo Upload</u> ページでアップロードすることができます。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Message Filter	<ul> <li>このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示されるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテゴリに分かれています。</li> <li>情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>マークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>*若:セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> <li>エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:</li> <li>切断されました。</li> <li>接続できません(0x1001)。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>せッションがリモートで閉じられました。</li> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT 管理者に支援</li> </ul>



パラメータ	説明
	を要請してください。 <ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援</li> <li>を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。

# 5.6.23 OSD: View Connection Server + Imprivata OneSign セッション設定

仮想デスクトップに接続するときに View Connection Server に加えて Imprivata OneSign システム経由でも認証するようにクライアントを設定する場合は、Options > Configuration > Session ページで View Connection Server + Imprivata OneSign セッ ション接続タイプを選択します。

このオプションの詳細設定を構成するには、Advanced ボタンをクリックします。

onfigurati	on										
Network	IPv6	Label	Discovery	Session	Language	OSD	Display	Reset			
Config	jure th	e conn	iection to a p	beer devic	æ						
		Co	nnection Ty	pe: Vie	w Connect	ion Sei	rver + Im	privata	OneSign 💌		
		E	Bootstrap UP	RL:							
										0.4	wanood
										Ad	vanced
Linke	k )						0	ĸ	Cancel		Apply

図 5-40:OSD セッション接続タイプ – View Connection Server + Imprivata OneSign

Advanced Settings	×
🔁 vmware' View-	
Configure the advanced View Connection Ser	ver settings for the device
OneSign Desktop Name Mode:	Ignore the Desktop Name to Select field
Desktop Name to Select:	
Remember Username:	×
Use OSD logo for View banner:	0
Prefer GSC-IS:	V
Enable Peer Loss Overlay:	0
Enable Preparing Desktop Overlay:	D
Disconnect Message Filter:	Show All
	OK Cancel

☑ 5-41 : Advanced Settings



#### 表 **5-40**: OSD Session ページパラメータ

パラメータ	説明		
DNS Name or IP Address	VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力 します。		
Bootstrap URL	OneSign 認証デプロイメント内で初期 OneSign サーバを探すために 使用されるブートストラップ URL を入力します。		
Onesign Desktop Name Mode	<ul> <li>Desktop Name to Select プロパティが OneSign モードで使用される かどうかを選択します。</li> <li>Ignore the Desktop Name to Select field</li> <li>Use the Desktop Name to Select field if set</li> </ul>		
Desktop Name to Select	デスクトップ名を入力します。デスクトッププールリストにこの名前 のプールが含まれている場合は、クライアントが即座にそのプールを 使用したセッションを開始します。 注意:このフィールドは大文字と小文字が区別されます。		
Remember Username	有効になっている場合は、ユーザ名テキストボックスに、自動的に、 最後に入力されたユーザ名が設定されます。		
Use OSD Logo for View Banner	有効になっている場合は、ログイン中に、VMware View バナーの代 わりに、PCoIP ゼロクライアント OSD ロゴが表示されます。OSD ロ ゴは <u>OSD Logo Upload</u> ページでアップロードすることができます。		
Prefer GSC-IS	選択されている場合は、スマートカードで CAC (GSC-IS) や PIV エ ンドポイントなどの複数のインターフェースがサポートされていれ ば、GSC-IS インターフェースが使用されます。スマートカードで CAC と PIV エンドポイントのどちらかなどの 1 つのインターフェー スしかサポートされていない場合は、この設定に関係なく、CAC ま たは PIV エンドポイントインターフェースのみが使用されます。これ は、PCoIP セッション以外で実行されるスマートカードアクセスにの み影響を与えます。		
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。		

パラメータ	説明
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Disconnect Message Filter	<ul> <li>このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示されるメッセージのタイブを制御することができます。次の3つのカテゴリに分かれています。</li> <li>情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> <li>リの場所からログインしたために切断されました。</li> <li>アークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>アークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>オッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> <li>すッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:</li> <li>切断されました。</li> <li>接続できません (0x1001) 。IT 管理者に連絡してください。</li> <li>セッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x305) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x400) 。IT 管理者に支援を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援</li> </ul>



パラメータ	説明
	を要請してください。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。

# 5.6.24 OSD : Connection Management Interface セッション設定

外部コネクションマネージャをクライアントが使用する<u>コネクションブローカ</u>とし て設定する場合は、**Options > Configuration > Session** ページで **Connection Management Interface** セッション接続タイプを選択します。

注意:外部コネクションマネージャは大規模で複雑なシステムの管理手順を簡略化 することができます。管理接続では、外部コネクションマネージャサーバがデバイ スと通信して、それをリモートで制御および設定することができます。コネクショ ンマネージャは、接続するデバイスに適切なピアを特定してから接続を開始するこ ともできます。

Co	onfigurati	on											×
N	letwork	IPv6	Label	Discovery	Session	Language	OSD	Display	Reset				
	Config	jure th	ie conn	ection to a p	eer devic	e							
			Co	nnection Ty;	be: Co	nnection Ma	anager	nent Inte	face	-			
		DNS	Name	or IP Addres	ss:								
											Ad	vanced	
													_
	Unloc	k )						0	ĸ	Cancel		Apply	

図 5-42: OSD セッション接続タイプ – Connection Management Interface

Advanced Settings		×
Enable Peer Loss Overlay:		
Enable Preparing Desktop Overlay:		
Enable Event Log Notification:		
Disconnect Message Filter:	Show All	
		OK Cancel
		Calical

☑ 5-43 : Advanced Settings



#### 表 **5-41**: AWI Session ページパラメータ

パラメータ	説明
DNS Name or IP Address	コネクションマネージャの DNS 名または IP アドレスを入力します。
Enable Peer Loss Overlay	有効になっている場合は、ネットワーク接続の消失が検出されたとき に、"Network Connection Lost"オーバーレイがディスプレイ上に表示 されます。このオーバーレイは VMware View などの仮想デスクトッ プの場合にも表示されます。通常のハイパーバイザスケジューリング の遅延によってもこのメッセージが誤ってトリガーされる場合があり ます。 注意:このオプションはゼロクライアントに対してしか使用すること ができません。ピア消失通知が必要なデスクトップアプリケーション は、OSD、AWI、または MC を介してこの機能を再有効化する必要が あります。
Enable Preparing Desktop Overlay	有効になっている場合は、ユーザがログインしたときに、"Preparing Desktop"オーバーレイがディスプレイ上に表示されます。 注意:このオーバーレイは、デスクトップの表示に数秒以上かかって いる場合でもログインが進行中であることを保証します。
Enable Event Log Notification	有効になっている場合は、クライアントがそのイベントログの内容を 接続管理サーバに送信します。
Disconnect Message Filter	<ul> <li>このフィールドを使用すれば、セッションが切断されたときに表示されるメッセージのタイプを制御することができます。次の3つのカテゴリに分かれています。</li> <li>情報:セッションに影響を与えるユーザまたは管理者によるアクション:</li> <li>別の場所からログインしたか、ホストがシャットダウンまたは再起動されたために切断されました。</li> <li>管理者が切断を実行したために切断されました。</li> <li>別の場所からログインしたために切断されました。</li> <li>ワークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>マークステーションを切断したために切断されました。</li> <li>*告:セッションに影響を与えるシステムによる予想されるアクション:</li> <li>セッションがタイムアウトしたために切断されました。</li> <li>エラー:セッションの失敗を引き起こす予期せぬシステムによるアクション:</li> <li>切断されました。</li> <li>接続できません(0x1001)。IT管理者に連絡してください。</li> <li>モッションがリモートで閉じられました(原因不明)。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x100)。IT管理者に支援</li> </ul>

パラメータ	説明
	<ul> <li>を要請してください。</li> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x201)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x300)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x301)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x302)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x303)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x305</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	• 設定エラーが原因で切断されました( <b>0x400</b> )。IT 管理者に支援 を要請してください。
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x401)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x402)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x403)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	<ul> <li>設定エラーが原因で切断されました(0x404)。IT 管理者に支援 を要請してください。</li> </ul>
	以下の表示を選択することができます。
	<ol> <li>Show All messages – このオプションは、情報メッセージ、警告 メッセージ、およびエラーメッセージを含むすべての切断メッセ ージを表示します。</li> </ol>
	<ol> <li>Show Error and Warnings Only – このオプションは情報メッセ ージを表示せず、エラーメッセージと警告メッセージのみを表示 します。</li> </ol>
	3. Show Error Only – このオプションは情報メッセージと警告メッ セージを表示せず、エラーメッセージのみを表示します。
	4. Show None – どの切断メッセージも表示しません。

# 5.7 セッション暗号化の設定

## 5.7.1 MC:暗号化設定

このページの設定を使用すれば、クライアントとホスト間の PCoIP セッションをネ ゴシエートするために使用される Transport Layer Security (TLS) レベルだけでなく、 デバイスで使用される暗号化スキームも使用してプロファイルを構成することがで きます。少なくとも1つの暗号化スキームを有効にする必要があります。 MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
г	ALL	Session Negotiation Security Level	Maximum Compatibility	When this property controls the required security level for PCoIP session negotiation.
Г	Tera2	Enable AES-128-GCM Encryption	C True & False	Controls whether AES-128-GCM encryption is available to secure a PCo session. At least one encryption scheme must be enabled.
Г	Tera2	Enable AES-256-GCM Encryption	C True & False	Controls whether AES-256-3CM encryption is available to secure a PCo session. At least one encryption scheme must be enabled.
г	Terat	Enable AES-128-GCM Encryption	C True & False	Controls whether AES-128-9CM encryption is available to secure a PCo session. At least one encryption scheme must be enabled.
г	Tera1	Enable Salsa20-256-Round12 Encryption	@ True @ False	Controls whether Salsa20-256-Round12 encryption is available to secure a PCoIP session. At least one encryption scheme must be enabled.
			Save Cancel	
		O indicates that the	property requires a device rest	aft after being changed

図 5-44:MC 暗号化設定

#### 表 5-42: MC 暗号化設定パラメータ

パラメータ	説明
Session Negotiation Security Level	<ul> <li>PCoIP セッションネゴシエーションに必要なセキュリティレベルを設定します。</li> <li>Maximum Compatibility</li> <li>Suite B: このオプションはより高度なセキュリティを提供します。</li> </ul>
Enable AES-128-GCM Encryption (Tera2)	有効になっている場合は、PCoIP セッションの保護に AES-128-GCM 暗号化スキームが使用されます。
Enable AES-256-GCM Encryption (Tera2)	有効になっている場合は、PCoIP セッションの保護に AES-256-GCM 暗号化スキームが使用されます。 注意:この方式では、Tera2 デバイスのハードウエアエンドポイント 間で最高性能を実現することができます。
Enable AES-128-GCM Encryption (Tera1)	有効になっている場合は、PCoIP セッションの保護に AES-128-GCM 暗号化スキームが使用されます。 注意:この方式では、Tera1 デバイスのハード <b>ウエア</b> エンドポイント 間で最高性能を実現することができます。

パラメータ	説明
Enable Salsa20-256- Round12 Encryption (Tera1)	有効になっている場合は、PCoIP セッションの保護に Salsa20-256- Round12M 暗号化スキームが使用されます。 注意:この方式では、Tera1 クライアントが VMware 4 以降に接続さ れており、ネットワーク上で 7 Mbps 以上の速度が利用可能であれ ば、高い性能を実現できる可能性があります。

## 5.7.2 AWI:暗号化設定に関するヘルプ

ホストおよびクライアント AWI 用の暗号化設定は、各セッション接続タイプの Configuration > Session ページに配置されています。詳細については、以下のトピッ クに含まれるフィールドの説明を参照してください。

- AWIホスト: Direct from Client セッション設定
- <u>AWI クライアント: Direct to Host セッション設定</u>
- AWI クライアント: Direct to Host + SLP ホストディスカバリセッション設定
- AWI クライアント: View Connection Server セッション設定
- AWIクライアント: View Connection Server + 自動ログオンセッション設定
- <u>AWIクライアント: View Connection Server + キオスクセッション設定</u>
- <u>AWI クライアント: View Connection Server + Imprivata OneSign セッション設定</u>

## 5.8 セッション帯域幅の設定

#### 5.8.1 MC: 帯域幅設定

このページの設定を使用すれば、PCoIP セッション中にホストとクライアントで使用される帯域幅パラメータでプロファイルを設定することができます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。



Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
г	ALL	Device Bandwidth Limit	kbps (0,1000-220000	This property dellines the maximum bandwidth peak for the Ho or Zero Clerr. This setting on the Host dellines the bandwidth from the Host to the Zero Clerr. This setting on the Zero Clerr bandwidth from the Zero Clerr to Host. A setting in 0 configures the PCOP processor to use the maximum rate available. When applied to devices running firmware older than 3.0, a value often than 0 is nounded to the nearest megabilities second with a minimum value of 1 mbps.
г	ALL	Device Bandwidth Target	kbps (0,1000-22000(	This property defines the soft limit on the network bandwidth during periods of congestion (packet loss). When the Host or Zero Client detects networks congestion (packet loss), the devi- bandwidth is npidly veduced to this value, and more stouly ) reduced below this point. The interia to salow for a more weet distribution of bandwidth between users sharing a congested network link. When applied to devices running morageted metwork link. When applied to devices running transpected that 3.5, a value other than 0.6 arounded to the searcet megation per vectored with a minimum value of 1 migos.
г	ALL	Device Bandwidth Floor	kbps (0,1000-220000	This property defines the minimum bandwidth during periods of packet loss for the Host or Zero Client. This setting on the Ho defines the minimum bandwidth from the Host to the Zero Client. This setting on the Zero Client defines the minimum (b) bandwidth from the Zero Client defines the minimum (b) bandwidth from the Zero Client to Host. A setting of 0 configures the "PCoIP processor to push 1 Mops. When applies to devices running firmware while the Host. A value often than is rounded to the nearest megabit per second with a minimum value of 1 mobs.

図 5-45: MC 帯域幅設定

#### 表 5-43: MC 帯域幅設定パラメータ

パラメータ	説明		
Device Bandwidth Limit	ホストまたはクライアントの最大帯域幅ピークを入力します。ホスト の構成では、この設定によって、ホストからクライアントへの帯域幅 (グラフィックスデータなど)が定義されます。クライアントの構成 では、この設定によって、クライアントからホストへの帯域幅(USB データなど)が定義されます。		
	アハイス帯 吸幅の 有 効範囲は 1000~220000 Kbps です。		
	PCoIP プロセッサは、Device Bandwidth Limit の最大値までの必要 な帯域幅しか使用しないうえ、ネットワークの混雑に応じて帯域幅を 動的に調整します。このフィールドを0に設定した場合は、そのとき にネットワーク上で利用可能な最大速度を使用するようにPCoIP プ ロセッサが設定されます。 このフィールドは、クライアントとホストが接続されているネットワ		
	ークの上限に設定することをお勧めします。		
	注意:3.0より古いファームウエアを実行しているデバイスに適用した場合は、0以外の値が最も近い Mbps(最小値は 1 Mbps) に丸められます。		
Device Bandwidth Target	混雑時のネットワーク帯域幅に対する一時的な制限を入力します。ホ ストまたはクライアントがパケット損失を検出すると、デバイス帯域 幅がこの値まで急激に減少してから、この値を下回るとゆっくり減少 します。これにより、混雑したネットワークリンクを共有しているユ ーザ間の帯域幅がより均等に分散されます。		
	注意:3.0 より古いファームウエアを実行しているデバイスに適用した場合は、0 以外の値が最も近い Mbps(最小値は 1 Mbps) に丸められます。		

パラメータ	説明
Device Bandwidth Floor	<ul> <li>混雑が発生して帯域幅が必要になった場合の最小帯域幅を入力します。これにより、混雑またはパケット損失が判明しているネットワークの性能を最適化することができます。帯域幅が必要ない場合は、使用される帯域幅が下限値未満まで減少します。</li> <li>ホストの構成では、この設定によって、ホストからクライアントへの最小帯域幅(グラフィックデータなど)が定義されます。クライアントの構成では、この設定によって、クライアントからホストへの最小帯域幅(USBデータなど)が定義されます。</li> <li>0に設定した場合は、ネットワーク障害が発生したら 1000 Kbps まで帯域幅を下げるように PCoIP プロセッサが設定されます。これを0以外の値に設定する場合は、ネットワークトポロジに精通している必要があります。</li> <li>注意:ファームウエアには、必要な帯域幅に到達するまで、ネットワークの混在が検出されるまで、または Device Bandwidth Limit が満たされるまで、使用帯域幅を増やすスロースタートアルゴリズムが実装されています。このアルゴリズムは、Device Bandwidth Limit を8000 Kbps の小さい方で開始して、使用帯域幅を数秒以内に増やします。このスロースタートアルゴリズムを使用すれば、低帯域幅シナリオ(WAN シナリオなど)の滑らかなセッション起動が可能になります。PCoIP セッションの起動後は、アルゴリズムによって使用帯域幅が増加したときに、ユーザが一時的に低帯域幅ビデオアーチファクトに気付く可能性があります。</li> <li>注意:3.0 より古いファームウエアを実行しているデバイスに適用した場合は、0以外の値が最も近い Mbps(最小値は 1 Mbps)に丸められます。</li> </ul>

## 5.8.2 AWI: 帯域幅設定

このページの設定を使用すれば、PCoIP セッション中にホストまたはクライアント によって使用される帯域幅を制御することができます。このページは、ホストまた はクライアントの Configuration > Bandwidth メニューから表示することができます。 このページのパラメータは Apply のクリック直後に適用されます。



Bandwidth
Configure the device bandwidth limit, target and floor
Device Bandwidth Limit: 90000 kbps (0 = no limit)
Device Bandwidth Target: 0 kbps (0 = disabled)
Device Bandwidth Floor: 0 kbps (0 = use default of 1000 kbps)
Apply Cancel

図 5-46:AWI Bandwidth ページ

#### 表 5-44: AWI 帯域幅パラメータ

パラメータ	説明
Device Bandwidth Limit	ホストまたはクライアントの最大帯域幅ピークを入力します。ホスト の構成では、この設定によって、ホストからクライアントへの帯域幅 (グラフィックスデータなど)が定義されます。クライアントの構成 では、この設定によって、クライアントからホストへの帯域幅(USB データなど)が定義されます。 デバイス帯域幅の有効範囲は 1000~220000 Kbps です。
	PColP プロセッサは、Device Bandwidth Limit の最大値までの必要 な帯域幅しか使用しないうえ、ネットワークの混雑に応じて帯域幅を 動的に調整します。このフィールドを0に設定した場合は、そのとき にネットワーク上で利用可能な最大速度を使用するように PColP プ ロセッサが設定されます。
	このフィールドは、クライアントとホストが接続されているネットワ ークの上限に設定することをお勧めします。
	注意:3.0より古いファームウエアを実行しているデバイスに適用した場合は、0以外の値が最も近い Mbps(最小値は1 Mbps)に丸められます。
Device Bandwidth Target	混雑時のネットワーク帯域幅に対する一時的な制限を入力します。ホ ストまたはクライアントがパケット損失を検出すると、デバイス帯域 幅がこの値まで急激に減少してから、この値を下回るとゆっくり減少 します。これにより、混雑したネットワークリンクを共有しているユ ーザ間の帯域幅がより均等に分散されます。

パラメータ	説明
	注意:3.0より古いファームウエアを実行しているデバイスに適用した場合は、0以外の値が最も近い Mbps (最小値は 1 Mbps) に丸められます。
Device Bandwidth Floor	<ul> <li>混雑が発生して帯域幅が必要になった場合の最小帯域幅を入力します。これにより、混雑またはパケット損失が判明しているネットワークの性能を最適化することができます。帯域幅が必要ない場合は、使用される帯域幅が下限値未満まで減少します。</li> <li>ホストの構成では、この設定によって、ホストからクライアントへの最小帯域幅(グラフィックデータなど)が定義されます。クライアントの構成では、この設定によって、クライアントからホストへの最小帯域幅(USBデータなど)が定義されます。</li> <li>0に設定した場合は、ネットワーク障害が発生したら 1000 Kbps まで帯域幅を下げるように PCoIP プロセッサが設定されます。これを0以外の値に設定する場合は、ネットワークトポロジに精通している必要があります。</li> <li>注意:ファームウエアには、必要な帯域幅に到達するまで、ネットワークの混在が検出されるまで、または Device Bandwidth Limit が満たされるまで、使用帯域幅を増やすスロースタートアルゴリズムが実装されています。このアルゴリズムは、Device Bandwidth Limit ど8000 Kbps の小さい方で開始して、使用帯域幅を数秒以内に増やします。このスロースタートアルゴリズムを使用すれば、低帯域幅シナリオ(WAN シナリオなど)の滑らかなセッション起動が可能になります。PCoIP セッションの起動後は、アルゴリズムによって使用帯域幅が増加したときに、ユーザが一時的に低帯域幅ビデオアーチファクトに気付く可能性があります。</li> <li>注意:3.0 より古いファームウエアを実行しているデバイスに適用した場合は、0 以外の値が最も近い Mbps(最小値は 1 Mbps)に丸められます。</li> </ul>

# 5.9 言語の設定

## 5.9.1 MC:言語設定

このページの設定を使用すれば、OSD ユーザインターフェースで使用される言語で プロファイルを設定することができます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。



Profile	Family	Property Name	Value	Description
	ALL	Language O	English	This property configures the language of the OSD. The dro down menu lists the supporte languages.
	ALL	Keyboard Layout O	English (U.S.) ISO-8859-1	This property configures the keyboard layout. The drop do menu lists the supported keyboards.
			Save Cancel	
		Indicates that	The property requires a device restart after being changed	

図 5-47:MC 言語設定

表 5-45: MC 言語設定パラメータ

パラメータ	説明
Language	OSD ユーザインターフェースに対して設定します。 注意:これは、実際のユーザセッションの言語設定に影響を与えません。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。
Keyboard Layout	キーボードのレイアウトを変更します。ユーザがセッションを開始す ると、この設定が仮想マシンに転送されます。PColP "Use Enhanced Keyboard on Windows Client if available" GPO がキーボードレイアウ ト設定を許可するように設定されている場合は、この設定がユーザの セッション中に使用されます。この GPO がキーボードレイアウト設 定を許可するように設定されていない場合は、この設定が無視されま す。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。

## **5.9.2** AWI クライアント:言語設定

このページの設定を使用すれば、OSD ユーザインターフェースで使用される言語を 設定することができます。このページは、Configuration > Language メニューから 表示することができます。

Language	
Select a language for th	e local GUI (client only)
	Language: English
Keybo	ard Layout: United States of America ISO-8859-1
	Apply Cancel

図 5-48: AWI クライアント Language ページ

表 5-46: AWI クライアント言語パラメータ

パラメータ	<ul> <li>説明</li> <li>OSD ユーザインターフェースに対して設定します。</li> <li>注意:これは、実際のユーザセッションの言語設定に影響を与えません。</li> </ul>	
Language		
Keyboard Layout	キーボードのレイアウトを変更します。ユーザがセッションを開始す ると、この設定が仮想マシンに転送されます。PColP "Use Enhanced Keyboard on Windows Client if available" GPO がキーボードレイアウ ト設定を許可するように設定されている場合は、この設定がユーザの セッション中に使用されます。この GPO がキーボードレイアウト設 定を許可するように設定されていない場合は、この設定が無視されま す。	

## 5.9.3 OSD:言語設定

このページの設定を使用すれば、OSD ユーザインターフェースで使用される言語を 設定することができます。このページは、Options > Configuration > Language メニ ューから表示することができます。



Configuration	×
Network IPv6 Label Discovery Ses	sion Language OSD Display Reset
Select a language for the user inter	face
Language:	English
Keyboard Layout:	USA ISO-8859-1
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-49:OSD Language ページ

#### 表 5-47: OSD 言語パラメータ

パラメータ	説明	
Language	OSD ユーザインターフェースに対して設定します。 注意:これは、実際のユーザセッションの言語設定に影響を与えません。	
Keyboard Layout	キーボードのレイアウトを変更します。ユーザがセッションを開始す ると、この設定が仮想マシンに転送されます。PColP "Use Enhanced Keyboard on Windows Client if available" GPO がキーボードレイアウ ト設定を許可するように設定されている場合は、この設定がユーザの セッション中に使用されます。この GPO がキーボードレイアウト設 定を許可するように設定されていない場合は、この設定が無視されま す。	

# **5.10** OSD パラメータの設定

### 5.10.1 MC:OSD 設定

このページの設定を使用すれば、デバイスの OSD 上で使用されるスクリーンセーバ タイムアウト値を設定したり、OSD に表示しないメニューとメニュー項目を制御し たりするようにプロファイルを構成することができます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

Profile	Family			This superior configures the CRD superior simulate share
г	ALL	OSD Screensaver Timeout	s (0,10-9999)	timeout. A setting of 0 seconds disables the screensaverimonitor sleep.
F	ALL	Hidden Menu Entries O	<ul> <li>Hide Options → Configuration</li> <li>Hide Options → Diagnostics</li> <li>Hide Options → Information</li> <li>Hide Options → User Settings</li> <li>Hide Options → Dassword</li> <li>Hide the Options menu</li> <li>Hide bit menus</li> </ul>	This property controls which menu items or entire menus are hidd in the OSD. Hidd a single menu item by selecting it. To hide an entire menu select the menu hide checkbox. To hide all of the menus select the hide all menus checkbox.
			Save Cancel	
		<ul> <li>Indicates that</li> </ul>	The property requires a device restart at	fler being changed

図 5-50: MC OSD 設定

表 5-48: MC 言語設定パラメータ

パラメータ	説明
OSD Screensaver Timeout	接続されたディスプレイが低電力モードに入るまでの秒数(10~ 9999)を使用して OSD スクリーンセーバタイムアウトを設定しま す。0秒に設定すると、スクリーンセーバが無効になります。
Hidden Menu Entries	OSD ローカル GUI 上に表示しない項目を選択します。単一のメニュ ー項目、Options メニュー全体、またはすべてのメニューを非表示に することができます。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。



## **5.10.2** AWI クライアント: OSD 設定

このページの設定を使用すれば、ローカル OSD のモニタスクリーンセーバタイムア ウトを設定することができます。このページは、Configuration > OSD メニューから 表示することができます。

On Screen Display
Change the settings of the On Screen Display (client only)
Screen-Saver Timeout: 300 Seconds (0 = disabled)
Apply Cancel

図 5-51 : AWI On Screen Display ページ

表 5-4	49:	AWI	OSD	パラ	メ	ータ
-------	-----	-----	-----	----	---	----

パラメータ	説明
Screen-Saver Timeout	接続されたディスプレイが低電力モードに入るまでの秒数(10~ 9999)を使用して OSD スクリーンセーバタイムアウトを設定しま す。0 秒に設定すると、スクリーンセーバが無効になります。

## 5.10.3 OSD: OSD 設定

このページの設定を使用すれば、ローカル OSD のモニタスクリーンセーバタイムア ウトを設定することができます。このページは、**Options > Configuration > OSD** メ ニューから表示することができます。



図 5-52 : OSD OSD ページ

#### 表 5-50: OSD OSD パラメータ

パラメータ	説明
Screen-Saver Timeout	接続されたディスプレイが低電力モードに入るまでの秒数(10~ 9999)を使用して OSD スクリーンセーバタイムアウトを設定しま す。0 秒に設定すると、スクリーンセーバが無効になります。

# 5.11 イメージ品質の設定

## 5.11.1 MC:イメージ設定

**Image** ページでは、PCoIP セッションのイメージ品質を変更するようにプロファイルを設定することができます。

注意:この設定は、ゼロクライアントとホスト間のセッションにのみ適用されます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。



Г ALL Minimum Ima;			
	ge Quality 30	Perce	This property configures the minimum image quality when nation's bandwidth is limited. Lower values main thin their terminer term with reduced image quality, while higher values meant in higher quality manual the higher values meant in higher quality manual is not constained, the FCoIP system of manual is not constained, the FCoIP system of the high system of the system of the property must be set less than or equal to the Maximum Initial limage Cuality. When applied in a profile to timus older than 2.0 the minimum value writes in 4.0.
T ALL Maximum Initia	al Image Quality	Perce	This property is used to reduce network bandwidth pasks accessed by acreen content changes. This esting limits the quality on the first video farme of a screen change. Unchanged regions of the image blob blob to a locates a state segredues of this esting. Lower values result in induced network bandwidth pasks and produce lower quality images. Higher values result in induced network bandwidth pasks and higher quality images. This property mus- bes at graster than or equal to the filterium image Quality. When applied in a profile to firmizers older than 2.0 the millionum value wither in 40.
F ALL Image Quality	Preference	Motion Shar	Bet the user's image quality preference during a PColf easien and a a range from to to 100 m stag of 5. A preference for amother motion (value 0) mauts in a higher forms near at a four quality live intermediate values allow for subspir image musics in a town forme stars at a higher quality level.

図 5-53: MC イメージ設定

### 表 5-51: MC イメージ設定パラメータ

パラメータ	説明
Minimum Image Quality	ネットワーク帯域幅が制限されている場合にイメージ品質とフレーム レートのバランスを取ることができます。ユースケースによっては、 より高いフレームレートでより低い品質のイメージが必要な場合やよ り低いフレームレートでより高い品質のイメージが必要な場合があり ます。 ネットワーク帯域幅が制限されている環境では、スライダを Reduced の方向に移動してより高いフレームレートを許可します。 より高いイメージ品質を許可する場合は、スライダを Perception- Free の方向に移動します。ネットワーク帯域幅が制限されていない 場合は、Minimum Image Quality パラメータに関係なく、PCoIP シ ステムが問題のない品質を維持します。 注意: Maximum Initial Image Quality は Minimum Image Quality 以上にする必要があります。
Maximum Initial Image Quality	画面内容の変化に伴ってネットワーク帯域幅のピークを下げながら、 より低い品質のイメージを生成する場合は、スライダを Reduced の 方向に移動します。より高い品質のイメージを生成しながら、より高 い帯域幅のピークも生成する場合は、スライダを Perception-Free の 方向に移動します。 このパラメータは、画面変化の最初の表示フレーム上の品質を制限し ます。イメージの無変化領域は、このパラメータに関係なく、ロスレ ス状態が維持されます。 注意: Maximum Initial Image Quality は Minimum Image Quality 以上にする必要があります。

パラメータ	説明
Image Quality Preference	より低い品質レベルでより高いフレームレートを生成する場合は、ス ライダを Smoother Motion の方向に移動します。より高い品質レベ ルでより低いフレームレートを生成する場合は、スライダを Sharper Image の方向に移動します。範囲は 0~100 の 5 段階です。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。
Disable Build to Lossless	イメージが完全なロスレス状態(つまり、ホストイメージソースと比 較して理想的なピクセル単位レンダリング)になるまでバックグラウ ンドで再構築が継続される PCoIP プロトコルのロスレス構築機能を 維持する場合は、このフィールドをオフのままにします。これはデフ ォルト(推奨)設定です。 <b>警告:Disable Build to Lossless</b> フィールドをオンにすると、ゼロ クライアントに表示されるイメージが劣化します。ユーザが重要な機 能を実行するために最適なイメージ品質を必要としていないとゼロク ライアント管理者が判断した場合を除いて、このフィールドはオンに しないでください。この決定はゼロクライアント管理者独自の責任で す。 このフィールドをオンにした場合は、PCoIP プロトコルによって、ク ライアントイメージが知覚的にはロスレスだが、完全なロスレス状態 ではない高品質イメージにすばやく構築されます。これにより、一部 の帯域幅が節約されますが、イメージとデスクトップの内容を完全に ロスレスにしなければならないユースケースにはお勧めできません。 このフィールド設定に関する質問は、 <u>Teradici サポート</u> にお問い合わ せください。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。
Enable Client Image Settings	有効になっている場合は、クライアントのイメージ設定をセッション に使用するオプションがホストで使用可能になります。無効になって いる場合は、ホストのイメージ設定が適用されます。 注意:Image Quality Preference 設定にはこのルールが適用されませ ん。
Maximum Frame Rate	最大フレームレートは、単一ネットワークリンク上での複数 PColP セッションの管理を容易にします。この設定によって、ユーザが到達 可能な上限が決定されます。フレーム制限なしにする場合は、このフ ィールドを 0 に設定します。値を設定すると、単一ユーザがその値に 制限されます。これにより、すべてのユーザのユーザエクスペリエン スの制御が容易になります。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PColP セッションでは機能しません。



# 5.11.2 AWI ホスト:イメージ設定

**Image** ページでは、PCoIP セッションのイメージ品質を変更することができます。 このページは、**Configuration > Image** メニューから表示することができます。

注意:この設定は、ゼロクライアントとホスト間のセッションにのみ適用されます。

Image
Adjust the image quality. A lower minimum image quality will allow a higher frame rate when network bandwidth is limited.
Use Client Image Settings: 🗹
Minimum 40 Image Quality:
Maximum Initial 90 Image Quality:
Maximum Frame Rate: 0 fps (0 = no limit)
Disable Build To Lossless: 📕
Apply Cancel

図 5-54 : AWI ホスト Image ページ

注意: Use Client Image Settings フィールドが選択されていない場合は、下の図のように、このページのテキストボックスがスライダに置き換えられます。

Mini Image Qu	ality: Reduced	Perception-Free
		40
Maximum I Image Qu	nitial Reduced	Perception-Free
		90
Maximum Frame I	Rate: fps (0 = no limit)	
Disable Build To Loss	less:	

図 5-55: AWI ホスト Image ページ – Use Client Image Settings が無効になっている場合

#### 表 5-52: AWI ホスト Image ページパラメータ

パラメータ	説明
-------	----

パラメータ	説明
Use Client Image Settings	有効になっている場合は、このページのイメージ設定を編集すること ができません。表示される設定(グレーアウトされている)はホスト 用としてフラッシュに保存されている設定です。 無効になっている場合は、イメージ設定が編集可能になり、現在のセ ッションに適用されます。
Minimum Image Quality	ネットワーク帯域幅が制限されている場合にイメージ品質とフレーム レートのバランスを取ることができます。ユースケースによっては、 より高いフレームレートでより低い品質のイメージが必要な場合やよ り低いフレームレートでより高い品質のイメージが必要な場合があり ます。 ネットワーク帯域幅が制限されている環境では、スライダを Reduced の方向に移動してより高いフレームレートを許可します。 より高いイメージ品質を許可する場合は、スライダを Perception- Free の方向に移動します。ネットワーク帯域幅が制限されていない 場合は、Minimum Image Quality パラメータに関係なく、PCoIP シ ステムが問題のない品質を維持します。 注意: Maximum Initial Image Quality は Minimum Image Quality 以上にする必要があります。
Maximum Initial Image Quality	画面内容の変化に伴ってネットワーク帯域幅のピークを下げながら、 より低い品質のイメージを生成する場合は、スライダを Reduced の 方向に移動します。より高い品質のイメージを生成しながら、より高 い帯域幅のピークも生成する場合は、スライダを Perception-Free の 方向に移動します。 このパラメータは、画面変化の最初の表示フレーム上の品質を制限し ます。イメージの無変化領域は、このパラメータに関係なく、ロスレ ス状態が維持されます。 注意: Maximum Initial Image Quality は Minimum Image Quality 以上にする必要があります。
Image Quality Preference	より低い品質レベルでより高いフレームレートを生成する場合は、ス ライダを Smoother Motion の方向に移動します。より高い品質レベ ルでより低いフレームレートを生成する場合は、スライダを Sharper Image の方向に移動します。範囲は 0~100 の 5 段階です。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。
Maximum Frame Rate	最大フレームレートは、単一ネットワークリンク上での複数 PColP セッションの管理を容易にします。この設定によって、ユーザが到達 可能な上限が決定されます。フレーム制限なしにする場合は、このフ ィールドを 0 に設定します。値を設定すると、単一ユーザがその値に 制限されます。これにより、すべてのユーザのユーザエクスペリエン スの制御が容易になります。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View



パラメータ	説明
	仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。
Disable Build to Lossless	イメージが完全なロスレス状態(つまり、ホストイメージソースと比較して理想的なピクセル単位レンダリング)になるまでバックグラウンドで再構築が継続される PCoIP プロトコルのロスレス構築機能を 維持する場合は、このフィールドをオフのままにします。これはデフォルト(推奨)設定です。
	警告: Disable Build to Lossless フィールドをオンにすると、ゼロ クライアントに表示されるイメージが劣化します。ユーザが重要な機 能を実行するために最適なイメージ品質を必要としていないとゼロク ライアント管理者が判断した場合を除いて、このフィールドはオンに しないでください。この決定はゼロクライアント管理者独自の責任で す。
	このフィールドをオンにした場合は、PCoIP プロトコルによって、ク ライアントイメージが知覚的にはロスレスだが、完全なロスレス状態 ではない高品質イメージにすばやく構築されます。これにより、一部 の帯域幅が節約されますが、イメージとデスクトップの内容を完全に ロスレスにしなければならないユースケースにはお勧めできません。
	このフィールド設定に関する質問は、 <mark>Teradici サポート</mark> にお問い合わ せください。
	注意:この設定は、5.0以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。

## **5.11.3** AWI クライアント:イメージ設定

Image ページでは、PCoIP セッションのイメージ品質を変更することができます。 このページは、Configuration > Image メニューから表示することができます。 注意:この設定は、ゼロクライアントとホスト間のセッションにのみ適用されます。



図 5-56:AWI クライアント Image ページ

#### 表 5-53: AWI クライアント Image ページパラメータ

パラメータ	説明
Minimum Image Quality	ネットワーク帯域幅が制限されている場合にイメージ品質とフレーム レートのバランスを取ることができます。ユースケースによっては、 より高いフレームレートでより低い品質のイメージが必要な場合やよ り低いフレームレートでより高い品質のイメージが必要な場合があり ます。 ネットワーク帯域幅が制限されている環境では、スライダを Reduced の方向に移動してより高いフレームレートを許可します。 より高いイメージ品質を許可する場合は、スライダを Perception- Free の方向に移動します。ネットワーク帯域幅が制限されていない 場合は、Minimum Image Quality パラメータに関係なく、PCoIP シ ステムが問題のない品質を維持します。 注意: Maximum Initial Image Quality は Minimum Image Quality 以上にする必要があります。
Maximum Initial Image Quality	画面内容の変化に伴ってネットワーク帯域幅のピークを下げながら、 より低い品質のイメージを生成する場合は、スライダを Reduced の 方向に移動します。より高い品質のイメージを生成しながら、より高 い帯域幅のピークも生成する場合は、スライダを Perception-Free の 方向に移動します。 このパラメータは、画面変化の最初の表示フレーム上の品質を制限し ます。イメージの無変化領域は、このパラメータに関係なく、ロスレ ス状態が維持されます。 注意: Maximum Initial Image Quality は Minimum Image Quality 以上にする必要があります。



パラメータ	説明
Image Quality Preference	より低い品質レベルでより高いフレームレートを生成する場合は、ス ライダを Smoother Motion の方向に移動します。より高い品質レベ ルでより低いフレームレートを生成する場合は、スライダを Sharper Image の方向に移動します。範囲は 0~100 の 5 段階です。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。
Maximum Frame Rate	最大フレームレートは、単一ネットワークリンク上での複数 PColP セッションの管理を容易にします。この設定によって、ユーザが到達 可能な上限が決定されます。フレーム制限なしにする場合は、このフ ィールドを 0 に設定します。値を設定すると、単一ユーザがその値に 制限されます。これにより、すべてのユーザのユーザエクスペリエン スの制御が容易になります。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PColP セッションでは機能しません。
Disable Build to Lossless	イメージが完全なロスレス状態(つまり、ホストイメージソースと比較して理想的なピクセル単位レンダリング)になるまでバックグラウンドで再構築が継続される PCoIP プロトコルのロスレス構築機能を 維持する場合は、このフィールドをオフのままにします。これはデフォルト(推奨)設定です。
	警告: Disable Build to Lossless フィールドをオンにすると、ゼロ クライアントに表示されるイメージが劣化します。ユーザが重要な機 能を実行するために最適なイメージ品質を必要としていないとゼロク ライアント管理者が判断した場合を除いて、このフィールドはオンに しないでください。この決定はゼロクライアント管理者独自の責任で す。
	このフィールドをオンにした場合は、PCoIP プロトコルによって、ク ライアントイメージが知覚的にはロスレスだが、完全なロスレス状態 ではない高品質イメージにすばやく構築されます。これにより、一部 の帯域幅が節約されますが、イメージとデスクトップの内容を完全に ロスレスにしなければならないユースケースにはお勧めできません。 このフィールド設定に関する質問は、 <u>Teradici サポート</u> にお問い合わ
	せください。 注意:この設定は、5.0以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。

## 5.11.4 OSD:イメージ設定

**Image** ページでは、PCoIP セッションのイメージ品質を変更することができます。 このページは、**Options > User Settings > Image** メニューから表示することができま す。

注意:この設定は、ゼロクライアントとホスト間のセッションにのみ適用されます。



図 5-57:OSD Image ページ

注意:OSDでは、このページに Options->User Settings メニューからアクセスする ことができます。

#### 表 5-54: OSD Image ページパラメータ

パラメータ	説明
Image Quality Preference	より低い品質レベルでより高いフレームレートを生成する場合は、ス ライダを Smoother Motion の方向に移動します。より高い品質レベ ルでより低いフレームレートを生成する場合は、スライダを Sharper Image の方向に移動します。範囲は 0~100 の 5 段階です。 注意:この設定は、5.0 以前のリリースを実行している VMware View 仮想デスクトップとの PCoIP セッションでは機能しません。


# 5.12 モニタエミュレーションの設定

### **5.12.1** MC: モニタエミュレーション

Monitor Emulation ページでは、モニタエミュレーション機能を有効または無効に するようにプロファイルを設定することができます。このページは、未だにモニタ エミュレーションを使用しているホストカード上でのみ使用することができます。 クライアント上では無効になっているため、編集することができません。

ディスプレイが接続されていないと起動しない PC やワークステーションがありま す。モニタエミュレーションは、起動プロセスの完了を保証する汎用表示を提供し ます。セッションが確立されると、クライアントのディスプレイ情報がホストに送 信されます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

Profile	Family	Property Name	Value	Description
r	ALL	Enable Monitor Emulation on Video Port 1 O	C True C False	This setting affects all Teach Nois canch and Teach Heat canch, with the following firmwate part numbers (FW010004, FW010006, FW010006, FW010000, FW010001, FW010001, FW010001, FW010001, FW010002,
г	ALL	Enable Monitor Emulation on Video Port 2 C	C True C False	This property provides functionality similar to the Enable Monitor Emulation on Video Port 1 property. It affects DDC queries for the video port 2 connector.
г	Tera2	Enable Monitor Emulation on Video Port 3 Cl	C True C False	This property provides functionality similar to the Enable Monitor Emulation on Video Port 1 property. It affects DDC queries for the video port 3 connector. This property only affects Quad-Display Host cards.
г	Tera2	Enable Monitor Emulation on Video Port 4 ©	C True C False	This property provides functionality similar to the Enable Monitor Emulation on Video Port 1 property. It affects DDC quarks for the video port 4 connector. This property only affects Quad-Display Host cards.
			Save	Cancel
		O indicates that the	e property requires a d	sevice restart after being changed

図 5-58 : MC Monitor Emulation ページ

#### 表 5-55: MC モニタパラメータ

パラメータ	説明
Enable Monitor Emulation on Video Port 1	有効になっている場合は、PCoIP セッションがアクティブかどうかに 関係なく、ホストがすべてのディスプレイデータチャネル(DDC)の 問い合わせに応答します。セッションがアクティブでない場合は、ホ ストがエミュレートした DDC データを提供します。セッションがア クティブな場合は、ホストがクライアントのポート1コネクタに接続 されたモニタから収集した実際の DDC データを提供します。 無効になっている場合は、PCoIP セッションがアクティブなときの

パラメータ	説明
	み、ホストがディスプレイデータチャネル (DDC) の問い合わせに応 答します。 注意:このフィールドを有効にすると、クライアントでビデオが表示 されない問題の解決が支援される場合があります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Enable Monitor Emulation on Video Port 2	このフィールドは、ポート2コネクタに対する DDC 問い合わせに影響を与え、ポート1コネクタの場合と同等の機能を提供します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。
Enable Monitor Emulation on Video Port 3	このフィールドは、ポート3コネクタに対するDDC問い合わせに影響を与え、ポート1コネクタの場合と同等の機能を提供します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。
Enable Monitor Emulation on Video Port 4	このフィールドは、ポート4コネクタに対する DDC 問い合わせに影響を与え、ポート1コネクタの場合と同等の機能を提供します。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。

### **5.12.2 AWI Tera1** ホスト:モニタエミュレーション

Monitor Emulation ページでは、モニタエミュレーション機能を有効または無効に することができます。このページは、未だにモニタエミュレーションを使用してい るホストカード上でのみ使用することができます。クライアント上では無効になっ ているため、編集することができません。

ディスプレイが接続されていないと起動しない PC やワークステーションがありま す。モニタエミュレーションは、起動プロセスの完了を保証する汎用表示を提供し ます。セッションが確立されると、クライアントのディスプレイ情報がホストに送 信されます。

このページは、Configuration > Monitor Emulation メニューから表示することができます。



Monitor Emulation	
With monitor emulation disabled, the host will only respond to display data channel queries when in a session. With emulation enabled, the host will <b>always</b> respond to display data channel queries. This feature is applicable on the h	monitor ost only.
Enable Monitor Emulation	
Enable Monitor Emulation Convideo Port 2:	
Apply Cancel	



#### 表 5-56: AWI Tera1 ホストモニタパラメータ

パラメータ	説明
Enable Monitor Emulation on DVI-1	有効になっている場合は、PCoIP セッションがアクティブかどうかに 関係なく、ホストがすべてのディスプレイデータチャネル(DDC)の 問い合わせに応答します。セッションがアクティブでない場合は、ホ ストがエミュレートした DDC データを提供します。セッションがア クティブな場合は、ホストがクライアントのポート1コネクタに接続 されたモニタから収集した実際のDDC データを提供します。 無効になっている場合は、PCoIP セッションがアクティブなときの み、ホストがディスプレイデータチャネル(DDC)の問い合わせに応 答します。 注意:このフィールドを有効にすると、クライアントでビデオが表示 されない問題の解決が支援される場合があります。
Enable Monitor Emulation on DVI-2	このフィールドは、ポート2コネクタに対する DDC 問い合わせに影響を与え、ポート1コネクタの場合と同等の機能を提供します。

### 5.12.3 AWI Tera2 ホスト:モニタエミュレーション

Monitor Emulation ページでは、モニタエミュレーション機能を有効または無効に することができます。このページは、モニタエミュレーションを使用しているホス トカード上でのみ使用することができます。クライアント上では無効になっている ため、編集することができません。

ディスプレイが接続されていないと起動しない PC やワークステーションがありま す。モニタエミュレーションは、起動プロセスの完了を保証する汎用表示を提供し ます。セッションが確立されると、クライアントのディスプレイ情報がホストに送 信されます。

このページは、Configuration > Monitor Emulation メニューから表示することができます。





表 5-57	: AWI	Tera2 ホン	ストモニタ	パラメータ

パラメータ	説明		
Enable Monitor Emulation on Video Port 1	有効になっている場合は、PCoIP セッションがアクティブかどうかに 関係なく、ホストがすべてのディスプレイデータチャネル (DDC)の 問い合わせに応答します。セッションがアクティブでない場合は、ホ ストがエミュレートした DDC データを提供します。セッションがア クティブな場合は、ホストがクライアントのポート1コネクタに接続 されたモニタから収集した実際の DDC データを提供します。 無効になっている場合は、PCoIP セッションがアクティブなときの み、ホストがディスプレイデータチャネル (DDC)の問い合わせに応 答します。 注意:このフィールドを有効にすると、クライアントでビデオが表示 されない問題の解決が支援される場合があります。		
Enable Monitor Emulation on Video Port 2	このフィールドは、ポート 2 コネクタに対する DDC 問い合わせに影 響を与え、ポート 1 コネクタの場合と同等の機能を提供します。		
Enable Monitor Emulation on Video Port 3	このフィールドは、ポート3コネクタに対する DDC 問い合わせに影響を与え、ポート1コネクタの場合と同等の機能を提供します。		
Enable Monitor Emulation on Video Port 4	このフィールドは、ポート4コネクタに対する DDC 問い合わせに影響を与え、ポート1コネクタの場合と同等の機能を提供します。		

PCoIP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



## 5.13 時間の設定

#### 5.13.1 MC:時間設定

Time ページでは、ネットワークタイムプロトコル(NTP)パラメータを使用して、 ホストとクライアントのイベントログにNTP時間に基づくタイムスタンプを付けら れるようにプロファイルを設定することができます。

注意:クライアントが DHCP 用に設定され、DHCP サーバが NTP サーバアドレスを 提供している場合は、このアドレスが手動で設定されたどの NTP サーバよりも優先 されます。また、NTP が無効になっている場合は、有効になります。

注意: クライアントは NTP サーバからタイムゾーンまたは夏時間(DST)情報を取得しません。

注意:システムトラブルシューティングを容易にするために、ユーザがユーザイベントと診断イベントログのエントリを対応付けることができるようにNTPパラメータを設定します。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
г	ALL	NTP Server Hostname	[	This property identifies the Network Tim Protocol (NTP) server the Host or Zero Client will contact to determine the curre time. This property can be entered as either an IP address or a Fully Qualified Domain Name.
г	ALL	NTP Server Port	(0-65535)	This property configures the port numbe of the NTP server. The default value of this parameter equals 123.
г	ALL	NTP Query Interval	s (900-60480000)	This property configures how often in seconds the Host or Zero Client will contact the NTP server to update the current time. The default value of this parameter equals 80400, which is equivalent to 24 hours.
г	ALL	Enable DST	C True C False	When this property is true the Host or Zero Client adjusts the current time base on daylight savings.
г	ALL	Time Zone Offset	gnit_minus_1200_international_date_line_west	This property configures the time zone.
			Save Cancel	
		<ul> <li>indicates that</li> </ul>	t the property requires a device restart after being changed	

図 5-61: MC 時間設定

表 5-58: MC 時間設定パラメータ

パラメータ	説明
NTP Server Hostname	ホストまたはクライアントが現在時刻を決定するために接触する NTP サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名(FQDN)を設 定します。

パラメータ	説明
NTP Server Port	NTP サーバのポート番号を設定します。デフォルトの NTP サーバポ ート値は 123 です。
NTP Query Interval	ホストまたはクライアントが現在時刻を更新するために NTP サーバ に接触する頻度(秒単位)を設定します。デフォルトの問い合わせ間 隔は、86400秒、つまり、24時間です。
Enable DST	夏時間(DST)の自動調節を有効または無効にします。
Time Zone Offset	必要なタイムゾーンを選択します。

#### 5.13.2 AWI:時間設定

Time ページでは、ホストとクライアントのイベントログに NTP 時間に基づくタイ ムスタンプを付けられるようにネットワークタイムプロトコル (NTP) パラメータ を設定することができます。

注意:クライアントが DHCP 用に設定され、DHCP サーバが NTP サーバアドレスを 提供している場合は、このアドレスが手動で設定されたどの NTP サーバよりも優先 されます。また、NTP が無効になっている場合は、有効になります。

注意:クライアントはNTP サーバからタイムゾーンまたは夏時間(DST)情報を取得しません。

注意:システムトラブルシューティングを容易にするために、ユーザがユーザイベントと診断イベントログのエントリを対応付けることができるようにNTPパラメータを設定します。

このページは、ホストまたはクライアントの Configuration > Time メニューから表示することができます。



Time
Change the local time configuration
Current time: 08/21/2012 13:22:29
Enable NTP: 🔽
Identify NTP Host by: C IP address @ FQDN
NTP Host DNS Name: ntp.teradici.local
NTP Host Port: 123
NTP Query Interval: 1 Day(a)
Time Zone: (GMT-08:00) Pacific Time (US & Canada)
Enable Daylight Saving Time:
Apply Cancel

図 5-62:AWI Time ページ

#### 表 5-59: AWI Time ページパラメータ

パラメータ	説明
Current Time	NTP に基づく時間が表示されます。
Enable NTP	NTP 機能を有効または無効にします。
Identify NTP Host by	<ul> <li>NTP ホストを IP アドレスで識別するか、完全修飾ドメイン名 (FQDN) で識別するかを選択します。NTP が無効になっている場合 は、このフィールドが不要なため、編集不可になります。無効な IP アドレスまたは DNS 名を入力した場合は、その修正を促すメッセージが表示されます。パラメータは選択した方式によって異なります。</li> <li>IP Address: NTP ホストの IP アドレスを示します。</li> <li>FQDN: NTP ホストの DNS 名を示します。</li> </ul>
NTP Host Port	NTP サーバのポート番号を設定します。デフォルトの NTP サーバポ ート値は 123 です。
NTP Query Interval	問い合わせ間隔を設定します。1つ目のフィールドが時間間隔用で、 2つ目のフィールドが時間単位(分、時間、日、または週)用です。
Time Zone	ローカルタイムゾーンを選択します。
Enable Daylight Savings	夏時間(DST)の自動調節を有効または無効にします。

パラメータ	説明
Time	

# 5.14 セキュリティの設定

## 5.14.1 MC: セキュリティ設定

このページの設定を使用すれば、ホストとクライアントに使用されるセキュリティパラメータでプロファイルを構成することができます。

Profile	Family	Property Name	Value	Description
г	ALL	Password	[	This property configures the Host or Zero Client local administrative password. This password is required to access the web interface. It is all required to modify certain configuration settings accessible through the OSC. The password is a string of zero to 20 characters.
г	ALL	Enable Password Protection O	C True C False	This property enables the Host or Zero Client local administrative password. When it is false, the web interface and OSD are not passwori protected.
г	ALL	Enable Web Interface O	C True C False	When this property is true the device's embedded web interface is enable When it is false the web interface is disabled.
г	ALL	Enable Hotkey Parameter Reset	C True C False	When enabled a Zero Client can be reset to its factory defaults using th keyboard combination CTRL+ALT+SHIFT+SPACE when the Zero Client not in a PCoIP session.
г	ALL	Hide Parameter Reset Holkey Sequence	C True C False	When this feature is enabled the parameter reset hoticay sequence is no shown on the Zero Client On-Screen Display.
г	ALL	Enable 802.1X Security	C True C False	When this property is true, if the device is connected to a network when access is controlled using 832 1x authentication the device will perform 802 1x authentication.
Г	ALL	802.1X Authentication Identity	[	This property configures the identity (username) presented during 802.1 authentication.
			Save Canc	el

図 5-63: MC セキュリティ設定

表 5-60: MC セキュリティ設定パラメータ

パラメータ	説明
Password	ホストまたはクライアントの管理用ウェブインターフェース(AWI) のパスワードを入力します。このパスワードは、クライアントのオン スクリーンディスクプレイ(OSD)経由でアクセス可能な特定の構 成設定を変更する場合にも必要です。 このフィールドには 0~20文字を入力することができます。
Enable Password Protection	有効になっている場合は、ホストまたはクライアントの AWI パスワ ードが必要です。無効になっている場合は、AWI と OSD がパスワー ドで保護されません。



パラメータ	説明
Enable Web Interface	有効になっている場合は、ホストまたはクライアントの AWI が有効 になります。無効になっている場合は、AWI が無効になります。
Enable Hotkey Parameter Reset	有効になっている場合は、クライアントが PColP セッションに入っ ていないときに、キーボードの組み合わせの Ctrl+Alt+Shift+Space を 使用してクライアントを工場出荷時設定にリセットすることができま す。
Hide Parameter Reset Hotkey Sequence	有効になっている場合は、リセットホットキーシーケンスがクライア ント <b>OSD</b> 上に表示されません。
Enable 802.1X Security	有効になっている場合は、デバイスが、802.1X 認証を通してアクセ スが管理されたネットワークに接続されている場合に 802.1X 認証を 実行します。
802.1X Authentication Identity	802.1X 認証で提示するためのユーザ名を設定します。

## 5.14.2 AWI: セキュリティ設定に関するヘルプ

AWIのセキュリティ設定は、AWIの<u>Network Settings</u>ページ(Configuration > Network メニューからアクセス)に配置されています。このページの以下のフィールドに関する説明を参照してください。

- Enable 802.1X Security
- Authentication
- Identity
- Client Certificate

# 5.15 オーディオ承認の設定

## 5.15.1 MC:オーディオ承認

このページの設定を使用すれば、ホストとクライアントに使用されるオーディオパ ラメータでプロファイルを構成することができます。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
г	ALL	Enable HD Audio O	@ True @ False	This property enables and disables audio for the Host and Zero Client. For audio to function, both the Host and Zero Client must ast this property equal to true. If this property is false on the Host, the audio hardware will not be available for the OS to enumerate.
Г	ALL	Enable Audio Line In	C True @ False	Selects the input mode the audio system advertises to the host operating system. Please refer to the PCoIP Administrative Guide for important details on this feature.
г	Tera1	Enable Vista/Windows 7 64-bit Mode O	C True C False	This property enables a work around that prevents memory comuption that can occur when audio is enabled on some Host systems. This property must be true on Host PC/Workstations running 64-bit Vista with more than 4 GB of RAM that enable HD audio. This property should be false for all other Host PC/Workstations.
			Save	Cancel
		<ul> <li>indicates that the</li> </ul>	e property requires a (	Jewice restart after being changed

図 5-64 : MC オーディオ承認

表 5-61: MC オーディオ承認パラメータ

パラメータ	説明
Enable HD Audio	<ul> <li>デバイス上でオーディオサポートを設定できるようにします。</li> <li>注意:このプロパティはホストとクライアントの両方で有効にする必要があります。</li> <li>無効になっている場合は、ホストオペレーティングシステムのエミュレートにオーディオハードウエアを使用することができません。</li> <li>注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。</li> </ul>
Enable Audio Line In	このプロパティによって、オーディオシステムからホストオペレーティング システムにアドバタイズされる入力モードが決定されます。有効になってい る場合は、クライアント上で発見されたライン入力コネクタが標準のライン 入力として使用されます。無効になっている場合は、クライアント上で発見 されたライン入力コネクタがマイクロホン入力として使用されます。
Enable Microsoft Windows Vista 64- bit Mode	<ul> <li>Windows Vista 64 ビットバージョンと Windows 7 64 ビットバージョンのオペレーティングシステムの場合にこのオプションを有効にします。</li> <li>警告:Windows XP 64 または 32 ビットオペレーティングシステムではこのモードを使用しないでください。</li> <li>Linux 64 ビットオペレーティングシステムの場合は、64 ビットモードを有効にする必要がありません。Linux カーネルは最新の PCoIP オーディオCODEC サポートを使用してコンパイルする必要があります。</li> <li>注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。</li> </ul>

PColP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



## 5.15.2 AWI Tera1 ホスト:オーディオ承認

最初のセッションを開始するときに、<u>Initial Setup</u>ページでオーディオ承認を設定 することができます。

それ以降のセッションでは、Audio ページ(Permissions > Audio メニューからアク セス)を使用して、デバイスのオーディオ承認を設定します。このページでオプシ ョンを更新したら、Apply をクリックして変更を保存します。

管理用ウェブインターフェースで Audio ページを表示するには、Permissions メニューを選択してから、Audio をクリックします。

Audio	
Enable or disable high definition audi	0
Enable HD Audio:	☑ Note: To enable audio, please ensure that audio is also enabled on the Client.
Enable Microsoft® Windows Vista® / Windows® 7 64-bit Mode:	Important: If using Microsoft® Windows Vista® / Windows® 7 64-bit Edition, this feature must be enabled for audio to function correctly.
Enable Audio Line In:	This will select the Line In input. If using Microsoft® Windows Vista® / Windows® 7, please ensure you do the following for this feature to function correctly: 1. Run regedit. 2. Search the registry keys for 'PinConfigOverrideVerbs' and delete these registry entries.
	Apply Cancel

図 5-65 : AWI Tera1 ホスト Audio ページ

表 5-62: AWI Tera1 ホスト Audio ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable HD Audio	デバイス上でオーディオサポートを設定できるようにします。 注意:このプロパティはホストとクライアントの両方で有効にする必要があ ります。 無効になっている場合は、ホストオペレーティングシステムのエミュレート にオーディオハードウエアを使用することができません。
Enable Microsoft® Windows Vista® / Windows® 7 64-bit Mode	Windows Vista 64 ビットバージョンと Windows 7 64 ビットバージョンのオ ペレーティングシステムの場合にこのオプションを有効にします。 警告:Windows XP 64 または 32 ビットオペレーティングシステムではこの モードを使用しないでください。 Linux 64 ビットオペレーティングシステムの場合は、64 ビットモードを有効 にする必要がありません。Linux カーネルは最新の PCoIP オーディオ CODEC サポートを使用してコンパイルする必要があります。
Enable Audio Line In	このプロパティによって、オーディオシステムからホストオペレーティング システムにアドバタイズされる入力モードが決定されます。有効になってい

パラメータ	説明
	る場合は、クライアント上で発見されたライン入力コネクタが標準のライン 入力として使用されます。無効になっている場合は、クライアント上で発見 されたライン入力コネクタがマイクロホン入力として使用されます。 注意:デバイス上に Windows Vista または Windows 7 がインストールされて いる場合は、画面上の指示に従ってください。

# 5.15.3 AWI クライアント:オーディオ承認

最初のセッションを開始するときに、<u>Initial Setup</u>ページでオーディオ承認を設定 することができます。

それ以降のセッションでは、Audio ページ(Permissions > Audio メニューからアク セス)を使用して、デバイスのオーディオ承認を設定します。このページでオプシ ョンを更新したら、Apply をクリックして変更を保存します。

管理用ウェブインターフェースで Audio ページを表示するには、Permissions メニューを選択してから、Audio をクリックします。

Audio	
Enable or disable high definition audio	
Enable HD Audio: 🔽 Note: To enable audio, please ensure that audio is also enabled on the	Host.
Apply Cancel	

図 5-66 : AWI クライアント Audio ページ

表 5-63:	AWIクライ	イアント	・ Audio ペー	ジパラメー	-タ
---------	--------	------	------------	-------	----

パラメータ	説明
Enable HD Audio	デバイス上でオーディオサポートを設定できるようにします。 注意:このプロパティはホストとクライアントの両方で有効にする必要があ ります。
	無効になっている場合は、ホストオペレーティングシステムのエミュレート にオーディオハードウエアを使用することができません。

PColP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



# 5.16 電源承認の設定

#### 5.16.1 MC:電源承認

このページの設定を使用すれば、ホストとクライアントの電源承認でプロファイルを構成することができます。

Profile	rainiy			This property configures the functionality of the Zero Client power button. The Host Workstation/ is commanded to perform a soft power off when
г	ALL	Client Power Button Function	user cannot invoke any power off	the Zero Client power botton is present for less than 4 seconds and soft power off is enabled. The Next workstation/PC is commanded to perform in hard power off when the Zero Client power butto is present for more than 4 seconds and hard po off is enabled.
Г	Tera2	Wake-on-USB Mode	Disabled -	This property configures the Wake-on-USB mod
г	Tera2	Wake-on-LAN Mode	Disabled •	This property configures the Wake-on-LAN mode
Г	Tera2	Power On After Power Loss Mode	Disabled *	When this property is enabled the Zero Client automatically powers on when power is supplied.
			Save Cancel	
		O indicates that the	property requires a device restart after being cha	nged

図 5-67: MC 電源承認

表	5-64	:	MC	電源承認	パラ	メ	ータ
---	------	---	----	------	----	---	----

パラメータ	説明
Client Power Button Function	このプロパティによって、クライアントのリモート <b>PC</b> ボタンの機能が設定 されます。
	ホストは、クライアントのリモート PC ボタンの押下が4秒未満で、ソフト 電源オフが有効になっている場合に、ソフト電源オフを実行(つまり、スリ ープモードに移行)するように指示されます。
	ホストは、クライアントのリモート PC ボタンの押下が4秒以上で、ハード 電源オフが有効になっている場合に、ハード電源オフ(つまり、シャットダ ウン)を実行するように指示されます。 以下のオプションの中から選択します。
	<ul> <li>user cannot invoke any power off: ユーザはホストをシャットダウン したり、ホストをスリープモードに移行したりすることができません。</li> </ul>
	<ul> <li>user can only invoke a hard power off: ユーザはホストをシャットダ ウンすることはできますが、ホストをスリープモードに移行することは できません。</li> </ul>

パラメータ	説明
	<ul> <li>user can only invoke a soft power off: ユーザはホストをスリープモードに移行することはできますが、ホストをシャットダウンすることはできません。</li> <li>user can invoke soft and hard power offs: ユーザはホストをスリープモードに移行することも、ホストをシャットダウンすることもできます。</li> </ul>
Wake-on-USB Mode	有効になっている場合は、ユーザがマウスを移動したとき、または、キーボ ード上のキーを押したときにスリープモードから再開するようにホストが設 定されます。
Wake-on-LAN Mode	有効になっている場合は、ユーザがクライアントの Remote PC ボタンを押 したとき、または、Connect ウィンドウの Connect ボタンをクリックした ときに、スリープモードから再開するようにホストが設定されます。
Power On After Power Loss Mode	有効になっている場合は、クライアントが、電源が供給された時点で自動的 に再開します。

# 5.16.2 AWI Tera1 クライアント: 電源承認

**Power** ページでは、クライアントのホスト電源オフ承認を設定することができます。 このページは、**Permissions > Power** メニューからアクセスすることができます。

Power		
Configure	e power-off permissions (client only)	
	Client Power Button: Soft and Hard Power-off	
	Apply Cancel	

図 5-68 : AWI Tera1 クライアント Power ページ

表 5-65: AWI Tera	1クライ	アント Power	ページパラメータ
------------------	------	-----------	----------

パラメータ	説明
Client Power Button	このプロパティによって、クライアントのリモート PC ボタンの機能 が設定されます。 ホストは、クライアントのリモート PC ボタンの押下が 4 秒未満で、 ソフト電源オフが有効になっている場合に、ソフト電源オフを実行 (つまり、スリープモードに移行)するように指示されます。 ホストは、クライアントのリモート PC ボタンの押下が 4 秒以上で、



パラメータ	説明
	ハード電源オフが有効になっている場合に、ハード電源オフ(つま り、シャットダウン)を実行するように指示されます。 以下のオプションの中から選択します。
	<ul> <li>Power-off not permitted: ユーザはホストをシャットダウンしたり、ホストをスリープモードに移行したりすることができません。</li> </ul>
	<ul> <li>Soft Power-off only: ユーザはホストをスリープモードに移行することはできますが、ホストをシャットダウンすることはできません。</li> </ul>
	<ul> <li>Hard Power-off only: ユーザはホストをシャットダウンすることはできますが、ホストをスリープモードに移行することはできません。</li> </ul>
	• Soft and Hard Power-off: ユーザはホストをスリープモードに移 行することも、ホストをシャットダウンすることもできます。

# 5.17 ホストドライバ機能の設定

## 5.17.1 MC:ホストドライバ機能

このページの設定を使用すれば、ホストコンピュータ上で PCoIP ホストソフトウエ ア UI を有効または無効にするようにプロファイルを設定することができます。

注意: PCoIP ホストソフトウエアのインストール方法と使用方法については、 『PCoIP Host Software User Guide』(TER0810001)を参照してください。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
Г	ALL	Enable Host Driver O	€ True € False	On host cards only, this property controls the host driver function. When enabled, it Teradici PCoIP agent running on the host OS can interact with the host card. The MC supports this feature on devices running firmware 3.1.0 or higher.
			Save	Cancel
		O indicates that	the property requires a (	levice restart after being changed

図 5-69: MC ホストドライバ設定

#### 表 5-66: MC ホストドライバ設定パラメータ

パラメータ	説明
Enable Host Driver	<ul> <li>有効になっている場合は、ホストコンピュータ上の PCoIP ホストソフトウエアにアクセスすることができます。このソフトウエアを使用すれば、以下のような機能を有効にすることができます。</li> <li>ローカルカーソルとキーボード機能の使用</li> <li>セッションが中断したときのホスト PC のロック</li> <li>Wake-on-LAN 機能の使用</li> <li>ホストとクライアントのネットワークパラメータの表示</li> <li>セッションの切断</li> <li>ホストの統計情報と接続情報の表示</li> <li>ホスト上でのクライアントディスプレイトポロジ設定の使用</li> <li>無効になっている場合は、ホストコンピュータ上の PCoIP ホストソフトウエア UI にアクセスすることができません。</li> <li>注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。</li> </ul>

## 5.17.2 AWI ホスト:ホストドライバ機能

このページの設定を使用すれば、ホストコンピュータ上で PCoIP ホストソフトウエ ア UI を有効または無効にすることができます。このページは、Configuration > Host Driver Function メニューからアクセスすることができます。

注意: PCoIP ホストソフトウエアのインストール方法と使用方法については、 『PCoIP Host Software User Guide』(TER0810001)を参照してください。



Host Driver Function
Enable or disable the host driver function
Enable Host Driver Function: 🔽

図 5-70 : AWI Host Driver Function ページ

表 5-67: AWI ホストドライバ機能パラメータ

パラメータ	説明
Enable Host Driver Function	<ul> <li>有効になっている場合は、ホストコンピュータ上の PCoIP ホストソフトウエアにアクセスすることができます。このソフトウエアを使用すれば、以下のような機能を有効にすることができます。</li> <li>ローカルカーソルとキーボード機能の使用</li> <li>セッションが中断したときのホスト PC のロック</li> <li>Wake-on-LAN 機能の使用</li> <li>ホストとクライアントのネットワークパラメータの表示</li> <li>セッションの切断</li> <li>ホストの統計情報と接続情報の表示</li> </ul>
	<ul> <li>ホスト上でのクライアントディスプレイトポロジ設定の使用</li> <li>無効になっている場合は、ホストコンピュータ上の PCoIP ホストソフトウエア UI にアクセスすることができません。</li> </ul>

# 5.18 イベントログの設定

### **5.18.1 MC**: イベントログ設定

このページの設定を使用すれば、ホストやクライアントに使用したり、デバイス上のログフィルタリングモードを設定したりするためのイベントログメッセージングでプロファイルを構成することができます。

syslog を有効にして、イベントを収集して報告するためのロギングプロトコルとし て設定することもできます。

Profile	Family	Property Name	Value	Description
г	ALL	Enable Diagnostic Log	C True C False	When this property is true the Host or Zero Client will include connection management specific messages in the device's event log.
Г	ALL	Event Log Filter Mode	terse logging	This property configures the event log filtering mode.
г	ALL	Syslog Server Hostname		This property identifies the Syslog server the Host or Zero Client send event log messages to. This property can be entered as eith an IP address or a Fully Qualified Domain Name.
Г	ALL	Syslog Server Port	(0-85535)	This property configures the port number of the Syslog server. Th default value of this parameter equals 514.
Г	ALL	Syslog Facility Number	(0-23)	This property configures the facility number for all Syslog messagenerated by the PCoIP device.
Г	ALL	Enhanced Logging Mode Mask	Enhanced logging disabled	Controls which enhanced logging mode. If any, is enabled. Only or enhanced logging mode can be enabled at a time.
			Save Cancel	
		o indicates that th	e property requires a device restart a	after being changed

図 5-71: MC イベントログ管理

# 表 5-68: MC イベントログ管理パラメータ

パラメータ	説明
Enable Diagnostic Log	有効になっている場合は、デバイスのイベントログに接続管理固有のメッセ ージが追加されます。
Event Log Filter Mode	イベントログフィルタリングモードを簡潔または冗長として設定します。
Syslog Server Hostname	ホストまたはクライアントがイベントログメッセージを送信する syslog サー バの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。
Syslog Server Port	<b>syslog</b> サーバのポート番号を入力します。 注意 : ポート番号のデフォルト値は <b>514</b> です。
Syslog Facility Number	デバイスで生成されるすべての syslog メッセージのファシリティ番号を入力 します。
Enhanced Logging Mode Mask	拡張ロギングモードを有効にするには、以下のカテゴリのいずれかを選択し ます。 Audio Management Console Video Networking Session Negotiation Smart Card



パラメータ	説明
	<ul> <li>System</li> <li>USB</li> <li>OneSign</li> <li>注意:一度に有効にできるのは、上記カテゴリのいずれか1つの拡張ロギン グだけです。</li> </ul>

## 5.18.2 AWI: イベントログ設定

Event Log ページでは、ホストまたはクライアントからのイベントログメッセージ を表示または消去したり、デバイス上のログフィルタリングモードを設定したりす ることができます。このページは、ホストまたはクライアントの Diagnostics > Event Log メニューからアクセスすることができます。

syslog を有効にして、イベントを収集して報告するためのロギングプロトコルとし て設定することもできます。

Event Log		
Configure diagnostic logging options	5	
Event Log Messages:	View Clear	
Event Log Filter Mode:	Verbose 💌	
Enable Syslog:		
Identify Syslog Host By:	@ IP address @ FQDN	
Syslog Host IP Address:		
Syslog Host Port:	514	
Syslog Facility:	19 - local use 3	×
Enhanced logging mode:	Disable	
	Category	Enable enhanced logging
	AUDIO	c
	MANAGEMENT CONSOLE	0
	NETWORKING	0
	ONESIGN	0
	SESSION NEGOTIATION	0
	SMARTCARD	0
	SYSTEM	0
	USB	0
	Apply Cancel	

図 5-72:AWI Event Log ページ

表 5-69:AWI Event Log ページパラメータ

パラメータ	説明
Event log Messages	<ul> <li>View: クリックすると、ブラウザページが開いて、デバイス上に保存されたイベントログメッセージ(タイムスタンプ情報付き)が表示されます。ブラウザページのログ情報を更新するには、F5を押します。</li> <li>Clear: クリックすると、デバイス上に保存されたすべてのイベントログメッセージが削除されます。</li> </ul>
Event Log Filter Mode	プルダウンメニューをクリックしてイベントログフィルタリングモー ドを選択します。 • Verbose (デフォルト設定) • Terse



パラメータ	説明
Enable Syslog	syslog 標準をデバイスのロギングメカニズムとして有効または無効に します。 注意:syslog が有効になっている場合は、残りのフィールドを設定す る必要があります。syslog が無効になっている場合は、これらのフィ ールドを編集することができません。
Identify Syslog Host By	syslog サーバホストを IP アドレスで識別するか、完全修飾ドメイン 名(FQDN)で識別するかを選択します。
Syslog Host IP Address / Syslog Host DNS name	表示されるパラメータは、syslog サーバホストを識別するために選択 したオプションによって異なります。 • IP Address: syslog サーバホストの IP アドレスを入力します。 • FQDN: syslog サーバホストの DNS 名を入力します。 注意: 無効な IP アドレスまたは DNS 名を入力した場合は、その修正 を促すメッセージが表示されます。
Syslog Host Port	<b>syslog</b> サーバのポート番号を入力します。 注意 : ポート番号のデフォルト値は <b>514</b> です。
Syslog Facility	ファシリティは、syslog メッセージのソースを分類するためにすべて の syslog メッセージに付加される番号です。このファシリティは、 標準 syslog ヘッダの一部であり、すべての syslog サーバで解釈され ます。 ロギングニーズに適したファシリティを入力します。例えば、次のよ うにデバイスを設定することができます。 ・ ゼロクライアントがファシリティ 19 を使用する ・ Cisco ルータがファシリティ 20 を使用する ・ VMware ESX ホストがファシリティ 21 を使用する 注意:デフォルトファシリティは「19 – local use 3」に設定されま す。Cisco ルータはデフォルトで「23 – local use 7」に設定されま す。
Enhanced logging mode	拡張ロギングモードを有効にするには、以下のカテゴリのいずれかを 選択します。 • Audio • Management Console • Video • Networking • Session Negotiation • Smart Card • System • USB

パラメータ	説明
	<ul> <li>OneSign</li> <li>注意:一度に有効にできるのは、上記カテゴリのいずれか1つの拡張 ロギングだけです。</li> </ul>

# 5.18.3 OSD: イベントログ設定

**Event Log** ページでは、クライアントからのイベントログメッセージを表示、更新、 および消去することができます。このページは、**Options > Diagnostics > Event Log** メニューからアクセスすることができます。

Event LogSession StatisticsPCoIP ProcessorPingView event log messages4d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Teradici Corporation (c)2007-20124d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Teradici Corporation (c)2007-20124d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Teradici Corporation (c)2007-20124d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Termware Part Number: FW0200004d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :VPD Serial:4d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :VPD serial:4d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Termware Build ID:4d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Firmware Build ID:4d,21:13:43> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Firmware Build ID:4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :FOCIP processor ID: 0x000F, revision: 1.04d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :BOIT-up complete4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :BOIT-up complete4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :COIP processor ID: 0x000F, revision:4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :Unique Identifier: 00-50-56-97-77-C4-Client=04d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :DOI = LVL.NITIALIZATION: PASEE!4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :COIP device description:4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :PCOIP device description:4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :PCOIP device description:4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :COIP device description:4d,21:13:44> LVL:2 RC:0MGMT_SYS :COIP device description:4d,21:	iagnostics					
View event log messages         4d,21113:43> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Teradici Corporation (c)2007-2012         4d,2113:43> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Normal reboot         4d,2113:43> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Firmware Part Number: FW020000         4d,2113:43> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Firmware Part Number: FW020000         4d,2113:43> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Firmware Part Number: FW020000         4d,2113:43> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Firmware Build ID:         4d,2113:43> LVL12 RC:       MGMT_SYS :FOIP processor ID: 0.00000, revision: 1.0         4d,2113:44> LVL12 RC:       MGMT_SYS :FOIP processor ID: 0.00000, revision: 1.0         4d,211:3:44> LVL12 RC:       MGMT_SYS :MICIP exection found, resetting flash!         FR:       Tetra_pri_Climt_set_stag: 01d or MAC format.         Sing_tag is set       MGMT_SYS :Unique Identifier: 00-50-56-97-77-C4-climt-0         4d,211:3:44> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Unique Identifier: 00-50-56-97-77-C4-climt-0         4d,21:13:44> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Unique Identifier: 00-50-56-97-77-C4-climt-0         4d,21:13:44> LVL12 RC:       MGMT_SYS :Unique Identifier: 00-50-56-97-77-C4-climt-0         4d,21:13:44> LVL12 RC:       MGMT_S	Event Log	Session S	tatistics	PCoIP Processor	Ping	
4d,21:13:43> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :Teradici Corporation (c)2007-2012         4d,21:13:43> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :FirmWare Part Number: FW020000         4d,21:13:43> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :FirmWare Part Number: FW020000         4d,21:13:43> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :VPD Serial:         4d,21:13:43> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :FirmWare Build date: Jul 4 2012 14:37:04         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :PCOIP processor ID: 0x000F, revision: 1.0         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :PCOIP processor ID: 0x000F, revision: 1.0         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :PCOIP processor ID: 0x000F, revision: 1.0         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :PCOIP processor ID: 0x000F, revision: 1.0         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :DOT-up complete         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :DOT-up complete         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :PCOIP device description:         4d,21:13:44> LVL:2 RC:       MGMT_SYS :PC	View ev	vent log me	ssages			
Output       MGMT_CERT :No flash cert section found, resetting flash!         4d,21:13:44> LVL:2 RC: 0       PRI :tera_pri_Client_set_tag: 0ld or MAC format.         S*0_Lag is set       MGMT_SYS :Boot-up complete         4d,21:13:44> LVL:2 RC: 0       MGMT_SYS :Do Is enabled         4d,21:13:44> LVL:2 RC: 0       MGMT_SYS :PCOIP device name: pcoip-portal-emu000-0050569777c4         4d,21:13:44> LVL:2 RC: 0       MGMT_SYS :PCOIP device description:         4d,21:13:44> LVL:2 RC: 0       MGMT_SYS :Generic tag:         4d,21:13:44> LVL:3 RC: 0       MGMT_SYS :MIT.POST: transition 5 into INIT.PRE_NETWORK_INIT         4d,21:13:44> LVL:3 RC: 0       MGMT_SYS :MIT.POST: transition 5 into INIT.PRE_NETWORK_INIT         4d,21:13:44> LVL:3 RC: 0       MGMT_SYS :(hmi2_cback): event mask: 0x1         4d,21:13:44> LVL:3 RC: 0       MGMT_SYS :(hmi2_cback): event mask: 0x1	4d, 21:13: 4d, 21:13:	43> LVL:2 43> LVL:2	RC: 0 RC: 0 RC: 0 RC: 0 RC: 0 RC: 0 RC: 0 RC: 0 RC: 0 RC: 0	MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS	Teradici Corporation (c)2007-2012 Normal reboot Firmware Part Number: Fw020000 VPD Serial: VPD version: Firmware suffiction: Firmware Build ID: Firmware Build D: Firmware Build date: Jul 4 2012 14:37:04 PCOIP processor ID: 0x000F, revision: 1.0 Network adapter VMware vmxnet3 virtual network	
	dd, 21:13: 4d, 21:13: ssig_tag 4d, 21:13: 4d, 21:1	44> LVL:1 44> LVL:2 1s set 44> LVL:2 44> LVL:2 44> LVL:3 44> LVL:3 44> LVL:2 44> LVL:2 44> LVL:2 44> LVL:2 44> LVL:3 44> LVL:3 44> LVL:3	RC:-510 RC: 0 RC: 0	MGMT_CERT FRI MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS MGMT_SYS	No flash cert section found, resetting flash! tera_pri_client_set_tag: Old or MAC format. 800t-up complete unique identifier: 00-50-56-97-77-C4-client-0 TOP-LEVEL INITIALIZATION: PASSED! HOA 15 enabled PCOIP device name: pcoip-portal-emu000-0050569777c4 PCOIP device description: Generic tag: INIT.POST: transition 5 into INIT.PRE_NETWORK_INIT (hmi2_cback): event mask: 0x1 (hmi2_cback): queuing EVENT_HMI2_OPEN	6

図 5-73 : OSD Event Log ページ

#### 表 5-70: OSD Event Log ページパラメータ

パラメータ	説明
Refresh	クリックすると、このページに表示されたログ情報が更新されます。
Clear	クリックすると、デバイス上に保存されたすべてのイベントログメッ セージが削除されます。

PCoIP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



# 5.19 周辺機器の設定

## 5.19.1 MC:周辺機器設定

このページの設定を使用すれば、選択したデバイス上の USB Enhanced Host Controller Interface (EHCI) モードを有効または無効にするようにプロファイルを構成することができます。

MC でプロパティを有効にするには、Set in Profile チェックボックスをオンにし、 指示に従ってフィールドを設定します。このページでプロパティを更新したら、 Save をクリックして変更を保存します。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
Е	ALL	Enable USB EHCI	€ True € False	Controls the USB Enhanced Host Controller Interface (EHCI) mode. EHCI is commo referred to as USB 2.0. Enabling EHCI turns on USB 2.0 support for selected device
			Save	Cancel
		O indicates th	at the property requires a o	evice restart after being changed

図 5-74: MC 周辺機器設定

#### 表 5-71: MC 周辺機器設定パラメータ

パラメータ	説明
Enable USB EHCI	有効になっている場合は、VMware View 4.6 以降を実行しているホストとの セッション用のゼロクライアント USB ポートに直接接続されたデバイスの EHCI (USB 2.0) が設定されます。 注意:RAM が 128MB 未満のクライアント上では、この機能を有効にするこ とができません。等時性エンドポイントを備えたデバイスは USB 2.0 の速度 で動作しません。

## 5.19.2 AWI クライアント:周辺機器設定に関するヘルプ

AWIの周辺機器 USB EHCI 設定は、<u>AWI Client : USB Permissions</u>ページ (Permissions > USB メニューからアクセス) に配置されています。

# 5.20 IPv6 の設定

### 5.20.1 MC: IPv6 設定

このページの設定を使用すれば、IPv6ネットワークに接続された PCoIP デバイスの IPv6を有効にするようにプロファイルを構成することができます。

注意:現時点で、VMware Viewは IPv6 に対応していません。

Set in Profile	Device Family	Property Name	Value	Description
Г	ALL	Enable IPv6 O	@ True @ False	This property determines if the endpoint uses IPv6. IPv6 is not enabled a default.
г	ALL	IPv6 Domain Name O	[	This property configures the IPv6 domain name. If DHCPv6 is enabled, this is the value returned by DHCPv6 otherwise it is the static setting.
г	ALL	Enable DHCPv6 O	C True C False	This property determines if the endpoint uses DHCPv6 to obtain iPv8 addresses (stored in IPv8 DHCP Address 1-4). DHCPv8 is enabled by default.
г	ALL	Enable SLAAC O	C True C False	This property determines if the endpoint uses SLAAC (IPv6) to obtain IPv addresses (stored in IIPv6 SLAAC Address 1-4). SLAAC is enabled by default.
г	ALL	IPv6 Gateway Address O	1	This property configures the IPv8 gateway address (e.g. TODFEC81;10F9:201:215.50FF.FEA0;1555). This is the value provided Router Advertisements (if enabled), otherwise is the static setting.
г	ALL	IPv6 Gateway Address Prefix Length O	(0-64)	This property configures the IPv6 gateway address prefix length (e.g. 54) This is the value provided in Router Adventisements (if enabled), otherway is the static setting.
г	ALL	IPv6 Primary DNS Address O	[	This property configures the IPv6 address of the primary DNS server (a IPD0PEC91:10F9:201:215:05FP FEA0:7824') If DHCPv6 is enabled, thi is the value returned by DHCPv6 otherwise it is the static setting.
г	ALL	IPv6 Primary DNS Address Prefix Length O	(0-54)	This property configures the IPv5 address prefix length of the primary DNS server (e.g. 64). If DHCPv5 is enabled, this is the value returned by DHCPv5 otherwise it is the static setting.
г	ALL	IPv6 Secondary DNS Address	[	This property configures the IPv6 address of the secondary DNS server (e.g. "PD0F ECH1.16F9:201:215.50FF.FEA0.1527"). If DHCPv6 is enable this is the value returned by DHCPv6 otherwise it is the static setting.
г	ALL	IPv6 Secondary DNS Address	(0-64)	This property configures the IPv8 address prefix length of the secondary DNS server (a.g. 64). If DHCPv8 is enabled, this is the value returned by

図 5-75: MC IPv6 設定

表 5-72: MC IPv6 設定パラメータ

パラメータ	説明
Enable IPv6	このプロパティは、デバイスが IPv6 を使用するかどうかを決定しま す。 IPv6 はデフォルトで無効になっています。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
IPv6 Domain Name	DHCPv6 が有効になっている場合は、これが DHCPv6 から返される 値です。そうでない場合は、これが静的な設定になります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Enable DHCPv6	デバイスが DHCPv6 を使用して IPv6 アドレス(IPv6 DHCP アドレス 1~4 に保存)を取得するかどうかを決定します。DHCPv6 はデフォ



パラメータ	説明
	ルトで有効になっています。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
Enable SLAAC	エンドポイントがステートレスアドレス自動設定(SLAAC IPv6)を 使用して IPv6 アドレス(IPv6 SLAAC アドレス 1~4 に保存)を取得 するかどうかを決定します。SLAAC はデフォルトで有効になってい ます。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
IPv6 Gateway Address	IPv6 ゲートウェイアドレスを設定します ("FD0F:EC91:16F9:201:215:58FF:FEA0:1565"など)。これは、ル ータアドバタイズメント(有効になっている場合)で指定された値で す。有効になっていない場合は、これが静的な設定になります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
IPv6 Gateway Address Prefix Length	IPv6 ゲートウェイアドレスプレフィックス長を設定します(64 など)。これは、ルータアドバタイズメント(有効になっている場合)で指定された値です。有効になっていない場合は、これが静的な設定になります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要があります。
IPv6 Primary DNS Address	プライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを設定します ("FD0F:EC91:16F9:201:215:58FF:FEA0:7824"など)。DHCPv6 が 有効になっている場合は、これが DHCPv6 から返される値です。そ うでない場合は、これが静的な設定になります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
IPv6 Primary DNS Address Prefix Length	プライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスプレフィックス長を設定しま す (64 など) 。DHCPv6 が有効になっている場合は、これが DHCPv6 から返される値です。そうでない場合は、これが静的な設定 になります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。
IPv6 Secondary DNS Address	セカンダリ DNS サーバの IPv6 アドレスを設定します ("FD0F:EC91:16F9:201:215:58FF:FEA0:7827"など)。DHCPv6 が 有効になっている場合は、これが DHCPv6 から返される値です。そ うでない場合は、これが静的な設定になります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が

パラメータ	説明
	あります。
IPv6 Secondary DNS Address Prefix Length	セカンダリ DNS サーバの IPv6 アドレスプレフィックス長を設定しま す(64 など)。DHCPv6 が有効になっている場合は、これが DHCPv6 から返される値です。そうでない場合は、これが静的な設定 になります。 注意:このプロパティを変更した場合はデバイスを再起動する必要が あります。

# 5.20.2 AWI: IPv6 設定

このページの設定を使用すれば、IPv6ネットワークに接続された PCoIP デバイスの IPv6を有効にすることができます。

注意:現時点で、VMware Viewは IPv6 に対応していません。

このページは、ホストまたはクライアントの Configuration > IPv6 メニューからア クセスすることができます。

IPv6		
Change the IPv6 network settings for the device		
Enable IPv6:		
Link Local Address:		
Gateway:		
Enable DHCPv6:	E Contraction of the second seco	
Primary DNS:		
Secondary DNS:		
Domain Name:		
FQDN:		
Enable SLAAC:	-	
Enable Manual Address:	-	
	Apply Cancel	

図 5-76 : AWI IPv6 ページ

PColP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



注意:このページ上でいずれかの設定を変更した場合は、変更を反映させるために デバイスを再起動する必要があります。

表 5-73: AWI IPv6 ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable IPv6	このフィールドは、PCoIP デバイスの IPv6 を有効にする場合に有効 にします。
Link Local Address	このフィールドは自動的に値が設定されます。
Gateway	IPv6 ゲートウェイアドレスを入力します。
Enable DHCPv6	このフィールドは、デバイスの動的ホスト構成プロトコルバージョン 6 (DHCPv6) をセットアップする場合に有効にします。
DHCPv6 Addresses	DHCPv6 が有効になっている状態でデバイスを再起動すると、サーバが自動的にこれらのフィールドをデバイスのアドレスに設定します。
Primary DNS	デバイスのプライマリ DNS IP アドレス。DHCPv6 が有効になってい る場合は、DHCPv6 サーバによって自動的にこのフィールドに値が設 定されます。
Secondary DNS	デバイスのセカンダリ DNS IP アドレス。DHCPv6 が有効になってい る場合は、DHCPv6 サーバによって自動的にこのフィールドに値が設 定されます。
Domain Name	ホストまたはクライアントで使用されるドメイン名("domain.local" など)。DHCPv6 が有効になっている場合は、DHCPv6 サーバによ って自動的にこのフィールドに値が設定されます。
FQDN	ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名。DHCPv6 が有効に なっている場合は、DHCPv6 サーバによって自動的にこのフィールド に値が設定されます。
Enable SLAAC	このフィールドは、デバイスのステートレスアドレス自動設定 (SLAAC)をセットアップする場合に有効にします。
SLAAC Addresses	SLAAC が有効になっている状態でデバイスを再起動すると、これらのフィールドに自動的に値が設定されます。
Enable Manual Address	このフィールドは、デバイスの手動(静的)アドレスをセットアップ する場合に有効にします。
Manual Address	デバイスの IP アドレスを入力します。

# 5.20.3 OSD: IPv6 設定

このページの設定を使用すれば、IPv6ネットワークに接続された PCoIP デバイスの IPv6 を有効にすることができます。

注意:現時点で、VMware Viewは IPv6 に対応していません。

このページは、Options > Configuration > IPv6 メニューからアクセスすることができます。

Configuration	×
Network IPv6 Label Discovery Ses	sion Language OSD Display Reset
Change the IPv6 network settings f	or the device
Enable IPv6:	
Link Local Address:	
Gateway:	
Enable DHCPv6:	¥ /64 💌
Primary DNS:	
Secondary DNS:	
Domain Name:	
FQDN:	
Enable SLAAC:	☑ /64 🔹
Enable Manual Address:	
Manual Address:	
Unlock	OK Cancel Apply

図 5-77 : OSD IPv6 ページ

注意:このページ上でいずれかの設定を変更した場合は、変更を反映させるために デバイスを再起動する必要があります。

表 5-74: OSD IPv6 ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable IPv6	このフィールドは、PCoIP デバイスの IPv6 を有効にする場合に有効 にします。
Link Local Address	このフィールドは自動的に値が設定されます。
Gateway	IPv6 ゲートウェイアドレスを入力します。



パラメータ	説明
Enable DHCPv6	このフィールドは、デバイスの動的ホスト構成プロトコルバージョン 6 (DHCPv6) をセットアップする場合に有効にします。
DHCPv6 Addresses	DHCPv6 が有効になっている状態でデバイスを再起動すると、サーバが自動的にこれらのフィールドをデバイスのアドレスに設定します。
Primary DNS	デバイスのプライマリ DNS IP アドレス。DHCPv6 が有効になってい る場合は、DHCPv6 サーバによって自動的にこのフィールドに値が設 定されます。
Secondary DNS	デバイスのセカンダリ DNS IP アドレス。DHCPv6 が有効になってい る場合は、DHCPv6 サーバによって自動的にこのフィールドに値が設 定されます。
Domain Name	ホストまたはクライアントで使用されるドメイン名("domain.local" など)。DHCPv6 が有効になっている場合は、DHCPv6 サーバによ って自動的にこのフィールドに値が設定されます。
FQDN	ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名。DHCPv6 が有効に なっている場合は、DHCPv6 サーバによって自動的にこのフィールド に値が設定されます。
Enable SLAAC	このフィールドは、デバイスのステートレスアドレス自動設定 (SLAAC)をセットアップする場合に有効にします。
SLAAC Addresses	SLAAC が有効になっている状態でデバイスを再起動すると、これらのフィールドに自動的に値が設定されます。
Enable Manual Address	このフィールドは、デバイスの手動(静的)アドレスをセットアップ する場合に有効にします。
Manual Address	デバイスの IP アドレスを入力します。

# 5.21 ディスプレイトポロジの設定

# **5.21.1 MC**: ディスプレイトポロジ設定

このページの設定を使用すれば、Teral クライアントと Tera2 クライアントに使用されるディスプレイトポロジでプロファイルを構成することができます。

注意:TERA2321 ゼロクライアントデバイスの場合は、デュアルディスプレイゼロ クライアントレイアウトを使用してください。

Dual-Display Zero Clie IF Enable Configurat Display Layout di	Horizontal	Vertical	
Enable Configurat Display Layout d	Harizontal	C Vertical	
Display Layout 6	A B	Vertical	
		В	
Alignment: Top	2		
Port Primary	Position	Rotation	Resolution
1 6	A <u>*</u>	No rotation	Native
2 6	BM	No rotation	Native
Guad-Usiping Zero La Enable Configurat Display Layout fi	Heritanitai	D A B	C D
Alignment Top	-	- D	
Alignment Top	Position	Rotation	Resolution
Alignment Top	Position	Rotation	Resolution Native

図 5-78: MC ディスプレイトポロジ設定

表 5-75: MC ディスプレイ	トポロジ設定パラメータ
-------------------	-------------

パラメータ	説明	
デュアルディスプレイゼロクライアント		
Enable Configuration	PCoIP チップセットあたり2台のディスプレイをサポートするように デバイスを設定する場合に有効にします。	
Display Layout	<ul> <li>ディスプレイのレイアウトを選択します(AとB)。この設定は、机 上のディスプレイの物理的なレイアウトを反映している必要がありま す。</li> <li>Horizontal:図に示すように、ディスプレイを横方向に配置する 場合に選択します。</li> <li>Vertical:図に示すように、ディスプレイを縦方向に配置する場 合に選択します。</li> </ul>	
Alignment	ディスプレイのサイズが異なる場合の配置方法を選択します。 注意:この設定は、ユーザがディスプレイ間でカーソルを移動すると	



パラメータ	説明
	きに使用される画面の領域に影響を与えます。ドロップダウンリスト に表示される整列オプションは、選択されたディスプレイレイアウト によって異なります。
	Horizontal layout :
	<ul> <li>Top:ディスプレイを上側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の上部領域が使用されます。</li> </ul>
	• Center: ディスプレイを横方向の中央に配置する場合に選択しま す。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート 時に画面の中央領域が使用されます。
	• Bottom:ディスプレイを下側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の下部領域が使用されます。
	Vertical layout :
	<ul> <li>Left:ディスプレイを左側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の左領域が使用されます。</li> </ul>
	• Center: ディスプレイを縦方向の中央に配置する場合に選択しま す。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート 時に画面の中央領域が使用されます。
	• <b>Right</b> :ディスプレイを右側で揃える場合に選択します。この設 定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の 右領域が使用されます。
Primary	プライマリポートにするゼロクライアント上のビデオポートを設定し ます。
	注意:プライマリポートに接続されたディスプレイがプライマリディ スプレイ(つまり、PCoIP セッションを開始する前に OSD メニュー が表示され、セッションの開始後に Windows のタスクバーが要求さ れるディスプレイ)になります。
	<ul> <li>Port 1: ゼロクライアント上のポート1をプライマリポートとし て設定する場合に選択します。</li> </ul>
	<ul> <li>Port 2: ゼロクライアント上のポート2をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> </ul>
Position	各ポートに物理的に接続するディスプレイを指定します。
Rotation	各ポートのディスプレイの回転を設定します。 • No rotation • 90° clockwise • 180° rotation • 90° counter-clockwise
Resolution	ディスプレイ解像度は、仮想マシンまたはホストとゼロクライアント 間の PCoIP セッション用に設定することができます。ゼロクライア

パラメータ	説明
	ントは、サポートされているモニタのディスプレイ解像度を検出し て、それらをドロップダウンメニューに設定します。デフォルトで は、ディスプレイのネイティブ解像度が使用されます。
クアッドディスプレイゼロ	ロクライアント
Enable Configuration	PColP チップセットあたり4台のディスプレイをサポートするように デバイスを設定する場合に有効にします。
Display Layout	<ul> <li>ディスプレイのレイアウトを選択します(A、B、C、およびD)。この設定は、机上のディスプレイの物理的なレイアウトを反映している必要があります。</li> <li>Horizontal:図に示すように、ディスプレイを横方向に配置する場合に選択します。</li> <li>Vertical:図に示すように、ディスプレイを縦方向に配置する場合に選択します。</li> <li>Box:図に示すように、ディスプレイをボックス構成で配置する場合に選択します。</li> </ul>
Alignment	<ul> <li>ディスプレイのサイズが異なる場合の配置方法を選択します。</li> <li>注意:この設定は、ユーザがディスプレイ間でカーソルを移動するときに使用される画面の領域に影響を与えます。ドロップダウンリストに表示される整列オプションは、選択されたディスプレイレイアウトによって異なります。</li> <li>Horizontal layout:</li> <li>Top:ディスプレイを上側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の上部領域が使用されます。</li> <li>Center:ディスプレイを横方向の中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の中央領域が使用されます。</li> <li>Bottom:ディスプレイを下側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の下部領域が使用されます。</li> <li>Vertical layout:</li> <li>Left:ディスプレイを左側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の左側域が使用されます。</li> </ul>
	<ul> <li>領域が使用されます。</li> <li>Center:ディスプレイを縦方向の中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の中央領域が使用されます。</li> <li>Right:ディスプレイを右側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の右領域が使用されます。</li> </ul>



パラメータ	説明
Primary	プライマリポートにするゼロクライアント上のビデオポートを設定し ます。 注意:プライマリポートに接続されたディスプレイがプライマリディ スプレイ(つまり、PCoIP セッションを開始する前に OSD メニュー が表示され、セッションの開始後に Windows のタスクバーが要求さ れるディスプレイ)になります。
	<ul> <li>Port 1: ゼロクライアント上のポート1をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>Port 2: ゼロクライアント上のポート2をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>Port 3: ゼロクライアント上のポート3をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>Port 4: ゼロクライアント上のポート4をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> </ul>
Position	各ポートに物理的に接続するディスプレイを指定します。
Rotation	各ポートのディスプレイの回転を設定します。 • No rotation • 90° clockwise • 180° rotation • 90° counter-clockwise
Resolution	ディスプレイ解像度は、仮想マシンまたはホストとゼロクライアント 間の PCoIP セッション用に設定することができます。ゼロクライア ントは、サポートされているモニタのディスプレイ解像度を検出し て、それらをドロップダウンメニューに設定します。デフォルトで は、ディスプレイのネイティブ解像度が使用されます。

# **5.21.2 OSD** デュアルディスプレイ:ディスプレイトポロジ設定

**Display Topology** ページでは、PCoIP セッション用のディスプレイトポロジを変更 することができます。このページは、クライアント OSD の **Options > User Settings** > **Display Topology** メニューからアクセスすることができます。

クライアントと VMware View 仮想デスクトップ間の PCoIP セッションにディスプレ イトポロジ機能を適用するには、VMware View 4.5 以降を使用する必要があります。 クライアントと PCoIP ホスト間の PCoIP セッションにディスプレイトポロジ機能を 適用するには、PCoIP ホストソフトウエアをホストにインストールしておく必要が あります。

注意:ディスプレイトポロジ設定は、必ず、この OSD Display Topology ページを使 用して変更してください。VMware View を使用している場合は、仮想マシン内の Windows ディスプレイ設定を使用し、これらの設定を変更しないようにしてください。 注意: クライアントとして TERA2321 ゼロクライアントデバイスを使用している場合は、このページにデュアルモニタレイアウトも表示されます。

User Settings					×			
VMware View M	ouse Keyboard	Image Display	Topology	Touch Screen				
Configure the displays position, rotation and resolution								
Enable Configuration:								
Display Layout:	<ul> <li>Horizontal</li> </ul>	Vertica	I					
	A B	A						
		В						
Alignment: Tor		-						
Diment. Top	, Deckien	Detetion		Decelding				
Primary: Port	: Position:	Rotation:		Resolution:	_			
• 1	A -	No rotation	•	Native	•			
0 2	в -	No rotation	•	Native	•			
Revert								
		OK		Cancel	Apply			

図 5-79:OSD Tera1 Display Topology ページ

# 表 5-76:OSD Tera1 Display Topology ページパラメータ

パラメータ	説明
Enable Configuration	PCoIP チップセットあたり2台のディスプレイをサポートするように デバイスを設定する場合に有効にします。
Display Layout	<ul> <li>ディスプレイのレイアウトを選択します(AとB)。この設定は、机上のディスプレイの物理的なレイアウトを反映している必要があります。</li> <li>Horizontal:図に示すように、ディスプレイを横方向に配置する場合に選択します。</li> <li>Vertical:図に示すように、ディスプレイを縦方向に配置する場合に選択します。</li> </ul>
Alignment	ディスプレイのサイズが異なる場合の配置方法を選択します。 注意:この設定は、ユーザがディスプレイ間でカーソルを移動すると きに使用される画面の領域に影響を与えます。ドロップダウンリスト に表示される整列オプションは、選択されたディスプレイレイアウト によって異なります。



г

パラメータ	説明
	<ul> <li>Horizontal layout:</li> <li>Top:ディスプレイを上側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の上部領域が使用されます。</li> <li>Center:ディスプレイを横方向の中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の中央領域が使用されます。</li> <li>Bottom:ディスプレイを下側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の下部領域が使用されます。</li> <li>Vertical layout:</li> <li>Left:ディスプレイを左側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の左領域が使用されます。</li> <li>Center:ディスプレイを縦方向の中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の左領域が使用されます。</li> <li>Right:ディスプレイを右側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の中央領域が使用されます。</li> </ul>
Primary	<ul> <li>プライマリポートにするゼロクライアント上のビデオポートを設定します。</li> <li>注意:プライマリポートに接続されたディスプレイがプライマリディスプレイ (つまり、PCoIP セッションを開始する前に OSD メニューが表示され、セッションの開始後に Windows のタスクバーが要求されるディスプレイ)になります。</li> <li>Port 1:ゼロクライアント上のポート1をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>Port 2:ゼロクライアント上のポート2をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> </ul>
Position	各ポートに物理的に接続するディスプレイを指定します。
Rotation	各ポートのディスプレイの回転を設定します。 • No rotation • 90° clockwise • 180° rotation • 90° counter-clockwise
Resolution	ディスプレイ解像度は、仮想マシンまたはホストとゼロクライアント 間の PCoIP セッション用に設定することができます。ゼロクライア ントは、サポートされているモニタのディスプレイ解像度を検出し て、それらをドロップダウンメニューに設定します。デフォルトで は、ディスプレイのネイティブ解像度が使用されます。

# **5.21.3** OSD クアッドディスプレイ:ディスプレイトポロジ設定

**Display Topology** ページでは、PCoIP セッション用のディスプレイトポロジを変更 することができます。このページは、クライアント OSD の **Options > User Settings** > **Display Topology** メニューからアクセスすることができます。

クライアントと VMware View 仮想デスクトップ間の PCoIP セッションにディスプレ イトポロジ機能を適用するには、VMware View 4.5 以降を使用する必要があります。 クライアントと PCoIP ホスト間の PCoIP セッションにディスプレイトポロジ機能を 適用するには、PCoIP ホストソフトウエアをホストにインストールしておく必要が あります。

注意:ディスプレイトポロジ設定は、必ず、この OSD Display Topology ページを使用して変更してください。VMware View を使用している場合は、仮想マシン内のWindows ディスプレイ設定を使用し、これらの設定を変更しないようにしてください。

注意: クライアントとして TERA2321 ゼロクライアントデバイスを使用している場合は、このページに、クアッドモニタレイアウトの代わりに、<u>デュアルモニタレイ</u>アウトが表示されます。

Configure t	he displa	ays p	osition,	rotation and reso	lution		
Enable	Configu	ration	:				
Display Lay	yout:	⊛ Ho	rizonta	1	O Vertic	al © Bo:	×
		4	A B	C D	A	1	АВ
					В		C D
					c		
Alignment:	Тор	•			D		
		_			~	1.1.1.1	
			a lating and a second s	Rotation:		Resolution	D1
Primary:	Port:	Pos	sition:	1 COCOCIONIN			1.
Primary:	Port: 1	Pos	-	No rotation	•	Native	•
Primary:	Port: 1 2	Pos A B		No rotation	•	Native	•
Primary:	Port: 1 2 3	Pos A B C		No rotation No rotation	•	Native Native Native	•
Primary:	Port: 1 2 3 4	Pos A B C D		No rotation No rotation No rotation	•	Native Native Native	•

図 5-80 : OSD Tera2 Display Topology ページ

表 5-77:	OSD	Tera2 D	splay	Topology -	ページハ	ペラメータ
---------	-----	---------	-------	------------	------	-------

パラメータ 説明


パラメータ	説明
Enable Configuration	PCoIP チップセットあたり 4 台のディスプレイをサポートするように デバイスを設定する場合に有効にします。
Display Layout	<ul> <li>ディスプレイのレイアウトを選択します(A、B、C、およびD)。この設定は、机上のディスプレイの物理的なレイアウトを反映している必要があります。</li> <li>Horizontal:図に示すように、ディスプレイを横方向に配置する場合に選択します。</li> <li>Vertical:図に示すように、ディスプレイを縦方向に配置する場合に選択します。</li> <li>Box:図に示すように、ディスプレイをボックス構成で配置する場合に選択します。</li> </ul>
Alignment	<ul> <li>ディスプレイのサイズが異なる場合の配置方法を選択します。</li> <li>注意:この設定は、ユーザがディスプレイ間でカーソルを移動するときに使用される画面の領域に影響を与えます。ドロップダウンリストに表示される整列オプションは、選択されたディスプレイレイアウトによって異なります。</li> <li>Horizontal layout: <ul> <li>Top:ディスプレイを上側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の上部領域が使用されます。</li> <li>Center:ディスプレイを横方向の中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の中央領域が使用されます。</li> </ul> </li> <li>Bottom:ディスプレイを下側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の下部領域が使用されます。</li> <li>Left:ディスプレイをを創で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の左領域が使用されます。</li> <li>Center:ディスプレイを縦方向の中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の左領域が使用されます。</li> <li>Right:ディスプレイを右側で揃える場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイ間のナビゲート時に画面の中央領域が使用されます。</li> </ul>
Primary	プライマリポートにするゼロクライアント上のビデオポートを設定し ます。 注意:プライマリポートに接続されたディスプレイがプライマリディ スプレイ (つまり、PCoIP セッションを開始する前に OSD メニュー が表示され、セッションの開始後に Windows のタスクバーが要求さ れるディスプレイ) になります。

パラメータ	説明		
	<ul> <li>Port 1: ゼロクライアント上のポート 1をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>Port 2: ゼロクライアント上のポート 2をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>Port 3: ゼロクライアント上のポート 3をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>Port 4: ゼロクライアント上のポート 4をプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> </ul>		
Position	各ポートに物理的に接続するディスプレイを指定します。		
Rotation	各ポートのディスプレイの回転を設定します。 • No rotation • 90° clockwise • 180° rotation • 90° counter-clockwise		
Resolution	ディスプレイ解像度は、仮想マシンまたはホストとゼロクライアント 間の PCoIP セッション用に設定することができます。ゼロクライア ントは、サポートされているモニタのディスプレイ解像度を検出し て、それらをドロップダウンメニューに設定します。デフォルトで は、ディスプレイのネイティブ解像度が使用されます。		

# **5.22 OSD** ロゴのアップロード

## 5.22.1 MC: OSD ロゴ設定

**Profile OSD Logo** セクションは、管理コンソールの **Manage Profiles** ページの下部に 配置されています。このセクションでは、ユーザのローカルオンスクリーンディス プレイ (OSD) GUIの Connect ページに表示されるプロファイルにイメージをアッ プロードすることができます。

注意:AWI Session – View Connection Server ページの詳細オプションで <u>Use OSD</u> <u>Logo for View Banner</u>を有効にすることにより、VMware View バナーの代わりにこ のロゴを表示するように VMware View ログイン画面を設定することができます。

-	Profile OSD Logo
Su	upported Device Family : ALL
Se	et OSD Loao

#### 図 5-81: MC Profile OSD Logo 設定

**Set OSD Logo** をクリックすると、イメージファイルをアップロード可能な以下の画面が表示されます。



Add OSD Logo			×
The OSD logo must be a Any other images will be	24bpp bitmap to displayed incorr	hat does not exceed a ectly, or not at all.	256 pixels by 64 pixels.
Filename		Browse	
	Upload	Cancel	

#### 図 5-82: MC Add OSD Logo 設定

#### 表 5-78: MC Add OSD Logo 設定パラメータ

パラメータ	説明
Filename	アップロードするロゴイメージのファイル名を指定します。Browse ボタ ンを使用してターゲットファイルを参照することができます。 ファイルはウェブブラウザからアクセスできる必要があります(つま り、ローカルドライブまたはアクセス可能なネットワークドライブ上に 存在する必要があります)。24 bpp(ビット/ピクセル)イメージを BMP 形式にする必要があり、その寸法は幅が 256 ピクセル、高さが 64 ピクセ ルを超えないようにする必要があります。ファイル拡張子が間違ってい る場合はエラーメッセージが表示されます。
Upload	<b>Upload</b> をクリックすると指定されたイメージファイルがクライアントに 転送されます。アップロードを確定するためのメッセージが表示されま す。

## 5.22.2 AWI クライアント: OSD ロゴ設定

OSD Logo ページでは、ローカルオンスクリーンディスプレイ (OSD) GUI の Connect ページに表示するイメージをアップロードすることができます。OSD Logo ページは、Upload > OSD Logo メニューからアクセスすることができます。

注意:AWI Session – View Connection Server ページの詳細オプションで <u>Use OSD</u> <u>Logo for View Banner</u>を有効にすることにより、VMware View バナーの代わりにこ のロゴを表示するように VMware View ログイン画面を設定することができます。

OSD Logo Upload	
Upload an OSD logo to be disp	ayed on the local GUI (dient only)
The OSD logo must be a 24bpp	bitmap that does not exceed 256 pixels by 64 pixels. Any other images will be displayed incorrectly, or not at all.
OSD logo men	ime: Drowse
	Upload

図 5-83:AWI クライアント OSD Logo Upload ページ

表 5-79: AWI クライアント OSD Logo Upload ページパラメータ

パラメータ	説明
OSD logo filename	アップロードするロゴイメージのファイル名を指定します。 <b>Browse</b> ボタ ンを使用してターゲットファイルを参照することができます。 ファイルはウェブブラウザからアクセスできる必要があります(つま り、ローカルドライブまたはアクセス可能なネットワークドライブ上に 存在する必要があります)。24 bpp(ビット/ピクセル)イメージを BMP 形式にする必要があり、その寸法は幅が 256 ピクセル、高さが 64 ピクセ ルを超えないようにする必要があります。ファイル拡張子が間違ってい る場合はエラーメッセージが表示されます。
Upload	<b>Upload</b> をクリックすると指定されたイメージファイルがクライアントに 転送されます。アップロードを確定するためのメッセージが表示されま す。

# 5.23 ファームウエアのアップロード

## 5.23.1 MC:ファームウエア管理

Profile Firmware セクションは、管理コンソールの Manage Profiles ページの下部に 配置されています。このセクションでは、ファームウエアファイルをプロファイル に割り当て、ファームウエアが各デバイスに転送される前に満たすべきアップグレ ード基準を設定することができます。

注意:ファームウエアファイルをプロファイルに割り当てるためには、まず、 Update > Import Firmware メニューを通してファイルが MC にインポートされてい ることを確認する必要があります。詳細については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。

	Profile Firmware
I	Supported Device Family :
	Set Firmware

#### 図 5-84: MC Profile Firmware 設定

Set Firmware をクリックすると、次のような画面が表示されます。

Link to Imported Firmware	×
Firmware Version Apply when existing firmware is different x.y.z. Select Cancel	

☑ 5-85 : MC Link to Imported Firmware



ドロップダウンメニューからファームウエアバージョンを選択してから、デバイス 上のバージョンと異なる場合にファームウエアを上書きするのか、テキスト入力フ ィールドに入力したファームウエアバージョンよりも前のバージョンの場合にファ ームウエアを上書きするのかを選択します。最後に Select をクリックします。

Link to Imported Firmwar	e	X
Firmware Version Apply when existing firmware is	[Tera2] 4.0.1 [Tera1] 4.0.1 (Firmware 4.0.1 G different 💌 x.y.z.	

図 5-86: MC Link to Imported Firmware - 設定後

表 5-80: MC Link to Imported Firmware パラメータ

パラメータ	説明
Firmware Version	プロファイルに割り当てるファームウエアファイルを選択します。 注意:先に、 <b>Update &gt; Import Firmware</b> メニューからファームウエアファイル を MC にインポートしておく必要があります。詳細については、『PCoIP Management Console User Manual』(TER0812002)を参照してください。
Apply when existing firmware is	<ul> <li>ドロップダウンメニューから次のオプションのいずれかを設定します。</li> <li>different:このオプションは、デバイス上のファームウエアのバージョンが 選択したバージョンと違っていればファームウエアを上書きする場合に選択 します。</li> <li>less than:このオプションは、デバイス上のファームウエアのバージョン が x.y.z フィールド内のバージョンよりも前のバージョンであればファーム ウエアを上書きする場合に選択し、このフィールドにバージョンを入力しま す(4.0.2 など)。</li> </ul>

## 5.23.2 AWI:ファームウエアアップロード設定

**Firmware** ページでは、新しいファームウエアビルドをホストまたはクライアントに アップロードすることができます。このページは、**Upload > Firmware** メニューか らアクセスすることができます。

注意:ホストとクライアントに同じファームウエアリリースバージョンがインスト ールされている必要があります。

Firmware Upload	
Upload a new firmware build	
Firmware build filename: Browse	
Upload	

図 5-87 : AWI Firmware Upload ページ

表 5-81: AWI Firmware Upload ページパラメータ

パラメータ	説明
Firmware build filename	アップロードするファームウエアイメージのファイル名。Browse ボ タンを使用してファイルを参照することができます。ファイルはウェ ブブラウザからアクセスできる必要があります(つまり、ローカルド ライブまたはアクセス可能なネットワークドライブ上に存在する必要 があります)。ファームウエアイメージは、".all"ファイルにする必要 があります。
Upload	Upload ボタンをクリックすると指定されたファイルがデバイスに転送されます。偶発的なアップロードを避けるために、AWIからこの操作の確認が促されます。 注意:ホストとクライアントの両方に同じファームウエアリリースが存在することを保証することが重要です。

### クライアントにファームウエアリリースをアップロードするには:

- 1. クライアントの AWI にログインします。
- 2. Firmware Upload ページで、ファームウエアファイルが格納されているフォルダ を参照します。このファイルには、".all"拡張子が付加されます。
- 3. 正しい"\*.all"ファームウエアファイルをダブルクリックします。
- 4. Upload をクリックします。
- 5. OK をクリックしてアップロードの実行を確定します。この処理に数分かかる場合があります。完了すると、AWIページに Reset と Continue の 2 つのボタンが表示されます。
- 6. **Reset** をクリックします。
- 7. **OK** をクリックします。

#### ホストにファームウエアリリースをアップロードするには:

1. ホスト PC またはワークステーションがアイドル状態になっている(つまり、すべてのアプリケーションが閉じている)ことを確認します。

PColP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



- 2. ホストの AWI にログインします。
- 3. Firmware Upload ページで、ファームウエアファイルが格納されているフォルダ を参照します。このファイルには、".all"拡張子が付加されます。
- 4. 正しい"\*.all"ファームウエアファイルをダブルクリックします。
- 5. Upload をクリックします。
- 6. OK をクリックしてアップロードの実行を確定します。この処理に数分かかる場合があります。完了すると、AWIページに Reset と Continue の 2 つのボタンが表示されます。
- 7. **Reset** をクリックします。
- 8. **OK** をクリックします。
- 9. ホスト PC またはワークステーションの電源を入れ直します。ホストカードに変 更を反映させるためには、PC またはワークスレーションの電源オフ(再起動だ けでなく)が必要です。

## **5.24** USB 承認の設定

#### 5.24.1 MC: USB 承認

Profile Zero Client USB セクションは、管理コンソールの Manage Profiles ページの 下部に配置されています。このセクションでは、クライアント上で設定された USB 設定を保持したり、その設定を無効にしたり、新しい設定を追加したりするように プロファイルを構成することができます。

注意: USB Enhanced Host Controller Interface (EHCI) モードは、管理コンソールの <u>MC Peripheral Configuration</u> ページで設定します。

<ul> <li>Profile Zero Client USB Authorization</li> </ul>	
Supported Device Family : ALL	
<ul> <li>Do not erase the device's existing USB authorizations</li> <li>C Erase the device's existing USB authorizations and replace them with an empty set</li> </ul>	
Add New	
Profile Zero Client USB Unauthorization	
Supported Device Family : ALL	
Do not erase the device's existing USB unauthorizations     Erase the device's existing USB unauthorizations and replace them with an empty set	
Add New	
Profile Zero Client USB Bridged	
Supported Device Family : ALL	
<ul> <li>Do not erase the device's existing USB bridged settings</li> <li>C Erase the device's existing USB bridged settings and replace them with an empty set</li> </ul>	
Add New	

図 5-88: MC プロファイルゼロクライアント USB 設定

表 5-82: MC プロファイルゼロクライアント USB 設定パラメータ

パラメータ	説明
Profile Zero Client USB Authorization	<ul> <li>次のいずれかを選択します。</li> <li>Do not erase the device's existing USB authorizations : このオプション は、クライアント上で設定された既存の USB 許可設定を使用する場合に選 択します。</li> <li>Erase the device's existing USB authorizations and replace them with an empty set : このオプションは、クライアント上で設定されたすべての USB 許可設定を削除する場合に選択します。</li> <li>Add New : このリンクは、クライアント上で設定された既存の設定に新しい USB 許可エントリを追加する場合にクリックします。</li> </ul>
Profile Zero Client USB Unauthorization	<ul> <li>次のいずれかを選択します。</li> <li>Do not erase the device's existing USB unauthorizations: このオプションは、クライアント上で設定された既存の USB 非許可設定を使用する場合に選択します。</li> <li>Erase the device's existing USB unauthorizations and replace them with an empty set: このオプションは、クライアント上で設定されたすべての USB デバイスを無効にする場合に選択します。</li> <li>Add New: このリンクは、クライアント上で設定された既存の非許可設定に新しい USB 非許可エントリを追加する場合にクリックします。</li> </ul>
Profile Zero Client USB Bridged	<ul> <li>次のいずれかを選択します。</li> <li>Do not erase the device's existing USB bridged settings: このオプションは、クライアント上で設定された既存の USB ブリッジ設定を使用する場合に選択します。</li> <li>Erase the device's existing USB bridged settings and replace them with an empty set: このオプションは、クライアント上で設定されたすべての USB ブリッジ設定を無効にする場合に選択します。</li> <li>Add New: このリンクは、クライアント上で設定された既存の設定に新しい USB ブリッジエントリを追加する場合にクリックします。</li> </ul>

USB許可、非許可、またはブリッジエントリの Add New をクリックした場合は、 それぞれ、以下の画面が表示されます。



PColP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド

Rule Type	lass 💌	USB devices can be authorized by ID or Class. This property configures this setting, Devices authorized by class require the user to enter Device Class. Sub Class and Protocol information. Devices authorized by ID require the user to enter Vendor ID and Product ID information.
Device Class	ny	This property specifies the device class of the authorized USB device(s). The drop down menu lats the supported device classes.
Sub Class	ny 💌	This property specifies the sub class of the authorized USB device(s). The drop down menu lists the supported sub classes.
Protocol A	ny 💌	This property specifies the protocol of the authorized USB device(s). The drop down menu lats the supported protocols.
VID	(hexadecimal)	This property specifies the vendor ID of the authorized USB device(s). This property is a hexadecimal number in the range of 0-FFFF.
PID	(hexadecimal)	This property specifies the product ID of the authorized USS device(a). This property is a hexadecimal number in the range of D-FFFF.



Rule Type	Class 💌		USB devices can be disabled by IC or Class. This property configures this setting. Disabiling devices by class requires the user to enter Device Class, Sub Class and Protocol information. Disabiling devices by ID requires the user to enter Vendor ID and Product ID Information.
Device Class	Any	٠	This property specifies the device class of the disabled USB device(s). The drop down menu lists the supported device classes.
Sub Class	Any 💌		This property specifies the sub class of the disabled USB device(s). The drop down menu lists the supported sub classes.
Protocol	Any 💌		This property specifies the protocol of the disabled USB device(s). The drop down meru lists the supported protocols.
VID	(hexadecimal)		This property specifies the vendor ID of the disabled USB device(s). This property is a hexadecimal number in the range of 0-FFFF.
PID	(hexadecimal)		This property specifies the product ID of the disabled USB device(s). This property is a hexadecimal number in the range of 0-FFFF.
VID PID	(hexadecimal) (hexadecimal)		This property specifies the vendor ID of the disabled USB device(s). This property is a havadesimal number in the range of 0-FFFF. This property specifies the product ID of the disabled USB device(s). This property is a hexadecimal number in the range of 0-FFFF.

図 5-90:USB 非許可 – Add New

Add Profile USB Bridged		×
VID (hexadecimal)	This property specifies the vendor ID of the bridged USB device. This property is a hexadecimal number in the range of 0-FFFF.	
PID (hexadecimal)	This property specifies the product ID of the bridged USB device. This property is a hexadecimal number in the range of 0-FFFF.	
	Add Cancel	

図 5-91 : USB ブリッジ – Add New

#### 表 5-83: Add Profile USB – Add New パラメータ

パラメータ	説明
Rule Type	<ul> <li>新しい USB 許可または非許可エントリを追加するときに、次のいずれかを選択します。</li> <li>Class: USB デバイスがそのデバイスクラス、サブクラス、およびプロトコル情報によって許可されます。</li> <li>ID: USB デバイスがそのベンダ ID と製品 ID 情報によって許可されます。</li> </ul>

パラメータ	説明
Device Class	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているデバイスクラスを選択する か、任意のデバイスクラスを許可または非許可(無効に)する場合は Any を選 択します。
Sub Class	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているデバイスサブクラスを選択す るか、任意のサブクラスを許可または非許可(無効に)する場合は Any を選択 します。 注意:デバイスクラスとして Any を選択した場合は、これが唯一の使用可能な 選択肢になります。
Protocol	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているプロトコルを選択するか、 Any を選択します。 注意:デバイスクラスまたはサブクラスとして Any を選択した場合は、これが 唯一の使用可能な選択肢になります。
VID	このフィールドは、ID が選択された場合、または、新しい USB ブリッジエント リを追加している場合に有効になります。 許可デバイス、非許可デバイス、またはブリッジデバイスのベンダ ID を入力し ます。有効範囲は 16 進数の 0~FFFF です。
PID	このフィールドは、ID が選択された場合、または、新しい USB ブリッジエント リを追加している場合に有効になります。 許可デバイス、非許可デバイス、またはブリッジデバイスの製品 ID を入力しま す。有効範囲は 16 進数の 0~FFFF です。

## 5.24.2 AWI クライアント: USB 承認

USB ページは、Permissions > USB メニューからアクセスします。このページでは、 ID またはクラスに基づいて、「ホワイトリスト」の USB デバイスを許可したり、 「ブラックリスト」の USB デバイスを非許可したりすることができます。ワイルド カードを使用(または"any"を指定)して、すべてのデバイスの定義に必要なエント リ数を減らすことができます。

ホストにブリッジする必要のあるデバイスを設定したり、特定の USB デバイスの USB 2.0 Enhanced Host Controller Interface (EHCI) モードを有効にしたりすることも できます。

非許可 USB デバイスの PCoIP ゼロクライアントハードウエアでは、USB プラグイ ベントがブロックされます。ホスト (PCoIP ホストカードまたはホスト仮想デスク トップ)では追加のセキュリティレイヤ用のデバイスを表示したり、それにアクセ スしたりすることはできません。



USBページはホストとクライアントの両方で使用できますが、ホスト USB 承認の 方がクライアント USB 承認よりも優先されます。PCoIP ホストカードに接続する場 合は、USB 承認をホスト上でのみ設定することを強くお勧めします。次のルールが 適用されます。

- ホストで承認(許可または非許可)が設定されている場合は、その承認がクライ アントに送信されます。クライアントで非許可デバイスが設定されている場合は、 それらがホストの非許可デバイスに追加され、統合されたリストが使用されます。
- ホストで承認が設定されていない場合は、クライアントの承認が使用されます。

工場出荷時設定にはホスト上の USB 承認設定が含まれません。クライアント USB 承認の工場出荷時設定は"any、any、any"(つまり、許可 USB デバイス)です。ホ スト実装(ハードウエア PCoIP ホストやソフトウエア PCoIP ホストなど)によって は、必要に応じて、クライアントまたはホスト上で USB 承認を設定することができ ます。

ホスト USB 承認は、PCoIP セッションの開始時点でのみ更新されます。これらは次の優先順位に従って許可されます(最高から最低の順)。

- 非許可ベンダ ID/製品 ID
- 許可ベンダ ID/製品 ID
- 非許可デバイスクラス/サブクラス/プロトコル
- 許可デバイスクラス/サブクラス/プロトコル

USB				
Configure the USB permissions table				
Authorized Devices:				
	Any Device Class	Any Sub Class	Any Protocol	Remove
	Add new			
Unauthorized Devices:	Table is empty			
	Add new			
Bridged Devices:	Table is empty			
	Add new			
Enable EHCI (root port only):	R		This feature applies only to VDI sessions	
	Apply Cancel			

図 5-92: AWI クライアント USB ページ

#### 表 5-84:AWI クライアント USB ページパラメータ

パラメータ	説明
Authorized	デバイスの許可 USB デバイスを指定します。
Devices	Add New:新しいデバイスまたはデバイスグループをリストに追加します。こ

パラメータ	説明
	<ul> <li>れにより、IDまたはクラスによる USB 許可が可能になります。</li> <li>ID: USB デバイスがそのベンダ ID と製品 ID によって許可されます。</li> <li>Class: USB デバイスがデバイスクラス、サブクラス、およびプロトコルによって許可されます。</li> <li>Remove: デバイスまたはデバイスグループに関するルールをリストから削除します。</li> </ul>
Unauthorized Devices	<ul> <li>デバイスの非許可 USB デバイスを指定します。</li> <li>Add New:新しいデバイスまたはデバイスグループをリストに追加します。これにより、ID またはクラスによる USB デバイスの非許可が可能になります。</li> <li>ID: USB デバイスがそのベンダ ID と製品 ID によって非許可されます。</li> <li>Class: USB デバイスがデバイスクラス、サブクラス、およびプロトコルによって非許可されます。</li> <li>Remove:デバイスまたはデバイスグループに関するルールをリストから削除します。</li> </ul>
Bridged Devices	<ul> <li>PCoIP ゼロクライアントは、VMware View 仮想デスクトップに接続するときに HID デバイスをローカルに終端します。ただし、デバイスによっては、HID と してアドバタイズしながら、別のドライバを使用している場合があります。こ のようなデバイスはローカルに終端するのではなく、ホストにブリッジする必 要があります。この設定では、特定の USB デバイスをブリッジして仮想デスク トップ上のドライバを使用できるようにゼロクライアントに指示することがで きます。</li> <li>Add New:新しいデバイスまたはデバイスグループをリストに追加します。こ れにより、ベンダ ID と製品 ID による USB デバイスのブリッジが可能になりま す。</li> <li>Remove:デバイスまたはデバイスグループに関するルールをリストから削除 します。</li> <li>注意:ブリッジングはファームウエア 3.3.0 以降でサポートされている機能で す。このルールは、ゼロクライアントと、VMware View 4.6 以降を実行してい るソフトホスト間のセッションにのみ影響を与えます。</li> </ul>
Enable EHCI (root port only)	このフィールドは、VMware View 4.6 以降を実行しているホストとのセッショ ン用のゼロクライアント USB ポートに直接接続されたデバイスの EHCI (USB 2.0) を設定する場合に有効にします。 注意:RAM が 128MB 未満のクライアント上では、この機能を有効にすること ができません。等時性エンドポイントを備えたデバイスは USB 2.0 の速度で動 作しません。

新しい USB 許可エントリまたは非許可エントリを追加するときに、デバイスをクラスとID のどちらで記述するかによって次のパラメータが表示されます。





Add new: Class	
Device Class: * Any	•
Sub Class: * Any	
Protocol: * Any	
Add Cancel	

図 5-93 : デバイスクラスパラメータ



図 5-94 : デバイス ID パラメータ

表 5-85: USB 許可/非許可デバイスパラメータ

パラメータ	説明
Add new	<ul> <li>新しい USB 許可または非許可エントリを追加するときに、次のいずれかを選択します。</li> <li>Class: USB デバイスがそのデバイスクラス、サブクラス、およびプロトコル情報によって許可されます。</li> <li>ID: USB デバイスがそのベンダ ID と製品 ID 情報によって許可されます。</li> </ul>
Device Class	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているデバイスクラスを選択する か、任意のデバイスクラスを許可または非許可(無効に)する場合は Any を選 択します。
Sub Class	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているデバイスサブクラスを選択す るか、任意のサブクラスを許可または非許可(無効に)する場合は Any を選択 します。 注意:デバイスクラスとして Any を選択した場合は、これが唯一の使用可能な 選択肢になります。
Protocol	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているプロトコルを選択するか、 Any を選択します。

パラメータ	説明
	注意:デバイスクラスまたはサブクラスとして <b>Any</b> を選択した場合は、これが 唯一の使用可能な選択肢になります。
Vendor ID	このフィールドは、ID が選択されたときに有効になります。 許可(または非許可)デバイスのベンダ ID を入力します。有効範囲は 16 進数の0~FFFF です。
Protocol ID	このフィールドは、ID が選択されたときに有効になります。 (許可または非許可)デバイスの製品 ID を入力します。有効範囲は 16 進数の 0~FFFF です。

新しい USB ブリッジエントリを追加するときに、次のパラメータが表示されます。



図 5-95 : USB ブリッジパラメータ

表 5-86: USB ブリッジデバイスパラメータ

パラメータ	説明
Vendor ID	ブリッジデバイスのベンダ ID を入力します。有効範囲は 16 進数の 0~FFFF です。
Protocol ID	ブリッジデバイスの製品 ID を入力します。有効範囲は 16 進数の 0~FFFF です。

### 5.24.3 AWI ホスト: USB 承認

USB ページは、Permissions > USB メニューからアクセスします。このページでは、 ID またはクラスに基づいて、「ホワイトリスト」の USB デバイスを許可したり、 「ブラックリスト」の USB デバイスを非許可したりすることができます。ワイルド カードを使用(または"any"を指定)して、すべてのデバイスの定義に必要なエント リ数を減らすことができます。

非許可 USB デバイスの PCoIP ゼロクライアントハードウエアでは、USB プラグイ ベントがブロックされます。ホスト (PCoIP ホストカードまたはホスト仮想デスク



トップ)では追加のセキュリティレイヤ用のデバイスを表示したり、それにアクセスしたりすることはできません。

USBページはホストとクライアントの両方で使用できますが、ホスト USB 承認の 方がクライアント USB 承認よりも優先されます。PCoIP ホストカードに接続する場 合は、USB 承認をホスト上でのみ設定することを強くお勧めします。次のルールが 適用されます。

- ホストで承認(許可または非許可)が設定されている場合は、その承認がクライ アントに送信されます。クライアントで非許可デバイスが設定されている場合は、 それらがホストの非許可デバイスに追加され、統合されたリストが使用されます。
- ホストで承認が設定されていない場合は、クライアントの承認が使用されます。

工場出荷時設定にはホスト上の USB 承認設定が含まれません。クライアント USB 承認の工場出荷時設定は"any、any、any"(つまり、許可 USB デバイス)です。ホ スト実装(ハードウエア PCoIP ホストやソフトウエア PCoIP ホストなど)によって は、必要に応じて、クライアントまたはホスト上で USB 承認を設定することができ ます。

ホスト USB 承認は、PCoIP セッションの開始時点でのみ更新されます。これらは次の優先順位に従って許可されます(最高から最低の順)。

- 非許可ベンダ ID/製品 ID
- 許可ベンダ ID/製品 ID
- 非許可デバイスクラス/サブクラス/プロトコル
- 許可デバイスクラス/サブクラス/プロトコル



図 5-96 : AWI ホスト USB ページ

表 5-87: AWI ホスト USB ページパラメータ

パラメータ	説明
Authorized Devices	<ul> <li>デバイスの許可 USB デバイスを指定します。</li> <li>Add New:新しいデバイスまたはデバイスグループをリストに追加します。これにより、ID またはクラスによる USB 許可が可能になります。</li> <li>ID: USB デバイスがそのベンダ ID と製品 ID によって許可されます。</li> <li>Class: USB デバイスがデバイスクラス、サブクラス、およびプロトコルによって許可されます。</li> <li>Remove:デバイスまたはデバイスグループに関するルールをリストから削除します。</li> </ul>
Unauthorized Devices	<ul> <li>デバイスの非許可 USB デバイスを指定します。</li> <li>Add New:新しいデバイスまたはデバイスグループをリストに追加します。これにより、ID またはクラスによる USB デバイスの非許可が可能になります。</li> <li>ID:USB デバイスがそのベンダ ID と製品 ID によって非許可されます。</li> <li>Class:USB デバイスがデバイスクラス、サブクラス、およびプロトコルによって非許可されます。</li> <li>Remove:デバイスまたはデバイスグループに関するルールをリストから削除</li> </ul>



パラメータ	説明
	します。

新しい USB 許可エントリまたは非許可エントリを追加するときに、デバイスをクラスとID のどちらで記述するかによって次のパラメータが表示されます。

Add new: Class 💌	
Device Class: * Any	
Sub Class: * Any	
Protocol: * Any	
Add Cancel	

図 5-97:デバイスクラスパラメータ

Add new:	ID	•
Vendor ID:	0000	
Product ID:	0000	
	Add	Cancel

図 5-98 : デバイス ID パラメータ

## 表 5-88 : USB 許可/非許可デバイスパラメータ

パラメータ	説明
Add new	<ul> <li>新しい USB 許可または非許可エントリを追加するときに、次のいずれかを選択します。</li> <li>Class: USB デバイスがそのデバイスクラス、サブクラス、およびプロトコル情報によって許可されます。</li> <li>ID: USB デバイスがそのベンダ ID と製品 ID 情報によって許可されます。</li> </ul>
Device Class	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているデバイスクラスを選択する か、任意のデバイスクラスを許可または非許可(無効に)する場合は Any を選 択します。
Sub Class	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。

パラメータ	説明
	ドロップダウンメニューからサポートされているデバイスサブクラスを選択す るか、任意のサブクラスを許可または非許可(無効に)する場合は Any を選択 します。 注意:デバイスクラスとして Any を選択した場合は、これが唯一の使用可能な 選択肢になります。
Protocol	このフィールドは、Class が選択されたときに有効になります。 ドロップダウンメニューからサポートされているプロトコルを選択するか、 Any を選択します。 注意:デバイスクラスまたはサブクラスとして Any を選択した場合は、これが 唯一の使用可能な選択肢になります。
Vendor ID	このフィールドは、ID が選択されたときに有効になります。 許可(または非許可)デバイスのベンダ ID を入力します。有効範囲は 16 進数 の 0~FFFF です。
Protocol ID	このフィールドは、ID が選択されたときに有効になります。 (許可または非許可)デバイスの製品 ID を入力します。有効範囲は 16 進数の 0~FFFF です。

# 5.25 証明書ストアの設定

### 5.25.1 MC:証明書ストア管理

Certificate Store セクションは、管理コンソールの Manage Profiles ページの下部に 配置されています。このセクションでは、デバイス上で設定された証明書設定を保 存したり、設定を無効にしたり、新しい証明書ファイルをプロファイルにアップロ ードしたりするようにプロファイルを構成することができます。

注意:最大16の証明書ファイルをプロファイルにアップロードして、それらの用途 を設定することができます。

Certificate Store	
Supported Device Family : ALL	
<ul> <li>Do not erase the device's existing certificates</li> <li>C Erase the device's existing Certificates and replace them with an empty set</li> </ul>	
Add New	

#### 図 5-99: MC 証明書ストア設定

#### 表 5-89: MC 証明書ストア設定パラメータ

パラメータ	説明
-------	----



パラメータ	説明
Do not erase the device's existing certificates	このオプションは、プロファイルを通して、デバイス上で設定された既存の証 明書設定を使用する場合に選択します。
Erase the device's existing Certificates and replace them with an empty set	このオプションは、プロファイルを通して、デバイス上で設定されたすべての 証明書を無効にする場合に選択します。
Add New	新しい証明書ファイルをプロファイルにアップロードすることができます。

Add New をクリックすると、次の画面が表示されます。

Add Certificate to Store	×
Certificate File (*.pem)	
	Browse
Add Cancel	

☑ 5-100 : MC Add Certificate to Store

表	5-90	MC	Add	Certificate	to	Store	パラメー	ータ
~				••••••••••				

パラメータ	説明
Certificate File (*.pem)	Browse ボタンを使用して証明書ファイルを探してから、Add をクリ ックします。 注意:最大 16 の証明書ファイルをプロファイルに追加することがで きます。

証明書ファイルを追加したら、Certificate Store セクションにあるドロップダウンメ ニューから用途を選択することができます。

Certificate Store		
Supported Device Family : ALL		
Subject: DigiCert High Assurance EV Root CA Issued By: DigiCert High Assurance EV Root CA Expiration Date: 11/09/2031 Contains Private Key: False	No Usage 💌	Delete
Subject: 8021x-WIN-80AOGYIG8I3-CA Issued By: 8021x-WIN-80AOGYIG8I3-CA Expiration Date: 06/14/2016 Contains Private Key: False	No Usage 💌	Delete
Subject: Users Issued By: 8021x-WIN-80AOGYIG8I3-CA Expiration Date: 06/25/2013 Contains Private Key: True	No Usage 💌	Delete
Add New		

#### ☑ 5-101 : MC Certificate Store

## **5.25.2** AWI:証明書アップロード設定

**Certificate Upload** ページでは、CA ルート証明書とクライアント証明書をアップロードして管理することができます。このページは、**Upload > Certificate** メニューからアクセスすることができます。

注意:最大16の証明書をアップロードすることができます。ファームウエアリリース3.5現在、PCoIP プロトコルでは、802.1X 準拠ネットワーク用の802.1X クライアント証明書が1つしか読み取られません。そのクライアント証明書にPCoIP デバイスに関するすべてのセキュリティ情報が含まれていることを確認してください。

802.1X 認証を使用する場合の一般的なガイドラインを以下に示します。詳細については、<u>Teradici サポートサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-1063 を参照してください。

- 802.1X 認証には、802.1X クライアント証明書と802.1X サーバ CA ルート証明書の2つの証明書が必要です。
- 802.1X クライアント証明書は、.pem 形式で作成し、RSA 暗号化を使用する秘密 鍵を含める必要があります。証明書が別の形式の場合は、それをアップロードす る前に、秘密鍵を含む.pem 形式に変換する必要があります。
- Certificate Upload ページで 802.1X クライアント証明書をアップロードしたら、 <u>Network</u>ページで 802.1X 認証を設定する必要があります。このとき、802.1X 認 証を有効にして、ゼロデバイスの識別文字列を入力し、ドロップダウンリストか ら正しい 802.1X クライアント証明書を選択してから、設定を適用する必要があ ります。
- 802.1X サーバ CA ルート証明書は、.pem 形式にする必要がありますが、秘密鍵を含める必要はありません。証明書が別の形式の場合は、それをアップロードする前に、.pem 形式に変換する必要があります。この証明書の場合は、Network ページでの設定が必要ありません。
- 802.1X クライアント証明書と802.1X サーバ CA ルート証明書はどちらも6KB未満にする必要があります。そうしなければ、アップロードすることができません。 証明書ファイルによっては複数の証明書が含まれている場合があります。証明書ファイルが大き過ぎて、複数の証明書が含まれている場合は、そのファイルをテ



キストエディタで開いて、個別の証明書をコピーして別々のファイルに保存する ことができます。

Certificate Upload			
Upload a certificate in PEM format (Mu	st be < 6144 bytes). For 802.1X certific	ates, the certificate must contain th	e private key as well.
Certificate filename:			Browse Upload (Limit of 16 certificates)
Uploaded Certificates:	Subject:	Issued By:	Expiration Date:
	1) DigiCert High Assurance EV Root CA	DigiCert High Assurance EV Root CA	11/10/2031 Details Remove
802.1X Client Certificate:		(Configure	d in Network settings)
	Apply Dinvel		

図 5-102 : AWI Certificate Upload ページ

表 5-91: AWI Certificate Upload ページパラメータ

パラメータ	説明
Certificate filename	最大 16 のルート証明書とクライアント証明書をアップロードしま す。
Uploaded Certificates	アップロード済みの証明書が表示されます。アップロード済みの証明 書を削除するには、Remove ボタンをクリックします。削除プロセス はデバイスの再起動後に行われます。証明書の詳細を確認するには、 Detail ボタンをクリックします。これらの証明書が Network ページ の Client Certificate ドロップダウンメニュー内のオプションとして 表示されます。
802.1X Client Certificate	読み取り専用フィールドです。 <b>Network</b> ページの <b>Client Certificate</b> フィールドにリンクされています。

# **5.26** OSD ディスプレイオーバーライドの設定

# **5.26.1** OSD デュアルディスプレイ:ディスプレイ設定

**Display** ページでは、拡張ディスプレイ識別データ(EDID)オーバーライドモード を有効にすることができます。

#### 注意:この機能は OSD 経由でしか使用することができません。

通常の操作では、ホストコンピュータ内の GPU がモニタの機能を特定するためにモ ニタをゼロクライアントに接続する必要があります。モニタの機能は EDID 情報と して報告されます。状況によっては、特定の KVM デバイス経由で接続されている 場合のように、クライアントが EDID 情報を読み取れない形態でモニタがクライア ントに接続されている場合があります。このページの Preferred Resolution Override 機能を使用すれば、デフォルト EDID 情報を GPU にアドバタイズするようにクライ アントを設定することができます。

警告: Preferred Resolution Override 機能は、有効な EDID 情報が存在せず、モニタの ディスプレイ特性が認識されている場合にのみ有効にする必要があります。EDID の読み取りに失敗する場合は、ドロップダウンリストにディスプレイでサポートさ れていない解像度が含まれている可能性があります。ディスプレイに何も映らない 場合、または、優先解像度を設定後に「Timing Out of Range」というメッセージが 30 秒以上表示された場合は、ビデオケーブルを抜き差ししてディスプレイの解像度 を以前の値に戻すことができます。

注意:TERA2321 ゼロクライアントデバイスをクライアントとして使用している場合は、このページに2つのモニタに関する優先解像度設定しか表示されません。

The E will a	Enable / dvertise	Attache a defi	ed Display ( ault EDID if	)verride fe no display	ature will fo is physical	orce all ly atta	ports to ched to a	show that a display port.	is attached. This
	Enab	le Atta	ched Displa	y Override	:				
The F attac	Preferre	ad Res	olution Over	ride featur	e allows yo	ou to s	pecify a s	specific resolution to	use for each
NOTE actua mess the v	E: In the ally supplicage for ideo ca	e case ported more ble to r	of an EDID by your disp than 30 sec reset your d	read failur blay. If the conds after isplay resc	e, the drop display sta changing plution back	-down iys bla the pre	list may ck or sho ferred re previous	contain resolutions t wws a "Timing Out O solution, you can un value.	hat are not f Range" plug and re-plug
E	nable P	referre	d Resolution	n Override	:				
			Preferred r	esolution 0	: Native		•		

図 5-103 : OSD Tera1Display ページ

表	5-92	:	OSD	Tera1	Displa	y ページ	シパラ	メ	ータ
---	------	---	-----	-------	--------	-------	-----	---	----

パラメータ	説明
Enable Attached Display Override	このオプションはレガシーシステム用です。モニタが検出できない場 合やモニタがクライアントに接続されていない場合に、デフォルト EDID 情報をホストに送信するようにクライアントが設定されます。 Windows のバージョンが Windows 7 より前の場合は、ホストに EDID 情報が存在しなければ、モニタが接続されていないと判断さ れ、二度とチェックが行われません。このオプションは、クライアン



パラメータ	説明
パラメータ	<ul> <li>説明</li> <li>トがセッション中は必ずホストに EDID 情報が存在することを保証します。</li> <li>このオプションが有効になっている場合は、以下のデフォルト解像度がアドバタイズされます。</li> <li>2560x1600 @60 Hz</li> <li>2048x1152 @60 Hz</li> <li>1920x1440 @60 Hz</li> <li>1920x1200 @60 Hz</li> <li>1920x1080 @60 Hz</li> <li>1856x1392 @60 Hz</li> <li>1600x1000 @60 Hz</li> <li>1600x1000 @60 Hz</li> <li>1600x900 @60 Hz</li> <li>1600x900 @60 Hz</li> <li>1366x768 @60 Hz</li> <li>1360x768 @60 Hz</li> <li>1280x1024 @60 Hz</li> <li>1280x800 @60 Hz</li> <li>1280x800 @60 Hz</li> <li>1280x768 @60 Hz</li> </ul>
	<ul> <li>1280x800 @60 Hz</li> <li>1280x768 @60 Hz</li> <li>1280x720 @60 Hz</li> <li>1024x768 @60 Hz</li> <li>848x480 @60 Hz</li> <li>800x600 @60 Hz</li> <li>640x480 @60 Hz</li> <li>このオプションが有効になっている場合は、クライアントに接続され</li> </ul>
	たすべてのディスプレイがネイティブ解像度の 1024x768 に設定されます。
Enable Preferred Resolution Override	このオプションは、ディスプレイが接続されているがシステムで検出 できないため、ディスプレイの優先解像度を指定したい場合に有効に します。デフォルトネイティブ解像度の 1024x768 の代わりに、ここ でディスプレイに対して設定された優先解像度がネイティブ解像度と して送信される場合を除いて、上記と同じデフォルト解像度リストが アドバタイズされます。 Preferred resolution 0: ゼロクライアントのポート1に接続され たディスプレイの優先解像度を選択します。 Preferred resolution 1: ゼロクライアントのポート2に接続され たディスプレイの優先解像度を選択します。 このオプションが有効になっている場合は、クライアントに接続され たすべてのディスプレイが、指定された優先解像度に設定されます。

## **5.26.2 OSD** クアッドディスプレイ:ディスプレイ設定

**Display** ページでは、拡張ディスプレイ識別データ(EDID) オーバーライドモード を有効にすることができます。

注意:この機能はOSD 経由でしか使用することができません。

通常の操作では、ホストコンピュータ内の GPU がモニタの機能を特定するためにモ ニタをゼロクライアントに接続する必要があります。モニタの機能は EDID 情報と して報告されます。状況によっては、特定の KVM デバイス経由で接続されている 場合のように、クライアントが EDID 情報を読み取れない形態でモニタがクライア ントに接続されている場合があります。このページの Preferred Resolution Override 機能を使用すれば、デフォルト EDID 情報を GPU にアドバタイズするようにクライ アントを設定することができます。

警告: Preferred Resolution Override 機能は、有効な EDID 情報が存在せず、モニタの ディスプレイ特性が認識されている場合にのみ有効にする必要があります。EDID の読み取りに失敗する場合は、ドロップダウンリストにディスプレイでサポートさ れていない解像度が含まれている可能性があります。ディスプレイに何も映らない 場合、または、優先解像度を設定後に「Timing Out of Range」というメッセージが 30 秒以上表示された場合は、ビデオケーブルを抜き差ししてディスプレイの解像度 を以前の値に戻すことができます。

注意: TERA2321 ゼロクライアントデバイスをクライアントとして使用している場合は、<u>ここ</u>に示すように、このページに2つのモニタに関する優先解像度設定しか表示されません。



letwork IPv6 Label Discovery Session La	nguage OS	SD Display Reset
The Enable Attached Display Override featu will advertise a default EDID if no display is	ure will force physically a	e all ports to show that a display is attached. This attached to a port.
Enable Attached Display Override:		
The Preferred Resolution Override feature a attached display.	allows you to	o specify a specific resolution to use for each
NOTE: In the case of an EDID read failure, actually supported by your display. If the dis	the drop-do splay stays	wn list may contain resolutions that are not black or shows a "Timing Out Of Range"
message for more than 30 seconds after cl the video cable to reset your display resolut	hanging the ion back to	preferred resolution, you can unplug and re-plug its previous value.
message for more than 30 seconds after of the video cable to reset your display resolut Enable Preferred Resolution Override:	ion back to	preferred resolution, you can unplug and re-plug its previous value.
message for more than 30 seconds after cl the video cable to reset your display resolut Enable Preferred Resolution Override: Preferred resolution 0:	hanging the lion back to	preferred resolution, you can unplug and re-plug its previous value.
message for more than 30 seconds after of the video cable to reset your display resolut Enable Preferred Resolution Override: Preferred resolution 0: Preferred resolution 1:	Native	preferred resolution, you can unplug and re-plug its previous value.
message for more than 30 seconds after of the video cable to reset your display resolut Enable Preferred Resolution Override: Preferred resolution 0: Preferred resolution 1: Preferred resolution 2:	Native Native	preferred resolution, you can unplug and re-plug its previous value.

図 5-104:OSD Tera2 Display ページ

表 5-93	: OSD	Tera2	Display	v ペー	ジパラ	メーク	7
X 0-00		ICIUL	Dispia	y · ·	× · · /	1 1	

パラメータ	説明
Enable Attached Display Override	<ul> <li>このオプションはレガシーシステム用です。モニタが検出できない場合やモニタがクライアントに接続されていない場合に、デフォルトEDID 情報をホストに送信するようにクライアントが設定されます。</li> <li>Windows のバージョンが Windows 7 より前の場合は、ホストにEDID 情報が存在しなければ、モニタが接続されていないと判断され、二度とチェックが行われません。このオプションは、クライアントがセッション中は必ずホストに EDID 情報が存在することを保証します。</li> <li>このオプションが有効になっている場合は、以下のデフォルト解像度がアドバタイズされます。</li> <li>2560x1600 @60 Hz</li> <li>1920x1440 @60 Hz</li> <li>1920x1200 @60 Hz</li> <li>1920x1080 @60 Hz</li> <li>1856x1392 @60 Hz</li> <li>1792x1344 @60 Hz</li> <li>1680x1050 @60 Hz</li> <li>1600x1200 @60 Hz</li> <li>1600x1200 @60 Hz</li> </ul>

パラメータ	説明
	<ul> <li>1600x900 @60 Hz</li> <li>1440x900 @60 Hz</li> <li>1400x1050 @60 Hz</li> <li>1366x768 @60 Hz</li> <li>1360x768 @60 Hz</li> <li>1280x1024 @60 Hz</li> <li>1280x960 @60 Hz</li> <li>1280x768 @60 Hz</li> <li>1280x768 @60 Hz</li> <li>1024x768 @60 Hz</li> <li>800x600 @60 Hz</li> <li>848x480 @60 Hz</li> <li>640x480 @60 Hz</li> <li>conオプションが有効になっている場合は、クライアントに接続され たすべてのディスプレイがネイティブ解像度の 1024x768 に設定され ます。</li> </ul>
Enable Preferred Resolution Override	このオプションは、ディスプレイが接続されているがシステムで検出 できないため、ディスプレイの優先解像度を指定したい場合に有効に します。デフォルトネイティブ解像度の 1024x768 の代わりに、ここ でディスプレイに対して設定された優先解像度がネイティブ解像度と して送信される場合を除いて、上記と同じデフォルト解像度リストが アドバタイズされます。 Preferred resolution 0:ゼロクライアントのポート1に接続され たディスプレイの優先解像度を選択します。 Preferred resolution 1:ゼロクライアントのポート2に接続され たディスプレイの優先解像度を選択します。 Preferred resolution 2:ゼロクライアントのポート3に接続され たディスプレイの優先解像度を選択します。 Preferred resolution 3:ゼロクライアントのポート4に接続され たディスプレイの優先解像度を選択します。 Coオプションが有効になっている場合は、クライアントに接続され たすべてのディスプレイが、指定された優先解像度に設定されます。

# **5.27** パスワードとリセットパラメータの設定 (AWI/OSD)

# 5.27.1 AWI: パスワード設定

**Password** ページでは、デバイスのローカル管理パスワードを更新することができま す。このページは、ホストまたはクライアントの **Configuration > Password** メニュ ーからアクセスすることができます。



パスワードは 20 文字以下にする必要があります。PCoIP デバイスによってはデフォルトでパスワード保護が無効になっている場合があり、このようなデバイスでは Password ページが使用できません。MC の <u>Security Configuration</u>ページでこのよう なデバイスのパスワード保護を有効にすることができます。

注意:このパラメータは AWI とローカル OSD GUI に影響を与えます。パスワード を忘れるとクライアントが使用できなくなるため、クライアントパスワードの更新 は慎重に行ってください。

Password
Change the local administrator password
Old Password:
New Paceword
Confirm New Password:
Apply Cancel

図 5-105 : AWI Password ページ

#### 表 5-94: AWI Password ページパラメータ

パラメータ	説明
Old Password	このフィールドが現在の管理パスワードと合っていなければ、パスワ ードを更新することができません。
New Password	AWI とローカル OSD GUI の両方の新しい管理パスワード。
Confirm New Password	変更を実施するためには、このフィールドと New Password フィー ルドが一致している必要があります。

### **5.27.2** OSD:パスワード設定

Password ページでは、デバイスのローカル管理パスワードを更新することができま す。このページは、Options > Password メニューからアクセスすることができます。 パスワードは 20 文字以下にする必要があります。PCoIP デバイスによってはデフォ ルトでパスワード保護が無効になっている場合があり、このようなデバイスでは Password ページが使用できません。MC の Security Configuration ページでこのよう なデバイスのパスワード保護を有効にすることができます。 注意:このパラメータは AWI とローカル OSD GUI に影響を与えます。パスワード を忘れるとクライアントが使用できなくなるため、クライアントパスワードの更新 は慎重に行ってください。

Change Password	×
Old Password: New Password: Confirm New Password:	
Reset	OK Cancel

図 5-106 : OSD Change Password ページ

表 5-95: OSD Change Password ペー	・ジ	パラ	メ	ータ
--------------------------------	----	----	---	----

パラメータ	説明
Old Password	このフィールドが現在の管理パスワードと合っていなければ、パスワ ードを更新することができません。
New Password	AWI とローカル OSD GUI の両方の新しい管理パスワード。
Confirm New Password	変更を実施するためには、このフィールドと New Password フィー ルドが一致している必要があります。
Reset	クライアントパスワードを忘れた場合は、Reset ボタンをクリックし てゼロクライアントベンダに応答コードを要求することができます。 チャレンジコードがベンダに送信されます。ベンダは要求を吟味し て、Teradiciで許可された場合に、応答コードを返します。応答コー ドが正しく入力されれば、クライアントのパスワードが空の文字列に リセットされます。新しいパスワードを入力する必要があります。 注意:パスワードリセットの許可が必要な場合の詳細については、ク ライアントベンダにお問い合わせください。このオプションは AWI 経由では使用できません。OSD 経由でしか使用することができませ ん。

#### **5.27.3** AWI ホスト:パラメータリセット設定

Reset Parameters ページでは、設定と承認をフラッシュメモリに保存された工場出 荷時設定値にリセットすることができます。このページは、Configuration > Reset Parameters メニューからアクセスすることができます。

注意:パラメータを工場出荷時設定値にリセットしてもファームウエアが元に戻されたり、カスタム OSD ロゴが消去されたりすることはありません。

Reset	
Reset all configuration and permission settings stored on the device	
A second second second	
Reset Parameters: Reset	
Apply Cancel	

図 5-107 : AWI ホスト Reset ページ

表 5-96: AWI ホスト Reset ページパラメータ

パラメータ	説明
Reset Parameters	このボタンをクリックすると、確認のためのプロンプトが表示されま す。これは偶発的なリセットを防ぐためです。

# 5.27.4 AWI クライアント:パラメータリセット設定

Reset Parameters ページでは、設定と承認をフラッシュメモリに保存された工場出 荷時設定値にリセットすることができます。このページは、Configuration > Reset Parameters メニューからアクセスすることができます。

注意:パラメータを工場出荷時設定値にリセットしてもファームウエアが元に戻されたり、カスタム OSD ロゴが消去されたりすることはありません。

Reset	
Reset all configur	ration and permission settings stored on the device
	Reset Parameters: Reset
Enable I	eyboard shortcut: T CTRL + ALT + SHIFT + SPACE
Hide	keyboard shortcut sequence in OSD:
	Analy Cancel

図 5-108: AWI クライアント Reset ページ

表 5-97: AWI クライアント Reset ページパラメータ

パラメータ	説明
-------	----

パラメータ	説明
Reset Parameters	このボタンをクリックすると、確認のためのプロンプトが表示されま す。この目的は偶発的なリセットを防ぐためです。
Enable Keyboard Shortcut	有効になっている場合は、ユーザが指定されたキーの組み合わせを押 すことで、デバイスのパラメータと承認を自動的にリセットすること ができます。
Hide keyboard shortcut sequence in OSD	Enable Keyboard Shortcut が有効になっており、このフィールドが 無効になっている場合は、キーボードシーケンスがクライアントの Reset Parameters ページに表示されます。 Enable Keyboard Shortcut フィールドとこのフォールドの両方が有 効になっている場合は、キーボードシーケンスがクライアントの Reset Parameters ページに表示されませんが、ユーザはキーボード シーケンスを使用してパラメータをリセットすることができます。

# **5.27.5** OSD: パラメータリセット設定

Reset ページでは、設定と承認をフラッシュメモリに保存された工場出荷時設定値 にリセットすることができます。このページは、Options > Configuration > Reset メ ニューからアクセスすることができます。

注意:パラメータを工場出荷時設定値にリセットしてもファームウエアが元に戻されたり、カスタム OSD ロゴが消去されたりすることはありません。



Configuration	×
Network IPv6 Label Discovery Session Language OSD Display Reset	
Reset all configuration and permissions settings stored on the device	
Reset Parameters: Reset	
Unlock OK Cancel	Apply

図 5-109 : OSD Reset ページ

#### 表 5-98: OSD Reset ページパラメータ

パラメータ	説明
Reset Parameters	このボタンをクリックすると、確認のためのプロンプトが表示されま す。この目的は偶発的なリセットを防ぐためです。

# 5.28 診断の表示 (AWI/OSD)

## **5.28.1 AWI**: イベントログ設定に関するヘルプ

**AWI**の **Event Log** ページの詳細については、「<u>AWI:イベントログ設定</u>」を参照し てください。

## **5.28.2 OSD**: イベントログ設定に関するヘルプ

**OSD**の **Event Log**ページの詳細については、「<u>OSD:イベントログ設定</u>」を参照し てください。

# **5.28.3** AWI ホスト: セッション制御設定

Session Control ページでは、デバイスに関する情報を表示したり、セッションを手動で切断または接続したりすることができます。このページは、Diagnostics > Session Control メニューからアクセスすることができます。

Control the device			
Jontroi the device			
Connection S	tate: Connected to	TERA2140 client 192.168.54.	133
Connection S	tate: Connected to	TERA2140 client 192.168.54. Disconnect	133
Connection S	Connected to	TERA2140 client <u>192.168.54</u> . Disconnect	133
Connection S	Connected to	TERA2140 client <u>192.168.54</u> , Disconnect	.133
Connection S Peer IP Add	Connect to Connect	TERA2140 client <u>192.168.54</u> Disconnect	133
Connection S	Connected to	TERA2140 client 192,168,54. Disconnect	133
Connection S Peer IP Add	ress: 192.168.54.1	TERA2140 client <u>192.168.54</u> , Disconnect	.133
Connection S Peer IP Add Peer MAC Add	ress: 192.168.54.12	TERA2140 client <u>192.168.54</u> , Disconnect 33 DB-BC	133

図 5-110 : AWI ホスト Session Control ページ

表 5-99: AWI ホスト Session Control ページパラメータ

パラメータ	説明
Connection State	<ul> <li>このフィールドにはセッションの現状が表示されます。次のようなオプションがあります。</li> <li>Disconnected</li> <li>Connection Pending</li> <li>Connected</li> <li>Connection State フィールドの下に次の2つのボタンが表示されます。</li> <li>Connect: ホストではこのボタンが無効になっています。</li> <li>Disconnect: 接続状態が Connected または Connection Pending の場合は、このボタンをクリックしてデバイスの PCoIP セッションを終了します。接続状態が Disconnected の場合は、このボタンが無効になります。</li> </ul>
Peer IP	Peer IP Address: ピアデバイスの IP アドレスが表示されます。セッ ション中以外は、このフィールドが空白になります。
Peer MAC Address	<b>Peer MAC Address :</b> ピアデバイスの MAC アドレスが表示されま す。セッション中以外は、このフィールドが空白になります。



# 5.28.4 AWI クライアント:セッション制御設定

Session Control ページでは、デバイスに関する情報を表示したり、セッションを手動で切断または接続したりすることができます。このページは、Diagnostics > Session Control メニューからアクセスすることができます。

central the device			
Control the device			
Connectio	n State: Connected to	host 192.168.65.103	
Connectio	Connected to	bost <u>192.168.65.103</u> Disconnect	
Connectio	n State: Connected to	bost <u>192.168.65.103</u> Disconnect	
Connectio	Connected to	host <u>192.168.65.103</u> Disconnect	
Connection Peer IP	Address: 192.168.65.	0 host <u>192.168.65.103</u> Disconnect	



表 5-100: AWI クライアント Session Control ページパラメータ

パラメータ	説明
Connection State	<ul> <li>このフィールドにはセッションの現状が表示されます。次のようなオ プションがあります。</li> <li>Disconnected</li> <li>Connection Pending</li> <li>Connected</li> <li>Connection State フィールドの下に次の2つのボタンが表示されます。</li> <li>Connect: 接続状態が Disconnected の場合は、このボタンをク リックしてクライアントとピアデバイス間の PCoIP セッションを 開始します。接続状態が Connection Pending または Connected の場合は、このボタンが無効になります。</li> <li>Disconnect: 接続状態が Connected または Connection Pending の場合は、このボタンをクリックしてデバイスの PCoIP セッションを終了します。接続状態が Disconnected の場合は、 このボタンが無効になります。</li> </ul>
Peer IP	Peer IP Address: ピアデバイスの IP アドレスが表示されます。セッ ション中以外は、このフィールドが空白になります。
Peer MAC Address	<b>Peer MAC Address :</b> ピアデバイスの MAC アドレスが表示されま す。セッション中以外は、このフィールドが空白になります。

## 5.28.5 AWI ホスト:セッション統計情報設定

Session Statistics ページでは、セッションがアクティブな場合に最新の統計情報を表示することができます。セッションが非アクティブな場合は、最後のセッションの統計情報が表示されます。このページは、Diagnostics > Session Statistics メニューから表示することができます。

	tausucs			
/iew statistic	s for the current s	ession		
	Co	nnection State: Conne	cted to TERA2140 client	92.168.54.133
802.1X Authentication Status: Disabled				
PCoIF	Packets (Sent/R	eceived/Lost): 42885	/ 28458 / 0	
	Bytes (S	ent/Received): 19081	850 / 3629012	
Rou	nd Trip Latency (I	Min/Avg/Max): 2/2/	5 ms	
Transmit B	andwidth (Min/Av	/g/Max/Limit): 8 / 124	40 / 5784 / 11568 kbps	
Rec	eive Bandwidth (I	Min/Avg/Max): 0 / 232	2 / 392 kbps	
Disaling De	and the Date (A		/ 207 Mana	
Pipeline Pr	Cocessing Rate (A)	/g/Max/Limit): 1/39	/ 29/ Mpps	
	Enapoint mage 3	settings in use. Clienc		
Teltial L	mana Outsliby (Mir	(Active (Max): 40 / 0/	0/00	
Initial I	mage Quality (Min	h/Active/Max): 40 / 90	0 / 90	
Initial I	mage Quality (Min Image Qual	n/Active/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Losslass: Epoble	0 / 90	
Initial I	mage Quality (Mir Image Qual Bu	n/Active/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enable	0 / 90 ed	
Initial I	mage Quality (Mir Image Qual Bu	n/Active/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enable	o/90 ed eset Statistics	
Initial I	mage Quality (Mir Image Qual Bu Bu Maximum Rate:	n/Active/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enable	0/90 ed eset Statistics	
Display	mage Quality (Mir Image Qual Bu Bu Maximum Rate: Refresh Rate	n/Active/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enable R	O / 90 ed eset Statistics Output Process Rate	Image Quality
Display	mage Quality (Min Image Qual Bu Maximum Rate: Refresh Rate 60 fps	n/Active/Max): 40 / 90 iity Preference: 50 iild To Lossless: Enable R Input Change Rate 23 fps	o / 90 ed eset Statistics Output Process Rate 21 fps	Image Quality Perceptually Lossless
Display 1 2	mage Quality (Min Image Qual Bu Maximum Rate: Refresh Rate 60 fps N/A	n/Active/Max): 40 / 90 ity Preference: 50 ild To Lossless: Enable R Input Change Rate 23 fps N/A N/A	O / 90 ed eset Statistics Output Process Rate 21 fps N/A	Image Quality Perceptually Lossless N/A
Display 1 2 3	mage Quality (Min Image Qual Bu Maximum Rate: Refresh Rate 60 fps N/A 60 fps	n/Active/Max): 40 / 90 ity Preference: 50 ild To Lossless: Enable R Input Change Rate 23 fps N/A 0 fps	O / 90 ed eset Statistics Output Process Rate 21 fps N/A 0 fps Ufp	Image Quality Perceptually Lossless N/A Lossless

図 5-112 : AWI ホスト Session Statistics ページ

注意:上の図は、4台のディスプレイが接続されたクライアントに接続されたホス トカードに関するセッション統計情報を示しています。デプロイメントで2台のデ ィスプレイが使用されている場合は、2台のディスプレイに関する情報しかこのセ クションに表示されません。

表 5-101:AWI ホス	ト Session	Statistics ~-	-ジパラメータ
----------------	-----------	---------------	---------

パラメータ	説明
Connection State	<ul><li>PCoIP セッションの現在(または最後)の状態。値には以下が含まれます。</li><li>Asleep</li></ul>



パラメータ	説明
	<ul> <li>Canceling</li> <li>Connected</li> <li>Connection Pending</li> <li>Disconnected</li> <li>Waking</li> </ul>
802.1X Authentication Status	デバイス上で <b>802.1X</b> 認証が有効になっているか、無効になっている かを示します。
PCoIP Packets Statistics	<ul> <li>PCoIP Packets Sent:現在/最後のセッションで送信された PCoIP パケットの総数。</li> <li>PCoIP Packets Received:現在/最後のセッションで受信された PCoIP パケットの総数。</li> <li>PCoIP Packets Lost:現在/最後のセッションで消失された PCoIP パケットの総数。</li> </ul>
Bytes	Bytes Sent:現在/最後のセッションで送信されたバイトの総数。 Bytes Received:現在/最後のセッションで受信されたバイトの総数。 数。
Round Trip Latency	PColP システムとネットワークの往復遅延の最小値、平均値、および 最大値(ミリ秒(+/-1 ms)単位)
Bandwidth Statistics	Transmit Bandwidth: Tera プロセッサによって送信された最小、平 均、および最大トラフィック。有効帯域幅限界はTera プロセッサが 生成する可能性のあるネットワークトラフィックの最大量です。この 値は、設定された帯域幅パラメータと現在(または最後)のネットワ ーク混雑レベルから抽出されます。 Receive Bandwidth: Tera プロセッサによって受信された最小、平 均、および最大トラフィック。
Pipeline Processing Rate	イメージエンジンによって現在処理されているイメージデータの容量 (メガピクセル数/秒単位)。
Endpoint Image Settings In Use	使用されているイメージ設定がクライアントで設定されたのか、ホストで設定されたのかを示します。これは、ホストデバイスの Image ページで Use Client Image Settings フィールドがどのように設定されているかに基づきます。
Initial Image Quality	最低品質設定と最高品質設定はデバイスの Image ページから取得さ れます。 アクティブ設定は現在セッションで使用されている設定で、ホスト上 にのみ表示されます。

パラメータ	説明
Image Quality Preference	この設定は、Image ページの Image Quality Preference フィールド から取得されます。この値は、イメージがよりスムーズなイメージに 設定されているのか、よりシャープなイメージに設定されているのか を示します。
Build to Lossless	このフィールドに表示されるオプションには以下が含まれます。 Enabled : Image ページの Disable Build to Lossless フィールドが オフになっています。 Disabled : Disable Build to Lossless フィールドがオンになってい ます。
Reset Statistics	このボタンをクリックすると、このページ上の統計情報がリセットさ れます。 注意:Reset Statistics ボタンは、 <u>Home</u> ページで報告された統計情 報もリセットします。
Display	ディスプレイのポート番号。
Maximum Rate	この列は取り付けられたディスプレイのリフレッシュレートを表しま す。 Image ページの Maximum Rate フィールドが 0 (つまり、無制限) に設定されている場合は、最大レートがモニタのリフレッシュレート から取得されます。 Image ページの Maximum Rate フィールドが 0 より大きい値に設定 されている場合は、リフレッシュレートが"User Defined"として表示 されます。
Input Change Rate	GPUからのコンテンツ変更率。これには、ユーザが実行しているす べてのもの(カーソル移動、電子メール編集、ストリーミングビデオ など)が含まれます。
Output Process Rate	ホスト上のイメージエンジンからクライアントに現在送信されている フレームレート。
Image Quality	取り付けられたディスプレイの現在のロスレス状態を示します。 • Lossy • Perceptually lossless • Lossless

# 5.28.6 AWI クライアント:セッション統計情報設定

Session Statistics ページでは、セッションがアクティブな場合に最新の統計情報を表示することができます。セッションが非アクティブな場合は、最後のセッションの




統計情報が表示されます。このページは、**Diagnostics > Session Statistics** メニューから表示することができます。

Session S			
56351011 5	tatistics		
View statistic	s for the current s	ession	
	Co 802.1X Authen	nnection State: Connec tication Status: Disable	ted to host <u>192.168.65.103</u> d
PCoIF	Packets (Sent/R	teceived/Lost): 44769	68244 / 0
-	Bytes (S	ent/Received): 563849	8/31681880
Rou	nd Trip Latency (	Min/Avg/Max): 2/2/4	i ms
Transmit B	andwidth (Min/A	vg/Max/Limit): 8 / 112	/ 392 / 8000 kbps
Rec	eive Bandwidth (	Min/Avg/Max): 0 / 200	/ 5600 KDps
	and the second second		
Pipeline Pr	rocessing Rate (Av Endpoint Image S Initial Image Qua Image Qual Bu	vg/Max/Limit): 1 / 37 / Settings In Use: Client lity (Min/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enabled Re	297 Mpps
Pipeline Pr	rocessing Rate (Av Endpoint Image S Initial Image Qua Image Qual Bu	vg/Max/Limit): 1 / 37 / Settings In Use: Client lity (Min/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enabled Re	297 Mpps
Pipeline Pr	rocessing Rate (Av Endpoint Image S Initial Image Qua Image Qua Bu Bu Maximum Rate: Refresh Rate	vg/Max/Limit): 1 / 37 / Settings In Use: Client lity (Min/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enabled Re Output Process Rate	297 Mpps
Pipeline Pr Display	Maximum Rate 60 fps	vg/Max/Limit): 1 / 37 / Settings In Use: Client lity (Min/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enabled Re Output Process Rate 8 fps	297 Mpps
Pipeline Pr Display 1 2	Maximum Rate 60 fps 60 fps 60 fps 60 fps	vg/Max/Limit): 1 / 37 / Settings In Use: Client lity (Min/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enabled Re Output Process Rate 8 fps 0 fps	297 Mpps set Statistics Image Quality Lossy Lossless
Pipeline Pr Display 1 2 3	Maximum Rate: Refresh Rate 60 fps 60 fps N/A	vg/Max/Limit): 1 / 37 / Settings In Use: Client lity (Min/Max): 40 / 90 lity Preference: 50 ild To Lossless: Enabled Re Output Process Rate 8 fps 0 fps N/A	297 Mpps set Statistics Image Quality Lossy Lossless N/A

図 5-113: AWI クライアント Session Statistics ページ

注意:上の図は、2台のディスプレイが接続されたクライアントに関するセッション統計情報を示しています。デプロイメントで4台のディスプレイが使用されている場合は、4台すべてのディスプレイに関する情報がこのセクションに表示されます。

表 5-102: AWI クライアント Session Statistics ページパラメータ

パラメータ	説明
Connection State	<ul><li>PCoIP セッションの現在(または最後)の状態。値には以下が含まれます。</li><li>Asleep</li></ul>

パラメータ	説明
	<ul> <li>Canceling</li> <li>Connected</li> <li>Connection Pending</li> <li>Disconnected</li> <li>Waking</li> </ul>
802.1X Authentication Status	デバイス上で 802.1X 認証が有効になっているか、無効になっている かを示します。
PCoIP Packets Statistics	<ul> <li>PCoIP Packets Sent:現在/最後のセッションで送信された PCoIP パケットの総数。</li> <li>PCoIP Packets Received:現在/最後のセッションで受信された PCoIP パケットの総数。</li> <li>PCoIP Packets Lost:現在/最後のセッションで消失された PCoIP パケットの総数。</li> </ul>
Bytes	Bytes Sent:現在/最後のセッションで送信されたバイトの総数。 Bytes Received:現在/最後のセッションで受信されたバイトの総 数。
Round Trip Latency	PCoIP システムとネットワークの往復遅延の最小値、平均値、および 最大値(ミリ秒(+/-1ms)単位)
Bandwidth Statistics	Transmit Bandwidth: Tera プロセッサによって送信された最小、平 均、および最大トラフィック。有効帯域幅限界は Tera プロセッサが 生成する可能性のあるネットワークトラフィックの最大量です。この 値は、設定された帯域幅パラメータと現在(または最後)のネットワ ーク混雑レベルから抽出されます。 Receive Bandwidth: Tera プロセッサによって受信された最小、平 均、および最大トラフィック。
Pipeline Processing Rate	イメージエンジンによって現在処理されているイメージデータの容量 (メガピクセル数/秒単位)
Endpoint Image Settings In Use	使用されているイメージ設定がクライアントで設定されたのか、ホストで設定されたのかを示します。これは、ホストデバイスの Image ページで Use Client Image Settings フィールドがどのように設定されているかに基づきます。
Initial Image Quality	最低品質設定と最高品質設定はデバイスの Image ページから取得されます。
Image Quality Preference	この設定は、Image ページの Image Quality Preference フィールド から取得されます。この値は、イメージがよりスムーズなイメージに



パラメータ	説明
	設定されているのか、よりシャープなイメージに設定されているのか を示します。
Build to Lossless	このフィールドに表示されるオプションには以下が含まれます。 Enabled : Image ページの Disable Build to Lossless フィールドが オフになっています。 Disabled : Disable Build to Lossless フィールドがオンになってい ます。
Reset Statistics	このボタンをクリックすると、このページ上の統計情報がリセットさ れます。 注意:Reset Statistics ボタンは、 <u>Home</u> ページで報告された統計情 報もリセットします。
Display	ディスプレイのポート番号。
Maximum Rate	この列は取り付けられたディスプレイのリフレッシュレートを表しま す。 Image ページの Maximum Rate フィールドが 0 (つまり、無制限) に設定されている場合は、最大レートがモニタのリフレッシュレート から取得されます。 Image ページの Maximum Rate フィールドが 0 より大きい値に設定 されている場合は、リフレッシュレートが"User Defined"として表示 されます。
Output Process Rate	ホスト上のイメージエンジンからクライアントに現在送信されている フレームレート。
Image Quality	取り付けられたディスプレイの現在のロスレス状態を示します。 • Lossy • Perceptually lossless • Lossless

## 5.28.7 OSD: セッション統計情報設定

Session Statistics ページでは、最後のセッションの統計方法を表示することができま す。このページは、Options > Diagnostics > Session Statistics メニューから表示する ことができます。

Diagnostics	×
Event Log Session Statistics PCoIP Pro	cessor Ping
View statistics from the last session	
PCoIP Packets Sent:	5
PCoIP Packets Received:	4
PCoIP Packets Lost:	3
Bytes Sent:	2
Bytes Received:	1
Round Trip Latency:	50 ms
	Close

🗵 5-114 : OSD Session Statistics ページ

表 5-103:OSD Session Statistics ページパラメータ				
パラメータ	説明			

パラメータ	前期
PCoIP Packets Statistics	PColP Packets Sent:最後のセッションで送信された PColP パケットの総数。
	<b>PCoIP Packets Received</b> :最後のセッションで受信された PCoIP パ ケットの総数。
	<b>PCoIP Packets Lost</b> :最後のセッションで消失された PCoIP パケッ トの総数。
Bytes	Bytes Sent:最後のセッションで送信されたバイトの総数。 Bytes Received:最後のセッションで受信されたバイトの総数。
Round Trip Latency	PCoIP システムとネットワークの往復遅延の最小値、平均値、および 最大値(ミリ秒(+/-1 ms)単位)

## 5.28.8 AWI ホスト:ホスト CPU 設定

Host CPU ページでは、ホストコンピュータの識別文字列を表示したり、現在の電 源状態を確認したり、ホストの電源状態を変更したりすることができます。このペ ージは、Diagnostics > Host CPU メニューからアクセスすることができます。



Host C	PU
/iew ider	ntity, view and change power state (host only)
	Host Identity:
	Current Power State: S0 (On)
	Change Power State: 55 (Soft Off) * Apply

図 5-115 : AWI Host CPU ページ

表	5-104	:	AWI	Host	CPU	ページパラメータ	1
---	-------	---	-----	------	-----	----------	---

パラメータ	説明
Host Identity	ホストコンピュータの識別文字列(データが入手可能な場合)。
Current Power State	ホストに設定されている現在の電源状態。
Change Power State	<ul> <li>以下のオプションの中から選択します。</li> <li>S5 (Soft Off):押下時間が4秒未満の場合にホストのソフト電源 オフを実行する(つまり、ホストをスリープモードにする)よう にクライアントのリモートPCボタンを設定します。</li> <li>S5 (Hard Off):押下時間が4秒以上の場合にホストのハード電源 オフ(つまり、デバイスシャットダウン)を実行するようにクラ イアントのリモートPCボタンを設定します。</li> </ul>
	注意:この機能を使用するには、ホストのハードウエアアーキテクチ ャに互換性がある必要があります。

## **5.28.9** AWI クライアント:オーディオ設定

Audio ページでは、クライアントからオーディオテストトーンを再生することができます。このページは、Diagnostics > Audio メニューからアクセスすることができます。

オーディオテストトーンを再生するには、Start をクリックしてテストトーンを開始 します。テストを終了するには、Stop をクリックします。

注意:Audio ページの機能は、クライアントが PCoIP セッション中でない場合にの みクライアント上で使用することができます。



図 5-116 : AWI クライアント Audio ページ

## **5.28.10** AWI クライアント: ディスプレイ設定

**Display** ページでは、クライアントのディスプレイ上でテストパターンを表示して確認することができます。このページは、**Diagnostics > Display** メニューからアクセスすることができます。

注意:テストパターンは、クライアントが PCoIP セッション中でない場合にのみ Display ページに表示されます。クライアントがセッション中に Start をクリックす ると、エラーメッセージが表示されます。

Display
Display a test pattern on the attached monitor (client only)
Test mode: Video Test Pattern Generator 💌
Test resolution: 2048x1152 -
Start Stop

図 5-117: AWI クライアント Display ページ

#### 表 5-105: AWI クライアント Display ページパラメータ

パラメータ	説明
Test mode	接続されたモニタのテストパターンのタイプを次のように設定しま す。 • Video Test Pattern Generator • Pseudo Random Bitstream
Test resolution	ドロップダウンメニューから使用するテスト解像度を選択します。
Start/Stop	Start をクリックするとテストパターンが開始されます。テストを終



パラメータ	説明
	了するには、Stop をクリックします。

### 5.28.11 AWI: PCoIP プロセッサ設定

PCoIP Processor ページでは、ホストまたはクライアントをリセットしたり、デバイ スの PCoIP プロセッサに関する最後のブート以降のアップタイムを表示したりする ことができます。このページは、Diagnostics > PCoIP Processor メニューからアクセ スすることができます。

PCoIP Processor
Reset the PCoIP device, view the time elapsed since boot
Current Time:
Time Since Boot: 0 Days 3 Hours 31 Minutes 42 Seconds
Reset PCoIP Processor: Reset

🗵 5-118 : AWI PCoIP Processor ページ

表 5-106: AWI PCoIP Processor ページパラメータ

統計情報	説明
Current Time	現在時刻。この機能では、 <u>NTP を有効にして設定する</u> 必要がありま す。
Time Since Boot (Uptime)	デバイスの PColP プロセッサに関する最後のブート以降のアップタ イムが表示されます。
Reset PCoIP Processor	このボタンをクリックするとデバイスがリセットされます。

## 5.28.12 OSD: PCoIP プロセッサ設定

PCoIP Processor ページでは、デバイスの PCoIP プロセッサに関する最後のブート 以降のアップタイムを表示することができます。このページは、Options > Diagnostics > PCoIP Processor メニューからアクセスすることができます。



図 5-119 : OSD PCoIP Processor ページ

## 5.28.13 OSD: Ping 設定

**Ping** ページでは、デバイスを ping して IP ネットワーク全体に到達可能かどうかを 確認することができます。これは、ホストが到達可能かどうかを判断するのに役立 つ場合があります。ファームウエアリリース 3.2.0 以降では ping コマンドで「フラ グメント不許可フラグ」が強制されるため、この機能を使用して最大 MTU サイズ を特定することもできます。

このページは、**Options > Diagnostics > Ping** メニューからアクセスすることができます。



Diagnostics		×
Event Log Session St	atistics PCoIP Pro	cessor Ping
Determine if a host	is reachable acros	s the network
	Destination: Interval:	1 seconds
	Packet Size:	32 bytes
	Packets:	
	Sent:	0
	Received:	0
		Start Stop
		Close

図 5-120 : OSD Ping ページ

#### 表 5-107: Ping ページパラメータ

パラメータ	説明
Destination	ping する IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名(FQDN)。
Interval	ping パケット間の時間間隔。
Packet Size	ping パケットのサイズ。
Packets Sent	送信された ping パケットの数。
Packets Received	受信された ping パケットの数。

## 5.29 情報の表示 (AWI/OSD)

## 5.29.1 AWI: バージョン情報

Version ページでは、デバイスのハードウエアバージョンとファームウエアバージョンの詳細を表示することができます。このページは、Info>Versionメニューから アクセスすることができます。



図 5-121 : AWI Version ページ

表 5-108:	<b>AWI Version</b>	ページパラメータ
----------	--------------------	----------

パラメータ	説明	
VPD Information	<ul> <li>(Vital Product Data):ホストまたはクライアントを一意に識別するために工場でプロビジョンされた情報:</li> <li>MAC Address:ホスト/クライアントの一意のMAC アドレス。</li> <li>Unique Identifier:ホスト/クライアントの一意の識別子。</li> <li>Serial Number:ホスト/クライアントの一意のシリアル番号。</li> <li>Firmware Part Number:現在のファームウエアの部品番号。</li> <li>Hardware Version:ホスト/クライアントハードウエアのバージョン番号。</li> </ul>	
Firmware Information	<ul> <li>この情報には現在のファームウエアの詳細が反映されます。</li> <li>Firmware Version:現在のファームウエアのバージョン。</li> <li>Firmware Build ID:現在のファームウエアのリビジョンコード。</li> <li>Firmware Build Date:現在のファームウエアのビルド日付。</li> </ul>	
PCoIP Processor Information	この情報は PCoIP プロセッサに関する詳細を提供します。 • PCoIP Processor Family: プロセッサファミリ - Tera1 または Tera2。 • PCoIP Processor Revision: PCoIP プロセッサのシリコンリビ	



パラメータ	説明
	ジョン。シリコンのリビジョン B は 1.0 として表記されます。
Bootloader Information	この情報には現在のファームウエアブートローダの詳細が反映されま す。
	• Boatloader Version:現在のブートローダのバージョン。
	• Bootloader Build ID:現在のブートローダのリビジョンコード。
	• Bootloader Build Date:現在のブートローダのビルド日付。

## 5.29.2 バージョン情報の表示

Version ページでは、デバイスのハードウエアバージョンとファームウエアバージョンの詳細を表示することができます。このページは、Options > Information > Version メニューからアクセスすることができます。

Information	×
Version	
View the hardware and firmware version information	
MAC Address: Unique Identifier: Serlal Number: Firmware Part Number: Hardware Version:	00-80-64-A3-12-6B A3126B 5WRDLI00001 FW023004 770591-02L
Firmware Version: Firmware Build ID: Firmware Build Date:	4.0.2 rc_tera_r4_0_2@13079 Aug 22 2012 11:37:15
PCoIP Processor Family: PCoIP Processor Revision:	Tera2 0.0
Bootloader Version: Bootloader Build ID: Bootloader Build Date:	1.0.0 rc_tera_r4_0@13010 Aug 3 2012 19:37:38
	Close

図 5-122 : OSD Version ページ

表 5-109	:	OSD	Version	ページパラ	メータ
---------	---	-----	---------	-------	-----

パラメータ	説明
VPD Information	(Vital Product Data):ホストまたはクライアントを一意に識別する ために工場でプロビジョンされた情報:
	<ul> <li>MAC Address:ホスト/クライアントの一意のMACアドレス。</li> <li>Unique Identifier:ホスト/クライアントの一意の識別子。</li> </ul>

パラメータ	説明	
	<ul> <li>Serial Number:ホスト/クライアントの一意のシリアル番号。</li> <li>Firmware Part Number:現在のファームウエアの部品番号。</li> <li>Hardware Version:ホスト/クライアントハードウエアのバージョン番号。</li> </ul>	
Firmware Information	この情報には現在のファームウエアの詳細が反映されます。 <ul> <li>Firmware Version:現在のファームウエアのバージョン。</li> <li>Firmware Build ID:現在のファームウエアのリビジョンコード。</li> <li>Firmware Build Date:現在のファームウエアのビルド日付。</li> </ul>	
PCoIP Processor Information	<ul> <li>この情報は PCoIP プロセッサに関する詳細を提供します。</li> <li>PCoIP Processor Family: プロセッサファミリ - Tera1 または Tera2。</li> <li>PCoIP Processor Revision: PCoIP プロセッサのシリコンリビ ジョン。シリコンのリビジョン B は 1.0 として表記されます。</li> </ul>	
Bootloader Information	この情報には現在のファームウエアブートローダの詳細が反映されま す。 • Boatloader Version:現在のブートローダのバージョン。 • Bootloader Build ID:現在のブートローダのリビジョンコード。 • Bootloader Build Date:現在のブートローダのビルド日付。	

## 5.29.3 AWI ホスト: 接続デバイス情報

Attached Devices ページでは、現在クライアントに接続されているディスプレイに 関する情報を表示することができます。



pres	ently connected monit	tors						
at which								
Deet	ays:	Clature	Made	Desclution	Eastal	1000		Date
2	Ben0 EW2420	Not in Session	DR	1920x1080 @ 60 Hz	V7800284067	BNO	7923	30,2011
2	SME2320	Not in Session	DP	No source signal	HVRZ400951	SUM	682	42-2010
3	BenO EW2420	Not in Session	DP	1920x1080 @ 60 Hz	93802607026	BNO	7923	10-2011
4	BenQ BL2400	Not in Session	DP	No source signal	920003695L0	BNQ	8002	7-2012
Ela Statu Conne Discor Not in	ide Legend ad (Displays): s [potential failures] octed [EDID read failur nnected s Session [EDID read f	re / EDID override] allure / EDID override]	Description The display is o No display or o The display is o	connected and the EDID has able has been detected connected but we are not in inference definienc (here)	been bridged (host/c session (client) / we :	lient) are still asse	erting ho	tplug and
Es Statu Conni Discor Not in Unkne	ide Legend ad (Displays): s (potential failures) ected (EDID read failu nmeted s Session (EDID read f own	re / EDID override] allure / EDID override]	Description The display is o No display or o The display is o emulating the i On startup on type) or have n attached)	connected and the EDID has able has been detected connected but we are not in following duptavs (host) the host, we have not recei- tot extracted a set of timing	been bridged (host/c session (ckent) / we i ved an EDID request ( (which tells us definit	lient) are still asse which deter welv that w	erting ho mines th e have a	tplug and ie mode cable
El Leger Statu Conni Discor Not in Unkno	ide Legend ad (Oisplays): s [potential failures] ected [EDID read failurned s Session [EDID read f swn. utal Failures	re / EDID override) allure / EDID override)	Description The display is of No display or of The display is emulating the On startup on type) or have r attached) Description	connected and the EDID has able has been detected connected but we are not in offorwing displays (host) the host, we have not recei- not extracted a set of timing	been bridged (host/c session (ckent) / we i ved an EDID request ( (which tells us definit	lient) are still asse which deter ively that w	erting ho mines th e have a	tplug and ie mode cable
El Statu Conne Discor Not in Unkno Potem EDID	ide Legend ad (Displays): is [potential failures] acted [EDID read failur insected is Session [EDID read f own. attal Failures read failure	re / EDID override] allure / EDID override]	Description The display is of No display of the emdating the On startup on type) or have r attached) Description There was a far EDID.	connected and the EDID has able has been detected connected but we are not in following displays (host) he host, we have not recei- not extracted a set of timing alure during our DDC channel	been bridged (host/c session (ckent) / we i ved an EDID request ( (which tells us definit d read of the display t	lient) are still asse which deter welv that w	erting ho mines th e have a a Teradk	tplug and re mode cable si default
El Leger Statu Conni Discor Not in Unkno Potem EDID	ide Legend ad (Displays): is [potential failures] acted [EDID read failures] is Session [EDID read f session [EDID read f own atial Failures read failure overnde	re / EDID override] alkure / EDID override]	Description The display is of No display or of the display is e emulating the On startup on hype) or have r attached) Description There was a fa- EDID. Even though w	connected and the EDID has able has been detacted sonnected bur, we are not in following displays (host) the host, we have not recei- not extracted a set of timing ilure during our DDC channe have not detected a displ IEDID is attached	been bridged (host)c session (ckent) / we i ved an EDID request ( (which tells us definit d read of the display B ay, we are asserting l	lient) are still asso which deter welv that w EDID. Using hotplug and	erting ho mines th e have a a Teradic emulator	tplug and is mode cable is default ing that a

図 5-123:AWI ホスト Attached Devices ページ

注意:上の図は、4台のディスプレイが接続されたクライアントに関する情報を示しています。デプロイメントで2台のディスプレイが使用されている場合は、2台のディスプレイに関する情報しかこのページに表示されません。

#### 表 5-110: AWI ホスト: Attached Devices ページ情報

統計情報	説明
Displays	このセクションには、各ポートに接続されたディスプレイのモデル、 ステータス、モード、解像度、シリアル番号、ベンダ識別(VID)、 製品識別(PID)、および日付が表示されます。 注意:このオプションは、ホストが PCoIP セッション中の場合にの み使用することができます。

## 5.29.4 AWI クライアント:接続デバイス情報

Attached Devices ページでは、現在クライアントに接続されているディスプレイに 関する情報を表示することができます。

v presen	itly connect	ed monitors	and USB devices									
Display	15											
Port 1	Model BenQ EW2	1420	Status Not in Section	Mode DVI	Resolution 1920x1080 @ 60 Hz	Serial V7B00284	067	VID BNQ	PID 7923	Date 20-2011		
3	BenQ EW2	420	Not in Session Disconnected	DV1	1920x1080 @ 60 Hz	93802607	026	BNQ	7923	10-2011		
USB De	reicas:											
Device	Parent	Controller	Hodel	Status	Device Class	Sub Class	Protocol	Serial		VID	PID	Internal/Extern
1F00	Root 3	OHCI	USB Optical Mouse	Not in Session	00	00	00	-		0460	COSA	External
2001	RDOT 1	CHILI	Use keyboard	Not in Session	00	00	DO			GebD	CHIC	EXCERTIN
RLin	e Legend											
HLin Logend Status	e Legend (Displays) (potential (	): failures]		Description								
NL@ Logond Status Corned	e Legend (Displays) (potential ) ted (EDID r	): failures] wad failure /	EDID override)	Description The display is core	eded and the EDID has	been bridge:	d (host/cliant	0				
NLie Legend Status Conned Disconn	e Legend (Displays) (potential ) ted (EDID r sected	): failures) vad failure /	EDED override)	Description The display is comin	ected and the EDID has has been detected	been bridge	d (host/cliant	0				
Radio Status Conned Disconn Not in S	e Legend (Displays) (potential i ted (EDID r sected lession (ED	): failures) vad failure / ID read failu	EDED override) re / EDED override)	Description The display is com the display or cable the display or cable	ected and the EDID has has been detected ected but we are not in wind dealizes thet?	been bridges session (dier	d (host/diam nt) / we are :	t) still asse	rting hot	takag and		
NLib Legend Status Conned Disconn Not in 5 Unknow	e Legend   (Displays)  potential I ted  EDID r weted lession  EDI m	): failures] vad failure / tD read failu	EDID override) re / EDID override)	Description The display is comm multiplay is commen- emulating the folion on startup on the l fupp) or have not e attached?	ected and the EDID has has been detected ected but we are not in sing deploys floot? out, we have not receip stracted a set of timing	been bridges session (dier red an EDID r (which tells o	d (host/client K) / we are t request (whit is definitively	t) still asse th deter / that we	rting hot mines th thave a	tplug and is mode cable		
Num Legend Status I Conned Disconn Not in S Unknow Potentil	e Legend I (Displays) (potential I teal (EDD) r weted Ression (ED m al Failures	): failures) ead failure / tD read failu	EDED override] re / EDED override)	Description The display is common He display is common enulating the fold on startup on the hype) or have not di attached?	ected and the EDID has has been detected order but we are not in wing degives (host) host, we have not recei- stracted a set of bining	been bridger session (dier red an EDID r (which tells e	d (host/dien 10) / we are : request (whi is definitive)	0 still asse th determ y that we	rting hot nines th t have a	tplug and is mode cable		
Not in 5 Unknow Potentil EDID re	e Legend   (Displays)   potential   ted  EDID r sected kession  ED  m al Failures ad failure	): failures) ead failure / ID read failu	EDID evenide) re / EDID evenide)	Description the display is com the display or caller the display or caller the display is for a fairbas or the type) or have not a statuted or have not a statuted Description There was a failure END.	ected and the EDID has has been detected ected but we are not in imp deploys (host) host, net have not recein subracted a set of timing during our DDC channe	been bridges sessien (dier red an EDID r (which tells e s read of the	d (host) dient rt) / we are : request (whi is definitive) display EDID	t) still asses that we that we	rting hot mines th : have a a Teradic	tplug and ie mode cable si default		
Notes I Status Conned Disconn Not in 5 Unknow Potenti EDID re EDID or	e Legend (Displays) (potential I ted (EDID r sected lession (ED) m al Failures ad faiure serride	): failures] ead failure / ID read failu	EDID evenide) re / EDID evenide)	Description the display is com No display or cable the display or cable on startup on the later on startup on the type) or have not a attached) Description Teradio debug FDI Even theogin w ho	ected and the EDID has has been detected setted but was are not in wind deplays the DD has, not have not receive thracted a set of toming during our DDC channel van net debected a display	been bridger sessien (dier ed an EDD r (which tells o d read of the ay, we are as	d (host/client nt) / we are : request (whit is definitive display ED10 sserting hetp	0 still asse di detern r that we to Using a kug and	rting hot nines th have a b Teradic emulatin	takug and ki modie cable si delauit ng that a		

図 5-124:AWI クライアント Attached Devices ページ

統計情報	説明
Displays	このセクションには、各ポートに接続されたディスプレイのモデル、 ステータス、モード、解像度、シリアル番号、ベンダ識別(VID)、 製品識別(PID)、および日付が表示されます。 注意:このオプションは、ホストが PCoIP セッション中の場合にの み使用することができます。
USB Devices	このセクションには、クライアントに接続された USB デバイスのポ ートモード、モデル、ステータス、デバイスクラス、サブクラス、プ ロトコル、ベンダ識別(VID)、および製品識別(PID)が表示され ます。
USB Device Status	<ul> <li>次のような状態オプションがあります。</li> <li>Not Connected: デバイスが接続されていません。</li> <li>Not in Session: デバイスが PCoIP セッション以外で検出されました。</li> <li>Not Initialized: デバイスが PCoIP セッション中に検出されましたが、ホストコントローラがデバイスを初期化していません。</li> <li>Failed Authorization: デバイスが PCoIP セッション中に検出されましたが、承認されていません(USBの詳細については、「AWI クライアント: USB 承認」を参照してください。</li> <li>Locally Connected: デバイスが検出され、承認されていますが、PCoIP セッション中にローカルに終端されています(ローカ</li> </ul>

表 5-111: AWI クライアント: Attached Devices ページ情報



統計情報	説明
	ルカーソルなど)。 • Connected : デバイスが PCoIP セッション中に検出され、承認 されました。

## **5.30** ユーザ設定の構成(**OSD**)

## 5.30.1 OSD: VMware View 証明書チェック設定

VMware View ページでは、サーバに対するセキュア接続が確認できない場合のクラ イアントの動作を選択することができます。このページは、Options > User Settings > VMware View メニューからアクセスすることができます。

注意:AWI で <u>VCS Certificate Check Mode Lockout</u> が有効になっている場合は、こ のページの設定が変更できなくなります。

User Settings	×
VMware View Mouse Keyboard Image Display Topology Touch Screen	
🔁 vmware View	
Certificate Checking Mode:	
A This mode determines how the client proceeds when it cannot verify that your connection to the server is secure. It is not recommended that you change this setting unless instructed to do so by your system administratory	e.
Never connect to untrusted servers	
<ul> <li>Warn before connecting to untrusted servers</li> </ul>	
O Do not verify server identity certificates	
OK Cancel App	ly

#### 図 5-125 : OSD VMware View ページ

#### 表 5-112: OSD VMware View ページパラメータ

パラメータ	説明
Never connect to	信頼できる有効な証明書がインストールされていない場合に接続を拒
untrusted servers	否するようにクライアントを設定します。

パラメータ	説明
Warn before connecting to untrusted servers	未署名のまたは期限切れの証明書を受信した場合、または、証明書が 自己署名されておらず、クライアントのトラストストアが空の場合に 警告を表示するようにクライアントを設定します。
Do not verify server identity certificates	すべての接続を許可するようにクライアントを設定します。

#### **5.30.2** MC: VMware View 証明書チェック設定に関するヘルプ

管理コンソールに関する証明書チェック設定は、MCの<u>View Connection Server</u>ページに配置されています。

## **5.30.3** AWI クライアント: VMware View 証明書チェック設定に 関するヘルプ

AWI に関する証明書チェック設定は、AWI クライアントの <u>View Connection Server</u> ページに配置されています。

#### **5.30.4** OSD:マウス設定

Mouse ページでは、OSD セッションのマウスカーソル速度設定を変更することができます。このページは、Options > User Settings > Mouse メニューからアクセスすることができます。

PCoIP ホストソフトウエア経由でもマウスカーソル速度を設定することができます。 詳細については、『PCoIP Host Software User Guide』(TER0810001)を参照してく ださい。

注意: PCoIP セッションがアクティブな場合は、Local Keyboard Host Driver 機能が 使用されていなければ、OSD マウスカーソル速度設定がマウスカーソル設定に影響 を与えることはありません(詳細については、『PCoIP Host Software User Guide』 (TER0810001)を参照してください)。この機能は OSD 経由でしか使用すること ができません。AWI で使用することはできません。



User Settings									×
VMware View	Mouse	Keyboard	Image	Display	Topology	Touch Se	creen		
Adjust the r	nouse ci	ursor speed	ł						
	Mou	ise speed:	Slow		, <b>ņ</b>			Fast	
				ОK		Cancel		Apply	

図 5-126 : OSD Mouse ページ

表 5-113: OSD Mouse ページパラメータ

パラメータ	説明
Mouse Speed	スライダを動かしてマウスカーソルの速度を設定します。

## 5.30.5 OSD:キーボード設定

**Keyboard** ページでは、OSD セッションのキーボード文字遅延設定と文字繰り返し 設定を変更することができます。このページは、**Options > User Settings > Keyboard** メニューからアクセスすることができます。

PCoIP ホストソフトウエア経由でもキーボード繰り返し設定を構成することができます。詳細については、『PCoIP Host Software User Guide』(TER0810001)を参照してください。

注意: PCoIP セッションがアクティブな場合は、Local Keyboard Host Driver 機能が 使用されていなければ、この設定がキーボード設定に影響を与えることはありませ ん(詳細については、『PCoIP Host Software User Guide』(TER0810001)を参照し てください)。この機能は OSD 経由でしか使用することができません。AWIで使 用することはできません。

User Settings						×
VMware View Mouse Keyboard	Image	Display Top	ology	Touch Sc	reen	
Adjust the keyboard character	repeat :	settings				
Keyboard Repeat Delay: Keyboard Repeat Rate:	Slow			1	· 0	Short Fast
Repeat Settings Test Box:					1 1	<u> </u>
					_	
		OK		Cancel		Apply

図 5-127 : OSD Keyboard ページ

#### 表 5-114: OSD Keyboard ページパラメータ

パラメータ	説明
Keyboard Repeat Delay	スライダを動かして、文字を押したままにしたときに繰り返しを開始 するまでの時間を設定します。
Keyboard Repeat Rate	スライダを動かして、文字を押したままにしたときに繰り返す速度を 設定します。
Repeat Settings Test Box	選択したキーボード設定をテストする場合にこのボックスに入力しま す。

## **5.30.6 OSD**: イメージ設定に関するヘルプ

**OSD**の **Image** ページの詳細については、「<u>OSD:イメージ設定</u>」を参照してください。

## **5.30.7 OSD**: ディスプレイトポロジ設定に関するヘルプ

OSD の **Topology** ページの詳細については、「<u>OSD</u>: Teral <u>ディスプレイトポロジ設</u> <u>定</u>」または「<u>OSD</u>: Tera2 <u>ディスプレイトポロジ設定</u>」を参照してください。



## **5.30.8** OSD: タッチスクリーン設定

**Touch Screen** ページでは、取り付けられた Elo TouchSystems タッチスクリーンディ スプレイに関する設定を構成または調整することができます。このページは、 **Options > User Settings > Touch Screen** メニューからアクセスすることができます。

注意:Touch Screen ページは OSD 経由でのみ使用することができます。AWI から 使用することはできません。

ļ	Jser Settings									×
	VMware View	Mouse	Keyboard	Image	Display	Topology	Touch S	creen		_
	Configure t	he touch	screen set	tings						
	Enable	right clic Right c screen (	k on hold: lick delay: calibration:	Long	' ' Start				Short	
					OK		Cancel		Apply	

図 5-128 : OSD Touch Screen ページ

#### 表 5-115: OSD Touch Screen ページパラメータ

パラメータ	説明					
Enable right click on hold	このチェックボックスは、ユーザが画面に触れて数秒間そのままにし たときに右クリックを生成できるようにする場合に選択します。無効 になっている場合は、右クリック操作がサポートされません。					
Right click delay	ユーザが画面に触れたままにして右クリックを生成するまでに必要な 時間を決定する位置(Long と Short の間)にポインタをスライドさ せます。					
Touch screen calibration	初めてタッチスクリーンをゼロクライアントに接続すると、キャリブ レーションプログラムが起動します。タッチスクリーンでは、表示さ れた3つのターゲットのそれぞれをタッチします。 キャリブレーションをテストするには、指をモニタに沿って移動さ せ、カーソルが追随することを確認します。成功しなかった場合は、					

パラメータ	説明
	キャリブレーションプログラムが自動的に再起動します。キャリブレ ーションが完了すると、座標がフラッシュに保存されます。 手動でキャリブレーションプログラムを開始するには、OSD Touch Screen ページで Start をクリックします。オンスクリーンプロンプ トに従います。

タッチスクリーンのゼロクライアントへの取り付け

- 1. タッチスクリーンの USB ケーブルをゼロクライアントの USB ポートに差し込み ます。
- 2. モニタケーブルをタッチスクリーンからゼロクライアントの DVI1 ポートに取り付けます。

注意:タッチスクリーンの他に非タッチスクリーンモニタをゼロクライアント に取り付けることができます(複数のタッチスクリーンをゼロクライアントに 取り付けることはできません)。タッチスクリーンを DVI1 に取り付け、2 つ目 の非タッチスクリーンモニタを DVI2 に取り付ける必要があります。タッチスク リーンだけをゼロクライアントに取り付ける場合は、DVI1 と DVI2 のどちらに も取り付けることができます。

- 3. 電源をオンにします。
- ゼロクライアントセッションを切断します。これにより、タッチスクリーンの キャリブレーションが開始されます。

注意:タッチスクリーンのキャリブレーションが完了したら、座標がフラッシュメモリに保存されます。必要に応じて、OSD Touch Screen ページを通して手動でスクリーンのキャリブレーションをやり直すことができます。

タッチスクリーンプロンプトに従います。指でキャリブレーションをテストすることができます(カーソルが指と一緒に移動するはずです)。スクリーンが正しくキャリブレートされていない場合は、システムが自動的にキャリブレーションプログラムを再起動します。

#### タッチスクリーンのブリッジデバイスとしての設定

注意:この手順は、省略可能で、タッチスクリーンをブリッジデバイスとしてセッ トアップしたい場合にのみ必要です。

セッションがアクティブの間に、ホスト上で動作しているドライバからタッチスク リーンを制御したい場合があります。これをセットアップするには、タッチスクリ ーンをブリッジデバイスのリストに追加する必要があります。

- 以前の手順内のステップに従って、タッチスクリーンをゼロクライアントに取り付けます。
- 2. ゼロクライアントの管理用ウェブインターフェースにログインします。
- 3. Info メニューで、Attached Devices をクリックします。



4. タッチスクリーンの詳細がこのページに表示されるはずです。**PID** 情報と **VID** 情報を書き留めます。

ttached	Device	s											
ew preser	ntly conned	ted monitors	and USB devices										
Display	-												
Port 1	BanQ EW2420 Connected		Status Connected Disconnected	Mode         Resolution           DVI         1920x1080 @ 60 Hz		Serial v7800284067		BNQ	P1D 7923	Date 30-2011			
3	BenQ EW	2420	Connected Disconnected	DVI	1920×1080	0 0 60 Hz	93802607	126	BNQ	7923	10-2011		
USB De	wices:												
Device	Parent	Controller	Model	States	De	wice Class	Sub Class	Protocol	Serial		VED	PID	Internal/External
1500	Root 3	OHCI	USB Optical Mouse	Locally Connect	bed 00		00	00	-		046D	C05A	External
2001	Root 1	OHCI	USB Keyboard	Locally Connect	00 00		00	00			0460	C310	External
2102	Root 0	OHCI	Elo TouchSystems 2700 IntelliTouch(r) USB Touchmonitor Interface	Locally Connect	ted 00		00	00	20639	185	6467	0020	External

- 5. Permissions メニューで、USB をクリックして USB ページを表示します。
- 6. Bridged Devices エリアで、Add New をクリックします。

USB			
Configure the USB permissions table			
Authorized Devices:			
Any Device Class	Any Sub Class	Any Protocol	Remove
Add nev			
Unauthorized Devices: Table Is empty			
Add nev			
Bridged Devices: Table is empty			
Vendor ID: 04E7			
Product ID: 0020			
Add Cancel			

- 7. タッチスクリーンのベンダ ID と製品 ID を入力してから、Apply をクリックしま す。
- 8. ゼロクライアントセッションを再起動します。
- 9. Elo TouchSystems 製のタッチスクリーンドライバをインストールします。インストールとキャリブレーションの手順については、Elo TouchSystems のマニュアルを参照してください。

#### ゼロクライアントから VMware View ホストへの自動ログインの設定

タッチスクリーンデバイスへのログインをもっと簡単にするために、VMware View Login ウィンドウでキーボードをバイパスするように選択することができます。こ のセットアップを選択した場合は、VMware View Login ウィンドウで Connect をタ ッチする必要があります(または、ユーザ名とパスワードを入力してから、 Connect をタッチする必要があります)。

1. 管理用ウェブインターフェースにログインします。

- 2. Configuration メニューで、Session を選択します。
- 3. Session Connection Type ドロップダウンメニューで、View Connection Server + Auto-Logon を選択します。
- 4. VMware View Connection Server の DNS 名または IP アドレスを入力します。
- 5. ユーザ資格情報を入力してから、Applyをクリックします。

PCoIP ゼロクライアント/ホスト管理者ガイド



## 6 PCoIP テクノロジリファレンス

## 6.1 PCoIP ホストカード

PCoIP ホストカードは、タワーPC、ラックマウント PC、PC ブレード、およびサー バブレードに内蔵することが可能な小型のアドインカードです。このカードの TERA シリーズプロセッサは、ユーザのフルデスクトップ環境をエンコードするた めの高度な表示圧縮アルゴリズムを実行します。その後で、この情報が IP ネットワ ーク経由でリアルタイムにユーザの PCoIP ゼロクライアントに送信されます。

PCoIP ホストカードの詳細については、<u>http://www.teradici.com</u>にある Teradici ウェ ブサイトを参照してください。

## 6.2 PCoIP ゼロクライアント

PCoIP ゼロクライアントは、仮想デスクトップまたはリモートホストワークステー ションをローカルまたはワイドエリア IP ネットワーク経由で接続可能にするセキュ アなクライアントエンドポイントです。このクライアントは、小型のスタンドアロ ンデバイス、PCoIP 内蔵ディスプレイ、VoIP 電話機、タッチスクリーンモニタなど のさまざまなフォームファクタを取ることができます。ゼロクライアントは、複数 のワイドスクリーンフォーマット、HD オーディオ、およびローカル USB 周辺機器 をサポートします。また、近接型カードやスマートカードで使用するための多要素 認証を含む、拡張可能な USB セキュリティおよび認証機能を備えています。

シングル TERA シリーズプロセッサで補強されたゼロクライアントは、豊富なマル チメディア体験をユーザに提供します。ユーザは、あらゆる種類のゼロクライアン トからデスクトップを操作することも、ゼロクライアントデバイス間を移動しなが ら同じセッションを維持することもできます。

PCoIP ゼロクライアントの詳細については、<u>http://www.teradici.com</u>にある Teradici ウェブサイトを参照してください。

#### 

Tera2 ゼロクライアントは、DVI デジタルディスプレイインターフェースと DisplayPort デジタルディスプレイインターフェースの両方をサポートします。次の ようなポートオプションを使用することができます。

- TERA2321 DVI-Iデュアルディスプレイ PCoIP ゼロクライアント:2つの DVIポ ートがあります。
- TERA2321 DP+DVI-Iデュアルディスプレイ PCoIP ゼロクライアント:1つの DVI ポートと1つの DisplayPort ポートがあります。

- TERA2140 DVI-D クアッドディスプレイ PCoIP ゼロクライアント:4つの DVI ポ ートがあります。
- TERA2140 DP クアッドディスプレイ PCoIP ゼロクライアント:4つの DisplayPort ポートがあります。

## 6.3.1 2560x1600 ディスプレイ解像度のサポート

上記ゼロクライアントのすべてが、DVIインターフェースまたは DisplayPort インタ ーフェースを備えた付属モニタの 2560x1600 解像度もサポートします。ただし、 DVIインターフェースでこの解像度をサポートするには、カスタムデュアルリンク DVIケーブルアダプタが必要です。

下の図は、ビデオケーブルと各種ゼロクライアントを接続して接続先のディスプレ イで 2560x1600 解像度を実現する方法を示しています。



図 6-1: 2560x1600 解像度用の DVI コネクタと DisplayPort コネクタ

- TERA2321 DVI-I デュアルディスプレイ PCoIP ゼロクライアント: このゼロクラ イアントは1つの 2560x1600 モニタをサポートします。上の図(左上)に示すよ うに、カスタムデュアルリンク DVI-I ケーブルアダプタの2つの DVI-I ケーブル コネクタをゼロクライアントの2つの DVI-I ポートに接続します。
- TERA2321 DP+DVI-I デュアルディスプレイ PCoIP ゼロクライアント: このゼロ クライアントは DisplayPort インターフェースを介して1つの 2560x1600 モニタの



みをサポートします。上の図(右上)に示すように、DisplayPort ケーブルのコネ クタをゼロクライアントの DisplayPort ポートに接続します。

- TERA2140 DVI-D クアッドディスプレイ PCoIP ゼロクライアント:このクライアントは最大2つの2560x1600 解像度モニタをサポートします。上の図(左下)に示すように、モニタごとに、カスタムデュアルリンク DVI-D ケーブルアダプタの2つの DVI-D ケーブルコネクタを2つの DVI-D ポートに接続します。これらのコネクタは図と全く同様にクライアントのポートに接続する必要があります。
- TERA2140 DP クアッドディスプレイ PCoIP ゼロクライアント:このゼロクライアントは最大 2 つの 2560x1600 モニタをサポートします。上の図(右下)に示すように、DisplayPort ケーブルのコネクタをゼロクライアントの DisplayPort ポートに接続します。

注意:その他の解像度オプションの詳細については、「<u>PCoIP ホストカードとゼロ</u> <u>クライアント</u>」を参照してください。

## 6.4 PCoIP コネクションブローカ

PCoIP コネクションブローカは、ゼロクライアントから接続を確立しているユーザ の ID に基づいて動的にホスト PC をゼロクライアントに割り当てるリソースマネー ジャです。コネクションブローカはホストのプールをゼロクライアントのグループ に割り当てるためにも使用されます。PCoIP デプロイメント内のゼロクライアント が常に同じホストに接続するように設定されている(つまり、静的1対1ペアリン グ)場合は、コネクションブローカが必要ありません。

ゼロクライアントとホスト PC を接続するために、複数のサードパーティ製コネク ションブローカが PCoIP テクノロジをサポートしています。詳細については、 <u>Teradici サポートサイト</u>で知識ベースサポートトピック 15134-24 を参照してください。

VDI 実装では、ゼロクライアントを VMware View 仮想デスクトップに接続するため に VMware View コネクションブローカが使用されます。VMware View コネクショ ンブローカを使用して、PCoIP クライアントとホスト PC を接続することもできます。 詳細については。『Using PCoIP Host Cards with VMware View』(TER0911004)を 参照してください。

## 6.5 APEX 2800 PCoIP サーバオフロードカード

APEX 2800 PCoIP サーバオフロードカードは、仮想デスクトップインフラストラク チャ (VDI) 実装にハードウエア駆動型 PCoIP イメージエンコーディングを提供し ます。このカードは、仮想マシンごとのグラフィックエンコーディング要求を継続 的に監視しながら、イメージ圧縮タスクを CPU 内のソフトウエアイメージエンコー ディングからハードウエアイメージエンコーディングに切り替えたり、元に戻した りします。このオフローディングは、ユーザが切り替えを通知されることなく、必 要に応じて、すばやくシームレスに実行されます。 APEX 2800 PCoIP サーバオフロードカードの詳細については、 http://www.teradici.com にある Teradici ウェブサイトを参照してください。

## 7 用語集(略語、頭字語)

## 256 ビット Salsa20

Salsa20は256ビットのストリーム暗号暗号化アルゴリズムです。

#### AC

Alternating Current (交流電流)

#### AES

Advanced Encryption Standard (高度暗号化標準)

#### AWI

Administrative Web Interface (管理用ウェブインターフェース)。PCoIP ゼロ クライアントとホストカードの監視と設定に使用される PCoIP デバイス。 AWI に接続するには、サポートされているブラウザに PCoIP デバイスの IP アドレスを入力するだけです。

### BIOS

Basic Input/Output System(基本入出力システム)

## CA

Certificate Authorities (認証局)

## CAC

Common Access Card (共通アクセスカード)。スマートカードの一種。

#### CAD

Computer Aided Design (コンピュータ支援設計)

#### CMI

Connection Management Interface (接続管理インターフェース)。外部接続管理サーバとの通信に使用されるホストまたはクライアントから提供されるインターフェース。

## CMS

Connection Management Server (接続管理サーバ)。ホストとクライアントを 管理可能な外部のサードパーティ製管理エンティティ。コネクションブロー カと呼ばれることもあります。

## DA

Directory Agent (ディレクトリエージェント)

### DDC

Display Data Channel (ディスプレイデータチャネル)

#### DDC/CI

Display Data Channel/Command Interface (ディスプレイデータチャネル/コマ ンドインターフェース)

#### DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol (動的ホスト構成プロトコル)

#### **DMS-59**

2つの DVI ストリームを1つのコネクタにまとめることができるコンピュー タビデオカード上の 59 ピンコネクタ

## DNS

Domain Name System (ドメインネームシステム)

#### **DNS-SRV**

Domain Name System Service Record (ドメインネームシステムサービスレコ ード)

## DVI

Digital Visual Interface (デジタルビジュアルインターフェース)

#### EDID

Extended Display Identification Data (拡張ディスプレイ識別データ)

#### **EEPROM**

Electrically Erasable Programmable Read-Only Memory(電気的消去可能 ROM)

### ESP

Encapsulating Security Payload (セキュリティペイロード隠蔽)

### Fps

Frames per second (1 秒あたりのフレーム数)。ディスプレイデータフレー ム更新速度。

#### FQDN

Fully Qualified Domain Name (完全修飾ドメイン名)

#### GPIO

General Purpose Input/Output (汎用入出力)

#### GPO

Group Policy Object  $(\mathcal{J}\mathcal{N} - \mathcal{T}\mathcal{R} \cup \mathcal{V} - \mathcal{T}\mathcal{V} = \mathcal{V} - \mathcal{T}\mathcal{V} = \mathcal{V} - \mathcal{V} - \mathcal{V} = \mathcal{V} - \mathcal{V} - \mathcal{V} - \mathcal{V} = \mathcal{V} - \mathcal{V}$ 

#### GPU

Graphics Processing Unit (グラフィックスプロセッシングユニット)

#### GUI

Graphical User Interface (グラフィカルユーザインターフェース)

### HD

High Definition (高解像度)

#### HDCP

High-bandwidth Digital Content Protection (高帯域幅デジタルコンテンツ保護)

### HID

Human Interface Device (ヒューマンインターフェースデバイス)

#### HomePlug

電力線経由のネットワーキングテクノロジ

#### HPDET

Hot Plug Detect (ホットプラグ検出)

## HTML

Hyper Text Markup Language (ハイパーテキストマークアップランゲージ)

## ID

Identification (識別)

## IP

Internet Protocol  $(\mathcal{I} \lor \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \neg \mathcal{P} )$ 

### IPsec

Internet Protocol Security  $(\mathcal{I} \lor \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \neg$ 

#### **IPsec-ESP**

Internet Protocol Security-Encapsulated Security Payload (インターネットプロ トコルセキュリティ-セキュリティペイロード隠蔽)

#### IPv4

Internet Protocol Version 4 (インターネットプロトコルバージョン 4)。 イン ターネット上の主要なネットワークレイヤプロトコル。

#### IPv6

Internet Protocol Version 6(インターネットプロトコルバージョン 6)。IPv4 の後継。

### LAN

Local Area Network (ローカルエリアネットワーク)

#### LED

Light-Emitting Diode (発光ダイオード)

## MAC

Media Access Control (媒体アクセス制御)。一意のハードウエア識別子。

#### Mbps

Megabits per second (1秒あたりのメガビット数)

#### MC

Management Console (管理コンソール)

#### MIB

Management Information Base(管理情報ベース)。SNMPで使用されます。

# MTU

Maximum Transmission Unit (最大転送単位)

#### NAT

Network Address Translation (ネットワークアドレス変換)

#### NTP

#### OHCI

Open Host Controller Interface (オープンホストコントローラインターフェース)

#### OS

Operating System (オペレーティングシステム)

### OSD

On Screen Display(オンスクリーンディスプレイ)。ゼロクライアントに表示されるインターフェース。OSDには、接続ダイアログだけでなく、ユーザと管理者の両方からアクセス可能なローカル設定オプションも表示されます。管理者は、必要に応じて、設定オプションを制限したり、ユーザに表示しないようにしたりすることができます。

## PC

Personal Computer (パーソナルコンピュータ)

#### PCI

Peripheral Component Interconnect (ペリフェラルコンポーネントインターコ  $\hat{x}$ クト)

### PCLe

Peripheral Component Interconnect Express (ペリフェラルコンポーネントイン ターコネクトエクスプレス)

#### PCoIP

Personal Computer over Internet Protocol  $(\mathcal{N} - \mathcal{Y} + \mathcal{V} +$ 

#### PCoIP ホスト

PCoIP システムのホスト側

### PCoIP ゼロクライアント

PCoIP システムのクライアント(ポータル)側。PCoIP ポータルと呼ばれる こともあります。

## **PC-over-IP**

Personal Computer over Internet Protocol (パーソナルコンピュータオーバーイ ンターネットプロトコル)

### POST

Power On Self Test (パワーオンセルフテスト)

#### RDP

Remote Desktop Protocol (U = - F = 2 D = - D = 2 D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D = - D =

#### RFC

Request for Comments (リクエストフォーコメンツ)。インターネット規格 文書。

## SA

Service Agent (サービスエージェント)

#### **SLAAC**

Stateless Address Auto-Configuration (ステートレスアドレス自動設定)

#### SLP

Service Location Protocol (サービスロケーションプロトコル)

#### **SNMP**

Simple Network Management Protocol (簡易ネットワーク管理プロトコル)

SSL

#### **TERA1100**

PCoIP ゼロクライアント機能をサポートする第1世代 Teradici プロセッサ **TERA1200** 

PCoIP ホスト機能をサポートする第1世代 Teradici プロセッサ

#### **TERA2140**

PCoIP ゼロクライアント機能をサポートする第2世代 Teradici プロセッサ

#### **TERA2220**

PCoIP ホスト機能をサポートする第2世代 Teradici プロセッサ

#### **TERA2240**

PCoIP ホスト機能をサポートする第2世代 Teradici プロセッサ

#### **TERA2321**

PCoIP ゼロクライアント機能をサポートする第2世代 Teradici プロセッサ UA

User Agent (ユーザエージェント)

#### UDP

User Datagram Protocol (ユーザデータグラムプロトコル)

### UI

User Interface (ユーザインターフェース)

### USB

Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス)

#### VDI

Virtual Desktop Infrastructure (仮想デスクトップインフラストラクチャ)

#### VGA

Video Graphics Array (ビデオグラフィックスアレイ)

#### VM

Virtual Machine (仮想マシン)

#### VPD

Vital Product Data(重要プロダクトデータ)。ホストまたはクライアントを 一意に識別するために工場でプロビジョンされる情報。

### VPD(同音異句)

Virtual Desktop Platform (仮想デスクトッププラットフォーム)

#### VPN

Virtual Private Network (仮想プライベートネットワーク)

#### WAN

Wide Area Network(広域ネットワーク)。拡張された企業向けの大陸規模のネットワーク。

## WI-FI

IEEE 802.11 無線技術の商標名

## WOL

Wake-on-LAN(ウェイクオン LAN)

## WOU

Wake-on-USB (ウェイクオン USB)